

周産期医療センター
—10年間のあゆみ—

兵庫県立こども病院
周産期医療センター

16病①1-0018A4

周産期医療センター
—10年間のあゆみ—

平成16年10月
兵庫県立こども病院周産期医療センター

周産期医療センター
—10年間のあゆみ—



平成16年10月
兵庫県立こども病院周産期医療センター

目 次

県立こども病院周産期医療センター10周年を迎えて	病院事業管理者 後藤 武	1
兵庫県立こども病院周産期医療センター開設10周年を迎えて	院長 中村 肇	1
周産期医療センターの10年間	所長 大橋 正伸	2
周産期医療センターで10年を過ごして	新生児科 中尾 秀人	2
兵庫県立こども病院周産期医療センター開設10周年記念に際して	総務部 森川 清志	3
周産期医療センター開設10年間を迎えて	看護部 笹山美代子	3
周産期医療センター10年間を迎えて	看護部 植杉チヨ子	4
母親からのメッセージを通して学んだこと	看護部 田中 美枝	4
兵庫県立こども病院周産期医療センター10周年を迎えて	看護部 足立久美子	5
産科診療10年間の歩み	産科 大橋 正伸	6
新生児科10年間の変遷	新生児科 芳本 誠司	8
兵庫県立こども病院周産期医療センター10年間における小児外科	小児外科 津川 力	10
周産期医療における脳神経外科の役割	脳神経外科 長嶋 達也	11
過去10年間における新生児期心臓外科手術	心臓胸部外科 村上 博久	11
周産期医療センターにおける未熟児網膜症の発症および治療状況	眼科 野村 耕治	12
周産期医療における泌尿器科の役割	泌尿器科 杉多 良文	13
周産期センターにおける整形外科疾患	整形外科 薩摩 真一	13
周産期における形成外科の関わり	形成外科 西本 聡	14
周産期センターと麻酔科の連携	麻酔科 香川 哲郎	15
周産期医療センターの病理検査	病理部 吉田 牧子	15
精神科との連携	精神神経科 伊東 恵子	16
胎児心疾患—胎児 Echo 検査との関わり	循環器科 鄭 輝男	17
周産期センターと放射線科との連携	放射線科 金川 公夫	17
周産期医療とポータブル撮影	放射線部 北坂 佳之	18
周産期医療センターと指導相談部との連携について	指導相談部 宮崎美知恵	18
周産期医療センターと薬剤部との連携について	薬剤部 郷地 啓子	19
こども病院へ母体、あるいは新生児搬送されたお母さまに対するアンケート調査報告		20
こども病院に入院中の体験談やこども病院をよくするための提案		27
付1 アンケートの挨拶状		107
付2 アンケート用紙の内容		108

県立こども病院周産期医療センター 10周年を迎えて

病院事業管理者 後藤 武

周産期医療センターは、超未熟児、外科系異常などのハイリスク児および切迫流産、多胎妊娠などのハイリスク妊婦の救命を図るため、平成6年10月に開設され、出生体重1,000g未満の超低出生体重児の救命率の高さなど全国トップクラスの高度な周産期医療を提供しております。

この10年間、数多くの尊い命を救って来られたのも、患者さんにより良質な医療を提供しようという医師や看護師など医療スタッフのたゆまぬ努力とチームワークの賜と高く評価するとともに、大変誇りに思っております。

さて、兵庫県における平成14年度の合計特殊出生率（女性1人が生涯に生む子どもの平均数）が1.29人となるなど、少子化の問題はますます深刻化しています。

国では、この少子化の問題に対し「新エンジェルプラン」「健やか親子21」など、安心して子育てができる社会を実現するため、周産期医療ネットワークの整備をはじめとする具体的な取組みが進められているところです。

さらに、兵庫県においても「“すこやかひょうご”子ども未来プラン」を策定し、だれもが安心して子どもを生み育て、生まれてきた子どもが健やかに成長する社会の実現をめざして、総合的な少子化対策を推進しているところです。その具体的な施策のひとつである周産期医療体制の整備充実の取組みにおいては、当センターを核とした医療提供により、周産期死亡率や乳児死亡率の低減が図られるなど、大きな成果があがっていることから、今後も周産期医療の中核施設として当センターの果たすべき役割に、県民から大きな期待が寄せられていくものと自負しております。

また、わが病院事業では、県民に安全で安心できる医療を提供していくため、病院構造改革を推進しており、この中で周産期医療を含めた成育医療の一層の充実についても検討を進めているところです。

「子どもは社会の宝物」であり、この宝物がより輝きを増すためにも、母子ともに健やかであることの大切さは言うまでもありません。県立こども病院の周産期医療センターが周産期医療の中核施設として、1人でも多くの尊い命を救うため、今後とも高度専門医療の提供に努め、県民の期待に応えてまいりたいと考えています。

兵庫県立こども病院周産期医療センター開設 10周年を迎えて

兵庫県立こども病院長

中村 肇

胎児期・新生児期は、生涯のうちで最も生命を脅かされる時期であり、子どもたちの健やかな成長を守るうえで最も重要な時期です。平成6年10月に兵庫県立こども病院に周産期医療センターが開設されたことにより、ひとのライフサイクルに出生前から一貫して対応できる成育医療としての体制ができて上がりました。

周産期医療センターでは、ハイリスク妊婦を年間400名、ハイリスク新生児を年間600名の診療を行っています。最近では、出生体重1,000g未満の超低出生体重児を年間60名受け入れ、その救命率は90%を越えるまでになっています。この好成績の背景にあるのは、過去10年間に地域の産科医療機関との連携システムが確立し、ほとんどの超低出生体重児が、出産前にハイリスク妊婦としてセンターに母体搬送されてくる体制ができて上がったことにあります。また、開設当初から新生児搬送用のドクターズカーを有し、兵庫県下全域の産科医療機関に新生児科医師・看護師が出向き、ハイリスク新生児の受け入れを行い、新生児の治療効果は大いに向上しました。

一方、合計特殊出生率が1.29と少子社会が一段と進む中で、低出生体重児の出生数は近年著しく増加し、全出生の10%が出生体重2,500g未満の低出生体重児であるという極めて深刻な事態になっています。とくに、多胎児出生の増加、十代の若年母親・高齢出産の増加、若年女性の痩せなどがハイリスク新生児の絶対数の増加につながっており、もはや、当センターだけでは十分に対応できなくなっています。

当センターは、平成12年以来兵庫県唯一の総合周産期医療センターとしての役割を担い、県下の地域周産期医療センターとのネットワークの中核としての周産期医療の提供を図るとともに、周産期医療情報の収集・提供、周産期医療水準向上のための教育・研修会の開催を行ってきました。しかしながら、我が兵庫県の周産期死亡率・新生児死亡率はかつては全国平均を大きく下回っていましたが、近年他府県の低下率がより著しく、兵庫県は全国平均レベルにまで悪化していることには責任を感じています。ハイリスク新生児では、退院後も十分な医療的ケアを必要とする児が少なくありません。今後は、総合周産期医療センターとして、県下の医療機関、保健・福祉機関との連携・協力をより密にし、周産期医療水準の向上に向けた活動を、また、入院中だけでなく、退院後も継続したケアを行う医療を展開していく体制を図りたく考えています。

この10周年を期に実施されたアンケート調査結果を参考に、患者様の安心と信頼を得られるよう、職員一同努めていく所存です。皆さま方のより一層の御指導・御支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成16年10月

周産期医療センターの10年間

周産期医療センター所長兼産科部長
大橋 正伸

平成6年10月に周産期医療センターが開設されて10周年を迎えることになりました。この10年間に産科、新生児科ともに大半の医師は入れ替わり、それぞれの転勤先でこども病院での経験を生かして周産期医療に貢献されています。開設当初から勤務しているものは中尾新生児科部長と小生だけになりました。まさしく光陰矢の如しです。

産婦人科を志して30年になりますが、とくにこの10年間は悲喜こもごも実にさまざまなことを経験させていただきました。周産期医療にたずさわるものの宿命でしょうか、記憶に残るのは元気に退院されていった数多くの母と児のことではなく、少数ではありますが治療のかいもなく死産された方、赤ちゃんを亡くされた方、今なお子どもさんの介護、治療にご家族そろってがんばっておられる方などのことばかりで、いつも心のどこか片隅にあります。

本誌刊行にあたっておこなったアンケートの回答者は必ずしも元気に退院されていった方々だけではありません。寄せられた提案をお読み頂くとお判りのように子ども病院でつらい思いをされた方からのご回答も数多く頂いています。このような方々からもご回答を賜ったことは誠に有り難く深謝申し上げますとともに、この10年間のスタッフ一同に対する勲章と考えて大切に守っていきたくと願っています。

元気に退院されたのは神様が人を癒したこと、不本意な結果になったのは人が人を癒せなかったことと思ひ、しかしあきらめずに半歩の努力を続けてあと10年たてば、もう少し医学は進歩しているのではないかと考え、心にむち打って日々の診療に従事しています。

皆様方のご健勝、ご多幸を心より祈念申し上げます。

周産期医療センターで10年を過ごして

新生児科部長 中尾 秀人

周産期医療センターの開設に際し、またとない機会に恵まれ着任し、医師生活の三分の一以上を周産期医療センターとともに過ごすことが出来たことを幸せに存じます。この間、新生児医療の遂行については、本当に多くの方のご指導、ご協力をいただき深く感謝いたします。思い起こせば、開設間もない時期に経験いたしました阪神大震災は、現在医療の最も重要な要因であるリスクマネジメントの貴重な教訓を学ぶ機会でもございました。この時に、信頼し合える医療チームを創造していける自信のようなものを得たことは、私にはかけがえのない経験でした。集中治療を要する患児数の多さに圧倒され、安全性の確保との両立に困惑したり、個人の利益と全体の利益のジレンマに悩んだりしながらも、患児一人ひとりの人権が守られ、“最善の利益”が尊重されるべく、みんなが意思を統一して医療に取り組んでまいりました。周産期の医療の進歩に伴い、年々診療対象となる患児は重症度を増しましたが、日本でも有数の症例を経験していく中で、より安全に、より迅速に、よりシンプルに治療をチームとして実践していけるようになってきたことを実感しております。今後、私たちはさらに医療の個別化、最適化の要求にこたえられるよう、研鑽を積み重ねたいと考えております。

また、私たちとともに医療を遂行した仲間が、県内の他の医療機関でも活躍され、さらに大きなネットワークを形成できることを願っております。

今後とも、なにとぞよろしくご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

兵庫県立こども病院周産期医療センター 開設10周年記念に際して

兵庫県立赤十字センター事務部長

(元 兵庫県立こども病院総務部長) 森川 清志

開設10周年記念に当たり、周産期医療センターが患者様や医療関係者から信頼され、素晴らしい業績を上げられ、ますます発展しておられることを衷心よりお喜び申し上げます。

平成6年10月に周産期医療センターを開設し、ひとのライフサイクルに一貫した医療提供が出来る病院に整えようと、新年早々より本館の改修工事を予定していたところ、未曾有の大震災に見舞われました。

地震発生直後の新生児の他病院への搬送に始まり、その後半年にわたる救護所への支援など、職員の皆さん方の働きには目まぐるしいものがありました。病院の整備計画は大きく遅れ、ようやく平成10年6月に完了いたしました。

この間、稼働病床数は182床に制限され、改修工事を行いながら診療を行うなど不本意な時期が続き、患者様や職員の皆さん方には大変なご苦勞をお掛けし、ご協力を頂いたことと有り難く思っております。

また、この間にも周産期医療センターでは、常に病床利用率は高水準で維持される等、大橋周産期医療センター所長、中尾小児科部長、植杉看護部次長、田中看護長をはじめ職員の皆さん方のたゆまざる努力が続けられており、フルオープンが今日の隆盛をみるに至ったことは、小川院長、谷風副院長、磯村看護部長さん方の素晴らしい指導力と積極的な取り組み姿勢並びに統率力が限りなく発揮された結果、無事オープンが出来たものと思っております。

この一員として参加させて頂いたことを今も光榮に思っております。

今後、周産期医療センターがますます発展されることをお祈り申し上げます。

周産期医療センター開設10周年を迎えて

看護部長 笹山美代子

兵庫県立こども病院・周産期医療センターがオープンして10年が経過いたしました。ハイリスク母子の高度先進医療を担う当センターにおいて、助産師・看護師達は多くの妊娠・出産に医師とともに、関わってまいりました。当院看護部理念である『命を守り育てることに努力し、真の優しさと逞しさを備えた人間性を養い、患者のみなさまとご家族の安心と満足が得られる看護の提供』に努力しているところです。前任の看護部長は、5周年記念誌のなかで看護を船に例え、その役割を次のように述べております。

周産期医療センターに来られる患者さんの多くは、本来その患者さんがもっておられる「力」だけでは妊娠の継続・出産という航海が困難であると同時に、誕生した新しい命の成長・発達も危ぶまれる状況だと考えます。このような状況で一番大切なことは、その患者さんが持っておられる「力」を信じ見極めることだと考えます。 —中略—

看護師がその状況をしっかり受けとめ、状況を的確に判断するには、高度な知識に裏づけされた観察力・判断力・技術力が求められます。不安定な母子の安全と安楽を守ることができるのは私たちだ」という責任感と自負で頑張った5年間だったと考えます。医師を中心とした確かなチームワークで、責任の重さ・課題の大きさに負けない明るくさわやかなスタッフで6年目の船出をしたいと考えます。

このように船出をして5年の歳月が経った現在、周産期医療センターは更に大きく前進しております。大橋産科部長・中尾新生児部長を核とした周産期医療チームのなかで、3看護長(産科・NICU・GCU)を中心に助産師・看護師達は、大きな責任感と使命感をもって日々の看護実践に取り組んでおります。

また5周年記念誌のなかで頂いたみなさまのご意見を糧に、周産期医療チームの一員として看護の果たす役割をしっかりと見据え、明るくさわやかに行動してきた結果でもあると考えます。

「いのちを守り育てる」ことへの畏敬の念と、真のやさしさ・たくましさ・暖かさを備えもった看護職として、ともに成長し続けていくことを願っております。

周産期医療センター10周年を迎えて

看護部次長 植杉 チヨ子

周産期医療センターの開設10周年を迎えることが出来たことを大変嬉しく思います。開設当初お生まれになったお子様が10歳、保育器の中で必死に頑張っていた小さな赤ちゃん達、その様子を必死に祈る思いで見守っておられた御両親、御家族の方達の姿が思い起こされます。看護師達も今まであまり経験しなかった超低出生体重児やさまざまな疾患のお子様の看護に悪戦苦闘しながらも、新生児科部長を始め諸先生方の指導の基、とても良く頑張ってくれました。そして今では確かな知識に裏付けられた観察と判断、経験に基づいた技術を身につけ、それぞれが自信を持って看護している姿に嬉しくなります。

新生児病棟は、赤ちゃんが育ち、そして赤ちゃんを含めた家族が育つ場でもあります。その場を支えるには、一人ひとりの赤ちゃんと家族に心を寄せて、それぞれの気持ちを感じ取ることが大切です。新生児の専門看護師として、知識、技術の修得と同様に患者様の気持ちを感じ取れる看護師に育ってくれることを願っています。

私も新生児病棟を離れて3年、これまでに沢山の患者様や御家族との出会いがあり、沢山の学びをさせていただきました。この貴重な学びを大切に、これからは周産期部署担当の看護部次長として看護長と一緒に看護師一人ひとりが自律し、自信を持って患者様、ご家族に責任ある看護、やさしい看護の提供が出来る様、支援していきたいと思っています。

母親からのメッセージを通して学んだこと

産科病棟看護長 田中 美枝

兵庫県立こども病院に周産期医療センターがオープンして10年が経過しました。この間、多くのハイリスク妊産婦さんとの出会いがあり、一人ひとりの妊産婦さんとの関わりを通して、私たち看護師が果たさなければならない役割や看護ケアを振り返ることができたことに感謝しています。

産科病棟では、入院中の母親が新しい生命を授かり、児の誕生を心から待ち望んでいる喜びの心境や、1週間でも長く妊娠を継続するために耐えている闘病生活のつらさや、家族と離れて暮らす寂しさや悲しみなどを自由に綴ることのできる「らくがきノート」を置いています。らくがきノートに書かれた言葉は、母親自身が体験した喜びや悲嘆や苦しみであり、もしかしたら今後同様な体験をするかもしれない妊産婦さんに対する励ましのメッセージでもあります。

母親からのたくさんのメッセージは、私たちが提供した看護の評価として多くの示唆を得ることができ、母子の生命を守ることの責任の重さや看護の喜びにもつながったと考えています。

今後も、妊産婦さんやご家族との関わりの中で、多くのことを学び、安心と満足していただけるようにより一層の努力をしていきたいと思っています。

兵庫県立こども病院周産期医療センター 10周年を迎えて

NICU看護長 足立久美子

周産期医療センターが開設され10年が経過しました。私事になりますが、私はこの10年間の半分をスタッフナースとして、半分を看護管理をさせていただき身として職務に就かせて頂いてまいりました。

今や10年一昔ではなく、5年、3年という短いスパンで世の中は動くと言われ久しいですが、新生児看護領域においても同様です。見守りを中心にした看護から、成長・発達を促進させる為のケアをご両親と共に考え、実践していくといった内容に変わってきました。その中のひとつに“ホールディング（抱っこ）”があります。その言葉の示す通り、ご両親もしくは看護者の手で、保育器に入っている新生児を優しく包み込むようにして触れてあげるといったケアです。不安な気持ちを体いっばいに表現し泣いている小さな新生児も、ホールディングすることにより、しばらくすると不思議に心地よい表情で眠りにつかれることをよく経験します。

最初は緊張に手が震えるご両親も、回数を重ねるごとに要領を得、母親や父親としての言葉がけが自然とできるようになり、我が子と対面されている姿は、本当に微笑ましく私たち看護者も和みます。心と心の通い合う瞬間です。

新生児に触れている手には、言葉では表現できない温もりと小さいながらも必至で生きている鼓動が伝わってきます。私は、この小さな体に宿った可能性に満ち溢れた新生児の魔力に魅せられ続けています。今後も、多くの新生児やそのご家族との出会いがあることと思いますが、新生児看護の基本となる原則を大切にしながら、新生児の成長・発達を促進させる為のケアのあり方や、新生児の生れながらにして持っている“生命力”を引き延ばす看護をスタッフと共に実践していきたいと考えております。

産科の診療 10年間の歩み

産科 大橋 正伸、原田 明、佐本 崇 石原 尚徳
新谷 潔、近田 恵理、猿渡由美子

周産期医療センターが開設された平成6年10月から平成15年12月31日までの産科における診療内容を紹介するとともに、現在、産科診療の場で直面している問題点について概説する。

開設時より当センター産科は他施設から紹介された異常妊産婦（いわゆるハイリスク妊産婦）に限定して患者を受け入れてきた。そのために入院患者のうち緊急母体搬送の占める割合の多いことが一番の特徴である。10年間の延べ入院患者数4619名のうち救急車などで緊急母体搬送されたものは2268名で全体の49%を占めた（表1）。緊急母体搬送件数は年々増加して平成14年には年間284件に達した。幸いにも平成15年には227件にまでに低下したが、これが一時的な減少でないことを期待する。しかし一方、緊急母体搬送数の増加は県内の産科施設において異常妊産婦の早期発見技術の向上と早期紹介の認識が広まったことを示すものであり、さらに県民が周産期医療システムの意義を理解するようになったことも意味する。まさしく本システムの整備が県下の母子保健を改善させるに極めて有効であったことを証明するものである。

搬送元施設の所在地区は神戸市が6割、東播磨が2割、阪神が1割を占め、その他の地区からは少ない、他方、他府県からの紹介は毎年3%程度あって減少する傾向にない（表2）。府県を越えた搬送は日常的におこなわれており、兵庫県からも隣接する大阪府などに同程度の搬送が行なわれて府県間のバランスが保たれている。いずれの府県においても最低限必要な数の周産期センターは整備されているが、その数が十分でないところにわが国の周産期医療体制の現状をかいま見ることができる。緊急母体搬送や新生児搬送を要する事例の発生件数は日々その多少が激しい、したがってある府県においてその受け入れ能力を超えて緊急搬送を要する事例が発生した場合には、隣接する府県の周産期センターへ受け入れを依頼せざるを得ない。持ちつ持たれつといえは聞こえは良いが、これはすべての府県において周産期医療体制のさらなる充実が求められている現実を示している。

当産科で受け入れたハイリスク妊産婦は多岐に及ぶ（表3）。中でも切迫早産35%、前期破水16%、胎児異常（奇形）15%、子宮内胎児発育遅延12%、妊娠中毒症9%が上位5つの紹介理由である。その他の疾患についてはこども病院年報を参照していただきたい。この5疾患のいずれかで紹介されたものは全体の87%を占めている。その中で切

迫早産と前期破水の症例数は年々右肩上がりに増加してきており、これが産科診療を圧迫している大きな要因の一つとなっている。この両疾患によって早産の件数、率ともに高くなり、また必然的に未熟性のより高い児の出産が増えるため、帝王切開率も高くならざるを得ない。早産の占める割合は7割前後、帝王切開率は5～6割の間にあり、これらの件数と率が今後増加することに疑う余地はなくとも、それらの値が低下することは全く期待できない。したがって現在、児の5割は出生児体重が2000g以下で出生しているが（表4）、今後さらに出生児の体重が低下するであろうことは十分予測できるし、その対応策を早急に整備しなければならぬ。

緊急母体搬送依頼件数は延べ3005件あり、うち2252件を受け入れた。しかし807件は産科病棟もしくは新生児科病棟が満床のため受け入れ不能であった。受け入れ不能率は平均26%になる（表5）。とくにこの3年来、受け入れ不能率が毎年10%づつ増加してきていることに脅威を感じている。平成15年には38%に達しており、もはや受け入れ能力の限界に近づいたと考えられる。

産科病棟と新生児科病棟は独立した診療体制をとっている。そこで、往々にして母児患者の流れも独立したものと誤解されることがある。周産期センターにおいて患者の大半は母体（胎児を含む）の入院→出産→新生児の入院→母体の退院→新生児の退院という流れにそって治療を受ける。この点において他科の患者の流れと大きく異なる。つまり出産すると母体は新生児の状態に関わらずまもなく退院するが、多くの児は母体の退院後も引き続いて新生児科に入院し治療を受けなければならない。当然ながら1人の児が新生児科に入院しなければならない期間はその児の異常や未熟性の程度に比例して長くなる。したがって出生後に厳重な管理、治療を要する異常児や未熟児の出産数が多くなるほど新生児科の病床の回転率は低下せざるを得ない。

言い換えると産科の受け入れ妊産婦をハイリスク妊娠に特化すればするほど、新生児科病床の回転率は低下する。そのため周産期センターにおける患者の流れの入り口である産科の母体入院がしばしば制限を受けることになる。当センターにおいてもここ数年、ハイリスク母児の入院数増加と病棟の円滑な稼働とのジレンマに難渋させられてきた。

産科、新生児科の病床数と取り扱っているハイリスク母児数のバランスについて当センターと全国の周産期センター

を比較すると、病床数あたりのハイリスク母児の数は全国でもトップクラスにあり、これ以上のハイリスク母児を受け入れることに限界がある。当周産期センターの円滑な稼

働性を保ちつつ、さらにレベルアップした診療を行なうには、ハイリスク妊婦から出産した成熟児については母児同室制を導入するなどの新体制の整備が望まれる。

(表1) 産科診療実績 (平成6年10月～15年12月)

	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	計
延べ入院患者数	66	336	363	407	430	518	568	633	676	622	4619
うち母体搬送によるもの	39	209	236	229	243	271	262	268	284	227	2268
外来紹介によるもの	27	127	127	178	187	247	306	365	392	395	2351
母体搬送率	59%	62%	65%	56%	57%	52%	46%	42%	42%	36%	49%
分娩数 (22週以降)	39	241	264	326	317	355	422	407	397	387	3155
帝王切開数	24	118	168	159	163	186	227	226	257	226	1754
帝王切開率	62%	49%	64%	49%	51%	52%	54%	56%	65%	58%	56%
早産数 (37週未満)	28	134	192	214	218	261	246	233	261	306	2093
早産の占める割合	72%	56%	73%	66%	69%	74%	58%	57%	66%	79%	66%
低出生体重児数	29	165	216	227	239	267	280	295	361	341	2420

(表2) 紹介元施設地区 (平成11年～15年)

	11年	12年	13年	14年	15年
阪 神	12%	10%	10%	12%	9%
神 戸 市	58%	67%	64%	63%	61%
東 播 磨	24%	18%	18%	17%	21%
西 播 磨	2%	2%	4%	3%	3%
丹 波	0%	1%	0%	1%	1%
淡 路	1%	0%	1%	1%	1%
但 馬	0%	0%	1%	0%	1%
他 府 県	3%	2%	2%	3%	3%
計	100%	100%	100%	100%	100%

(表3) 主たる紹介理由 (複数理由あり)

	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	計	率
切 迫 早 産	26	67	114	104	152	189	222	228	279	219	1600	35%
前 期 破 水	12	27	55	55	67	85	96	99	115	124	735	16%
胎 児 異 常	4	18	50	48	47	56	63	129	136	128	679	15%
子宮内胎児発育遅延	6	30	48	47	90	61	58	80	59	85	564	12%
妊 娠 中 毒 症	5	30	37	52	40	42	36	61	51	73	427	9%
多 胎 妊 娠	6	12	37	34	40	48	35	67	80	64	423	9%
羊 水 の 異 常	0	25	38	43	43	65	37	56	49	69	425	9%
胎 児 仮 死	4	21	35	38	38	41	27	30	86	60	380	8%
母体他科合併症	2	5	12	15	19	23	38	37	67	99	317	7%
前 置 胎 盤	5	6	8	6	9	17	22	22	22	23	140	3%
子宮内胎児死亡	3	1	8	9	13	13	9	12	17	15	100	2%
感 染 症	0	5	14	11	18	14	10	23	17	13	125	3%
胎 盤 早 期 剥 離	2	5	6	5	5	13	15	13	14	18	96	2%
産後出血・DIC	0	3	5	8	4	9	8	3	11	14	65	1%
そ の 他	4	5	29	35	81	105	306	380	535	597	2077	45%
計	79	260	496	510	666	781	982	1240	1538	1601	8153	177%

*率の分母は延べ入院患者数 (4619名) とした

(表4) 出産児体重 (平成11年～15年)

	11年	12年	13年	14年	15年	計	率	累積率
～499 g	6	9	8	9	8	40	2%	2%
500～999 g	52	54	54	63	50	273	12%	14%
1000～1499 g	43	58	47	71	78	297	13%	27%
1500～1999 g	77	74	98	114	85	448	20%	47%
2000～2499 g	78	85	88	107	108	466	21%	68%
2500～2999 g	87	110	95	70	75	437	19%	87%
3000～3499 g	37	37	53	40	47	214	10%	97%
3500 g～	10	18	16	18	8	70	3%	100%
計	390	445	459	492	459	2245	100%	

(表5) 緊急母体搬送依頼受け入れ状況

	依頼件数	受入件数	受け入れ 不可件数	受け入れ 不可率	備 考
6年	66	54	12	18%	10月開設(産科22床、NICU12床、GCU30床)
7年	240	202	38	16%	阪神淡路大震災
8年	312	236	76	24%	
9年	340	229	111	33%	
10年	324	219	105	32%	
11年	326	271	55	17%	増床(産科22床、NICU15床、GCU35床)
12年	362	262	100	28%	総合周産期センターの指定を受ける
13年	328	268	60	18%	
14年	394	284	110	28%	
15年	367	227	140	38%	
計	3059	2252	807	26%	

新生児科10年間の変遷

新生児科 芳本 誠司、溝淵 雅己、橋本 崇、吉形真由美
石川 依子 安達 美和、小幡 岳、玉置 依子、中尾 秀人

当センターは兵庫県における第三次周産期医療施設および、神戸市南部の二次医療施設としての役割を担っている。

新生児病棟は当初NICU12床、GCU30床にて運営を開始し、5年目の1999年4月よりNICU15床、GCU35床に増床している。10年間(94年10月から04年7月末日まで)で新規入院患者5739例を管理する機会を得た(図1)。増床を機に入院患者数は年間約500例から約650例へと著明に増加し、現医療体制ではほぼ最大限の稼働率である。母体搬送率は当初50%程度であったが徐々に増加し概ね60-70%となっている(図2)。

当センターの特徴としては、早産、低出生体重児の管理、

ハイリスク多胎の管理、循環器疾患、外科的疾患合併新生児の総合的管理、救命困難例のターミナルケアが挙げられる。

1) 早産、低出生体重児管理(図3、4、表1、2)

出生体重1,500g未満の極低出生体重児、あるいは在胎32週未満の早産児は年間80例余りから130例余りへと増加した。特に出生体重1,000g未満の超低出生体重児あるいは在胎28週未満の超早産児は年間50例以上と他の周産期医療施設に比較して非常に多い。治療成績としては最近3年間では出生体重750g以上、在胎24週以上では90%以上の生存率となっている。しかし、出生体重500g未満、在胎

23週以下では50-65%と満足できる成績ではなく今後の課題である。

2) ハイリスク多胎 (図5、表3)

近年の生殖補助技術の進歩と普及により多胎妊娠は増加しており、それに伴いハイリスク多胎妊娠も増加している。早産、低出生体重児の増加、双胎間輸血症候群や二児間体重差など多胎特有の病態のため第三次周産期医療施設での管理は不可欠であり、当センターにおいても総入院数の25%を占めている。特に超早産双胎では生存率は単胎に比較して明らかに低いのが現状である。品胎以上ではさらに早産、低出生体重は避けられないため、多胎判明時期早期よりの管理が重要である。当センターにおいても50組以上を経験している。早期母体搬送の定着と共に在胎28週以上例まで妊娠を継続できる症例が増加してはいる。

3) 循環器疾患、外科的疾患合併新生児の管理

当センターは循環器疾患、新生児外科疾患を管理できる

(表1) 出生体重別生存率 (2001-2003年)

出生体重	患者数(例)	生存者数(例)	生存率(%)
500g未満	12	6	50%
500-749g	62	54	87%
750-999g	100	93	93%
1,000-1,499g	208	203	98%
1,500-1,999g	318	304	96%
計	700	660	94%

(表2) 在胎週数別生存率 (2001-2003年)

在胎週数	患者数(例)	生存者数(例)	生存率(%)
22,23週	23	15	65%
24,25週	51	46	90%
26,27週	65	61	94%
28,29週	108	103	95%
30,31週	120	116	97%
32,33週	229	222	97%
計	596	563	94%

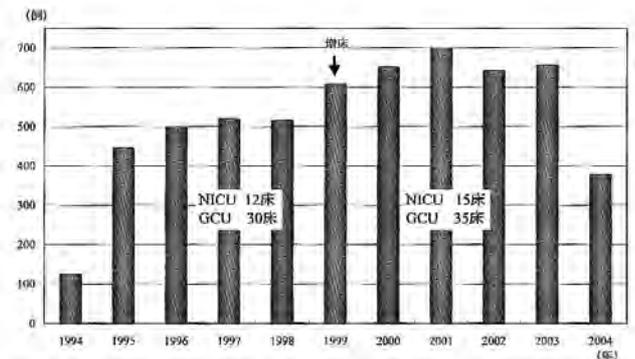
(表3) 双胎在胎週数別生存率 (1999-2003年)

在胎週数	患者数(例)	生存者数(例)	生存率(%)
22,23週	4	3	75%
24,25週	18	14	78%
26,27週	27	22	81%
28,29週	45	41	91%
30,31週	64	63	98%
32,33週	75	73	97%
計	233	216	96%

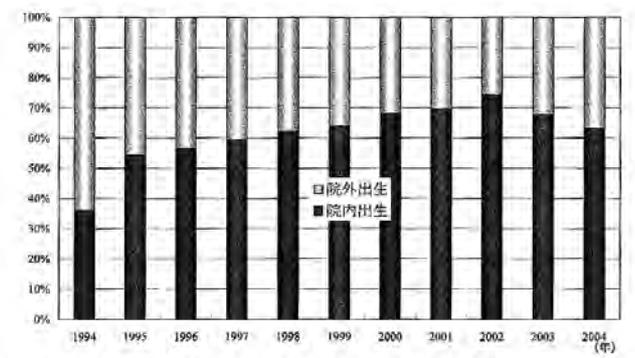
体制にあるため第二次周産期医療施設からの転院例が一定の割合で含まれる。単独疾患例だけでなく複数の合併疾患をもつ場合の関連各科の協力は不可欠である。新生児期早期はダイナミックに病態が変化するため総合的な管理が必要である。そのため当センターでは582例(10.1%)が入院時の評価、管理の後、主体となるべき科へ移行して、専門治療を継続していた。(図6)。

4) 救命困難例のターミナルケア

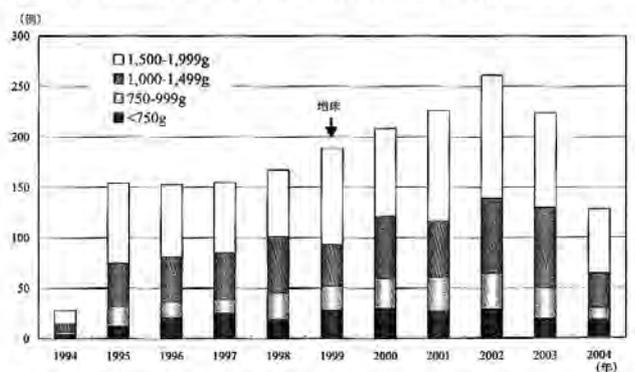
周産期医療技術の進歩によっても治療困難な疾患は存在する。このような救命困難例の管理も重要な役割である。当センターにおいても250例余りの死亡退院を経験した。児の疾患、病態と現在の医療水準での治療限界について家族が十分な理解と受容ができるような時間、環境の確保をめざし、児の短い人生を家族みんなで満足していただけるように努力している。



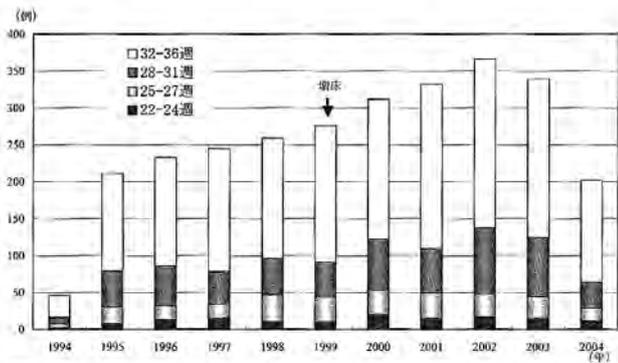
(図1) 新生児病棟入院数年次推移(1994年は10-12月, 2004年は1-7月)



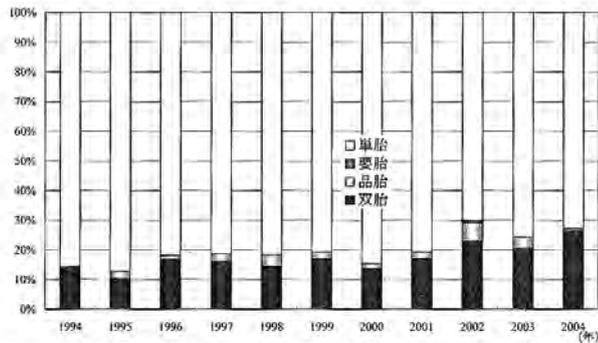
(図2) 院内出生/院外出生比率年次推移(1994年は10-12月, 2004年は1-7月)



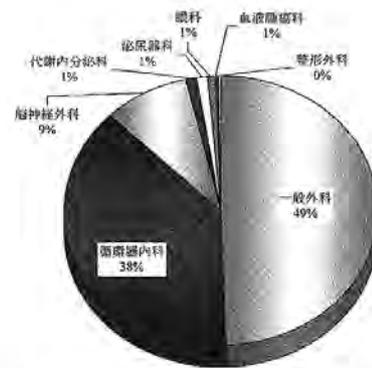
(図3) 低出生体重児の年次推移(1994年は10-12月, 2004年は1-7月)



(図4) 早産児の年次推移(1994年は10-12月, 2004年は1-7月)



(図5) 多胎の年次推移(1994年は10-12月, 2004年は1-7月)



(図6) 合併疾患582例の主要科(1994年は10-12月, 2004年は1-7月)

兵庫県立こども病院周産期センター10年間における小児外科

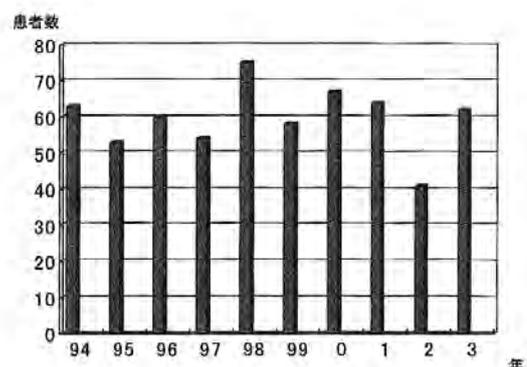
小児外科 津川 力、西島 栄治、連 利博、佐藤志以樹
高見沢 滋、楯川 幸弘 津川 二郎、渡邊 高士、田中 朋子

平成6年にこども病院の周産期センターが開設されてから10年になった。その間における小児外科の変化を述べる。周産期センター開設時の小児外科人員は7人(スタッフ5人、研修医2人)で、年間手術件数は987件、新生児患者は53人であった。2004年現在、人員は9人(スタッフ7人、専攻医2人)で、年間手術数1385件、新生児患者は62人である。10年間に治療した新生児患者は合計597人で、死亡は26人(4%)であった。年間およそ60人近い新生児外科患者を治療してきたことになる(図1)。日本小児外科学会による昨年度の全国調査では、年間60人以上の新生児外科患者を取り扱う施設は全国で3施設のみであるから、我が国の代表的な新生児外科施設であると言える。

周産期センター開設以来、新生児外科疾患への取り組み方が以前とは大きく変わった。まず、術前術後の管理を新生児科が一貫して行うことになった。治療における外科の役割は決定的なものであるが、外科のみでは重症患者の後遺症なき生存は達成できない。ついで、外科疾患を持った母親の分娩から出生までが治療の遅滞なく行われ、患児の全身管理が計画的に行われるようになり、良い条件で手術が出来るようになった。さらに外科疾患の約半数が胎児期

に診断され、治療計画が早くから立てられるようになった。

周産期センター外科の今後の問題は、センターの利点をさらに追求することである。胎児手術の限界は、米国における一連の研究によって明らかになったが、なお胎児治療が有効である疾患が存在する。今後、胎児診断の精度を向上させることで、外科疾患治療の質の向上をはかることが大切である。また、県下の胎児、新生児外科センターとなることで、県民に良質な小児外科医療を提供することが重要である。



(図1) 新生児手術件数

周産期医療における脳神経外科の役割

脳神経外科 長嶋 達也、秋山 英之、山本 浩隆

<はじめに>

新生児期に脳神経外科手術を要する疾患は、二分脊椎や二分頭蓋等の先天奇形、未熟性に起因する脳室内出血後の水頭症、先天性脳腫瘍、出産時外傷など多様である。出生前診断への対応、未熟児に対する手術時期、長期成績の向上など多くの課題を抱えた分野であるが、過去10年間に確実な進歩が認められる。

<新生児期の手術例>

過去10年間の新生児期手術件数は70例であり、その内訳は脊髄髄膜瘤修復術32例、各種の水頭症28例、頭蓋内出血3例、その他7例である(図1)。未熟児の術後管理はNICUにて新生児科医の主導で行い、成熟児はGCUあるいはHCUにて脳神経外科医が担当している。新生児科との緊密な連携により、この間の手術死亡は0%である。術後感染の率は低下し、過去3年間の38件の手術では術後感染を経験していない。

脊髄髄膜瘤と水頭症の手術が85%を占める。脳の未熟性に起因する脳室内出血後水頭症の手術件数は減少傾向にある。周産期医療センターの活発な活動に伴い総手術件数は

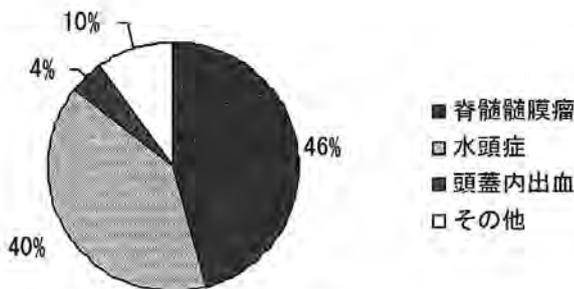
増加の傾向にある(図2)。

<出生前診断>

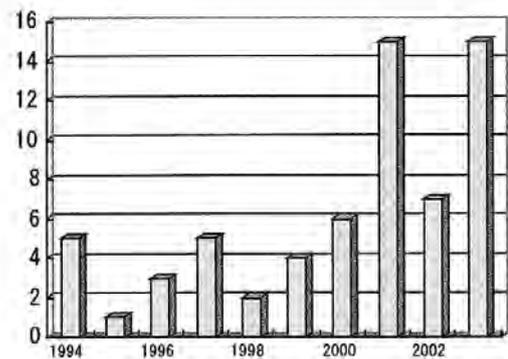
出生前診断症例は増加する傾向にある。出生前診断された疾患の場合には、産科および新生児科との緊密な連携が重要である。脊髄髄膜瘤例の多くは、胎内で脳室拡大が発見されることを契機にMRIが行われることにより診断されているため、出生前の慎重なカウンセリングを行っている。出生前診断が成された水頭症例は、脳室拡大が進行性でない場合には産科適応により出生時期を決定し、脳室拡大が急速に進行する場合には肺の成熟を待って出来る限り早く出生させる方針で対応している。

<今後の課題>

周産期医療センターの開設にともない、脳神経外科疾患に対する胎児期からの産科、新生児科と連携した包括的な周術期管理が可能となり、手術数の増加と手術成績の改善を認める。今後さらに連携を深めて、長期成績の向上を図らなければならない。



(図1) 新生児期手術症例の内訳



(図2) 新生児期手術数の推移

過去10年間における新生児期心臓外科手術

心臓胸部外科 村上 博久、山口 眞弘、芳村 直樹
吉田 昌弘、松久 弘典、田中 陽介、高橋 宏明

対象) 1994年1月から2003年12月の10年間に当院心臓胸部外科にて、生後0~28日の新生児症例に対して施行した心臓手術の成績を報告する

結果) 症例数は、開心根治術60例、非開心術(姑息術)175例の、計235例であった。開心根治術の疾患と手術の内訳は、総肺静脈還流異常症23例に修復術、完全大血管転位

症17例に動脈スイッチ術、左心低形成症候群12例にNorwood型手術、大動脈離断症複合4例に大動脈弓修復及び心内修復術、その他両大血管右室起始症、ファロー四徴症、各1例に心内修復術、心臓腫瘍1例に腫瘍切除術、気管狭窄1例に対する気管形成術などであった。

非開心術の疾患別内訳は、動脈管開存症61、大動脈離断/縮窄症48、純型肺動脈閉鎖症5、ファロー四徴症6、肺動脈閉鎖兼心室中隔欠損症3、両大血管右室起始症5、三尖弁閉鎖症5、単心室4、心内膜床欠損症3、心室中隔欠損症4、完全大血管転位症4、血管輪2、肺動脈弁欠損症2、その他23例であった。手術は動脈管結紮術61例、大動脈修復術（±肺動脈絞扼術）48、経肺動脈直視下弁切開術6、肺血流減少群に対する体肺動脈短絡術（BT shunt or central shunt）35、肺血流増加群に対する肺動脈絞扼術35、血管輪解除2例の187手術（重複手術を含む）であった。

手術死亡は開心術60例中18例、非開心術175例中8例であった。

新生児手術数の推移を1994年度から2003年度の順にみると、それぞれ25、13、15、30、18、29、28、22、32、23例であった。

考察) 新生児期開心術の成績はかなり向上したとはいうものの、左心低形成症候群および類縁疾患に対する開心姑息術（Norwood型手術）の成績はいまだ不良で、治療成績改善のため更なる努力が必要である。

手術症例の経年推移は、特に変化はないが疾患の特殊性に因るところが大であると思われる。しかし、周産期医療センターの開設により、産科、新生児科、循環器内科、心臓胸部外科の連携が深まった結果、胎児期からの心臓外科疾患に対する集学的新生児医療が可能となった。今後、更にこの連携を強め治療成績の向上を図る所存である。

周産期医療センターにおける未熟児網膜症の発症および治療状況

眼科 野村 耕治

周産期医療センターでの診療が本格化した開設翌年の1995年度から昨年度までの9年間に眼科管理を行った未熟児総数は1190例で、内503例で未熟児網膜症を発症している。表1に出生体重別の病期進行状況を示す（厚生省分類）。

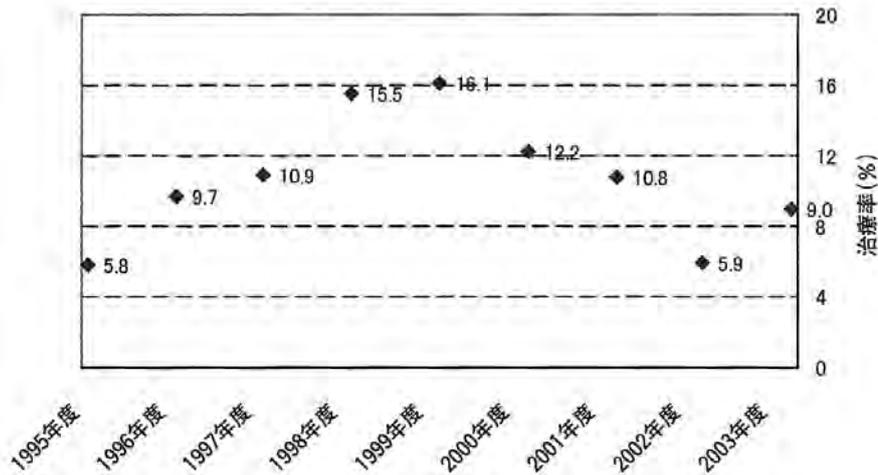
3期以上の重症網膜症に進行する例、割合ともに1000g未満の超低出生体重児に多い。この重症例に対し血管増殖病変の自然消退不可と判断し網膜光凝固術（ごく少数例については冷凍凝固術）を施行したものは129例で、眼科管理例全体における治療率は10.8%である。なお、9年間の治療率推移に際立った傾向は見られない（図1）。

治療状況を体重別にみると1000g以上1500g未満の群で24例、1000g未満の群で105例と、当然、超低出生体重児

群で治療例が多いが、3期以上進行例における各群の治療割合は前者67.6%、後者68.0%と両群で差がない。これは一旦、病期が進行した場合には対象の未熟性に関係なく、増殖性変化の経過予測に基づいて治療判断を行って来た結果である。一方、個々の治療内容については超低出生体重児群でより増殖病変の重症度が高く、また、硝子体混濁や散瞳不良など眼球の未熟性が高いため同群の治療条件ははるかに厳しい。活動期未熟児網膜症に対する治療は患児の視覚予後に大きな影響を及ぼす。周辺網膜の変性、瘢痕化という代償のもとに成立する治療であるという認識のもと、今後とも個々症例について治療の適応や実施時期について適切に判断、対応していく必要がある。

(表1)

病期 体重(g)	0	1	2	3	4	計
<1000	58	37	124	147	5	371
1000 ≤ <1500	327	35	96	34	1	493
1500 ≤	302	12	11	1	0	326
計	687	84	240	173	6	1190 例



(図1)

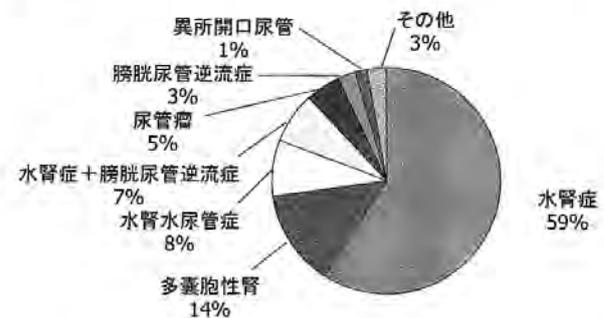
周産期医療における泌尿器科の役割

泌尿器科 杉多 良文、乃美 昌司、相野谷慶子、渡邊 仁人

胎児超音波検査により発見される尿路異常の頻度は約1/100胎児とされ、かつては尿路感染症や腹痛などの症状の精査で診断されていた小児の尿路異常が、近年では胎児期に発見されるようになったことは周知の事実である。過去10年間に当科で経験した胎児診断による尿路異常は278例であった(図1)。胎児超音波検査により尿路異常が診断されると、産科と連携し、更なる精査・胎児治療・早期娩出の必要性などを検討する一方で、妊婦および家族への病状説明を行う。出生後は、新生児科と連携し、超音波検査、排尿時膀胱尿道造影検査、核医学検査などを行うことにより確定診断し、治療方針を決定する。また、当科は停留精巢、尿道下裂などの性器疾患を扱い、内分泌科とともに性分化異常における性の決定などにも関与する。停留精巢や尿道下裂は、新生児期の早期診断により早期治療が可能となり、原則として乳児期に根治術を行っている。非常に稀な疾患ではあるが、総排泄腔外反症や膀胱外反症など出生後直ちに修復術を要する疾患では、外科と共同で手術を行う。脳神経外科での二分脊椎や外科における鎖肛なども神

経因性膀胱の原因になるので、排尿障害による上部尿路障害を未然に防ぐため、新生児期から泌尿器科が排尿管理を担当する。

このように周産期医療における泌尿器科の役割は、産科および新生児科を中心とした包括医療の一部にしか過ぎないが、今後も引き続き包括医療の一部を担うことにより、泌尿器科疾患を有する児に対して最善の治療を行っていきたい。



(図1) 出生前診断された尿路異常278例 (1994~2003)

周産期センターにおける整形外科疾患

整形外科 薩摩 真一 小林 大介 岸本真一郎

当整形外科は周産期センターの産科、新生児科両病棟における整形外科疾患に係わってきた。産科病棟ではおもに妊産婦の腰痛や出産後の仙腸関節痛などの愁訴に対応してきたが、対象が成人であるので本稿では新生児科にしほり

報告することにする。

新生児科病棟に対しては平成8年4月より週1回の新生児健診を行い整形外科的疾患の有無をチェックし現在に至っている。したがって本文中の数字は平成15年12月までの約

8年間の統計である。

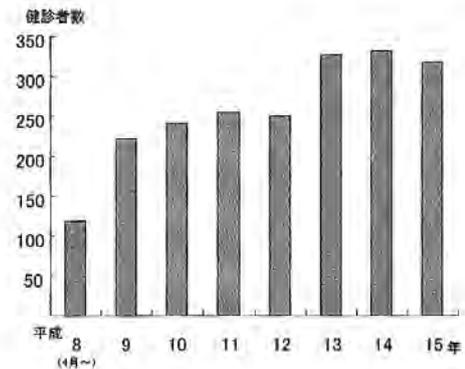
被検者総数は2063例で男児1110例、女児953例であった(図1)。年度別の健診者数の推移を見ると、平成8年は4月からの症例数であるのでやや少ないが、年間220~250例程度ではほぼ一定していた平成9年から12年の4年間に比べ平成13年以降は320例前後に増加している。これは出産数の増加というよりもシステムが確立され健診率が増加したためではないかと考えている(図1)。これら対象症例のなかですみやかな治療あるいは経過観察のうえ治療の必要性を判断する必要があった症例は60例 2.9%であった。ただし健診日を待たずに新生児科主治医より直接紹介を受



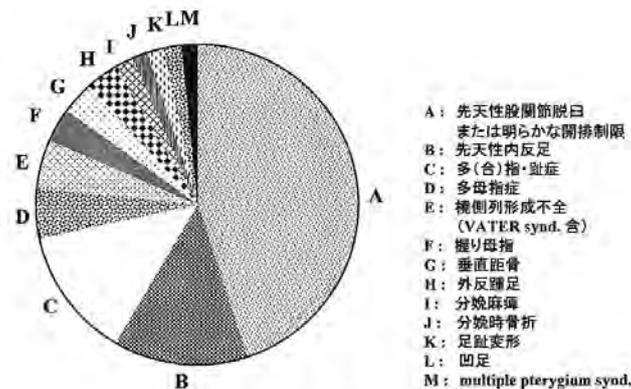
(図1) 被検者の総数と性別

けた症例は除外されているので、総数は実際にはもう少し多い。その内訳を図3に示す。先天性股関節脱臼あるいは明らかな股関節開排制限があった症例は27例 1.3%、内反足は8例 0.4%であった。手指あるいは足趾に多合指・趾を有した症例は8例、以下、多母指3例、橈側列形成不全(含、VATER synd.) 3例、握り母指2例、垂直距骨2例、外反踵足2例、分娩麻痺1例、分娩時骨折(上腕骨)1例、足趾変形1例、凹足1例、multiple pterygium synd. 1例であった。

今後とも当院の特性を活かし各科との連携を密にし治療の質を高めていきたい。



(図2) 年度別の健診者数の推移



(図3) 疾患の内訳

周産期における形成外科の関わり

形成外科 西本 聡

形成外科は唇顎口蓋裂、多指合指をはじめとする手足の奇形、外耳の奇形、血管腫や母斑などのあざなど主に外表奇形を扱う科であるため、生命予後を左右するような疾患を対象とすることは少ない。そのため、周産期に緊急に処置を要する機会は少ない。しかし、妊産婦および家族にとって出産は一大イベントであり、新生児の子育ては初めての

こと、わからないことだらけで、ただでさえ不安でいっぱいである。ましてや外表奇形を有する子を持った家族は、たとえその奇形が周囲の者がみればとても軽微なものであっても、その子供の将来について大いに心配するものである。この時期において形成外科医が、その疾患について、あるいは治療方針について説明することである程度

家族の不安を解消することができるのではないかと考えている。

唇顎口蓋裂児では、口唇が割れている、後腔と鼻腔が分離されていないなどの理由で口腔内にうまく陰圧を作ることができず、哺乳が上手でない児がある。新生児科の医師、看護師との協力のもと、唇裂口蓋裂用の乳首の利用、回数に分けてゆっくり哺乳させるといったことの指導、あるいは口蓋床プレートを作成するといったことをしている。この口蓋床プレートは硬口蓋の裂をふさぐことで哺乳をしや

すくすること以外に、舌が裂間に入り込むことを防ぐことにより、口蓋の自然発育による裂の狭小化を助ける効果があると考えている。この口蓋床プレートは新生児期の早い時期に装着するとうまく使えるが、ある程度時間がたつてから装着すると口の中の違和感のためか吐き出してしまうことが多いような印象を受けている。

唇裂児の場合、当科では約3ヶ月時に手術することが多いが、割れた口唇の上にテープを貼ってもらうことにより、裂の幅を狭め、手術をしやすくするようにしている。

周産期医療センターと麻酔科の連携

麻酔科 香川 哲郎

周産期センター開設以来、麻酔科は、主に産科および新生児の麻酔を担当するという形で周産期医療を行ってきた。その現状と展望につき紹介する。

1、周産期麻酔の件数と特徴

産科患者の麻酔の9割を占める帝王切開術は、2003年度は226件であった。その他、頸管縫縮術、卵管結紮術、子宮内容除去術などに対して麻酔を行っている。

帝王切開術のうち約85%は脊椎麻酔で行い、それ以外は全身麻酔で行った。脊椎麻酔には0.5%脊麻用マーカインに少量のフェンタニール、塩酸モルヒネを加えることで術中不快感や術後疼痛の軽減をはかっている。また胎盤早期剥離、大量出血、出血傾向などでは全身麻酔を選択し迅速かつ安全な娩出ができるよう配慮している。

帝王切開術の34%は時間外手術であった。多くを占める緊急手術、特に胎盤早期剥離などにおける超緊急帝王切開術に対応するため、センター開設以来麻酔科当直医が24時間体制で待機を行っている。

一方、新生児病棟（NICU、GCU）の患者を含めた新生児に対する麻酔の件数は、2003年度は123件であった。このうち生後7日以内の新生児は69件であった。新生児麻酔の対象となるものとしては消化管閉鎖、横隔膜ヘルニアなど一般外科疾患と、大動脈縮窄症、総肺動脈還流異常など循

環器疾患が多くを占め、その他脊髄膜瘤、未熟児網膜症、さらに気管支鏡、心臓カテーテル検査など多岐にわたり、いずれも繊細な麻酔管理を必要とする。

2、反省と展望

病院全体での麻酔件数はこの数年毎年増加しており、2003年度は4000件を突破した。これは全国の小児病院の中でもトップクラスの麻酔件数である。周産期の症例数もこれに比例して増加している。

多くの件数を抱える一方で、安全に手術・麻酔を行うことは大命題であるが、そのための鍵となる麻酔科医師は全国的に不足しており、2002年、2003年度の夏季は産科医師に一部の麻酔を担当していただいた。現在麻酔科医師を公募しており今後も人員の確保に努めたい。看護部や外科系各科には普段から手術を調整していただくなど様々な協力をいただいたことに感謝を申し上げたい。

今後、安全な麻酔を供給すると同時に効率的に麻酔業務を行えるよう配慮し、手術件数の増加に対応したい。新生児や産科患者の麻酔は麻酔科においても特殊な領域であると同時にその習得は必須であり、麻酔科スタッフの人事異動も多いが、短期間で技術と経験を習得できるよう教育にも力を入れたい。挿管や全身管理を対象とした他科からの短期研修も積極的に受け入れたい考えである。

周産期医療センターの病理検査

病理部 吉田 牧子、藤田 昌幸、今井 幸弘、吉田 憲治、末道 愛子、高山みずほ

1994年10月から2004年7月31日までに周産期医療センターから依頼された病理検査について報告する。

周産期医療センター設立以来胎盤は全例病理検査を施行

されている。産科から提出された胎盤は3415例であった。主な検査結果は、梗塞903例、絨毛膜羊膜炎422例、血腫309例、臍帯炎214例、絨毛炎127例、卵膜炎98例、単一臍帯動

脈57例、血管腫48例、双胎407例、三胎19例、四胎1例、
 双胎間輸血症候群4例であった(重複あり)。

0歳0ヶ月児から摘出され病理検査を施行された手術検
 体は283例であった。その依頼科の内訳は、小児外科237例、
 脳神経外科17例、心臓血管外科12例、泌尿器科4例、新生
 児科3例、眼科2例、血液腫瘍科2例、整形外科1例、形

成外科1例、産科1例、救急1例、不明2例であった。

死産児及び0歳0ヶ月にて亡くなられた児に対して施行
 された剖検は88例であった。その依頼科の内訳は、産科56
 例、新生児科15例、心臓血管外科5例、循環器内科1例、
 他院9例、不明2例であった。産科及び他院からの剖検は
 そのほとんどが死産児であった。

精神科との連携

精神神経科 伊東 恵子、前田 宏章

1. はじめに

こども病院の周産期センター産科病棟は、通常の経過を
 たどらない妊産婦のための医療看護施設である。すなわち、
 妊娠の過程で異常が発生する、胎児に異常所見がある、分
 娩の経過中危機状況が生じるなどで、これらの異常状況が
 妊産婦にあたえる精神的影響は多大である。精神科ではこ
 こに入院中の妊産婦に伴うさまざまな心理的問題や精神症

状に対してメンタルケアを行っている。

2. 産婦のかかえる精神的問題

1996年11月から2002年12月まで、産科医師や看護助産ス
 タッフから依頼があり関わった妊産婦の件数は合計251
 人でそのおもな問題(重複含む)については以下のよう
 である。

(ことがら)	(おもな精神症状)	(人)
緊急転入院	状況理解困難、医療機関への怒り	19
妊娠経過異常	不安、困惑	36
多胎、若年高年妊娠	過度の不安	39
分娩法選択	決定困難、不安	12
緊急手術	困惑、受容困難	10
胎児異常	罪業感嫌悪感	51
死産、新生児死亡	悲哀、絶望	49
新生児異常	悲哀、罪業感、受容困難	34
人間関係(同室者、病棟スタッフ)	疑惑、羨望、被影響性	42
人間関係(家族、親戚)	共感してもらえない、孤立感	14
前回妊娠分娩異常、前回胎児異常	過度の不安	13
育児不安、かわいく思えない	不安罪業感抑うつ	15
マタニティーブルーズ	流涙、うつ気分、不眠	28
産後精神病	多弁、躁状態、興奮、被害年慮、不眠	3
産後抑うつ	うつ、感情平板、食思不振、不眠	10

他の精神科医療機関紹介となったのは8例で、産褥期に
 出現した不眠、興奮、妄想などの精神病症状を呈し転院し
 たものや、摂食障害や不安発作があり居住地近辺の診療機
 関に紹介した例などである。退院後精神科外来で継続した
 のは45人である。マタニティーブルーズの症状が退院時に
 残存し経過観察を要した例、死産や新生児死亡による死別
 反応が遷延し、抑うつ感情や死児への追憶が長期に続く例、
 産後の生活適応がしにくく、意欲低下、食思不振、不眠、
 頭重感や漠然とした不定愁訴などを訴える例など全体に産
 後の抑うつ傾向としてとらえられる例が多い。また出生児

が低出生体重児や心身に障害のある場合、その受容が困難
 な例、夫や親戚との人間関係がうまく保てなくなった例、
 その他であった。

3. 現在の取り組みの概要

(1) 産科医師、看護助産スタッフの要請により、スタッ
 フの対応だけでは困難と思われる心理的な問題をもつ妊産
 婦について、精神科医が関わり、状況に応じて精神療法的
 アプローチ、投薬を行う。

(2) 依頼のあった妊産婦については、その都度、精神科
 的所見を担当医、看護助産スタッフと情報提供や意見交換

をし、今後のアプローチの仕方を検討する。またスタッフから受け持ちの妊産婦についてのコンサルテーションに応

じる。困難な症例については随時カンファレンスをもつ。

胎児心疾患—胎児 Echo 検査との関わり

循環器科 鄭 輝男

周産期医療センターが開設されて10年になります。胎児 Echo 検査が行われるまでは、出生直後から治療を必要とする肺動脈閉鎖、大動脈縮窄・離断症候群、左心低形成症候群などの重症疾患群で動脈管が閉鎖し Shock 状態で運ばれてくる新生児がみられこのようなケースでは予後も不良でした。近年、産科医師により胎児 Echo 検査がハイリスク妊婦に routine に行われ、この時に心臓病のスクリーニングもして頂くようになってから胎児心疾患の診断率も向上し出生前から心疾患への治療準備が出来るようになり治療成績も改善しています。

具体的には下記のようなスケジュールで治療が行われていきます。

- 1 胎児 Echo 検査のスクリーニングで心臓病が疑われたら
- 2 胎児の心臓 Echo 検査を受けていただき、心臓病が疑われたら
- 3 当院の産科で出産していただき
- 4 出産後すぐに新生児科の医師に心臓も含め総合的に診察をしてもらい

- 5 心臓病があれば循環器科と心臓外科で適切な治療をしていきます。

現在胎児の心臓 Echo 検査は生理検査技師さんの協力で年間約250件行われていますが胎児期に重症心疾患を診断できることは冒頭に述べたように治療面において役立つ反面、胎児の両親は出産以前から大きな不安と苦悩にさらされるという二面性を持っています。当院では胎児診断した時点で産科医師の立会いのもとで循環器科医師から両親へ胎児の“疑われている心臓病”の病態と治療方針の説明をさせて頂いていますが両親の精神的動揺は非常に大きく、本来であれば家族みんなの楽しみにしている出産というイベントがなんとも言いがたい重苦しい雰囲気に含まれてしまいます。両親への説明には十分に心配りをしているつもりですが話し方ひとつで夫婦仲のみならず両方の家族関係が気まづくなってしまうようなこともおこり得ます。勿論産科医師が説明を受けた後の両親の心の CARE をしていただいています。精神科医もしくは専門的なコンサルタントを含めた総合的な支援体制があったほうが良いのではと感じています。

周産期センターと放射線科との連携

放射線科 金川 公夫、赤坂 好宣

放射線科は主に画像診断を担当する科で、産科では胎児の MRI 診断とまれに母体の超音波検査や出産後の母体の MRI、CT を、新生児科では MRI、CT、超音波検査、消化管造影検査を担当している。

1 過去10年の産科の検査の変化

MRI の件数は平成13年までは毎年30~50件で推移していたが、平成14年以降は90件前後に増加している。これは、母体の骨盤計測を必要に応じて MRI で行うようになったためと考えられる。MRI 検査の多くは胎児の検査で平成13年までは毎年20~30件であったが、平成14年は36件、15年は54件と増加してきている。母体自体の検査件数は MRI を除いて、いずれの検査でも少なく、年によっては10件を越えるときもあるが、ほぼ一桁の件数で推移している。

2 過去10年の新生児科の検査の変化

MRI の件数は年々増加しており、平成11年までは110~140件の間であったが、平成12年以降は160~200件に増加している。CT の件数は多少の波はあるがほぼ90~130件で推移しており、ほぼ毎年同じ程度の件数である。超音波検査は増加傾向があり、平成7年に17件であったものが、平成15年には83件になっている。消化管造影は毎年10件前後で推移している。

3 今後のとりくみ

産科、新生児科ともにこの10年間に MRI の件数が増加している。胎児診断や新生児の中枢神経のスクリーニングや診断に不可欠になっているようである。必要性はさらに増

すと思われるが、検査時間が長い点が問題であり、とくに新生児の安全管理に注意を払いながら検査を行っていき

い。

周産期医療とポータブル撮影

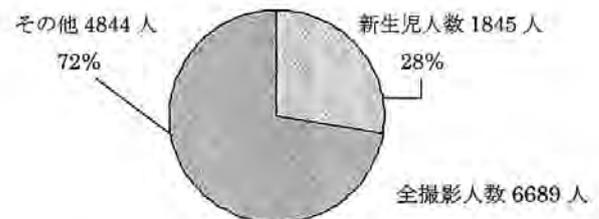
放射線部は周産期医療センターの開設時、本館棟より現在の場所に移動し、新たにMRI検査、アイソトープ検査、放射線治療が導入され以前よりのCT検査、超音波検査、消化管等の透視検査、血管造影検査、一般撮影検査と合わせより充実した小児医療を提供できるよう努めています。

周産期医療と直接関わりの多い検査としてはCT検査、MRI検査、超音波検査、一般撮影検査があげられ、特に一般撮影検査でのポータブル撮影は他の検査に比べ多い傾向にあります。

図1は平成15年度に撮影されたポータブル撮影の延べ人数と新生児病棟（NICU、GCU）で撮影された延べ人数をあらわしたものです。全撮影人数6689人に対し、新生児撮影人数1845人で約28%を占めています。これからもわかるように他の入院患児と比べ、周産期医療における新生児にとってポータブル撮影がいかに必要不可欠であるかがうかがい

放射線部 北坂 佳之、佐藤 正明

知れます。



（図1）平成15年度全ポータブル撮影人数

これからも新生児のポータブル撮影は現在と同程度と思われ、周産期医療センターと放射線部の連携を深め、より良い情報が提供できるよう努めていく必要があります。

周産期医療センターと指導相談部門との連携について

指導相談部 宮崎美知恵、行 祥子、藤井 美有、長岡 美佐、山崎 武美

【はじめに】

指導相談部門では、患児と家族が安心して治療・療養に専念できるように様々な相談に応じ、ともに問題解決に向け支援を行う部門である。

院内、地域の保健所・児童相談所・児童福祉施設・教育機関・医療機関との連絡調整を行い、治療・療養が円滑に進むことを支援するだけでなく、一人一人の個性を尊重しながら、患児の地域生活がよりよいものとなるように活動を行っている。

【過去における連携】

周産期医療センター設立初期の頃は、GCU病棟から退院する患児の退院連絡票を、地域の保健所に送るといった活動をしていた。また、育児困難な家族や重度心身障害を持つ患児の相談活動、在宅における育児指導、育児支援、それに伴う訪問活動を行ってきた。

【現在の取り組み】

平成15年4月に、山崎指導相談部長（現副院長兼指導相談・地域医療連携部長）が就任し、スタッフの大きな異動もあり、かなり若い力が投入された。

山崎部長の指揮のもと、「厚生労働省・神経疾患委託費 発達期に発症する外因性脳機能障害の診断・治療ガイドラインに関する臨床的実証研究『超低出生体重児にみられる行動異常の診断に関する検討』」における、超低出生体重児3歳時の心理検査による評価を行った。この評価は今年度も引き続き行っている。また、評価後に、家族に、よりよく患児が伸びていくようアドバイスや相談にも応じている。昨年度心理検査の評価を行った患児の家族のニーズにより、4歳児における発達の評価も今年度増えてきているところである。また、昨年度から「医療と保健が連携した子育て支援ネット」の地域関係機関に対する問い合わせ窓口となり、新生児科の諸先生方と地域の関係機関との調整も行ってきている。

個別のケースにおいては、育児相談や患児の保育所における不適応に関する相談にも応じている。また、産科の先生の依頼を受け、支援が必要と考える家族に対する訪問活動も行ってきている。

今後も周産期医療センターの諸先生方の依頼に応じ、当部門としてもスタッフの資質向上に努めつつ、より質の高い患児・家族の支援に取り組んでいきたい所存である。

周産期医療センターと薬剤部との連携について

薬剤部 郷地 啓子

周産期医療センターの開設に伴い、薬剤部では、それまで小児のみを対象とした調剤業務から初めて成人である妊産婦が含まれ、医薬品の取扱品目数が増大した。

特に、周産期医療センターと薬剤部との連携のなかで特記すべきことは、平成9年6月に、薬剤管理指導の施設基準の承認を受け、薬剤師が初めて産科病棟での薬剤管理指導業務を開始したことである。

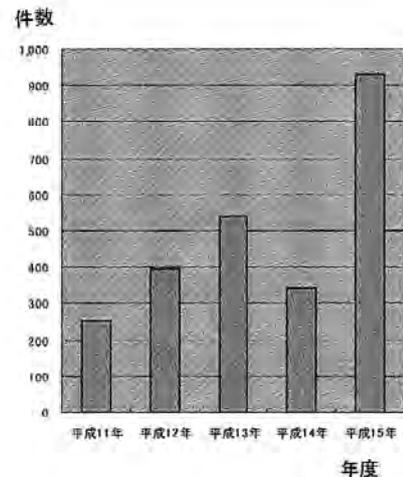
薬剤師による産科入院患者への薬の効き目や副作用、飲み方等の服薬指導や薬歴から薬の重複投薬や相互作用並びに副作用のチェック等を実施した。

服薬指導の対象患者は切迫早産が殆どを占め、他には前期破水、子宮内胎児発育遅延、多胎、前置胎盤、子宮内膜症となっている。過去5年間の産科病棟での薬剤管理指導件数を図1に示すが、年々増加傾向にあり、平成16年度にはほぼ全ての産科入院患者に服薬指導を実施している。

患者様からは薬と食品（健康食品を含む）との飲み合せや薬の副作用に関する質問が多く、医療スタッフからは薬

による催奇形作用のこと、薬の副作用に関すること、薬の影響による授乳への問題等の質問が寄せられている。

今後も周産期医療センターとの連携を強化しながら、「薬の専門家」として、患者様に安全で良質な医療を提供するため、より一層努力を重ね頑張っていきたいと思う。



(図1) 薬剤管理指導件数 (産科)

「こども病院へ母体、あるいは新生児搬送された お母さまに対するアンケート調査報告」

はじめに

本調査の目的は兵庫県周産期医療システムにのっとり、兵庫県立こども病院周産期医療センターへ母体、あるいは新生児搬送された事例の集計をおこなうこと、また周産期医療システムが妊産婦にどのように認識されているかを解析することで、次の10年の周産期センターの発展に資することにある。

アンケートの対象と方法

平成11年7月1日から16年3月31日までの期間に、兵庫県立こども病院周産期医療センター産科病棟において出産した母親1913名、および他施設にて出生したのちに当センター新生児科へ搬送入院した児の母親925名の計2838名に対してアンケート（巻末参照）を郵送、回収した。

結果と考察

平成16年7月31日までに回収された数は827通（29%）であった。874通（31%）が宛先不明で返送された。宛先不明で返送されたものを除いた回収率は42%であった。回収された827通のうち当院において複数回の新生児搬送あるいは出産を経験したのものからの回答が10通あった。したがって新生児搬送例と母体搬送例の回答数はそれぞれ290件と546件になった。各々の件数を分母として回答率を計算した。質問に対して回答の記されていない例は除外して集計した。このため表の合計値はそれぞれの表で異なっている。表中の率はとくに断りのない限り各表の合計値を100とした%であり、小数点以下を4捨5入した。本調査は以下の各部分から構成されている。A) 新生児がこども病院に運ばれた時の状況について、B) こども病院で出産した時の状況について、C) その後の出産状況について、D) 今後、こども病院での出産の希望の有無について。

以下、アンケートの質問順に質問文を掲げ、その結果と考察を示す。

A) 赤ちゃんがこども病院に運ばれた時のことについて伺います。

1. その当時のご自宅の住所は
2. 現在のご自宅の住所は

回答率は99%であった。当時の住所は神戸市が58%、阪神地区が12%、東播磨地区が12%、他府県6%、淡路5%、西播磨4%、丹波2%、但馬1%の順であった。住所の地域分布は当時と現在でおおむね差はなかった。

（表1）出生当時の住所と現在の住所の比較

地 区	当時の住所		現在の住所	
	件 数	率	件 数	率
神 戸 市	167	58%	161	56%
阪 神	36	12%	37	13%
東 播 磨	36	12%	33	11%
他 府 県	16	6%	25	9%
淡 路	12	4%	13	5%
西 播 磨	11	4%	9	3%
丹 波	7	2%	5	2%
但 馬	4	1%	4	1%
計	289	100%	287	100%

3. どちらの病院、診療所からこども病院に紹介されましたか

回答率は99%であった。紹介元施設は病院が41%、診療所が59%、助産院からが1件あった。保健統計年報（平成15年、兵庫県県民生活部発行）によると平成13年の出生場所は病院が55%、診療所が44%。助産院が1%であったので、本調査では診療所で出産した母親からの回答率がやや高い傾向にあった。

（表2）紹介元施設種類

施設種類	件 数	率
病 院	118	41%
診 療 所	170	59%
助 産 院	1	0%
計	289	100%

4. どのような理由で紹介されましたか

回答率は97%であった。呼吸障害・チアノーゼが44%、嘔吐・哺乳不良が17%、奇形が11%であった。つづいて早産・低出生体重児10%、発熱・感染8%、黄疸4%、痙攣1%の順であった。

（表3）紹介理由

疾 患 名	件 数	率
呼吸障害・チアノーゼ	125	44%
嘔吐、哺乳不良	49	17%
奇 形	33	11%
早産、低出生体重児	28	10%
発熱、感染	23	8%
黄 疸	12	4%
痙 攣	2	1%
そ の 他	15	5%
計	287	100%

5. 紹介された時は、生後何日でしたか。

回答率は97%であった。出生当日（0日目）に紹介されたものが34%と最多であった。翌日（1日目）に紹介されたものは23%で、全体の57%が2日目までに紹介されていた。また7日目までに全体の91%が紹介されていた。

（表4）出生から紹介までの期間

日数	件数	率	累積率
当日	96	34%	34%
1日目	64	23%	57%
2～7日目	96	34%	91%
8から14日目	11	4%	95%
15日目～	13	5%	100%
計	280	100%	

6. 搬送手段はなにでしたか

回答率は96%であった。こども病院の救急車（ドクターカー）が紹介元施設に向いて新生児を搬送したものが34%、消防救急車を依頼しての搬送が36%、紹介元施設の車など他の搬送手段によるものが28%であった。

（表5）救急車による入院

搬送手段	件数	率
こども病院救急車	95	34%
消防隊救急車	104	38%
その他	77	28%
計	276	100%

7. いつ入院されましたか

回答率は99%であった。平成15年の入院が最も多く、30%を占めた。平成16年は11%であるが、1～3月までの値であるため、1年間ではおよそ44%になると推計されるので、本調査の回答率は年月を遡るにしたがってゆるやかに低下する傾向にあった。

（表6）入院年

入院年	件数	率
平成11年	20	7%
平成12年	44	15%
平成13年	55	19%
平成14年	49	17%
平成15年	85	30%
平成16年	32	11%
計	285	100%

8. 出産された時は妊娠何週でしたか

回答率は95%であった。妊娠37週以降が最も多く72%であった。34週以降が全体の88%を占めた。33週以前の紹介

が少ないのは平成6年10月に発足した県周産期医療システムが円滑に稼働してきたため、未熟性の高い児ほど出生前に母体搬送の形態で紹介されることが多くなったことにあると考えられる。

（表7）出生時妊娠週数

出生時妊娠週数	件数	率	累積率
22,23	1	0%	0%
24,25	4	2%	2%
26,27	3	1%	3%
28,29	6	2%	5%
30,31	8	3%	8%
32,33	11	4%	12%
34～36	44	16%	28%
37～	198	72%	100%
計	275	100%	

9. 何人目の出産でしたか

回答率は99%であった。初めての子ともと回答したのが57%であった。「母子保健の主なる統計（平成15年、母子保健事業団発行）」によると、わが国の平成14年の初産婦の割合は49%であるから、本調査では初産婦からの回答率が若干高かった可能性が考えられる。

（表8）出生順位

出生順位	件数	率
初めて	163	57%
2人目	93	32%
3人目	26	9%
4人目	5	2%
5人目	1	0%
計	288	100%

10. 帝王切開で出産されましたか

回答率は99%であった。帝王切開で出生した児は32%であった。母子保健の主なる統計（平成15年、母子保健事業団発行）」によると、わが国の平成14年の帝王切開率は15%であるから、本調査では帝王切開を受けた母親からの回答率が高かった可能性、もしくは帝王切開による分娩を余儀なくされた医学的背景と新生児搬送にいたった理由に何らかの関連性がある可能性が考えられる。

(表9) 分娩様式

分娩様式	件数	率
経膈分娩	196	68%
帝王切開	91	32%
計	287	100%

B) こども病院で出産された時のことをお伺いいたします。

1. その当時のご自宅の住所は

2. 現在のご自宅の住所は

回答率は97%であった。当時の住所は神戸市が48%、東播磨地区が23%、阪神地区が16%、他府県6%、西播磨3%、丹波2%、淡路1%、但馬0%の順であった。住所の地域分布は当時と現在でおおむね差はなかった。新生児紹介例(表1)と比較すると、母体紹介例では神戸市がおおよそ10%少なく、東播磨が11%、阪神が4%づつ多いのが特徴的であった。これは新生児搬送の7割強が救急車による搬送(表5)であるのに対して、母体搬送は外来紹介の形態をとることも多く、後記(表14)のように救急車による搬送は半数に留まっている。言い換えると患者の地域的広がり母体紹介例のほうが広いことを意味する。

(表10) 出産当時の住所と現在の住所

地区	当時の住所		現在の住所	
	件数	率	件数	率
神戸市	257	48%	247	46%
東播磨	123	23%	118	22%
阪神	86	16%	85	16%
他府県	33	6%	44	8%
西播磨	17	3%	19	4%
丹波	12	2%	12	2%
淡路	5	1%	5	1%
但馬	2	0%	2	0%
計	535	100%	532	100%

3. どちらの病院、診療所からこども病院に紹介されましたか

回答率は95%であった。紹介元施設は病院が47%、診療所が53%であった。新生児紹介例(表2)と同様に、本調査では診療所で出産した母親からの回答率がやや高くなる傾向にあった。

(表11) 紹介元施設種類

紹介元施設	件数	率
病院	244	47%
医院	274	53%
計	518	100%

4. どのような理由で紹介されましたか

回答率は97%であった。1人あたり1.2件の理由を答えた。表12では回答者数を100とした率を示した。切迫早産28%、多胎妊娠14%、前期破水11%、妊娠中毒症11%、胎児異常10%、子宮内胎児発育遅延9%、胎児奇形7%、羊水の異常6%、前置胎盤5%が上位10の紹介理由であった。5周年記念誌刊行時に行なったアンケート結果と比べると、多胎妊娠が第4位から第2位に順位を上げたこと以外はほぼ同様の結果であった。近年の不妊治療の急速な普及によって多胎妊娠数が急増している状況を反映するものであろう。

(表12) 紹介理由(複数回答あり)

疾患名	件数	率
切迫早産	148	28%
多胎	73	14%
前期破水	60	11%
妊娠中毒症	56	11%
胎児異常	52	10%
子宮内胎児発育遅延	46	9%
胎児奇形	35	7%
羊水異常	31	6%
前置胎盤	25	5%
胎児仮死	18	3%
胎盤早期剥離	9	2%
子宮筋腫	9	2%
子宮内胎児死亡	7	1%
切迫流産	6	1%
骨盤位	4	1%
感染症	4	1%
他科合併症	3	1%
遷延分娩	2	0%
その他	51	10%
計	639	121%

5. 紹介された時は妊娠何週でしたか

回答率は94%であった。29~32週の期間が最も多く24%を示した。しかし、28週以前が全体の47%を占め、また全体の71%は32週以前に紹介されていた。母体紹介の大半が妊娠中期までに行なわれていることが判る。前述した新生児搬送例(表4)では37週以降の紹介が全体の71%を占めているのとは全く逆のパターンであり、新生児搬送と母体搬送が適切に使い分けられている状況が窺える。

(表13) 紹介時妊娠週数

紹介時妊娠週数	件数	率	累積率
～21週	98	19%	19%
22～24週	54	10%	29%
25～28週	95	18%	47%
29～32週	126	24%	71%
33～36週	94	18%	89%
37週～	48	9%	100%
計	515	100%	

6. 搬送手段はなにでしたか

回答率は86%であった。消防隊救急車による搬送と答えたものが47%とおよ半数を占めた。前述の新生児搬送ではこども病院救急車の割合が34%であったのに対して、母体紹介では1%しかなかった。これは緊急母体搬送を要する状況の場合、こども病院救急車で紹介元施設まで患者を迎えに行く時間のロスが母児の予後を左右することが危惧されるため、重症であるほど消防隊救急車による搬送が望まれるためである。その他の52%は紹介元施設の車または自家用車による入院または、独歩による外来受診であった。

(表14) 救急車による入院

搬送手段	件数	率
こども病院救急車	4	1%
消防隊救急車	222	47%
その他	244	52%
計	470	100%

7. いつ出産されましたか

回答率は95%であった。平成15年に入院したものからの回答が最も多く、27%であった。平成16年は9%であるが、1～3月までの値であるため、1年間ではおよそ36%になると推計されるので、本調査の回答率は年月を遡るにしたがってゆるやかに低下する傾向にあった。この傾向は前述の新生児搬送例(表6)と同様であった。

(表15) 入院年

入院年	件数	率
平成11年	35	7%
平成12年	76	15%
平成13年	107	21%
平成14年	113	22%
平成15年	141	27%
平成16年	45	9%
計	517	100%

8. 出産された時は妊娠何週でしたか

回答率は97%であった。37週以降が最多で31%を占めた、以下、週数が若くなるにつれて出産の割合が低下した。紹介時の妊娠週数(表13)では妊娠28週以前が47%であったのに対して、出産時妊娠週数の28週以前のものはわずか27%になっていた。

(表16) 出産時の妊娠週数

出産時週数	件数	率	累積率
～21週	12	2%	2%
22～24週	27	5%	7%
25～28週	57	11%	18%
29～32週	111	21%	39%
33～36週	159	30%	69%
～37週	164	31%	100%
計	530	100%	

9. 何人目の出産でしたか

回答率は100%であった。初めての出産であったものからの回答が最多で60%を占めた。出産順位の分布は新生児搬送例(表8)の出生順位のそれと差はなかった。

(表17) 出産順位

出産順位	件数	率
初めて	327	60%
2人目	174	32%
3人目	34	6%
4人目	8	1%
5人目	1	0%
計	544	100%

10. 帝王切開で出産されましたか

回答率は98%であった。帝王切開で出生した児は58%であった。この値は前述したわが国の平成14年の帝王切開率の15%よりも、さらには新生児搬送例(表9)の帝王切開率32%よりもはるかに高いが、当センター産科における過去10年間の帝王切開率は55%であるから、本調査において帝王切開を受けた母親からの回答率が高かった可能性はない。

(表18) 分娩様式

分娩様式	件数	率
経膈分娩	223	42%
帝王切開	314	58%
計	537	100%

C) その後の出産についてお伺いいたします

1. その後あらたに産まれましたか

回答率は98%であった。平成16年6月までに142名（17%）が新たに出産した。以下の設問の回答率は「はい」と答えた142名を100とした率である

（表19）その後の出産経験

その後の出産経験	件数	率
はい	142	17%
いいえ	675	83%
計	817	100%

2. いつ出産されましたか。

回答率は98%であった。平成16年が31%ともっとも多く、年を遡るほど出産の率は低下した。

（表20）次の出産年

つぎの出産年	件数	率
平成11年	3	2%
平成12年	2	1%
平成13年	19	14%
平成14年	36	26%
平成15年	36	26%
平成16年	43	31%
計	139	100%

3. その時のご自宅の住所は。

回答率は100%であった。母体紹介例では紹介時の住所（表10）とほぼ同様の地区分布を示したが。新生児搬送時の地区分布（表1）では神戸市が58%であったのに対して次の出産児の住所では神戸市が45%に減少していた。この理由については不明である。

（表21）次の出産時の住所

地区	件数	率
神戸市	64	45%
東播磨	28	20%
阪神	24	17%
他府県	9	6%
西播磨	6	4%
淡路	5	4%
丹波	4	3%
但馬	1	1%
計	141	100%

4. 帝王切開で出産されましたか。

回答率は97%であった。帝王切開率は41%であった。新生児搬送例の帝王切開率（表9）の32%、母体紹介例（表18）の58%の中間の値を示した。一般的には帝王切開で出産すると次の出産も帝王切開になることが多いため、大半

のものが次の妊娠でも帝王切開を受けたものと推測される。

（表22）次の出産の分娩様式

分娩様式	件数	率
経膈分娩	82	59%
帝王切開	56	41%
計	138	100%

5. どちらの病院、診療所で出産されましたか。

回答率は98%であった。こども病院に紹介される前にかかっていた施設が病院であった割合は新生児搬送例（表2）では41%、母体紹介例（表23）では47%であったのに対して、次の出産時に病院にかかったものの割合は69%に増加していた。ひとたび母体の異常妊娠、分娩や新生児の異常を経験したものは次の出産施設に病院を選択する傾向が窺われた。

（表23）次の出産の施設種類

出産施設種類	件数	率
病院	96	69%
診療所	44	31%
計	140	100%

6. それは、こども病院に紹介される前にかかっていた病院、診療所（前問Aの3、Bの3）と同じ病院、診療所ですか。

回答率は95%であった。出産施設を変更したものが58%であった。

（表24）出産施設の変更

その後の出産経験	件数	率
はい	54	42%
いいえ	76	58%
計	130	100%

6-1.（はい）とお答えの方は出産病院、診療所を変えなかった理由を次からお選び下さい。（あてはまるものすべてに○をしてください。）

1人当たり3.9個の理由を答えた。表25では回答者数54を100とした率を示した。理由の上位5つは「異常がおこれば、こども病院に紹介してもらえるから」：57%、「前の先生を信頼しているから」：52%、「通院に近いから」：43%、「前の出産病院、医院に良い思い出があるから」：28%、「評判いいから」：28%であった。約6割の人は異常が起これば再びこども病院に紹介してもらえることに安心しており、5割のものは前医を信頼していた。

(表25) 次の出産で病院、診療所を変えなかった理由(複数回答)

理 由	件 数	率
異常が起これば、こども病院に紹介してもらえるから	31	57%
前の先生を信頼しているから	28	52%
通院に近いから	23	43%
前の出産病院、医院に良い思い出があるから	15	28%
評判がいいから	15	28%
食事が良いから	13	24%
里帰り分娩だから	12	22%
大きい病院、医院の方がよいから	12	22%
助産ケアがいきとどいているから	10	19%
交通の便がよいから	9	17%
再び帝王切開になる可能性が高いから	7	13%
小さい病院、医院のほうがよいから	6	11%
新生児科があるから	6	11%
医療費が安いから	6	11%
受付のサービスがよいから	2	4%
その他	17	31%
計	212	393%

6-2. (いいえ)とお答えの方は出産病院、診療所を変えた理由を次からお選び下さい。(あてはまるものすべてに○をしてください。)

1人当たり2.5個の理由を揚げた。表26では回答者数(76名)を100とした率を示した。理由の上位6つは「前のように異常妊娠、分娩になると不安だから」:36%、「前の出産病院、医院に良い思い出がないから」:26%、「評判がいいから」:25%、「通院に近いから」:21%、「大きい病院、医院の方がよいから」:20%、「新生児科があるから」:20%であった。ほぼ4割のものが再び異常妊娠、分娩になった場合のことを心配していた。他方、本問と前問(C-6-1)に共通した回答として、出産施設の変更の有無に関わらず、その理由に「通院に近い」、「交通の便が良い」、「里帰り分娩」、「食事がよい」など医療レベルに直接関係のない理由が10~40%の割合で存在することは注目に値する。

(表26) 次の出産で病院、診療所を変えた理由(複数回答)

理 由	件 数	率
前のように異常妊娠、分娩になると不安だから	27	36%
前の出産病院、医院に良い思い出がないから	20	26%
評判がいいから	19	25%
通院に近いから	16	21%
大きい病院、医院の方がよいから	15	20%
新生児科があるから	15	20%
食事が良いから	14	18%
助産ケアがいきとどいているから	13	17%
紹介状を書いてもらったから	11	14%
前の先生を信頼していないから	10	13%
再び帝王切開になる可能性が高いから	8	11%
交通の便がよいから	7	9%
前の出産病院、医院が出産を取り扱わなくなったから	7	9%
里帰り分娩することになったから	6	8%
医療費が安いから	5	7%
転勤、転居のため	2	3%
受付のサービスがよいから	1	1%
小さい病院、医院のほうがよいから	0	0%
その他	21	28%
計	196	258%

D) これ以下は全員がお答え下さい。

今後あらたに妊娠されたと仮定した場合、もしくは現在妊娠されている場合、あなたのご希望によってこども病院で出産が可能なら、こども病院にかかりたいと思われませんか。

回答率は97%であった。「はい」と答えたものは63%、「いいえ」が37%であった。

(表27) 可能ならこども病院で出産を希望するか

	件 数	率
はい	508	63%
いいえ	303	37%
計	811	100%

1. (はい)とお答えのかたにお伺いします。こども病院を希望される理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○をして下さい)

1人当たり5個の理由を答えた。表28では回答者数(508名)を100とした率を示した。理由の上位5つは「前のように異常妊娠、分娩になると不安だから」:78%、「こども病院の先生を信頼しているから」:73%、「こども病院での医療に満足できたから」:71%、「新生児科があるから」:68%、「こども病院に良い思い出があるから」:43

%であった。7割がたはこども病院での医療に期待していることが判る。一方、「こども病院は通院に近いから」、「医療費が安いから」、「食事が良いから」、「交通の便が良いから」などの医療レベルとは関係の薄い理由も若干ながらあった。

(表28) 次の出産をこども病院で希望する理由

希望する理由	件数	率
前のように異常妊娠、分娩になると不安だから	398	78%
こども病院の先生を信頼しているから	373	73%
こども病院での医療に満足できたから	361	71%
新生児科があるから	345	68%
こども病院に良い思い出があるから	220	43%
助産ケアがいきとどいているから	189	37%
大きい病院の方がよいから	127	25%
評判がいいから	115	23%
再び帝王切開をしなければならぬから	105	21%
こども病院は通院に近いから	80	16%
前の出産病院、医院に良い思い出がないから	71	14%
医療費が安いから	68	13%
食事が良いから	29	6%
交通の便がよいから	26	5%
受付のサービスがよいから	16	3%
前の出産病院、医院が出産を取り扱わなくなったから	15	3%
その他	64	13%
計	2538	500%

2. (いいえ) とお答えのかたにお伺いします。こども病院を希望されない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○をして下さい)

1人当たり1.9個の理由を答えた。表29では回答者数(303名)を100とした率を示した。希望しない理由の上位5つは「こども病院は通院に近いから」:63%、「異常がおこれば、こども病院に紹介してもらえるから」47%、「交通の便が悪いから」:32%、「前の出産病院、医院に良い思い出があるから」:16%、「こども病院に良い思い出がないから」:7%であった。「いいえ」と答えたものの大半がこども病院から遠い地区に居住しているか、あるいは、前医との間に信頼関係が保たれており、異常がおこればこども病院に紹介してもらえるからと安心していることが判る。しかし一方ではこども病院での診療内容、もしくはその結果に満足していないものも少数ながら存在していた。

(表29) 次の出産をこども病院で希望しない理由

希望しない理由	件数	率
こども病院は通院に近いから	192	63%
異常がおこれば、こども病院に紹介してもらえるから	142	47%
交通の便が悪いから	96	32%
前の出産病院、医院に良い思い出があるから	48	16%
こども病院に良い思い出がないから	22	7%
食事が悪いから	21	7%
こども病院より小さい病院、医院のほうがよいから	21	7%
助産ケアがいきとどいていないから	11	4%
こども病院での医療に満足できなかったから	8	3%
受付のサービスが悪いから	6	2%
医療費が高いから	5	2%
こども病院の先生を信頼していないから	5	2%
こども病院よりも大きい病院の方がよいから	1	0%
その他	47	16%
計	578	191%

まとめ

アンケートには42%というこの種の調査としては驚異的な高い回収率を得た。解析作業のため7月末で集計を締め切ったが、その後も回答は寄せられ8月末までに合計885通(回収率45%)に及んだ。調査に御協力いただいた方々にあらためてお礼を申し上げる。

調査報告を終えるにあたって、本アンケートの回答者には母児ともに順調な経過をたどられた方のみならず、治療のかいもなく死産された方、赤ちゃんを亡くされた方、今なお、子どもさんの介護、治療にがんばっておられる方など、むしろ、こども病院でつらい思いをされた方々も数多く含まれていることをご報告し、そのような状況の中で本アンケートの意義をご賢察いただいてご協力を賜ったお母さま方に重ねて衷心より深謝申し上げます。そのような方々から頂いたご意見こそ誠に貴重なものであり、周産期医療の発展に寄与するところ大であると確信する所である。

われわれの力は僅かなものであるが、今後とも県民のご支援を頂いて次の20周年時には今より少しでも医学が進歩していることを切に願い、これからも地道に研鑽を積み所存である。こども病院に関わられたすべてのお母さま方とご家族のご健勝を祈念して本調査の報告を終える。

(大橋 正伸)

「こども病院に入院中の体験談やこども病院をよくするための提案」

はじめに

周産期医療に従事していない方々が本章をご覧になる場合を考え、若干の説明を加えておくこととする。一般に人が病気を告知されると、その精神的動揺はおおむね定まった心理過程を経て変化するとされている。それはショック、パニック状態からなる第1段階のあと、病気を認めることから逃避することで大きな打撃を和らげようとする第2段階へ、さらには病気になったことへの怒りの強い感情と、その怒りの鋒先をなにかに向けようとする第3段階へと進むが、しだいに情動的な混乱が静まり、自分の置かれている状況を理解して病気を受け入れるようになる第4段階から、ついには病気に対して向き合えるようになる第5段階へ至るまでの過程である。

周産期医療センターにおいては、すべての患者さんが第1段階から第5段階までの期間を入院するわけではない。分娩中に突如として異常事態が発生したため救急車で母体搬送され、ただちに帝王切開を受けたのち、医療スタッフの名前と顔も覚えきれないままに早々に退院することは日常茶飯事である。したがって入院中の心理状態はまだ第1段階から抜けきっていないことも多々ある。一方、妊娠中に胎児の異常が発見されたために産科の外来に紹介された場合などは、出産までにいわゆる医師・看護師と患者の間

の信頼関係が醸成され、医療スタッフは妊産婦の第1段階から第5段階までの心理経過にじっくりと対応することが時間的に可能になる。

生まれた児の状態が思わしくないために周産期医療センターに緊急新生児搬送された場合も然りである。数日のうちに児が無事退院できた時、長期間入院しなければならなかった時、退院後も通院を続けなければならない時、さらには治療の甲斐もなく不本意な結果に終わった時など母親と家族の心理状態はどれ一つとして同じものはない。つまり病気の軽重のみならず心理過程のどの段階で周産期医療センターと関わったかによって、受けた医療に対する妊産婦や家族の印象は大きく異なる。

本章の編集にあたってはこども病院にたいする感謝、賞賛の言葉のみならず叱責、批判の意見も含めてすべてを隠すことなく収録した。しかし寄せられた提案や意見には同じ事象に対して相反する意見や見方の存在することが判る。このことはとりもなおさず回答を寄せられた患者・家族が多種の疾患と多様な心理過程の組み合わせの中で周産期医療センターに関わってこられたことを示唆するものであり、これらを念頭に本章をお読みいただければ幸いである。

摘 録

1. 本章は兵庫県立こども病院周産期医療センターの開設10周年を記念して平成16年6月におこなった「こども病院へ母体もしくは新生児搬送・紹介されたお母さまにたいするアンケート調査」の間E「こども病院に入院中の体験談やこども病院をよくするための提案など、どのようなことでも結構です、ご意見をぜひお聞かせ下さい。」に寄せられた回答のすべてをまとめたものである。
2. 前記調査の中で、平成16年7月末までに回収できたものを掲載した。
3. 妊産婦の生々しい声を伝えるために、できるだけ原文に忠実に書き写し、誤字、脱字、仮名書きなどにはあえて修正を加えなかったが、ワープロ入力ミスがあればご寛容を賜りたい。
4. 本書では批判、叱責の対象となった医療機関や医療従事者に反論の機会が与えられていないので、公平を期すために、感謝、賞賛の対象となったものも含めてこれらの固有名詞は伏せ字とした。
5. アンケートは無記名としたが、氏名の記載のあったものは○○○子と略した。
6. 意見の収録はおおむね回収日順とした。
7. 個々の意見は、居住地域、母体もしくは新生児搬送の区別、出産経験、出産時週数、分娩様式、および意見の順に記載した。

神戸市 母体搬送 初産婦 27週 帝王切開
子供たちも無事1才をこえることができ、健やかに成長しているのは、先生をはじめスタッフの皆さんのおかげです。初めての出産で三つ子になり、子育てに不安がつきまわっていましたが健診に行くたびに「気持ちを楽に、落ち着いて…」とアドバイスをいただき、どの育児書にもなかったその言葉が、何よりの支えになりました。本当にありがとうございました。これからもよろしく願いいたします。

高砂市 母体搬送 経産婦 36週 帝王切開
昨年お世話になった〇〇です。お腹の中にいる子の心臓が悪いと分かった時はどうしようかと不安だらけで過ごしていましたが、産科の〇〇先生と循環器の〇〇先生にはよく検査していただき、信頼して出産までの日をむかえることができました。生まれてきた子供はお腹の中にいる時に診断していただいたものとはほぼ間違いのない心奇形で、前もって覚悟できていたので少しは気持ち的に強くいられたかなと思います。もうすぐ1才になりますが、子供なりに2度の手術を受けがんでいます。もうしばらくすると最後の手術の予定です。こども病院の横への伝達の素晴らしさや医師からの説明の良さなど全てにおいて感謝、感心させられています。これからも長いおつきあいになると思いますが、よろしく願い申し上げます。

他府県 新生児搬送 初産婦 38週 経膈分娩
周産期センターに7日間入院させて頂いたが、スタッフの方々には感心させられる事ばかりだった。まず①家族が入ってきたら、全員挨拶をしてくれる ②その日の担当の挨拶と昨夜の説明 ③産後まもない母親への気遣い（声掛け・いすの工夫など） ④面談をきちんととってくれる事によりわかりやすく、安心させられた。一番うれしかったのは入院してすぐ、第一声が「御出産おめでとうございます」という言葉だった事です。息子は退院後すくすく育ち、元気しております。お世話になりありがとうございました。

神戸市 母体搬送 初産婦 31週 帝王切開
入院中、出産後に「しばらくは食堂まではほこうしないで」と言われたが、数日後OKがでた。しかし、「まだそこまで歩いたらダメ」と言われる看護師さんや「歩いても大丈夫よ」と言われる方もおられとても戸惑った。・ナースコールでトイレに行きたいのでお願いしますと言うと、部屋へ来られた時に「どういう意味？」と聞かれ、ショックだった。出産後の初回歩行だったので、看護師であればそれくらい分かって欲しかった。・出産当日に救急で運ばれたが、必要なもの（はし、コップ、ショーツなど）の説明を家族にしておいて欲しかった。旦那が聞いて初めて教えてくれた。

神戸市 新生児搬送 経産婦 39週 経膈分娩
当時子供は1週間の入院で退院できたので良かったのですが、もっと長引けば面会に行くのに通院が大変だったと思います。もう少し交通の便が良ければいいのですが、産後すぐの体に30分以上車に乗って通うのは辛いですね…それ以外は何もいう事はありません。1週間という短い間でしたがスタッフの方々には良くしていただき、有難く思っ

ています。お蔭様で子供も順調にすくすくと大きくなり、今年の5月で2歳になりました。本当にありがとうございました。

神戸市 母体搬送 初産婦 39週 帝王切開
・出産後病室の移動（3回）があり、ちょっと落ち着けなかった。（個室を希望していたので退院まで同じ部屋にいたかった）
・市外からも患者さんがたくさん来られているので仕方ないかとは思いますが、駐車場（台数）が少ないように思います。
・1週間の間で何人も看護婦さんが交代されていたので、気持ちが落ち着かなかった（1日のうちでも2~3人）
・外来のほうで子供を見ていただく時事ですが予約をしても時間の幅がありすぎて待ち時間が長いように思います。特に新生児の間は（離乳まで）授乳の時間や機嫌などがあるので…。

神戸市 新生児搬送 初産婦 34週 帝王切開
大変親切にケアをしていただきありがとうございます。入院中の子供の様子もきちんと説明していただき、記録も見れて安心できました。ただ、先生の方が楽観的なお話が多くて、逆に不安になりました。内の子供は他に入院している方より全然軽いので先生にしてみればたいしたことないとは思いますが、やはり友人の普通に出産した人に比べると違ったので、自分なりに不安でした。まだ退院できる状態には思えないのに「明日？週末？好きな時に退院して」と聞かれ、看護婦さんに相談して何とか安心してお世話になることができました。退院後の検診もあり、大変心強かったです。ありがとうございました。

姫路市 新生児搬送 初産婦 34週 経膈分娩
初めての出産で異常なしと言われていたのに生まれてみるとすぐに手術が必要で子供と引き離されてしまい、救急車でこども病院まで搬送されました。私は取り残されたような感じで産後2日目タクシーに乗って子供の顔を見に行っただのを覚えています。待ち望んでやっと生まれてきたのに障害があってこれから育てていけるか不安だったし、入院中も毎日電話で経過を教えてもらったり、母乳をしぼっては子供の所へ届けたりと私自身精神的に肉体的にふらふらになっていました。ショックで毎日泣いて、子供を受け入れる事にも時間がかかって本当に辛かったです。しかし、病院で最善を尽くしていただいて子供の命を助けていただいた事を感謝して、大切な命だから育てていこうという決心ができました。先生を始め看護師さんのあたたかい言葉にも励まされがんばる事が出来ました。自分たち夫婦は子供の頃から健康そのもので病院にも余り行った事がなかったので、こども病院にかかっているお子さんを見て驚く事ばかりでした。同じ病気を所持親同士のコミュニケーションもはかっていただいたことも、子供を育てていく不安を軽減してくれました。もっと交流がもてる場づくりを考えていってもいいのではないかと思います。

神戸市 新生児搬送 初産婦 27週 帝王切開
入院中は看護師さん、先生方に大変お世話になりありがとうございました。超未熟児で生まれてきた為、私たち夫婦がかなり不安になっていた時に、担当の看護師さん、主治医の先生方にその不安を取り除いていただきました。本

当に感謝しております。これからもいろいろとお世話になると思いますがよろしく願いいたします。

西宮市 母体搬送 経産婦 35週 帝王切開

このお手紙が届きました本日、一年前の今日の事を思い出しました。一年前の今頃、私と息子には今日と言う日の喜びがないと諦めてました。毎日、朝を迎え、夜を迎え、床に就く前に必ず、入院中の事、先生方看護婦の皆さんに支えられた事を感謝せずにはいられない一年を過ごしております。息子の誕生に関わって下さった、産科、新生児科、麻酔科、外科 その他のスタッフの皆様、本当にありがとうございました。こども病院での思い出のおかげで、命の大切さを知り、ほんの小さな事を心から喜べる自分になりました。最後になりますが、これからもたくさんのお母さんと赤ちゃんの幸せを心からお祈りしております。

明石市 母体搬送 初産婦 40週 帝王切開

突然の帝王切開で訳も分からず出産し、病室で我に返った時、やさしく、丁寧に接していただいた先生や看護師さんには、今でもとっても感謝しています。願わくば、次に出産する時もぜひこども病院でと思います。そうできるようにしていただきたいです。

神戸市 母体搬送 初産婦 41週 経膈分娩

前の病院で入院中は1ヶ月半ほどの期間だったがあまりにもしんどくて、同室の人と話すようもなかった。しかし、こども病院では、気の合う友達もたくさんできてナースの方々も明るく接して下さり、合宿のような感じでも楽しかった。今ではいい思い出になっている。また、ろう下にはられた退院時に赤ちゃんと一緒に写った写真を見て、私もこの写真をとってもらうことを目標に1日1日を過ごしていたように思う。ただ1つ、つらかったのは、出産後、授乳室で母乳を出すとき、私の子供はチアノーゼのため、すぐに新生児室に連れてこれなかったのも、他の人が赤ちゃんにおっぱいをやっている姿を見て、涙が出そうでした。でも、私の場合は、3日目ぐらいで、新生児室にこれたので良かったが、もっと長く赤ちゃんが保育器に入ったままのお母さんがお乳を搾っているのを見ると、つらいだろうなと思いました。出来ればお乳をしぼるだけの人と赤ちゃんにおっぱいをあげる人が別々になるような工夫をして頂ければうれしいです。

加古川市 母体搬送 初産婦 39週 経膈分娩

最初こども病院で出産すると決まった時は、不安で不安でずっと泣いていました。入院一日目も脱走しようかと考えました。2日目に幸い出産しまして、先生や看護師さんと毎日楽しく過ごしました。でも、正直普通では知らなかった現実を目の当たりにして、自分自身いろいろ考えさせられ、少し情緒不安定にもなりましたが、こども病院でいろいろな子供たちと親の姿を見て、私は何かを覚えてもらったと思っています。命の尊さ、健康の大切さ、そして人間の強さを学びました。私の子供は2回手術しました。その時の先生が神様のように思えます。どうぞこれからもたくさんの子供たちの力になって下さい。

神戸市 母体搬送 初産婦 38週 経膈分娩

退院した後のケア（不安な時の相談）がない。生まれた後異常がなかったので母乳で育てたかった。

神戸市 新生児搬送 経産婦 39週 経膈分娩

2人目の子供でしたが妊娠中も何事もなく、1人目の子供も順調だったため、思ってもいなかった胎便吸入症候群での入院でした。入院中はどうなる事かと心配で面会に行っても寝てばかりの子供を見ては泣いていました。周りは未熟児の子達が多いなか、うちの子はひときわ大きい3068gでした。こんなに大きいのになぜ？とやりきれない気持ちとどうしてあげる事も出来ない自分の情けなさでどうしても会いに行くと涙がでてしまいました。看護婦の方は皆さん親切で前日の様子などを教えて下さいました。自分の子供なのに様子を他の人からおしえてもらうのも辛い事でした。今では元気になりましたが発育が遅いのでまだ外来通院しています。大きくなって何ともないと分かれば、あの時は心配したねと笑えるのでしょうかけど今は不安な事があるので、あまり入院中の事などの話はしたくないと言うのが本当の気持ちです。でも入院中の看護婦さんには勇気づけられ支えていただきました。ありがとうございました。

明石市 母体搬送 初産婦 24週 帝王切開

新生児科では先生、看護師さんにはとてもお世話になり、その後の子育てにつながりとても感謝しています。周産期センターの方では先生方はとても信頼できとても安心できました。私の場合はとても小さく子供が産まれてしまい、保育器に入ってとても心配な日が続きました。入院中の母乳をとる時に保育器に入らず、大きく生まれる事の出来た子が、お母さんに直接母乳をもらっている横で、私は母乳をとっていません。とても悲しい気持ちになり、泣いてしまった事があり、看護師さんも「なにかありました？」と気にしてはくれましたが、腹が立ちました。医療だけでなく、小さく生んでしまった母親の辛い気持ちも少し分かってもらいたかったと思いました。母親は全部自分のせいだと思って、ただでさえ自分を責めて辛く、この先どうなるか心配でたまらないんです。忙しく大変だとは思いますが、とても必要な事だと私は思います。

西宮市 母体搬送 初産婦 23週 経膈分娩

第一子(23W)第2子(34W)ともこども病院で出産しました。第1子の時は新生児科に、第2子の時は産科に大変お世話になりました。第1子は脳性麻痺の障害が残りましたが、2人とも元気で日々成長する姿を楽しんでいます。新生児科、産科とも医療スタッフの意識レベルが非常に高く、満足のいくケアを受けました。ありがとうございました。医療現場は常に緊張感に満ちたものとは思いますが、これからも柔軟な発想と温かい心でこども病院を必要としている母子の為に日々治療に情熱を注いでいただければと願っています。最後になりましたが、開設10周年おめでとうございます。

出石郡 新生児搬送 経産婦 39週 経膈分娩

入院中遠方の為週に何回かしか行ってやる事が出来なかったですが、行った時には様子など丁寧に教えて下さり、看護婦さんみんな温かくとても安心できました。又、上の子

を連れてでも遊び場があるので非常にありがたかったです。ただ、おしゃぶりをテープで貼られている姿を見ると少し心苦しかったです。(そこまで手が回らないのは良く分かります) 又、電話でもその日の様子を詳しく教えていただき、担当の看護婦さんがおられたのは心強かったです。

〇〇〇子

神戸市 母体搬送 初産婦 35週 帝王切開

お正月に風邪を引き普通の病院なら見てもらえないところをtelをするとすぐ対応していただいてお正月も安心して過ごせました。提案をするならば道路からこども病院の入口に行くまでの坂道です。車で行っている人ならば気にならないと思いますが、バスで通っている人は坂道を上り下りしなくてはいけないので私もお腹の大きい時、この坂道は大変だなあと思いました。そしてその後はタクシーをずっと利用していました。道路から入口までエスカレーターなどがあれば坂道も気にならないと思います。バスで通院している人もいるのでそのことが気になりました。この度はスタッフの方々に本当にお世話になり感謝しています。ありがとうございました。

宝塚市 母体搬送 経産婦 39週 経膈分娩

・公衆電話(受付前)の前に、出産後用のいすが欲しかった。・テレビの音はイヤホンで各自聞くのがマナーではないでしょうか? 出産直後や身体の状態が良くない時にも大きな声が周りにしていつらかった。又、消灯時間を過ぎても音を出して見ている人に同じ部屋に2回あたりました。テレビを見る権利も見ない(聞かない)権利もあるはずです。

他府県 母体搬送 初産婦 36週 帝王切開

赤ちゃんは死亡してしまったのですが、先生も信頼できたし、産後個室にしてもらえたのは良かったです。冷蔵庫が授乳室にしかなく、他のお母さん方の授乳姿を見るのが辛かったのでちがう場所にてもらえたらいいと思いました

氷上郡 母体搬送 経産婦 30週 経膈分娩

早産の為に子供が小さく生まれてしまっすぎて不安でしたが、先生や看護師さんたちが本当に良くしていただいて、子供のほうもすごく元気でどんどん大きくなってきました。私の姉も子供の時大きな病気をしてこども病院に入院していましたが、病気も直って今すごく元気にしています。だから母が「天下のこども病院やから心配ない!」と言っていました。その言葉の通り、子供はすごく元気でがんばってくれています。これからはまだ不安はありますが、せっかく助けてもらった命を大事に育てていきたいです。こども病院の完璧さを一度経験してしまったら、他の病院に行くのが嫌になります。でも、もっと子供をうみたいし、できる限り大きな病院でお世話にならなくていいような出産をしたいと思います。

他府県 新生児搬送 初産婦 38週 経膈分娩

初めての出産で不安などありましたが、先生方をはじめ看護師さんがとても親身になって子供と母親のケア(心身共に)していただき、子供も無事元気になり本当に感謝し

ています。ありがとうございました。提案というほどでもないですが、退院後も通院できるようにしていただけたらうれしいです。(普通の小児科みたいに) せっかく信頼できる先生に会えたのに、見てもらえないのが残念です。

姫路市 新生児搬送 経産婦 36週 経膈分娩

・NICU→GCU→HCU→一般病棟と入院しているのが当然の事ながら(?) 看護婦さんが手薄になっていくのが患者に目が届きにくくなっているように思う。看護婦さんの人数がもう少しいれればと思う。・新生児病棟ではとても手厚く看護していただいてうれしかった。・電話での問い合わせをした時にいろいろなところに電話をたらい回しにされた事があるのだが、各部署がもう少し連携して対応してもらえればいいと思う。

三田市 新生児搬送 初産婦 38週 経膈分娩

娘は生後4ヶ月でこども病院へ転院、生後15日で手術をしました。2000gしかない小さな体で4時間も本当によくがんばってくれました。今考えると私たち親がとりみだす事なく手術を迎え、何かと前向きに考えていけたのも病院の先生、スタッフの方々の温かい対応のおかげだと思います。本当に感謝しております。今も通院していますが、先日電話をした時に先生もお忙しいのは分かっています、しかし、そんな事ですか? という対応をされとても悲しくなりました。どんな小さな事でも子供の事は気になるのだからもう少し心を持って対応して下さいればとても嬉しいです。次から電話で聞くのをためらうようになりました。今の外来の診察は前に比べ待ち時間が少なくなり、とても楽になってよかったです。スタッフの方々はとても親切で、ていねいに対応して下さいるとも分かりやすいので病院の雰囲気は明るいと思います。

三木市 母体搬送 初産婦 40週 経膈分娩

思いもしない突然の出来事に当初は「なぜ」「どうして」と泣いてばかりでした。お腹の子が無事生まれてくる事が出来るのか、助かるのか生きられるのか本当に不安でした。初めての出産で、出産と言うだけでも不安でした。妊娠8ヶ月でこちらへ移った為出産に対しての知識指導が欲しいと伺ってみたところ「ここは普通の産院ではないですから、そういうものはありません」と言われ、とてもショックを受けました。私たち母子は普通じゃない異常なのだと言われた気がしたのです。2ヶ月の入院生活はただただ不安でした。同室のお母様形は皆、母体に何かトラブルを抱えておられるか多胎児の方で、私と同じくお腹の子に何か問題があるという方には入院中お会いする事はありませんでしたが、いろいろな事情で辛い思いをされる方も多いと思いますので、何か精神的サポートをしていただけたら少しは気持ちが落ち着くのではないのでしょうか。子供は重度の心臓疾患を持っていたのでいつかその命が奪われるのではないかといつも心のどこかで恐れていましたが、2ヶ月前その短い生涯を終えました。生まれてから痛い辛い思いをたくさんさせてしまいましたが、最後まで精一杯生きた我が子が本当に愛しく感謝しています。産科とは別話ですが、子供がその後も外来でお世話になっていました。このように残念な結果となりましたが、よく診ていただいてとてもありがたく思っています。ただこの一年間に子供が

心エコー検査を受けたのはたった1回です。患者数に対して心エコーの機械が少ないのだと先生はおっしゃいました。うちの子供もいつもの検診を受けてすぐにも関わらず先生にも全く予想外のトラブルで心不全を起こして助かりませんでした。もっと新エコーの検査を受けられていたなら異常に気づいてももしかしたら早く対処できていたのではという思いはあります。産科で診ていただいた先生方、看護師、助産師、スタッフの皆様本当にお世話になりました。ありがとうございました。そして子供の治療にも最善を尽くして下さいました。先生方、スタッフの方々ありがとうございました。こども病院は中で働く「人」が皆とても素晴らしく思います。いつもそう思っていました。今も不安を抱えておられる妊産婦の方々や大きな病気、障害と闘っている子供たちが一日も早くよくなるよう心から願っています。

姫路市 母体搬送 初産婦 31週 帝王切開

先日こども病院で検診があったので産科を訪ねると、お世話になった担当医の先生が代わられてしまい合う事が出来ずに残念でした。移動があるのは仕方のない事ですが、できれば同じ先生にお願いしたいと思ってたのでとても残念でした。子供は小さく早産でしたが何事もなく成長し退院しましたが、実は心臓に疾患があり見つけていただいたのは地元の小児科でした。見つけにくいと説明されても大泣きする子の心疾患を見つけてくれた小児科を受診する2週間前にこども病院でも検診したのに、気づかなかったという点では不信感はなくなりません。が、その後心外、循環器にお世話になり今は元気に成長しています。こども病院で出産し、お世話になっている方に対して今は不満はありません。

明石市 母体搬送 経産婦 34週 帝王切開

第1子出産時妊娠中毒症で即日手術になってしまい、「次回妊娠したらすぐ来院するように」と〇〇Drにいわれていたのですが、妊娠検査スティックで陽性が出てすぐにTELをしたのですが、TEL受付で紹介状がないとだめと言われ、結局ずるずると元の病院にかかってしまった。でやっぱりだめで又搬送されて即日手術…妊娠中毒症がひどく搬送され即帝王切開をする事になりましたが、今回は初めての局部麻酔で手術の内容が分かって恐かった。なぜならば研修医みたいな人が練習している様子で、先生が「そこひっぱって」とか「もっと奥から」とか指導している声が出て、時間も妙に長くかかっている感じがしてすごく不安だった。出来れば手術前に「研修医と一緒に手術する事になるけど」と一言、言って欲しかった。そういう事も必要なのは分かるので一言言っていただけると心の準備が出来てうろたえる事もなかったと思います。赤ちゃんとその場で対面させていただいたのはありがたかったのですが、すごい近眼なのであんまりよく見えなかったのが残念。術後、個室に入院していましたが、トイレのウォシュレット機能が壊れていて困りました。アイマスクが取れて部屋がきれい（壁紙がやさしい色だった）気持ちや和らぎました。壁にはひまわりの写真が飾ってあって（真夏入院していたので）うれしかったです。術後の体調のせいか急にぞくぞく寒くなったかと思えば急にカーッと暑くなったりしたのですが、その度に忙しい看護師さんをナースコールして室温を変えてもらうのも気兼ねで、かといっていっぱい点滴や尿管に

つながれている自分ではできず、我慢していたので、リモコンがあればいいのに…と思いました。出生率1.29虐待犯罪の低年齢化とさまざまな事件が次々と世間で起こっているからこそ「こども病院」のPRを積極的にして欲しいと思います。そこで生まれた子供、出産した母親、家族、病と闘っている子供の姿、そこで働くDr、ナース他いろいろな方々の姿。ついこの前までTVでドラマ化された「電池が切れるまで」は長野県立こども病院でした。命を救うだけでなく（もちろん一番大事な事ですが）広く一般に命の大切さを実感として受け止められるような方法で。

明石市 母体搬送 初産婦 32週 帝王切開

”妊娠中毒症がひどかったので個室に入院させていただきました。アイマスクをして、ついこの前まで（2日前）自分では普通に仕事も家事もして、産休に入ったとたんこんな事になってしまって、すごいショックでした。多くを望んだわけではないのに…。普通の結婚をして普通に2、3人子供を産んで仏に生きていけばいいとずっと思っていたのに…。1人目は子宮外妊娠で左卵管破裂の為開腹手術（この時も突然の事で職場にも家族にも迷惑をかけました）そして2人目いろいろ気を付けていたのにこんなことになってしまって、子供にリスクを背をわせてしまったという負い目、母乳も満足に出ない、いろんなストレスでつぶれてしまいそうでした。何よりも自分の身体が弱ってしまって自分の事もろくに出来ないで情けなくて…。自分が高齢出産ってこと事は、自分の母親も更に高齢なので出て出来ず主人の母も亡くなっておらず、頼れる人がいないというのも心細かった。退院後の生活が不安で、こういうフォローのできる体制があればと切に思いました。プライバシーの問題も有るとは思いますが、物事が分かってこども病院を卒業する年齢までに一度子供自身にろうか（NICU, GCUの）を見学させて欲しいです。自分が生まれた体重の赤ちゃんと廊下面会させてやって欲しいです。自分がここでこんなに小さく生まれた事を、いろんな方々に命を助けていただいた事を実感して生きて欲しいから（私自身保育器すら実物を見た事がなく、まさか我が子がこんなものの中でいろんな物につながれてぐったりとしているとは思っていなかったのだからかなりショックで涙がでてしまいました）そして、できれば今後は子供自身が多くの命を救う仕事を選び自分の命を更に輝かせるような生き方をしてくれればと望みます。末筆ながらDrをはじめナースの方々、スタッフの方々には命を助けていただきありがとうございました。命を大切にすることを第一に教え、育児に励んでいきますのでこれからもよろしくお願い申し上げます。”

神戸市 母体搬送 経産婦 40週 経膈分娩

一度目の入院は残念ながらすぐ他界しましたが、先生を始め皆様に良くしていただき、全てをプラスに考えられるようになりました。2度目の入院では前回の出産の事を考慮していただき、細かな心配りに感謝しております。そのお蔭で安心して出産できましたし、甘える事も出来ました。GCUで眠っている息子を眺めていた私に先生がお声を掛けて下さり、一度目の出産の時の息子の退院サマリーを見せて下さいました。産まれてわずか2時間ほどで天国に行ってしまった息子の事がしっかり記録に残されていました。親しい友人も知らない息子の事をここには知って下さる方

がいる事、そしてそれがしっかり残されていた事に、母親としてとても嬉しく思いました。大げさかもしれませんが感動と小さな幸せを感じました。そんな時「嫌な事を思い出させてしまったかな?! 申し訳ありません…」と再び声を掛けてくださいました。そんな事はないと思うと同時に優しい先生に診ていただいているんだと思えました。産まれたばかりで私にはまだ良く理解できていない病気を持つ息子も、この先生に診ていただけるのなら安心だな・・と思えました。(そしてもちろん担当の先生を信頼して通院中です) 障害を持って産まれてきた息子ですが、他の兄弟と変わらない大事な宝物です。心の底からそう思えるのは一度目の出産後、担当の先生が「どんなに短い命でも産まれてきた子供には産まれてくる意味があると僕は思っています」そう話してくださったからです。2度目の出産に関しても、他の兄弟に関してもこの言葉は私にとって勇気や自信、そしてパワーを与えてくれるものになっています。何も分からず不安だらけの私達に、安心を与えて下さる先生方に感謝しています。ありがとうございました。

神戸市 母体搬送 経産婦 36週 帝王切開

正直、子ども病院からの封書を見た時は泣きました。声をあげて泣いてしまいました。3ヶ月間痛く苦しい思いをさせて、生きてくれた〇〇がお空に帰って9ヶ月になろうかとしています。お世話になった先生方や看護師の方々にお会いしたいと思う事も度々です。うまく書けませんが、提案を述べさせていただきます。まず、先生との面談による〇〇の死の告知…新生児科やHCUで何度も面談がありましたが、死に近いという事を聞いたのは1回だけでした。主人が「生きる確率は?」と聞いた時、〇〇先生だけが「1歳を迎えられるのは2割」と答えてくれました。他の先生は「目の前の事を少しずつクリアしていきましょう」とか「心臓の悪い子の生体肝移植も、例がないだけでできるかもしれません」とたくさん希望を持たせてくれました。だから私はまさか死ぬなんて思っていませんでした。そんなに悪いならもっと覚悟をさせてほしかった。もっと時間を割いて〇〇と過ごしてあげたかった。毎日後悔しています。生きる望みがたくさんあるなら希望を持てる言葉もありがたいですが、あまり希望がないならばはっきり言っていただいたほうがよかったです。あと、家族の精神的ケアもほしかったです。〇〇大学〇〇病院の〇〇の誕生死セミナーというのに自ら探して参加しました。後は自分で立ち直ってがんばって下さいでは辛すぎます。誕生死後のケアの必要性はとても重要だと思います。私は面会に毎日いったものの、数時間しか一緒にいてあげませんでした。なので、私が面会に行っていない間の〇〇、生きていた〇〇のことを知っている看護師さんに私の見ていない〇〇の様子を日誌や看護計画表など共に教えていただく事が出来たらと思います。〇〇がお空に行ってからずっと考えていましたがあきらめていたのですが、このような機会を与えていただいたので書かせていただきました。

明石市 母体搬送 経産婦 34週 経膈分娩

大変お世話になりました。2人目だったという事もあり、油断していたのか破水してしまい、又かかりつけの産院で「破水ではない」と言われて不安な日を過ごした後の急な子ども病院への転院でした。絶対安静と言われ、かなり落

ち込んでいたのですが、看護師の皆さんや先生のあたたかい対応にはげまされてがんばることができました。私の退院後も子供は2ヶ月ほど入院していましたが、新生児科のスタッフの方も本当に信頼でき、京都の実家から通っていましたが、体力的にはつらかったものの精神的には楽しかったです。つい先日の健診で子どもも卒業となりました。本当にいい思い出となりました。ありがとうございました。

西宮市 母体搬送 経産婦 27週 帝王切開

①NICUに入院中、母子共に力になって戴きました。〇〇様、〇〇様、〇〇様にはいつも母親の心のケアをして戴いていたと、時間がたつ程に感謝の気持ちでいっぱいです。今後も、知識だけで無く、心のあるナースでいて欲しいと思います。②産科入院中。。。選べないとは分かっていたのですが、4人部屋では双生児のお母さんで、2500gを超えての出産を終えた方と家族の方が幸せそうに話しをされており、超出生体重児の子供の事で小児科の先生のお話がある度に泣ける場所を探して歩きました。とてもつらかったです。母親、家族の気持ちが落ち着く迄、病室にいる事がつらくとても悲しかったので、手術後、病室で休めませんでした。(ロビーか外にいました。)

宝塚市 新生児搬送 初産婦 25週 帝王切開

超未熟児の為NICUに入院していました。出産した〇〇より、看護師さんの人数体制がしっかりして安心しました。面会にはいつもこわごわ行っていました。自分の子供が目の前の小さい赤ちゃんという現実を受け入れられず、つらかったのですが行くたび看護師さんが様子を教えてください、はげましてくれたり・・おかげでGCUにうつった時は子供に会いに行くのが楽しみになってきました。今、子供は3才になりました。脳に障害が残り、発達がかなり遅れてますがとても元気で毎日通園して少しずつ成長しています。4~6ヶ月に1度は眼科検診で子ども病院に通院し、お世話になった新生児科の〇〇先生のところにも顔を出していろいろアドバイスを頂いています。私のように子ども病院で育て引越して今はちがう病院でお世話になってても、受け入れて頂ける病院であってほしいと思います。あと母乳マッサージを、この病院で産んでいないからといって断られました。子供が入院してるんだから受け入れてほしかったです。あとDrに親身になって話を聞いて頂きたいのです。冷たすぎる口調のドクターは母親をすごく傷つけます。先生にとって患者の1人でも私たちにとって子供はその子だけなのでいつでも親身になってほしいと思います。

神戸市 新生児搬送 初産婦 37週 経膈分娩

出産してすぐの入院だったので、母乳を持っていったり見に行ったりするのが大変だったなあと思い出しました。子供をよく見て頂き、良くなったので、今でも感謝しております。退院後の授乳が、分らず苦労したように思います。授乳は、1人目だったのでうまくいかず、もう少し指導してもらえれば助かったように思います。でも、娘も、もう、4歳を迎え、今は、友だちと一緒に自転車に乗り遊ぶのが大好きです。元気にすくすくと育てております。これも、子ども病院で元気にして頂いたお陰と思ひ感謝しております。最後になりましたが皆様のますますのご活躍と

ご健康を心よりお祈りいたします。

神戸市 母体搬送 初産婦 33週 経膈分娩

私は1人目も2人目も切迫早産で、安静入院は、〇〇産婦人科の個室で、1人で長い1日を送るのが、苦痛だったけど、子ども病院の6人部屋だといろんな人とお話をしたりして、とても気分が、やすらいだ気がしたので、もし、3人目を生むとしたら、最初からこども病院で、診察してもらえたり、安静入院は、こども病院で、できたらいいなと思いました。

神戸市 母体搬送 初産婦 38週 帝王切開

助産師のみなさんが、とても優しく、親切で、次の出産もお願いしたいです。本当にありがとうございました。もっと入院していたい気分でした。

神戸市 新生児搬送

退院後、電話でわからない事などを問い合わせ、色々教えて頂きました。不安をとりのぞいて頂き感謝しています。

神戸市 新生児搬送 経産婦 38週 帝王切開

私自身が持病を持っていて、1人目の時はこども病院と言われていましたが、何事も無く妊娠が経過した為普通の総合病院で産みました。2人目が熱を出して、こども病院に運ばれた時は本当につらくて、どうなる事かとかなり不安でした。でも、子供を迎えに来て下さった、先生と看護婦さんがとても優しく、そして、ちゃんと説明を詳しくして下さい「おまかせしよう」と心から安心できました。こども病院と言えど何かと重病を思いうかべてしまいがちでしたが、我が子がかかってみると子供専門の病院で安心できて治療に専念できる病院だと思いました。おかげ様で3~4日程の入院で退院して、今はもうすぐ10ヶ月になる元気な子供に成長しました。先生方とはほんの少ししか接する期会はなかったのですが、今はこども病院に運んでもらって本当に良かったと思っています。GCUのスタッフの皆様本当にありがとうございました。

神戸市 新生児搬送 初産婦 41週 経膈分娩

初めての出産での子供が吐血したという事にとっても動揺していた私達に、病院の皆さんは、とても親切にしてください、ひとつひとつ分からない事は説明してくださいました。病名は「新生児メレナ」というもので、胃の中の物をすべて出し、点滴で水分を補給するとの事。その為に口からクダを入れている姿をみると涙がとまりませんでした。けれど、日々通うごとに、子供の顔色が良くなりふっくらしているのが分かりました。病室に入ると、スタッフの皆さんは「こんにちは」と明るく迎えてくれ、「今日はたくさんミルク飲めたよ」とその日あった事を話してくださいました。産婦人科から一緒に退院できなかつた事は少し残念でしたが、こども病院に入院し、見ていただけた事で元気になり、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

神戸市 新生児搬送 初産婦 37週 帝王切開

こども病院に運ばれた際は半ばパニック状態でしたが担当して下さった先生の言葉にとっても安心した事を覚えてい

ます。たまたま運悪く感染症にかかってしまった事は今となっては思い出のひとつです。日々沢山の新生児を救っているお仕事は大変だと思いますがすたっふの皆様の今後のご活躍をお祈りしています。

神崎郡 母体搬送 初産婦 35週 帝王切開

はじめての入院で不安がいっぱいでしたがスタッフの方がとても優しく不安もすぐ無くなりました。出産後もいきとどいた看護でびっくりしました。2人目は2年以降後になりますが是非にこども病院で出産を希望します。また同じスタッフの方と会えるのを楽しみにしています。スタッフの方の精神的な指導…すばらしいと思いました。私の子供もこういうすばらしい女性に成長してほしいと思いました。

神戸市 新生児搬送 初産婦 39週 経膈分娩

先生や看護師さんがとても親切でした。面談の時わかりやすく丁寧に説明して下さいました。素晴らしい病院だと思います。5日間の入院でしたが大変お世話になりました。ありがとうございます。退院後も何度かお電話で相談にのっていただきましたこと感謝しております。

神戸市 新生児搬送 初産婦 41週 経膈分娩

入院中は大変お世話になりました。今でもこども病院へ運ばれた時の事、よく思い出しています。子供も今ではすっかり元気でゆっくり、ゆっくり成長しています。何かあれば、いつでも先生方に診てもらえる安心感がいつもあります。近くに良い病院があって本当に助かりました。入院中はゆっくり食事をする事もできず、飲食コーナーで簡単に済ませていましたが、時間によっては混み合い、席がないことも多かったので、そういうスペースがもう少しあればいいなと感じました。今ではもう慣れましたが、予約制でも2時間以上待つこともしばしばで、子供が小さい頃は(ミルクの回数も多いし)苦勞しました。多くの患者さんがいるので難しいとは思いますが…。今よりもっとこども病院がすばらしい病院になることを願っています。

神戸市 母体搬送 初産婦 30週 帝王切開

1人目出産の時、緊急で運ばれ状況も把握出来ないまま不安の日々を過ごしていました。大部屋であらゆる点滴や管を付け、寝たきりの生活の中で、周囲の安静度の軽い人、産後の人達ばかりで、とてもつらい思いをした事を覚えています。その中、医師、看護師の方のケアでずいぶんすぐわれている部分があったと思います。第2子の出産も同じ(第1子の時の症状での出産)経過をすこすとわかったの妊娠、出産でした。以前お世話になっていましたし、入院中の経過治療も理解できた上でしたので安心でした。しかし予想よりもかなり早くの出産となってしまったので、その点では、仕方がないのですが残念です。でも以前同様、先生方、看護師の方に助けられ、出産できた事には、深く感謝しています。出来る事ならこども病院出身で、同じ様な経験を持つ方との交流が簡単に出来るサークル、交流会などあっても良いのではないかと思います。第2子がまだまだお世話になりますので、期会があれば看護師の方や先生方にもお会い出来ればと思っています。

明石市 母体搬送 経産婦 34週 帝王切開
私は、破水して、出産して入院したのですが、大部屋にいた時、他の人が、みんな、出産以前に入院されている人だったのですが、夜中、授乳に行く時や、お見舞に来てくれる事などに、大変、気をつかいました。(きっといい感じはされていないだろうと思いながら…) 難しいと思うのですが、出産した人は出産した人と同じ部屋にしていたら…と思います。

神戸市 新生児搬送 初産婦 経膈分娩
全く思いもしなかった子供の入院で、精神的にかなりまわっていましたが、看護師さんの私へのいたわりの言葉でとても心を落ち着かせることができました。初めての子育てに分からないことだらけでしたが、いろいろと入院中教えてもらい勉強になりました。そして一番感動したのは母の日のプレゼント。まだ生後1ヶ月の子供が本当にプレゼントができるわけではなく、看護師さんがハンカチに子供の足型をとってラッピングしてくれたものでしたが、初めての母の日のプレゼント。本当に感動と喜び。一生の宝物になりそうです。子供を早く退院させたい、早く家でゆっくりみたいと思っていた2ヶ月でしたが、いざ退院し、家で昼子供と二人きりしていると、毎日病院へ行き、看護師さんといろいろ話していた時のことを、あーなんか充実して楽しかったなあなんて思います。もちろん1日中子供の顔が見れるようになって今は今で別の大きな楽しみがあります。

他府県 新生児搬送 初産婦 42週 経膈分娩
NICUとHCUでお世話になりました。本当によくしていただきまして感謝しております。仕事の関係で転院ということになったのですが、本当はそのままこども病院で見ていただきたかったのですが、このままいい病院であってくれることを願っています。

西宮市 新生児搬送 初産婦 40週 経膈分娩
産まれてすぐこども病院のICUに子供が入院となり、いろいろ不安もあったし、初めての子という事もあったので、不安をかかえてのICU通いとなったのですが、先生のアドバイスや子供の状況報告(治療経過)はもちろん、ICUの中にいる看護師さんにも親切に指導してもらったり、子供の状況(子供がたくさんいるのにこまかく今日はたくさんミルクのんでたよ…など)を話してもらえたりでとても感謝しています。今後も変わらぬ医療ケアをして頂きたいと思います。本当にありがとうございました。

三原郡 母体搬送 初産婦 38週 経膈分娩
・虫を殺す消毒をする時、いきなり男の人が入ってきたので、前日にでも連絡がほしかった。・子供がお腹の中にいるときから前前脳胞症と聞いていて、脳に障害があると聞いていたけど、顔に障害があるとは聞いていなかったの、子供が産まれたとき、ショックだったので顔にも障害がある可能性があるのだったら先に言ってもらいたかった。

神戸市 新生児搬送 初産婦 37週 帝王切開
毎日大泣きするので4ヶ月健診の時に聞いたら「元氣な証拠ですよ」といわれてほっとしました。どんな小さなこ

とでもこども病院の先生が言ってくれるだけでとても安心します。

神戸市 新生児搬送 初産婦 34週 経膈分娩
私がまだ入院中にパパが仕事帰りに面会に行くと面会時間がほとんどなかったにもかかわらず、快くいれて下さり「ゆっくりしてあげて下さい。」とその日の様子などを教えて頂きました。退院後もミルクの相談を電話でしたら、親身になって相談にのって頂き、数日後お葉書まで頂き感激しました。退院した後は、なかなかお伺いしづらいので残念です。順調に大きくなっているわが子も見てもらいたいです。私達家族にとってはこども病院はとてもいい思い出です。大きくなったら生まれた時の事や子供病院のスタッフの方々の事は話して聞かすつもりです。これからも1人でも多くの命を守って行って下さい。ドクターやスタッフの皆様ありがとうございました！

神戸市 新生児搬送 経産婦 38週 帝王切開
出産後、すぐに搬送され、私自身は医院の方に入院していました。体調の方がすぐれず、退院できません。でしたので、こども病院での子供の様子は、人づたえでしかわかりません。一週間程入院していたのですが、元気に戻ってこられましたので感謝いたしております。

神戸市 新生児搬送 初産婦 40週 経膈分娩
病気(18トリソミー)の子どもとその両親に対するスタッフの関わりにたいへん感動しました。「子どもが病気である」という現実を受け入れるまでの過程をととてもスムーズにして下さったように思います。子どもは厳しい疾患ではありましたが、スタッフは常に前向きな姿勢で接してくれました。このことは私たちにとって大きな励みになりました。両親の意向や希望を取り入れてもらったことで、子どもとの良い思い出をつくらせてもらいました。スタッフ(DrやNs)に大きな信頼をもって子どもの(両親も)ケアをゆだねることができました。これも、スタッフの方たちによる勉強会やカンファレンスでの話し合い、また様々な講演会などへの参加なんかによる、知識やスキルアップを試みられているからではないかと思いました。これからも、病気と闘う子どもとその両親に笑顔と勇気を提供していけるケアを続けて行って下さい。この場をお借りして、あの折は本当にありがとうございました。貴院で入院治療を受けられて、私たち親子は幸せでした。

神戸市 母体搬送 初産婦 25週 帝王切開
22週で前期破水し、トイレも食事もベッドの上で寝たきり状態だったけど、こども病院の先生や看護師さんがとても優しく、完ぺきなお世話をしてくれたのでそんなに辛くなかったデス。出産後、いたれりつくせりだった入院生活が終わるのが少し寂しかったデス。こども病院で入院し、出産できて本当に良かったデス。ありがとうございました。次もこども病院で出産できたらな、と思います。

神戸市 新生児搬送 初産婦 41週 帝王切開
入院をした際にDrからこの症状はこども病院に入院している方の中では風邪のようなもので、すぐに良くなりますよと言って頂いた通り、4日間の短期間で退院する事が

でき、本当に感謝しております。ただ生後4日目の入院で私も初産、帝王切開で授乳の方法やコツがわからず（産院では子供が入院中で不在のため指導をうけれなかったのです）入院中に授乳と面会のために毎日通いましたが授乳の方法などを聞く事ができずとても不安になりました。貴院で出産された方は近くの職員の方に聞いておられましたので外部からの者でも聞きやすいふんい気があれば助かったと思います。退院後のフォローも良く近くにこのような医療施設があることをとてもうれしく思っております。今後増々、新生児医療の向上と職員の方々のご活躍を期待しております。十周年記念おめでとうございます。

神戸市 母体搬送 初産婦 29週 帝王切開
入院中先生や看護師さんにはとてもよくしていただき本当に感謝しています。しかし退院後夜中に体調が悪くなり電話した時はとてもひどい対応でさらに体調が悪くなりました。退院後1ヶ月が過ぎると診察してくれないようなのでそれがとてもつらかったです。とても重い病気でこども病院に行くことになったのもっと心のケアをしてくれる方がいたり相談できる方がいたらいいのになと思いました。また何かあればお世話になりたいとおもうのですが、もし夜中に行くことになってひどい態度をとった先生に診てもらおうことになったらどうしよう…とこわくてしかたありません。優しく心身になってくれる先生を揃えていただけるよう期待しております。

加古川市 母体搬送 経産婦 37週 経膈分娩
当院で出産した子供はまだ入院中です。これまで4回の手術を行いました。退院はもうしばらく先です。子供のこれからの将来が一番心配です。退院してからも生涯、子供病院でフォローアップ出来る体制である事を強く願っています。そして医学の進歩にともなう最新の治療法や薬などの情報を提供してくれる事を望んでいます。

明石市 母体搬送 初産婦 32週 帝王切開
入院中の他病院から緊急で搬送され訳わからず状態不安だらけでした。でもこども病院の皆様の心あたかいケアで子供も無事出産でき思っていたより早く退院も出来ました。心より皆様には感謝しております。今後妊娠したら（前質問にありましたが）本心はお世話になりたい気持ちでいっぱいですが何しろ通院が不便に思うので難しいのが残念です。全身麻酔、大量輸血での帝王切開だったのでつらい思いもしましたが搬送されお世話になれて良かったと思います。ありがとうございました。

神戸市 母体搬送 初産婦 35週 帝王切開
切迫早産で入院して2ヶ月間お世話になりました。初めは不安背仕方がない入院生活でしたが、担当のNSやその他の方の励ましで無事出産することが出来感謝しています。本当にありがとうございました。

神戸市 新生児搬送 経産婦 40週 経膈分娩
産後すぐ〇〇病院に運ばれ、その後すぐにこども病院に運ばれたと聞いた時には目の前が真っくらになりましたが外出許可をもらい病院で対面した時は涙がでました。体中にてんてきや機械をつけられ心配しているとかんご婦さん

に暖かい言葉をかけて頂き安心することができました。今でも月に一度は通っていますが、ICUのかんご婦さんとはとても親切でいい対応をしてくれたのでとても感謝しています。産後の体を気づかってくれて女性ならではの心配りには頭が下がりました。今は手術を終えて元気に保育所へ通っています。ありがとうございました。

神戸市 新生児搬送 経産婦 39週 経膈分娩
新生児室の一角に保育器やいろんな機器が置かれていてそこに赤ちゃんが寝かされているスペースがあり、そこを横切ることを禁じられていたのですが、表示がわかりにくく、つい動線上近道になると入院すぐで慣れない為、何度も通ってしまいました。もう少し大きくはつきりと分かりやすい表示をしていただけると、いいと思いました。（看護師さんに度々注意を受け、出産後すぐ通う身としてはしんどい思いをしたので）

神戸市 新生児搬送 経産婦 38週 帝王切開
緊急で入院したにも関わらず、とても親切に対応してくださり、大変感謝しております。結局、何も問題はなく、わずか3日間の検査入院でしたが、良い体験が出来ました。1ヶ月健診も、受診させていただきましたが、予約診にもかかわらず、結構長い時間待たされてしまったことが残念です。生後1ヶ月の子供を連れての通院なので、もう少し待ち時間の改善をしていただきたいと思います。

神戸市 母体搬送 初産婦 34週 経膈分娩
長期の入院に渡り、先生、看護師さん達には本当にお世話になりました。21週での入院、最初はどのような事かと泣いてばかりいました。でも小さな体調の変化にもすぐに対応して下さい、週数を重ねる毎に安心出来る様になりました。目標の34週を超えた事、本当に嬉しく思います。正直申しまして、県立病院はどこか寒々としたイメージがありました。でも入院してみて、スタッフの方達の温かさ、親切さにはびっくりしました。これからはもっと、スタッフ紹介等、どんどんオープンにされたいと思います。我が子達は今日で5ヶ月に入りました。毎日くじけそうになりながらも、こども病院で3ヶ月の入院生活を乗り切った自分を思い出し、自分を励ましながら頑張っております。これからも最の医療機関としてたくさんの看者さんを救ってあげて下さい。最後に、〇〇Dr、〇〇・〇〇・〇〇ナース本当にありがとうございました。

神戸市 新生児搬送 経産婦 38週 経膈分娩
子供の対応をきちんとしてほしい。（上の子に）料理もあまりおいしくない。清潔感があまり感じられない。

神戸市 新生児搬送 初産婦 39週 帝王切開
5～6人の若い研修生を目の前にして、治療されたのが屈辱的だった。

母体搬送 初産婦 34週 帝王切開
私は早期胎盤剥離でこども病院に搬送されました。何が何か分からない私を励ましてくれた上に、すぐく緊急を要する時に私の服とかもやぶらず、しかもこんな事になるとは思わなくてネックレスやピアスなどをつけていたにもか

かわらずにいねいに應對してくれました。出産した後も助産婦さん達が、本当に親切に対応してくれました。又、先生も、すごく一生懸命1つ1つ私の出産後の事を説明してくれました。後から、まわりの人に聞いたら剥離はほとんど子供が助かる可能性は低いと言われてました。一時は、出血がひどく子宮もとるかもしれないと言われてました。子供も助かり子宮も取らなくてよくなり、本当に感謝しています。子供を産んだのがこども病院で良かったです。子供は今、10ヶ月になりました。本当に、本当にありがとうございます。私に子供を持たせてくれた事を感謝しています。最後になりますが、先生方、助産婦さん、すごく大変なお仕事です。体で大事にして下さい。

神戸市 新生児搬送 経産婦 29週 帝王切開
退院後もしっかりとアフターケアがあるので、今現在も眼科に通院中ですが、安心して診てもらってます。ただ1つ、会計の待つ時間が小さい子供がいるとつらいです。会計を早くして欲しいと思います

明石市 母体搬送 経産婦 30週 帝王切開
いきなり運ばれ救急のわりに検査が長く内心「だいじょうぶかな？」と不安でした。でも今思えばそれだけ安全に手術をする為だったと思い感謝しています。手術後四人部屋でへいさ的だった私を食堂やカーテンを開けて前向きに早くなおるようにみちびいてくれたスタッフの方、その時は「少しほっておいて！」と思いましたがあれが大変な身体で入院されている妊婦さん達を応援する手段なのだと感心しました。ほんとにこども病院に運ばれて私も子供も幸せでした。これからも多くの妊婦さん、赤ちゃんをすくって下さい。

神戸市 母体搬送 初産婦 28週 帝王切開
食事の内容を考えられたらいかがでしょうか。味つけも妊婦には濃すぎでは(特に煮物)産科のトイレに手すりがあればよかったと思います。産科の看護師さんたちはみなさん、しんせつで、不安でしかたがなかった時、しんみに話を聞いてくださり、本当に感謝しています。最高の看護師さんたちでした。ありがとうございました。

神戸市 新生児搬送 初産婦 39週 経産婦
通院時、予約をしていたにもかかわらず、診察を受けるのが遅かった。待ち時間が長すぎると子供が疲れてしまうのでもうすこし考えてほしい。予約制ではなく、いっそ来た人順のみにしたほうが良いと思います。(予約が3時だったのに、帰るときは6時を過ぎていたので)予約だと〇時に入れると思ってしまいます。

西宮市 母体搬送 初産婦 28週 帝王切開
突然の入院、初めての手術による出産だったので、とても不安だったので出来れば付いてくれる看護婦さんは何人か決まった人がいてくれる方が安心できたと思います。

川西市 母体搬送 経産婦 37週 経産婦
今まで出会った事がない位、親切な病院でした。今も通院していますが、とても安心してます。とても感謝しています。ただ、やはり病院の空気をすうと、つらかった時

の雰囲気らしみついでいて、嫌な気分になります。でも、それは例えどこの病院でも同じだと思います。できるだけ明るい雰囲気であれば少しは気持ちが楽になると思います。

神戸市 母体搬送 経産婦 26週 帝王切開
・点滴をすることが多いのですが、かなり痛かったです。採血も。失敗も多かった気がします。前医では必ずDrがされてました。苦痛なので技術の向上をお願いします。・NICU・GCU合わせて3ヶ月半ほど子どもは入院しお世話になりました。退院後3人目ですがとても不安でした。地域の保健婦さんの訪問もありましたが、できればGCUの時の担当Nsに退院後1週間くらいまでに訪問してほしいです。(DrではダメでNsです)オーバーワークだとは思いますが、入院中の様子わかるのは病院のNsだけです。毎日のように面会は行きますが、日中のかぎられた時間だけなので24時間小さい子を見るということは大変不安です。24時間の様子を知っている方に色々を相談したかったです。電話も何度かしましたが、その都度相手が変わりますし、名前と顔も一致しないし。病院のシステム上大変だとは思いますが、ぜひ実現させてほしいと思います。(長期入院児、ハイリスク児、だけで良いと思います)

他府県 母体搬送 初産婦 31週 帝王切開
・24時間の点滴やモニター、終日安静状態であったため、やはりテレビ(カード式でも)があると退屈しないし、世の中の動きも知ることが出来、いいと思います。また簡単な冷蔵庫もあれば尚、快適な入院生活が送れると思います。ベッドサイドにある電話がある病院に入院したことがありますが、公立病院ではなかなか難しい注文だと思います。・夕食時間がもう一時間遅いと夜の時間が長く感じられないのではと思います。

母体搬送 初産婦 39週 帝王切開
私は約3ヶ月入院しました。最初は2週間ぐらいの予定でしたが、どんどん長びき、けっきょく出産までになり、たくさんの人達を病室で見送りました。周りが次々出産していくと、不安はつのるばかり。日に日に気もめいり、出産する喜びとか、子供に会える幸せな気持ちとかまったく何もなくなり、笑顔で退院していく方々に言葉をかける事も出来なくなっていました。申し訳ないですが、二度と近よりたくなかったし、思い出したくもなかったので、退院が近づくにつれそんな態度も出ていたと思います。先生やナースの方々には本当にお世話になり、いろんな声をかけて頂いたのに、すなおに聞くことも出来なくて精神的にまいってたとはいえ、大変申し訳ないと思っています。出産後すぐに新生児室にはこぼれ、心配はしましたが、すぐに病気も発見でき、今も治療中ですが、私にとってこども病院で出産出来た事は良かったんだと今では思えます。ただ、自宅に帰ってみると、周りからは、ハイリスクでの出産→どこが悪い!何かある!と病院名を言っただけで、想像がふくらんでるような顔で話をされ、イヤな思いをすることがあります。それでは遅い事もあるんだとは思いますが、近く普通の病院で、普通に産み、子供に何かあれば、こども病院を紹介してもらい、そんな出産がいいなあと思います。

篠山市 母体搬送 初産婦 帝王切開
入院中は何もなかったのに、とりあえずヒマでした。テレビとかがあってもいいんじゃないかなあと思いました。

神戸市 母体搬送 初産婦 38週 経膈分娩
こども病院へ転院になるということは、緊急事態なので仕方がないにしろ、その中でももう少し妊婦に対しても配慮が欲しい。急の入院で、両親がかけつけた病室で、子宮口を広げる具体的な措置方法をドクターがされたが、退室を促すなどして欲しかった。(特に父親に聞かせたくなかったので) 分娩後の措置が長びき、寒さで震えが止まらなかった。電気毛布など何か対応を考えていただきたい。新生児にとっては、完璧な医療体制で申し分ないが、誘発剤で無理やり産まざるをえなかった妊産婦は置きざりにされたような虚しさを覚える。うれしかったことは、退院後、ミルクをあまり飲まず不安で電話をかけた時、入院時の子供のカルテを見ながら、又、いつでも電話して下さいという言葉は、何より心強く感謝したい。その後、子供はすくすく健康に育っています。

明石市 新生児搬送 初産婦 37週 経膈分娩
24時間体制で、子供の容態をていねいにみてくださって本当に感謝しています。出産翌日に子供とはなればなれになりとてもさみしい思いをしましたが、「こども病院なら大丈夫よ」と看護師さんらにはげまされ、お互い退院するまでなんとか無事にがんばれました。現在は東京都に住んでいるため今後の通院はむずかしいですが、このような施設が我が家の近くにもできることを望みます。

西宮市 母体搬送 初産婦 27週 帝王切開
私は〇〇病院の産婦人科にかかっており、通常の検診日にたまたま異常が見つかり、その足で主人の車でこども病院へ行き、その日の夕方に出産しました。当然、先生や看ご士さんともその日に初めてお会いするので不安と、自分のおかれた状況がよくわからず、目を開けて起きているのも不安で、できれば逃げ出したい気持ちでいっぱいでした。赤ちゃんが小さいという事はわかっていましたが、体重を聞いたのも、面会に行けたのも2日後でした。すぐに面会に行けない気持ちをわかってもらっていたのか、その間は皆さんにそっとしてもらっていたのが今になってわかります。周産期医療そのものの存在をはじめて知りましたのでNICUで始めて娘を見た時の気持ちは「複雑」でした。皆様のお陰で娘は3才になり、元気で保育所へ行っています。只、入院したその当日、不安でつぶれていた心に、今後の赤ちゃんの事や私の今の状況を説明して下さいの心理士のような方がいれば赤ちゃんへの面会も早くに行けたのではないかと思います。その時の担当の看護師さんには大変お世話になり、頼ったりもしましたが、その方だけが頼りだったのも不安の1つでした。しかしながら私共親子を助けて頂いた先生方、看護師さんの事は忘れませんし、感謝しており、今後、同じような経験をされる方に何か手助けしてあげたいと思っています。

小野市 新生児搬送 初産婦 35週 帝王切開
退院児2110gで退院直前まで保育器に入っていて、体温調節が出来ない状態で帰って来ましたので、1週間程は体

温を計りながら下ればアンカを入れ、上ればアンカを出すというハラハラした生活でした。3才になった今は、3才児の中では身長も体重も大きい方で、生れた時が小さかったとは思えない元気者です。冬の間は気管が弱い為に2~3ヶ月はホクナリンテープを手放せませんが、大きな病気をすることなく成長しています。娘が入院中、私は〇〇病院に入院していましたので、娘の様子は主人が撮ってくるビデオで知っているだけで、お世話になった看護師の方々、先生達にごあいさつが出来なかったことが心残りです。今は親子3人で時々、入院時のビデオをみています。本当にありがとうございました。

揖保郡 新生児搬送 経産婦 41週 経膈分娩
H15.1.6に生れた女の子が3月からお世話になりました。新生児の病棟に入院しました。白内障の手術を受けることになり、手術をする時もその後も、ていねいにせつめいしていただき、病気に関するいろいろなアドバイスをしていただきました。その時は、腹を立てておこっていたりとしていたことも、H15.11.4に亡くなったあと、その言葉があったおかげで、自分が強くなっていき、わが子を手厚くかんごしていたことがわかりました。亡くなった時は、おち込みもしましたが、おねえちゃん達のために、がんばっています。病院での生活から、1日でもおうちに…といわれ、連れて帰れたことも、先生の言葉があったからできました。娘が亡くなってから、家ですごせた日の事がとてもよい思い出になりました。今となっては、感謝でいっぱいです。ハイリスクの方など、いろいろといそがしく大変だと思いますが、1人でも多くの方に、アドバイスをして勇気をあげてください。私にしてもらったように…体に気をつけて、みんなのために頑張ってください。これからも安心してきる病院でいて下さい。

西宮市 新生児搬送 初産婦 32週 経膈分娩
こども病院のスタッフの方は皆さん親切で、よくしてくださったので、とても感謝しています。うちの子は少し小さく産まれたけれど、とても元気だったので、4ヶ月検診でこども病院卒業…とのことでしたが、もうすぐ1歳、1歳検診を受けたいな…と思ったりもします。よくしてくださった、看護師さん、先生とも覚えておられないかもしれないけど、大きくなった子供の姿を見せたいなとも思いますがなかなか機会がなくて残念です。

神戸市 母体搬送 経産婦 38週 経膈分娩
私の場合、赤ちゃんを出産してから、検査をしてみないと何とも言えないという状態でした。結果的に何の異常もなかったので安心しました。今もすくすくと育っています。出産の時も、入院中も、助産婦さんやナースの皆さんが、とても落ち付いて対応して下さい、安心して過ごすことができました。本当にありがとうございました。

西宮市 母体搬送 初産婦 16週 経膈分娩
初めて授かった子供を亡くしてしまったショックと悲しみで、入院中はずっと泣いて過ごしていました。自宅からも遠く、何度か通った病院への道のりは、とても遠く、重苦しかった印象です。けれど、先生方や看護師の方々には本当に良くしていただき、感謝しております。幸い、現在

新たな命を授かり、妊娠30週、順調に経過しています。退院時には、次の妊娠まで1年以上あけるように言われましたが、医学的にはそれが正しくても気持ち的にはそんなに待てませんでした。妊娠＝元気な赤ちゃんが生まれてくるもの、という思いしかありませんでしたが、院内でこども病棟に迷い込んでしまったこともあり、健康であるということがいかに貴重なものであるか、その他様々なことを考えるきっかけになりました。今はお腹の子が元気に生まれてくることを祈りながら、楽しみに待っています。今後とも皆様の益々のご活躍をお祈りしております。

美囊郡 母体搬送 初産婦 34週 帝王切開

何度も流産や死産、不妊症で心身ともにへとへとになった上にやっとの妊娠がまた切迫早産で危険な状態で、このこども病院さんに運ばれてきた時、先生の優秀なお力、おちつきさ、今までにない医学を見せて頂き、こんなに偉大な方がおられたのかとびっくりしました。また、看護師さんや助産婦さんもレベルが高く、いろんな知識を教えてください、とにかく医学面で特に優れた病院だと思いました。

神戸市 新生児搬送 初産婦 39週 経膈分娩

初めての出産で、子供が入院することになり、とても複雑な思いでした。しかし、こども病院の看護師の方はとても親切にして下さり、心強かったです。出産した病院よりも新生児の扱い方をよく教えて下さり、この病院で出産できたら良かったのに、と思いました。〇〇病院から搬送されたものの、子供の退院日や経過の様子は〇〇病院のDrに尋ねても「直接、お父さんとこども病院とで連絡してもらわないと、こちらでは分からない。」と言われ、やきもきしたのを思い出します。その子も3才になります。今まではよく病気もしていましたが、近頃はめっきり元気です。夜間救急を走り回ったこともあります。小児医療の充実、特に夜間救急をもっと充実させて欲しいと心から祈るばかりです。

神戸市 母体搬送 初産婦 23週 経膈分娩

23週4日目で双子を出産しました。不安でいっぱいでしたが、先生、看護スタッフの方々に恵まれ、無事出産することができました。感謝の気持ちでいっぱいです。又、子供がNICU、GCUに入院中もよくして頂き、心より感謝しております。本当にありがとうございました。

神戸市 新生児搬送 初産婦 40週 帝王切開

子供がこども病院に搬送されたのは生後2日目で私もまだ別の病院に入院中で、様子を見に行けなかったのは悲しかったのですが、こども病院の評判は良かったので、あまり不安にはなりません。又、先生の説明も分かりやすく、看護師の方もみなさんいい人ばかりだったと思います。ありがとうございました。そしてこれからも小さな命のために頑張って下さい。

神戸市 新生児搬送 経産婦 36週 帝王切開

うちの子は幸い軽い症状で、早く退院できましたが、こども病院の先生方のていねいな対応には驚いたし、感謝もいたしました。面談ではくわしく症状を説明して下さいました。退院後、3ヶ月検診でもう完全にOKをもらったの

ですが、こども病院の先生に「もう大丈夫！」と言われた時は、本当に安心することができました。ありがとうございました。

神戸市 母体搬送 初産婦 40週 帝王切開

前回の出産では大変お世話になりありがとうございました。前回の出産の状況をよくわかっておられる先生に次の出産もみていただきたいです。こども病院は先生の入れ変わりが早いと聞いたことがあるので、次の出産の時、こども病院を紹介していただけたとしても同じ先生が残っておられるとはかぎらないので不安です。

神戸市 母体搬送 初産婦 38週 帝王切開

私の場合 赤ちゃんはとても残念な結果となってしまいました。でも 先生方をはじめ、看護師さんには 本当によくしていただいて心から感謝しています。ありがとうございました。大変なお仕事だと思いますが これからも妊婦1人1人の気持ちになって ケアして頂けたらと思います。

姫路市 新生児搬送 初産婦 40週 経膈分娩

最近、医療や病院について、厳しいニュース等が多い中、初めてこども病院に赤ちゃんが運ばれ、気も落ちつかない中、先生や看護師の方々の心あたたかな接し方にすぐわれました。周囲に心配かけないと思っていましたが気がはりつめていた糸がきれ、看護師の方々の前でだけ涙をながす事ができました。こんな病院があるんだと信頼していれば安心を思っていました。病院側から見れば同じ事のくり返しかもしれませんが患者はみな初めてです。この安心感をこれからの方々にも味わってもらえる様、最新の心あたたかな治療を続けていって下さい。私の友人の子で、奈良の方でリスクをせおって生れてきたかわいい眠り姫がいます。もし近くにこども病院があればどうなっていたか…と考える事があります。こどもの先生は足りないと思います、これからは大切な子供達の為、先生や病院が充実していくことを心から祈ります。

尼崎市 母体搬送 初産婦 32週 帝王切開

・ベビーカーと一緒に入れるトイレが少ない様に思います。・子供が採血している時に、その先生はPHSの電話に出ていました。まだ4ヶ月の小さい赤ちゃんのウデをギュッとにぎったままで、その後アザになってしまいました。子供の事だからすぐに消えると思ったので何も言わなかったけれど、信じられない事です。・〇〇科の〇〇先生に「お母さん、ちゃんと人の話を理解して貰わないとこまりますよ」とバカにした様な口調で言われた。先生の言っている意味がよく分からず、確認の為に聞き直した時に言われた。しかも難聴なのに「特別な(中耳炎など)時以外は来なくて良い」と言われたので病院を変えました。今だにどういう意味か分かりませんが、無責任な先生だと思いました。こども病院にふさわしくない先生だと思いました。・食事をする場所がせまい様に思います。又、その様な場所に洗面台があるとすぐに手を洗う事が出来ると思います。

加東郡 母体搬送 初産婦 33週 帝王切開

リスクを伴った思いがけない出産で、とても不安でした。

そんな時、心あたたまご対応をいただき、本当に有難く思いました。また、この辺りでは、最新の医療で医療技術も確かな事より、今後の出産にあたって、できればこども病院でお世話になりたく思います。しかし、リスクのある妊娠はもうこりごりなのですが…。また、1230gという小さな赤ちゃんを無事に元気で退院できるまでお世話して頂いた事を深く感謝致します。はじめての出産が大きな不安を持ちながらの体験となってしまったため、今後の出産がかなりこわいですが…。今後も患者さんが満足できるような医療技術と、先生、看護師さん方々のケアを期待いたします。

川西市 母体搬送 経産婦 36週 帝王切開

こども病院での最初の出産は次女が水頭症であったためでした。前の病院でお腹の子の病気がわかってから、毎日泣きくらしていました。出産の前検査を兼て4日程まえから入院してたのですが、まだ産まれてもいないお腹の子の将来を思い、やはり泣いてばかりでした。そんな不安定な私を見かねて一人の看護婦さんが、私の気が落ちつくまで、ずっとそばにいて話を聞いてくださった事を今でも忘れられません。ちょうどその頃、同じようにトラブルを抱えた赤ちゃんを出産したお母さん達も何人かいて「つらいのは私だけじゃないんだ」と思えずいぶん心が楽になりました。その時、知り合った方々と今でも連絡をとり、お互いはげましあって障害を持つ子の親同志 心の支えになっています。もしあの出産が普通の市民病院なんかだったら、あんなにすぐ前向きな気持ちに戻れたかどうか…。本当にこども病院で出産できてよかったです。ありがとうございます。一つ気になる点が…、夜間や休日の電話うけつけのおじさんの対応が「カチン」とくる事がありました。子供の異変に動揺してすがる思いで電話をしてきている親の気持ちを理解してくれる方にでもらいたいと思います。あと、ファミリーハウス、もっと部屋数増やして欲しいです。「さいたいけつ」を保存利用してほしいと思っただけですが、結局無理だったのが残念でした。あ、でもケンキュウにつかわれたのかな？

尼崎市 母体搬送 経産婦 27週 帝王切開

その節は大変お世話になりました。救急で運ばれたのに親切に対応して下さい大変心強く落ち着いて出産できました。出産してからもおっぱいマッサージでは毎回しっかりマッサージして下さい1人目のときよりもたくさん出たので感謝しています。子供も916gで生まれているいろいろハードルを乗り越えて今はぶくぶくと肉もついて4kgぐらいに成長して、毎日2人の子供をみながら幸せを感じています。入院中に気になった事は1人の看護婦さんから未熟児の事に関して「5~6才になるまではしょっちゅう入院やらで大変よ」って言われて、先生に聞いてもそこまで、神経しつにならなくても良いって言われました。看護婦さんにはもう少し、言葉を考えて言って欲しかったです。〇〇〇子

伊丹市 新生児搬送 初産婦 39週 経膈分娩

子供は満1歳をすぎ、まだまだオベが必要なものもありますが日々、彼なりに元気に過ごしています。これも、こども病院での救急治療があったからだ、感謝しています。が、私の子供は貴院でたくさんの科にお世話になり、今後

も生涯にわたり障害が残るため、これからもたくさんの科にお世話にならなければなりません、各々の科の先生の話しは分かるのですが、全ての科の先生の話しを含めて、現在どういう状態にあり、今後どうして行けば良いのか、というコーディネートを貴院ではしていただけていません。何度か先生や看護長さんに話し、「〇〇科でします。」と言われましたが、結局、今まで、そのようなことはありませんでした。だから自分の力で地元の医師を捜し、こども病院-地元の医師-療育施設の道を開きました。本来なら、こども病院がこの道を導いてくれるのではないですか。治療終了時(退院時)にも生まれた病院あての手紙や連絡はありませんでした。地元に戻る道をこども病院はされたいません。また複数科にかかる子供のコーディネートのまひ一つです。

神戸市 新生児搬送 初産婦 38週 経膈分娩

出産後すぐに搬送されたという事もあり、又、初めての出産という事でとても不安な思いをしたが、周産期医療の方の看護士さんはとても親切で私の身体も気づかって下さり、感謝しております。その後、色々な検査の結果、子供が障害児だとわかり我々家族は、とてもショックであった。その後、外来にて頻繁にこども病院に伺ったり、また入院も3度しお世話になった。外来の看護士さん方は、とても対応が良いと思うが、入院の看護士さんには、不公平をいつも感じていた。また、とても忙しく、よくやって下さっているのは分かるが、物を頼んだりすると、嫌そうな顔をしたり、親が子供の面会に行くと、全く見にも来てくれない。子供を預ける親としてはそういった看護士さんの姿を見ると不安だ。改善を望む。

神戸市 新生児搬送 初産婦 41週 帝王切開

GCUでお世話になっている我が子に会いに行った時 GCUの看護婦さんが非常にやさしく接して下さい、心も体も参ってる私にすごく安心させて下さいました。おまけに多分、17:00で交代だったらしいのに、嫌な顔せずサービス残業?で私につきあって下さり感動しました。入院中の我が子に会った帰り、私は別の産院に入院してるので、戻ろうとしたのですが急に歩くのが辛くなり付き添いの者とイスにすわると、業務を終えて私服で帰る看護婦さんにさっと車イスの手配をして助けていただきました。GCU入院中の我が子の説明や退院後の健診で男の先生の説明も丁寧で話しやすくすごくよかったです。つい先生とお話するのは聞きたいこと聞きにくかったり早くきり上げようとするイメージがあるのですが、こども病院の先生はちがって安心しました。さすがこども病院はスタッフのレベルが他とちがうな-なんて、友人、家族と失礼ながら感心して話してた程です。本当にありがとうございます。

神戸市 母体搬送 初産婦 30週 帝王切開

入院中はたくさんのスタッフの方々にワガママを言い、出産後は母乳のケアなどを色々おそわり、私と同じ時に出産された人と話をすると、そこまでしてもらっていないなどの話しをよく耳にします。子供は未熟児でしたが、今では元気に良い事も悪い事も色々しています。まだまだ、スタッフの方も勉強していく所はあるとは思いますが、私はものすごく良い思い出として心の中にいつまでもありま

す。

神戸市 新生児搬送 初産婦 41週 経膈分娩
昨年の9月に無事カテーテル検査で治療も済ませ、今年は年1回の定期検診になりました。担当の先生も、カテーテルの治療をしてくれた先生も、とても親切で、ていねいな説明をしてくれたので安心できました。子供の入院中も、看護師さんがよくしてくれて、安心してまかせられました。1つ迷った事が、子供の1ヶ月検診の時、〇〇病院からどちらの病院でも受けられるときいたので、子供だけ、こども病院で診てもらおうと思ったのですが受付では検診はできませんと言われ、私の1ヶ月検診と一緒に〇〇病院で、急きょむりを言って診てもらいました。〇〇病院の先生にあとでこども病院に連絡してきてもらったら、1ヶ月検診しますといわれました。その後も子供の様子で分からない事があり、こども病院に連絡しましたが担当の先生が不在で、他の先生にきいた所、「そういう事は、他の病院で」と、対応が悪かったです。初めの子供で分からない事ばかりで、この症状はどちらの病院に行けばいいのかという事に悩みました。担当の先生はどんな事でも相談して下さいと言ってくれました。担当でない先生でももう少し、親切な対応してくれればと思います。

神戸市 新生児搬送 経産婦 経膈分娩
・交通の便があまり良くないと思います。・体調の悪い方は自分では行けないと思います。・会計の待ち時間が長く感じます。・私の子供は仮死出産で生まれましたので先生が一応子供病院に入院(子供のみ)して様子を看ましようと言って下さって受け入れ体制が整っていてとても安心しました。3日後退院し、母子一緒の病院生活にもどり私は高血圧症で1ヶ月ほど入院しましたが、現在子供は4才になり本当にうその様に元気な子に育っています。本当にありがとうございました。

神戸市 新生児搬送 初産婦 37週 経膈分娩
子供が生まれて、すぐに責センターに搬送されてしまいましたので、出産直後の私は不安がいっぱいでしたが、GUのスタッフの皆様のおかげで、何とかその気持ちも静めることができました。子供のケアだけでなく、私の方のケアもしていただけて、感謝しております。現在では、子供の手術も終わり、術後の経過も安定しているので、ひとまずはほっとしておりますが、これからも、気長に経過を追っていきたくと思っています。まだまだ、お世話になることになりましたが、よろしく願い致します。

西宮市 母体搬送 初産婦 37週 帝王切開
妊娠中は胎児の異常がわかってからというもの、検診に行くたび、胎児の様子を聞き、泣く毎日を過ごし、産後も泣く事が多い中、入院中に精神科の先生にメンタルケアをして頂いた時は心が救われました。産前の通院中にも、メンタルケアをしていただきありがとうございました。妊婦の希望があれば、精神科のドクターや助産婦さんと相談ができる時間や場があれば良いと思います。通院・入院中は誠にお世話になりありがとうございました。出産した娘達は天使となってしまいましたが、機会があればまた、お世話になり、今度は元気な赤ちゃんをと思っております。今

後の病院のさらなるご発展をお祈り申し上げます。

明石市 新生児搬送 経産婦 40週 経膈分娩
うちの場合2人亡くしています。2人共、同じ病院で…一番下の子に関して、司法解剖し、細胞を取り出し〇〇大学へ研究の為、送られているはずですが結果が出れば知らせてくれるとの約束だったのに3年も立っても何の音沙汰もありません。解かるのか解からないのかの返事ありません。中プラリン状態です。そういった意味でもアフターフォローが出来る場がもうけられれば…と思います。病院内外で相談機関を充実させてほしい。(こども病院と連携して…)

神戸市 母体搬送 初産婦 36週 経膈分娩
1人目の出産は、いきなりの転院で迷うことも多く、落ち着きませんでした。ドクターをはじめ、婦長さま、ナース、スタッフの方々にフォローして頂き、私のお産にドラマがあり、苦しいつらい思いよりあたたかく励まされて、小さい我が子をたった10日間の入院で退院して、その後もトラブルなしに元気に育っています。感謝しております。2人目の出産は4年後となりますが、その間に2度の流産も当院のお世話になり、本当にスタッフの方々には並々ならぬ、お世話をして頂きました。「小さい子を大きくするの、もう分かっているやろ」と、2人目は心配もなく育てております。2人の我が子は、元気に大きくなりました。

明石市 母体搬送 経産婦 40週 帝王切開
出産の際には大変お世話になりました。ありがとうございました。第2子をこちらで出産したので、特に感じたと思うのですが、待ち時間が長いのがつらかったです。特によかったのは、麻酔はよくきくのに、きれたあともつらくなかったのが、とても楽でした。

神戸市 母体搬送 経産婦 35週 帝王切開
2人の我が子の出産にこども病院周産期センターにお世話になりました。1688gと1788gの4つ違いの姉妹は、大きくなりました。「小さくても元気やから心配ないよ」といわれたドクターの言葉を心に育児を頑張りました。1人目の時は「小さいね」の言葉にストレスもかかえましたが、2人目は気にもならず、必死でした。私が退院してから、面会時間も早い時間から出来るようになったと聞きました。トラブル→こども病院ではなく、私は、安心→こども病院であって欲しいと思います。スタッフの方々のフォローには大変感謝しております。これからもご尽力の程、お願い致します。

神戸市 新生児搬送 初産婦 38週 経膈分娩
入院中は大変お世話になり、ありがとうございました。改めてお礼を…と思いながら、日々の育児に追われている現在で、申し分けありません。改めてお礼申し上げます。幸い、入院した子供は元気にすくすく育てております。入院の際には担当の看護師さんより毎日の様子をきかせて頂け、面会に行った時には椅子を用意してくださるなど、とても細やかに配慮してもらい、感謝の気持ちで一杯でした。何より多くのコミュニケーションをとっていただけ、とても満足しています。今、現在もなお、子供が何かしら病気

をすると、紹介制でなく普通受診が出来れば良いのに…と
思ってしまうほど、やはり、子を持つ親としての頼り所で
はないでしょうか…。お忙しい毎日とは存じますが今後と
もなお一層の発展期待しております。開設10周年おめでと
うございました。

神戸市 新生児搬送 初産婦 38週 経膈分娩

生後、2日目でこども病院に運ばれ、検査だけ終わった
らすぐ帰る事が出来ると思っていたのに、手術が必要と分
かり目の前が真っ暗になりました。あの日から1年3ヶ月、
おかげさまで息子は元気に成長し、検診も半年ごとになり
ました。息子の入院中は病状が気になり、会いに行ったり、
お電話で伺ったりの毎日でしたが、皆さんがきちんと対応
して下さい、本当に元気づけられました。本当に感謝して
います。病院に対しての不満等は特になのですが、1つ
挙げるとすれば、夜中救急で伺わなければいけない時の事
です。息子も何度か高熱等でお世話になっているのですが、
結局“かぜ”と診断されお薬を頂いて帰り、「こんな軽い
事で行ってはいけなかったのか」と思うのです。(そのよ
うな事もおっしゃられたので)初めての子という事もあり、
不安になる事もしばしばです。受診してはじめて“軽い病
気”と気付く訳ですからその辺りの事をご理解頂けたらな
と思います。

神戸市 新生児搬送 経産婦 39週 経膈分娩

まだ自分自身は入院中で 別の病院に連れて行かれ 最
初はびっくりもするし 不安と心配でいっぱいでしたが
とても丁寧な説明を受けて帰った旦那さまの話により一安
心した思いがありました。退院後に面談に行った時もこの
先生にならおまかせ出来ると思いましたが 看護師の方々
もいろいろ教えて下さり 心強くありました。本当に感謝
しております。今はもう1才2ヶ月となりそちらにお世話
になったことがウソのようにもりもりと食べ 元気に育っ
ております。

神戸市 新生児搬送 経産婦

今回、お世話になった時は、とても大変で、複雑な中
での出産で、未熟児でお世話になった次第でした。スタッ
フの皆様には、本当に感謝していますが、もっとカウンセ
リングが充分であれば、もっと安心し、出産、育児ができ
ると思います。時には常識をとおりにした出産もあるのを分
かってほしいです。人に話す事によってそれは解決できる
からです。

神戸市 母体搬送 初産婦 40週 経膈分娩

冬場だったせいか、とても空気が乾燥していて、喉が痛
みました。室温は快適でしたが、湿度にも気をくばって
もらえたら、もっと快適に過ごせたと思います。通院、入院
中は大変お世話になりました。おかげ様で母子共に元気に
過ごしております。どうもありがとうございました。

津名郡 母体搬送 初産婦 37週 帝王切開

一人目の出産時に妊娠中毒症になり緊急搬送後、緊急帝
王切開で、その時は不安なまま出産、自分の体の状態もよ
く理解できないまま、子どものうぶ声を聞きましたが、ス
タッフの皆様のあたたかい心づかいや新生児科での子ども

のケアに安心して入院期間を過ごすことができました。そ
の時はもう一度、周産期センターで出産することになると
も思わず退院しました。そして昨年、前回の時を反省し、
注意していたにもかかわらず、又同じ中毒症に、そして、
今度はまだ32週という段階での出産。私自身の体よりも、
そんな早期での出産、超低体重児の我が子 精神的な面
でもつらく、自分を責めて沈みがちになる気持ちをスタッ
フの皆さんに助けていただきました。その後、2人とも、
元気に成長する姿をみるたびに、皆様スタッフに心より感
謝しています。これからも私のような妊産婦及び子供達を
より多くすくっていただきますようお願いいたします。

〇〇〇子

芦屋市 新生児搬送 初産婦 37週 経膈分娩

産んですぐに子供だけ、こども病院に運ばれて行き、何
が何だかわからず、不安だった時、GCUに電話をかけ、泣
きながら子供の様子を聞いたのをよく覚えています。看護
士さんが親切に現況をおしえて下さって親身になって話を
聞いて下さったので安心して、産後の体を休める事ができ
ました。退院後も育児の中で困ったことがあった時、24時
間いつでも電話でお世話になることができ、本当に心強
かったです。ありがとうございました。 〇〇〇子

加古川市 新生児搬送 初産婦 30週 帝王切開

こども病院は前々から知っていました。〇〇病院から運
ばれました。少し遠くて不便だと思っていた時に〇〇病院
にもどれると聞き、すごくびっくりしました。おかげさ
まで子供に毎日あうことができるようになりました。人工肛
門閉鎖の手術のとき、〇〇病院まで来ていただきありが
うございました。1度目の予定は体調不良のため、できな
かったのですが、2度目にすることができました。遠いと
ころ本当にありがとうございました。術後はとても良好で
よく食べ、よく動き、非常に元気になりました。青白くて
か細かった頃がうそのようです。最近、寝返りが出来るよ
うになりました。よく声を出すようになりました。点滴4
つもつながれていた子が自分で栄養をとれるようになり
ました。自分の気持ちをよくあらわしています。来月で1才
になります。今でやっと4.8kg、ほかの子と比べてはいけ
ないくらい小さいですが…。本人なりに立派です。心の成
長の方は誰にもまけないくらいしっかりしています。

宝塚市 新生児搬送 初産婦 41週 経膈分娩

息子〇〇が入院の際は、〇〇先生はじめ、スタッフの皆
様の手厚いケアをして頂き本当にありがとうございました。
2度目の入院で私たちのものを離れてしまいました。半
年間家で一緒に過ごせたのは皆様に背中を押して頂けたか
らであり、息子の死を受け入れることが出来たのも、皆様
の温かい励ましのおかげだと思っています。最期の3
ヶ月、助かってほしいと思いながら、明日を信じられるこ
とができない毎日。必死で1日1日を生きてくれた我が子
は母が死を受容できる日を待っていてくれたんだと今でも
思っています。受け入れることができる日まで見守り続け
てくれた皆様への感謝は忘れられません。私は決してよい
母ではありませんでしたが、もしもう1度子供を授かるこ
とが出来たら、もう1度障害のある子を育てたい。我が
子は本当にかげがえのない宝物でした。苦しみを超え、か

けがえのない命を愛おしめられるよう、我が子の誕生を心から喜べる親となれるよう、皆様のお力添えが頂けることを心からお願い申し上げます。同業者として、命の現場に関わることのできる皆様を心からうらやましく思います。もう少し、大人になれば、もう1度皆様に会いたいです。

〇〇〇子

城崎郡 新生児搬送 経産婦 40週 経膈分娩

MRS (+)で遊ぶ部屋は、ベッド内のみでどうしてもテレビの時間が長くなってしまったと思います。気分転換も親子共必要だと思うので、MRS専用のプレイルームがあればなあと思いました。

尼崎市 新生児搬送 初産婦 40週 経膈分娩

「患者」の前に「一人の赤ちゃん」として接して下さったことが嬉しかったです。残念な結果となってしまったのですが、担当の看護師さんとのメールのやりとりで救われることも多くありました。今でも、家に遊びに来てくださり、新しい命の誕生を喜んでくださっています。また、亡くなった我が子のことも大切に思ってくださいているようです。とても感謝しております。

尼崎市 母体搬送 初産婦 31週 帝王切開

入退院の手続きや支払い等が平日のみしか受付けていないので(どこの病院もそうかもしれませんが…)せめて土曜日の午前中だけでもあれば助かるなあと思いました。出産後かなり精神面でまいっていましたが、看護師さん達に話を聞いてもらったり、よく世話を頂き、大変感謝しております。少しでも人と話をしたかったので、看護学校の実習生との交流も私にとっては良い経験になりました。

尼崎市 新生児搬送 経産婦 39週 経膈分娩

子供が入院中はお世話になりました。今ではすっかり元気に大きく育っています。また、7月に健診を受けにいくんですが、外来の待ち時間がすごい長いです。予約をしていても2~3時間待ってるのでスムーズに外来できる様お願いします。

神戸市 新生児搬送 初産婦 40週 経膈分娩

・いつも駐車場がいっぱいなので、できることならもう少し増やしてほしい。・待ち時間が長いので、予約時間の『0:00~』の人を診察しているなど分かるように表示してほしい。・売店を充実させてほしい。(1Fに) 私も息子もこども病院には本当にお世話になりました。他の病院以上に先生や看護婦さんが一生懸命でやさしいので入院中も安心でした。忙しく大変だとは思いますが、お体に気をつけて頑張ってください。

神戸市 新生児搬送 経産婦 40週 経膈分娩

出産後すぐに入院となってしまったため、大変心配しましたが、先生や看護士さん達の対応、医療のありかたにとっても満足でき、安心する事ができました。本当にありがとうございました。

加西市 母体搬送 経産婦 30週 経膈分娩

私は3人目の予定でしたが、退治に異常があり、お世話

になりました。残念ながら、産んでも、生きてくれないほど手遅れで、つらい出産でしたが、先生や看護士さんが、温かく見守ってくださり、入院は少しでしたが、心が落ちつけました。上の2人は何の異常もなく、産まれてきてくれたので、まさかと思うほどでした。帰ってきてからも、何もする気にもなれず、いつしか涙があふれてきては自分をせめたりもしました。でも、上の2人がやさしくしてくれるので、「この子達がいてくれて本当よかった」と思うこともありました。初めての子だったら、もっと落ちこんでいたと思います。いまでも〇〇の顔はよく覚えています。お腹の中に入れてくれただけでも、私はうれしかったです。残念な結果でしたが、当院の〇〇先生、看護師のみなさまに支えられ、私は仕事と子育てがんばっています。これからも当院が発展しますよう、心からお祈りします。お世話になりました。

神戸市 母体搬送 経産婦 40週 経膈分娩

私は4人部屋に入院しておりましたが、私や赤ちゃんに異常が無く、他の3人の方々は切迫流産での入院の方で、とても部屋に居辛い雰囲気でした。私の様に、母子共々元気な場合は、別の部屋に固めてもらえたら、気が楽ではないでしょうか? どうしてもこども病院での出産は、ハイリスクの方だけという気があるので…。

神戸市 母体搬送 初産婦 39週 帝王切開

1人目は死産の為(6:30am)お腹が痛くなってTELしても〇〇産婦人科は9:00amか開診時に来るよう言われた。)2人目の出産できた時には喜びは例え様もなく、幸せでいっぱいでした。1人目の時、子どもを亡くしてから突然涙が出てくるし、2人目を産むまでは、前の恐怖が何度も思い出されました。2回お世話になり、こども病院の助産ケアは本当に心も体も行きとどいていて、感謝しております。看護師さんたちはとても優しく、最初のつらい時にも笑顔でケアして下さり、励まされました。しかし、1人目の時の1ヶ月後の産後の検診の後は、近くの病院で診ていただいと看護師さんに言われ、出血があり心配なので、〇〇産婦人科は嫌だったので別の所へ行きました。赤ちゃんを連れのお母さんを見ると涙があふれてきました。受診時 先生に「こども病院でも良かったんよ。」と言われました。ハイリスクのある妊婦は、産後元気に生まれる人ばかりではないので、しばらくは、こども病院で受け入れていただければと思います。そして、2人目の時、こども病院で初診から受け入れていただき、本当に感謝致しております。2才8ヶ月で元気に育っております。

神戸市 新生児搬送 経産婦 38週 帝王切開

出産して一日置いて、こども病院へ搬送されました。退院してすぐ、その足でこども病院にて赤ちゃんとお対面致しました。赤ちゃんのことを聞き、悲しみと絶望のどん底で自分自身を責め続け、現在もその気持ちは変わりません。先生方や看護士の皆様がたの御尽力もむなしく生後42日で心臓の手術(15時間に及ぶ)亡くなってしまいました。今まで生きて来た中でこれ程悲しい事はありません。待望の息子を失った悲しみは今なお癒える時はありません。赤ちゃんや他の知らない子供さんを見る度、胸がはりさけそうです。テレビを見ていると赤ちゃんを見る度涙がこぼれます。

けれど、誰の前でも泣く事が出来ず、一人の時に泣いてしまいます。けれど手術前から先生方や看護師さん方の優しさを知り、病院へ行っている時だけ、心が落ちつく事が出来ました。息子は5Bに入院しておりましたが、担当の看護師さんが写真や様子をノートにしてくれました。今となっては形見として生涯大切に持つ事でしょう。皆様方には心より感謝しております。もし最初から病院を知っていたら、こども病院で産みたいと思うでしょう。 ○○○子

神戸市 新生児搬送 初産婦 40週 経膈分娩
主人より…夕方、救急で運ばれ、そのまま手術となったのですが、夜中までかかったので、お腹がすいたけど、食べるものが何もなく困った。何か自販機があればなあと思った。

飾磨郡 新生児搬送 経産婦 40週 経膈分娩
幸いヒルシュではなく、すぐに退院できました。数日の入院でしたけど、安心して子供を預けられました。病院の方もすごく親切でした。その後、完璧に病気ではないというまで確実に通院し経過を見ていただけてとても安心できました。ありがとうございました。

神戸市 母体搬送 経産婦 39週 経膈分娩
こども病院を紹介され、出産もこども病院でと言われた時は、もし、自分の子供が何らかのリスクを背負って生まれてきたらどうしようと不安でいっぱいになりました。でも逆にここで出産できる方が安心だし、万一の時もその後のケア面においてはこども病院が一番である事を考え、前向きに出産に臨もうという気持ちになりました。私の場合はすぐに産まなくても自然に陣痛がつくまでとの事で産当日の朝に入院させて頂き、2人目という事もあり、それほど痛みも感じず、3時間弱の所要時間で産できた事をとても嬉しく思っております。心配していた小頭症の疑いも個性の範囲という事で異常は認められず、今現在娘は1才7ヶ月になりますが、とても元気で活発で体はやや小ぶりながらも発達は超順調で歩行も9ヶ月からと早く、何ら問題なく過ごしております。だからとってこども病院で産した事を不に思っておりません。こども病院で産できた事は本当に良かったと思います。自らの希望だけで産できない貴重な病院で産させて頂くことが出来、当時一緒に入院していた方も色々な方がいらっしやって、ここで産出来た事により学んだ事もたくさんありました。娘が大きくなったら、こども病院での出産の出来事をゆっくり話してやりたいと思っています。

神戸市 新生児搬送 初産婦 39週 帝王切開
担当の看護師さんには本当に良くして頂きました。子供の事だけでなく私の不安もとのぞいてもらった気がします。先生の説明も分かりやすく、こども病院で本当に良かったと思いました。設備の面でもそうです。私の場合はこれからはずっとお世話になると思いますが、これからも今のまま、安心して治療をまかせられる様にお願いしたいです。

神戸市 新生児搬送 初産婦 40週 帝王切開
入院の為、病院から来て下さった搬送のスタッフの方はとても丁寧に対応頂き、入院後も毎日状況をお電話でお伺

いする時も親切にお応え頂いたので、安心してお預けできました。お陰様で特に異常もなく現在も健康に過ごしております。ありがとうございました。

明石市 新生児搬送 初産婦 39週 帝王切開
初めてのお産を終え、子供を抱ける事なく、こども病院に搬送され、毎日面会に行き子供と会う。多くの不安の中、新生児病棟の先生、看護婦さん達に力付けられながら、それでも、平成11年に子供を亡くし、こわいこわいとなかなかもう一度子供を産む事ができず、平成15年に妊娠した時は、何の紹介状もなく、自ら突然に受診させていただきましたが、心良く経過を診て頂け、出産もさせて頂く事ができました。全ての事、全ての先生、看護婦さんのおかげさまで、安心して産ができた事、心より感謝し、お礼申し上げます。

西宮市 新生児搬送 初産婦 36週 経膈分娩
・外来の待ち時間を短くしてほしい。・入院中、夜の看護師さんの数の少なさにビックリしました。乳幼児は昼も夜も関係なく泣いたりするので、夜も昼と同数くらいの看護師さんが必要だと思う。昼間は両親が来ているのだから、人数が少なくてもやっていけるのでは？

神戸市 母体搬送 初産婦 36週 経膈分娩
今回の妊娠・入院・出産は、私達夫婦にとってなにかもが初めてで、とっても不安でした。主人と離れて暮らすのも初めてで、その上、いろいろ病気が出ていたこともあり、お腹の子供のこととかでとても心細かったのを憶えています。そんな時、いつも心救われていたのは、ナースの方々の笑顔と先生方の迅速・的確な判断による処方でした。結局産までの入院でしたが、日々の子供の成長と私達に向けられる笑顔ですべて帳消しです。“子供なんていらぬ”と言っていた主人が世界一の親バカになったのもすべて、先生方やナースの方々のお陰です。(私も子供も主人もがんばりましたけどv(´o´)vモチロン!)子供の検診でこども病院へ何度か行きましたが、すべて順調で安心しました。(その都合、入院・通院している子供達が幸せになればいいなと祈らずにはおれませんが。)私達の感謝の気持ちはここには書ききれませんが子供をしっかりと育てていく事だと思っています。本当にありがとうございました。

明石市 母体搬送 経産婦 20週 経膈分娩
私の場合、他院でも入院経験があるのですが、比べものにならないほど、子供病院の方がケアがいきどいていました。ナースの方の対応もよく、とても気持ちよく入院することが出来ました。ただ、妊婦ではなくなった後の診察が1ヶ月検診を最後に診てもらえなくなることが残念です。婦人科や不妊科などがあればこの先、妊娠したとしても安心できると思うのですが…。

神戸市 母体搬送 初産婦 38週 経膈分娩
現在二人目を妊娠中ですが、切迫早産で入院するなど一人目よりトラブル続きです。一人目は子供病院で最初からお世話になりましたが何もトラブルはなく普通に産できました。今回の妊娠こそこちらでお世話になりました。

ですが、紹介状がないとお世話になれないというのがすごく残念です。

西宮市 母体搬送 初産婦 27週 帝王切開

23週で破水して心配と不安でいっぱいの毎日でしたが担当の先生や看護師さんたちのおかげで寝たきりのままなんとか1ヶ月もたせて赤ちゃんの体重を1000g以上にもっていくことができ、現在元気な娘の子育てに奮闘中ですがすべて病院のスタッフの方々のおかげだと大変感謝しています。1ヶ月間がんばれたのは心のこもったケアをしてくれた看護師さんたちのおかげです。先生も毎朝毎夕訪ねてきて下さり、個室だったので本当に心強かったです。生まれてからは危険な状態の時も担当の看護師さんが夜遅くまであいている時間をみつけては相手をしてくれてうれしかったです。新生児科ではあらゆる手をつくして下さり、この病院にたどり着いて本当に助かったという思いでいっぱいでした。それでもつらい未来の不安をかかえた日々をやはり先生と看護師さんに私の心のケアまでしていただいて退院の日を迎えることができました。こども病院さんの強みは最新の設備と共にスタッフの高い志があることのように思います。〇〇病院ではトイレやお風呂があまり清潔でなく、食事もひどかったのでもうつってきた時はあまりにきれいで、食事もちょうどしているのに驚き予算の差なのかと思いました。助けてもらったから良いことばかりをいうと思われるかもしれませんがそうでなくてもきっと感謝できるケアをして頂いたと思います。要望としてはいつでも家族が泊まれるようにしてもらえたらと思いました。不安定な時のみということでも数回主人に泊まってもらうことができましたがそういう時はやはり自分も赤ちゃんの心音もおちつくし動けない場合は特にいて欲しいと思うので症状に応じてあまり制約をつけないようにしてもらえたらと思いました。

神戸市 新生児搬送 経産婦 37週 帝王切開

家族の面会時間が自由にできれば、便利だと思います。外来の時の診察までの時間が長く、呼び出しの時、外のブレイルームにも聞こえるように放送してほしい。と思います。

神戸市 母体搬送 初産婦 32週 経産婦

入院されていた妊婦さんは皆様々な状況(トラブル)であるにもかかわらず明るく過ごされていることに初めはすごく驚きました。私も当初から「安静」といわれるような状況でしたが、他の患者さんや看護師さんがいろいろと相談にのってくれたりしたおかげでくらい気持ちになることもあまりなく最後まで楽しく過ごすことができました。又、1808gで産まれた子供に最初は不安でいっぱいでしたが入院中～退院後までケアして頂いたこともすごく大きな支えでした。初めての出産が大変だったけど、すごく良い思い出となっているのはすべて『こども病院』のおかげなんです。もし次に妊娠することがあればまた『こども病院』がいいなあと思ったことも何度もあります。(やだそれはあまりいいことではないんですけどね) これからも多くの妊婦さんや子供たちの心を助ける病院であって欲しいと思います。

神戸市 母体搬送 初産婦 32週 経産婦

入院中はずっと寝たきりで、2ヶ月食事も排便もベッドの上で辛かったけど、「この病院だったら小さく産んでも大丈夫だから、もうムリしなくていいよ」と言う先生の言葉にずいぶん楽になれた気がします。ただ、2ヶ月も寝たきりだったので足が弱ってしまい、出産退院後にNICUにいる子供に会いに行く事もままならない状態で、帰宅の遅い主人に送ってもらってやっと母乳を届けられるという状況でした。いつも面会ギリギリで看護師さんに注意されていましたが、私は1人で遠出が出来ない状態だったので、主人が帰ってくるまで待つしかなかったで、もう少し理解してもらいたかったです。私達も周りには大病を患っている子供がいる事も理解しているので、夜遅くに面会して騒いだりするつもりはないので、面会時間をもう少しだけでも長くしていただけたら、私達と同じ様な親にはありがたいと思います。昼間に毎日タクシーを使う余裕はないので、電車で行った時にはすごく辛くて、他の通行人の人に介助してもらった事もありました。結局、子供は1ヶ月入院していましたが沐浴や授乳ができたのはほんの数回だったので、いつでもできればもっとよかったです。

明石市 新生児搬送 経産婦 34週 帝王切開

2人目の子供を出産後すぐに救急車でこども病院へ搬送していただきました。産後まだ回復していない身で毎日娘の様子を見にこども病院へ通いました。幸い娘は入院当初からとても元気でしたが早産のショックは大きく娘に申し訳ない気持ちでいっぱいの日々でした。出産した〇〇病院、こども病院共にすばらしい医療スタッフだったと思います。私が生まれてはじめて医療のありがたさを実感した出来事でした。赤ちゃん、子供の健やかな成長は誰もが願ってやまないことです。今後もこども病院には大きな役割を期待しております。

神戸市 母体搬送 初産婦 32週 経産婦

私は早産のため〇〇病院に1ヶ月入院していましたが急に出産となりこども病院での出産となりました。それまで病院の中のことなど(先生、看護師さんとも初対面)ですごく不安がありましたが、先生の“もうがんばらなくていいからね” “次はがんばって赤ちゃん産もうね”と言われてものすごくほっとしたことを思い出しました。〇〇病院に入院中は34週までは自分の気持ちの中ですごくがんばっていたので、ほんとにその言葉で安心して出産することができました。妊娠中、まして入院などではすごく不安になることが多いので、やっぱり先生、看護師さん達との会話はすごく大切だと思います。そして優しい言葉。早産ということもあって子供だけ入院という期間があり、その間の子供の医療はもちろん1日のあったこと(ミルク、トイレ、熱…)を細かく伝えて下さったこともすごく良かったです。32週ですこし早く産まれたけど私自身も子供にとってもすごく安心できました。ありがとうございました。産後すぐお母さんがゆっくり休めるお部屋などがあればうれしいです。お母さんどうしが話せる場所とか……も別にあればいいですね。

神戸市 新生児搬送 経産婦 40週 経産婦

生後まもなくこども病院に搬送された時は、子供に異常

があると思いたいへんショックを受けましたが、その後、いろいろな科に通院ができて良かったと思います。子供の障害は治りませんが、子供専門の病院にかかられるので、適期的とはいえ、受診しているので安心してあります。院内で子供のいろいろな症状に応じた教室があれば、なお嬉しく思います。

神戸市 母体搬送 初産婦 27週 帝王切開

自宅から近く大きい病院なのでかかりたいなと思っても紹介型なのでかかりにくい。以前代謝内科で検査結果を聞くために2時間以上待ちました。待たなくてよいシステムを考えてほしい。

神戸市 母体搬送 初産婦 24週 経膈分娩

最寄りの駅から妊産婦・乳児をもつ人専用のバスなどがあればと思います。市バスは混雑しているときもあるので。

明石市 新生児搬送 経産婦 33週 経膈分娩

NICUに子供が入院していた時、窓ごしに家族の者（親戚など）が面会に来てくれたのですが面会のできる通路が室外で天気の悪い時だったのでとても大変そうでした。他の病院は退院の日を自分で決めることはできないのでその点は家の都合とあわせられてよかったです。私の場合は早産で子供が標準より小さめという以外異常はなく他の入院している赤ちゃんの中ではましな方だったのでなんとなくほっとしましたが、もし自分の子供が他の子よりひどかったら感情的に落ち込んだと思います。もし正常な赤ちゃんを多く受け入れたら大変な子を持ってしまった方が落ち込むかもしれないと思います。今まで通り紹介型であった方がいいと思います。GCUの中はお母さんの体内にいるようにのんびりとしてあたたかい感じでした。子供がこども病院に入院できてよかったと思います。私自身にとってもよい経験ができたと思います。本当によくしていただいてありがとうございました。PS標準より小さく産まれた息子は今2才3ヶ月で14kg94cmあり標準より大きく育ちました。日々育児を楽しんでいます。子供は本当に大切な宝物だと思います。

氷上郡 母体搬送 経産婦 38週 帝王切開

良かった点、受け持ち体制でしたので、いろいろなケアについてこと細かに説明して頂き丁寧にケアして頂きとてもうれしかったです。我が手に抱けない子供の様子を、面会時間に詳しく説明して頂き、またとても優しく丁寧に子供の世話をして頂き安心しておまかせできました。提案、駐車場が狭く停めにくい→もう少し広くしてほしい。自動販売機を周産期センター内（食堂）にも設置してほしい。精神面でのケアをできる人がいれば良いと思う。（ハイリスク妊娠、胎児の異常などで初診～出産までずっと不安がありました。じっくり聞いて答えてくれる人がいて頂けたらと思いました。）

神戸市 母体搬送 初産婦 30週 経膈分娩

去年の暮れにそちらの病院を紹介して頂きましたが私の赤ちゃんには腎臓機能がなく死産ということになってしまいました。約1ヶ月間通院しお産をさせてもらい大変お世話になりました。現在は少しずつ元気をとり戻しがんばっ

ていますが、まだまだ亡くなった子のことを思い出して悲しくなったり体調をくずしたりしています。もっと自分自身強くなってしっかりしたら次の妊娠を望みたいと思っておりますが、不安や心配でいっぱいです。特に病院選びには困ります。（まだ妊娠もしていませんが……）こども病院の皆様、これからも1人でも多くの元気な赤ちゃんが産まれて来れますようにがんばってください。私も亡くなった赤ちゃんの事は一生忘れずに強く生きていきたいです。そしてまた今度は元気な赤ちゃんに再会したいです。でも元気な赤ちゃんを産めるのか、ちゃんと妊娠できるのか、すごく不安でたまりません……

神戸市 母体搬送 初産婦 37週 帝王切開

先生方をはじめ、皆様に良くして頂き、無事に出産することができ、非常に感謝しています。出産後は産科と新生児科が分かれすぎていて多少不便を感じました。（術後、子供に会いに行くには遠すぎて……）今は育児に追われる日々で懐かしい限りです。

神戸市 新生児搬送 初産婦 39週 経膈分娩

2人目を出産し、2週間後に、こども病院にお世話になりました。1人目の時は新生児室で、2人目は小児内科でしたが、どちらの看護師さんも大変親切、ていねいで、私の不安な気持ちまで、取り除いてもらえ「なんとよい病院だ」と思いました。ただ、会計や事務の方々が不親切で事務的な対応にはおどろきました。たくさんのお患者さんを扱い、お仕事も忙しいこととは思いますが、何気ない言葉使い、応対に病気の子供をかかえた親は憤りを感じる事も多いのです。（親の心はナーバスになっているから）現在は引越して、子供病院までは少々遠いので、なかなか利用することもないと思いますが、私にとっては良い病院だと思います。皆様のご活躍を期待しております。

西宮市 新生児搬送 経産婦 37週 帝王切開

2人の男の子の母親です。1人目の出産が、あまりにも安産で超スピードの分べん時間2時間ということもあり2人目も……と思っていた所思わぬ中毒しょうになり、大変な体験をしました。生後3日目で無呼吸になり、すぐさまこども病院に受け入れて下さり感謝します。1ヶ月検診もこども病院でということだったので安心して成長を見守ることができました。新生児科の先生が「元気に西宮で成長してください」といわれ、今はすくすくと大きな病気もせず元気いっぱいです。有難うございました。

西宮市 新生児搬送 経産婦 38週 経膈分娩

入院が長かったせいもあり（3ヶ月）いろいろと気になることもありました。子どもが人質（ことばが悪いですが）と思うと何も言えないというのが本心でした。もちろんよくして頂いたこと、ありがたかったこともたくさんあるのですが、一般病棟で看護師さん達が色々とお忙しいのはわかるのですが心臓の悪い子なのに泣かされっぱなし、酸素があたっていないのにそのまま、点滴によく入っている空気……etc 治りように悪えいきょうがあるのでは……？という場面が日常的によく見られ、自分の子どもも親がいないときはそうなんだろうと思うとムリをしてでも少しでも長い時間そばにいたいとずっと思っていました。どこの職

場でも勉強熱心になってくると、資料づくり etc 現場の人間が事務仕事が増えて大変になることも多いものなんだろうなとも思いますが、1番大切な記録とりやデータ作成より大切な「目の前の患者の介護」に一番焦点をあててもらいたいです。先生方のわかりやすい説明はどの先生にも大満足です。ありがたいです。循環器、耳鼻科、眼科、心外とお世話になっていますが、どの先生もあたたかくて、いつもこころすくわれます。ありがとうございます。これからも永らくお願いします。

西宮市 母体搬送 初産婦 30週 帝王切開

出産から現在に至るまでお世話になっています。入院していた当時から、子供が入院していた時も、とても良くしていただいた事を思い出します。その後も子供が2度入院し手術したりと何度かお世話になっていて、今も治療に参加させていただいております。主人ともども大変信頼しておりますし、安心してまかせられる病院であると思っています。兵庫県にこのような病院があることは本当に幸いなことです。こどもの病気に関する専門的なアドバイスや治療を受けられるということは、親にとって安心できることです。これからも、子どもや、親のみならず、親のみなさまの為に、発展してお役に立っていただける様、がんばっていただけたらと思います。これからもお世話になることと思いますが、よろしくお願い致します。

神戸市 新生児搬送 経産婦 39週 経膈分娩

私の子供はミルクアレルギーで入院をくりかえしました。3度目の入院でミルクアレルギーがはん明しました。ミルクアレルギーは小さい赤ちゃんには見つかりにくいと先生から説明を受けました。色々な検査をした事でそれは私なりにわかりました。しかし、1回目の入院は新生児室で元気になるまで約10日間入院して、入院中も安心できる対応でした。でも退院後2日目で悪化し再入院。その時には小児病棟で大きな子と一緒に、大きなベッドに転がされているだけ、生後1ヶ月弱の新生児を入院させる場所とは思えませんでした。その時も風邪と診断され3日で退院。しかし退院日に迎えに行くと、まだてんてきもつなげられたままの状態、帰る時にぬかれて帰りました。親としては、てんてきも外して大丈夫になってから退院するのが安心できる状態なのに、こんな不安な退院はありませんでした。案の定、その夜中に悪化、翌日、再々入院。この日程頭に来る事はありませんでした。その地点でやっと原因をつかむまで入院しようと言われました。なぜ初めからそうしてもらえなかったのかいまでも不思議です。もっと重病人はいますが同じ様に対応してもらいたかったです。どんな子どもでも心配は同じです。特に小さい新生児の時期では他の病院では対応してもらえないし、親としても不安でたまりませんでした。どうして、一度退院したら新生児室に再入院できないのですか。あまりにもちがいがすぎて、とても不安でした。あそこまで、カンペキとはぜいたく言いませんが小児病棟と新生児室の間をもうけてもらいたいです。小学生の元気な男の子たちの中で1人小さな赤ちゃんをぽつんと置きざりにして帰るのは不安でたまりませんでした。こども病院という名の病院ですので、そういう不安のある事とは思いませんでした。今以上、更に安心できる病院に発展される事を願います。同じ思いを

される方が少しでも減る様にといい書きました。入院した時、退院後の通院はお世話になり感謝しております。ありがとうございます。

神戸市 母体搬送 初産婦 40週 経膈分娩

第2子を妊娠中に貧血の傾向があり再発の危険性もあるので第1子同様こども病院での出産を希望し、紹介状を持参し産科へ受診した。すると「第1子は無事に母子共健康でしたので今回何かあるとなると母体のほうですので、ここには血液専門の医師が常勤しておりませんので〇〇センターか〇〇病院へ行って下さい。」といわれ〇〇病院は受診しにいったところ血液専門の医師はいましたが産科の医師に「出産時に万が一のことがあっても対応できる医師はいませんよ。」と言われた。紹介されたのに受け入れ先が決まらず、病院をたらい回しにされ不快な思いをした。しかも8カ月の体なのに……。紹介状を書いてくれるのなら、照会先の病院にちゃんと受け入れてくれるのかを確認して欲しかった。ハイリスクな出産に備えられるなら、幅広いリスクを持った母体にも対応できる病院になってほしい。

神戸市 母体搬送 初産婦 28週 帝王切開

2か月間入院して、結局子供は2人共亡くなりましたが、今年の2月に男の子が生まれ、とても幸せにしています。入院中は看護婦さんがとても優しく、うれしかったです。今回もお世話になりましたが、異常がないので受付で断られて残念でした。入院中によくしていただいてありがとうございます。

神戸市 母体搬送 経産婦 39週 経膈分娩

大変お世話になりました。スタッフの方々のあたたかい心づかいのおかげで他の方から見れば少しの時でしたが苦痛が和らぎ楽しくすごさせていただきましました。ありがとうございました。寝たきりの時、洗髪をしていただいたり、体をふいていただいたり（前に入院していた病院では1週間も入浴なし）ぜひ続けていただきたいと思います。子供をつれて病棟に上がって行きたいのですが、お忙しいかなと思いつつも帰ってしまいます。※〇〇先生、生まれてすぐの写真があまりない所写してくださり、送ってくださりありがとうございます。大切にしております。

明石市 母体搬送 初産婦 33週 経膈分娩

産前の入院中、絶対安静のためすべて寝たままで数日すごしました。手あつく看護してくださり、病室の妊婦さんも、お互いの事情を知りつつ、やさしく接しあいますが、はじめは、個室を希望していたのにかないませんでした。こども病院は、里帰り分娩が出来ずに入院している方もあるでしょうから、遠方から実母が来てくれるのに何となくホッと空間もないような気がします。寝たままで便をしたい時に、とりに男姓の見舞があるかも知れません。そのわずかなガマンが出来ると出来ないつらさがあるため、個室に（出産まで）入りたかったことが残念でした。しかし、無事に出産できて子どもが歩くようになるまで検診して頂き、そのうれしさの方が大きいです。

神戸市 新生児搬送 初産婦 39週 経膈分娩

最近テレビで、宮城県のこども病院のことが紹介されて

いるのを見ましたが、とても感銘を受けました。設備面も新しく魅力的でしたが、それ以上に先生方スタッフが白衣を着ていないなど、ソフト面でも共感できる場所が多くありました。経済的な問題もあるかと思いますが参考になさってはいかがですか。子供が入院中のおりに、先生、ナースの方々には、大変お世話になりました。特に担当ナースの方には、産後すぐに子供と別々になってしまいマタニティブルーになってしまった私に親身になって相談に乗ってくれました。とても心強かったです。

篠山市 新生児搬送 初産婦 39週 経膈分娩

新生児病棟の面会時間が短かったのが辛かったです。面会時間を長くしてほしい。赤ちゃんと近くにいられるように、母子入院できたらいいのにな…と思いました。小さい赤ちゃんでも、もっとお母さんとふれられるようにしてほしい。

芦屋市 新生児搬送 初産婦 39週 経膈分娩

病院内でのケイタイ電話の使用が目立ちましたので、その対策を強く要望します。退院時の支払金額が入退院窓口で説明を受けた金額と会計での請求額が違った。新しく受診する科に行く度に、同じ手続きをするのは大変です。予約時間と実際の診さつ時間が違いすぎる。予約時間の意味がわかりません。いつもJRを利用していますが、エレベーターがなく大変困っています。設置していただければ働きかけていただければ大変うれしく思います。どうぞよろしくおねがいします。

芦屋市 母体搬送 初産婦 36週 経膈分娩

1人目出産の際は本当にお世話になりました。2ヶ月の入院生活はできればり返したくない出来事でしたが、行き届いたケアをして頂いてありがたく思っています。こどもHpで改善して頂きたいのは、破水で再入院し、すぐには陣痛がこなかったのですが「お腹の張りが強かった人は微弱陣痛になりやすい」「初産は10時間くらいかかる」etc。看護師さんの固定観念で、結局大部屋で陣痛に耐え、陣痛室に行くこともなく分娩室に入ったのです。初めての出産でサインも見逃しがちです。ナースの方々のサポートを頼りにしているので、気を抜かずをお願いします。それと、土日の夜勤のDrをもうちょっとまともなDrにしてください。何ヶ月もかかりつけのDrと協力して頑張ってきたのに見ず知らずのDrに立ち会われ「早くしろ！」とか「痛いという暇があったらいきめ！」とかデリカシーのない発言をするDrの前では2度と出産したくありません。ぬわれた傷口も後で非常に辛い思いをしました。それと、母乳ケアについてですが、1チームに1人くらい、いわゆる「おっぱいマッサージ」ができる助産師さんがいるといいです。今後の活躍を期待しています。

小野市 母体搬送 経産婦 38週 経膈分娩

入院中先生方とは大変御世話に無事出産できました。ありがとうございました。ナースの質は、玉石混交。助産婦さんは、口先ばかりで特に必要性を感じませんでした。(主治医の先生には勿論大変お世話になりましたが、出産の時お世話になりました○○先生には心より御礼申し上げます。生涯忘れません。有難うございました。)

他府県 母体搬送 初産婦 23週 経膈分娩

入院中(私はすぐ出産しましたが)は婦長さんや看護師さん達に支えられて、優しく接して頂いて本当に感謝しています。こども病院の医療や看護師さん達の治療は本当に素晴らしいと思います。残念ながら2人目は同じく23週で亡くなりましたが、こども病院で出産していたら…っと思うと…。だけどお蔭様で1人目の息子は元気ですぐぐと育って、いま少し反抗期ですが健康です。本当にお世話になりました。本当にありがとうございます。これからどうぞ頑張ってください。

神戸市 母体搬送 初産婦 39週 経膈分娩

医師も看護師も、受付の方もとても親切でした。ただやはり、「こども病院」と言うだけあって、完全に「こども」が中心すぎて、私は自分の気持ちがおいつけませんでした。とくに初めての出産でハイリスク妊産婦とされ、不安は倍増。もっと、親の心のケア的な面を改善して欲しいと思いました。産後についても、妊娠中ずっと診察して頂いた医師が一番理解してくれて、信頼しているのに、子どもが産まれてしまえば診察もうけられない。普通の産院なら、ずっと付きあっていけるのに、出産後には「ポイッ」と見捨てられた様な気がしました。すごくぜい沢な事だとわかってますが、1つの意見として受けとめていただけると嬉しいです。「こども」1番とは言えど「親」あってこそ。(「親」も「こども」もあってこそですが。)もう少し心のケアの面を考えて下さい。☆手術後、息子は元気に育っています。有難うございました。

神戸市 母体搬送 経産婦 28週 経膈分娩

①病院経営に不信感をもっている。同じ内容の書類を何枚も書かせたり、予約制のはずなのに2時間も待たせたり、というのは明らかに経営者の責任。②担当の医師のインフォームドコンセントに不満が残った。こども病院に通わざるを得ない子供が重症、あるいは重篤な病気、病態であるために医師が本当のことを説明することから逃避している。説明責任を回避していると感じた。同情はいらないので、正しい医療を受ける権利が欲しい。③NICUの看護婦さんの一生懸命な姿は心を打たれ頭が下がりました。ありがとうございました。今後ともこの姿勢で子供を救って下さい。

尼崎市 母体搬送 初産婦 35週 経膈分娩

当時一緒に入院していた人たちの中でも話題になっていたのですが、妊娠しているときのナースの方々のケア等は最高に良かったと思います。が、出産後の母体に対する扱いが、厳しい、冷たい。いやな思いをした人もたくさんいました。もちろん、胎児、赤ちゃん、第一ですが、産後のケアもやさしくおねがいします。「産んだら早く出て行って」的な扱いをうけた人もいました。

川辺郡 母体搬送 経産婦 26週 帝王切開

私も子供も入院中はお世話になり、みなさん親切でとてもたすかりました。早産で未熟児でしたが、その後な事もなく元気に大きくなり、とても感謝しています。現在、私は妊娠中で、こんどは双児。リスクが高いといわれ、こんどもできたらこども病院でと思いましたが、通院するには遠くあきらめました。もっと近くにあればよかったの

にと思います。これからもいろいろな子供さん、妊婦さんがいらっしゃると思いますが、ますます周産期医療が発達し、たすかってもらえたらと思います。

西脇市 新生児搬送 経産婦 35週 経膈分娩

考えていたよりも早く退院することができたので体験談もほとんどありません。ひとつあるとすれば2人目が入院だったので、上の子と私の2人で面会に行くと、上の子をあずけるところがなかったように思います。そのため、他に誰かが一緒になければ面会に行くことができなかつたようにおぼえています。通院も終了しているので、今はあるかもしれませんが面会に行った時に子供をあずけられるコーナーがあるといいなと思います。赤ちゃんをこども病院に転院させたこと、とても良かったと思っています。ありがとうございました。

津名郡 新生児搬送 経産婦 38週 帝王切開

看護師の方の対応が良く行きとどいていると思います。病室のテレビが1台しかないので長期入院した時などに子供が退屈して困るので増やしてほしい。

他府県 母体搬送 初産婦 30週 帝王切開

憩いの場が少なかった様に思う。お風呂の使用時間を長くしてほしい。

小野市 新生児搬送 初産婦 37週 帝王切開

こども病院に入院させてもらいホッとしたことを覚えております。そあいて、先生方、GCUのスタッフの皆様のやさしくおだやかに丁寧に接していただいたことが思い出されます。日々、体重が少しづつ増え元気になっていく我が子を愛しく愛しく感じていました。退院時の手形、足形のプレゼントはとてもうれしかったです。本当にどうもありがとうございました。お体に気をつけられて、どうぞお仕事頑張ってください。

神戸市 母体搬送 経産婦 39週 経膈分娩

第2子は異常なく生まれ、母乳室でICUに入っている赤ちゃんのお母さんと一緒に気がひけました。第1子がICUに入っており、その時、直接母乳をあげたり抱っこできない期間がとても悲しかったので、お母さんの気持ちが痛いほどわかります。できれば母乳室を分けたり時間をずらすなどした方がいいのではないのでしょうか？

明石市 母体搬送 初産婦 39週 帝王切開

子供と完全に隔離され、おまけに面会時間が決まっていたので最初は涙があふれて止まりませんでした。母乳は断念したので、「ミルクは飲んでいるのか……順調なのか……」母親の病棟のナースも、赤ちゃんの情報は無い様子なので不安でたまらなかつた。必要以上に赤ちゃんの様子を知りたいと言にくいし……。赤ちゃん病棟にいる間は安心だけど、滅菌状態からいきなり外に出るギャップも赤ちゃんにとってはどうかという不安もありました。病院に居る間とはにかくスキンシップが取れない様に思う。1日も早く退院したかった。(このように赤ちゃんに対する不安は大きかったが、母体の回復には充分すぎる程良くして頂いた。)今後妊娠したら優先的に出産を可能にしてほしい！！

神戸市 母体搬送 初産婦 37週 帝王切開

体験談です。私は一時入院していたのですが、問題がなさそうだったので、通院で診て頂いていた時のことですが、途中で担当の医師がなんのあいさつ等もなく変わってしまいました。ちょうど時期が4月前後の転勤の時、あとで聞けば他の病院に変わられた、とのことだったので、前の担当医はそんなことは一言もいわず、また次の診察の時に新しくお目にかかった医師も「これから私が担当になりました。」といったことも一言もいわず、とても不安になった記憶があります。新しい医師に診て頂いた後に別室でビデオを見た時に看護師さんに事情を聞き、初めて前の担当医の転勤を知りました。さらにその時に、その看護師さんに自分がとても不安を感じている……といったことを訴えましたが、「仕方ないで……」で終わってしまい、前の医師を追いかけて病院を変えようかとさえ思いました。ご一考頂きたいと思います。あと、帝王切開の際、最後に切った所を縫い合わせる方法の選択ができなかつたと思います。その縫う方法、縫ったあとの傷の状態の説明、傷に異常を感じた時の処置等、の説明をしてほしいと思いました。

神戸市 母体搬送 初産婦 28週 帝王切開

776gで生まれた娘ですが、いまではもう同じ年のお友達より大きいくらいです。当時お世話になったこども病院の方々には本当に心から感謝しています。入院中はあまりに急な出産と、とても小さな娘に戸惑い、先生の説明もちゃんと聞けず、面談が恐かったのをとても覚えています。途中涙が止まらなくなり先生に迷惑をかけてしまいました。そんな娘も退院後特別大変なこともなく、すくすくと育っている事を当時の私のように絶望している人に知ってもらいたいと思います。ただ色々なケースがあるのでお役に立てないかもしれませんが、何かお役に立てる事があればいいなと思っています。

明石市 新生児搬送 初産婦 39週 帝王切開

その日の担当の看護師によって、子供の病気の状態の把握の仕方が違う。ケアのやり方も、その人その人で少し違っているのが最初から退院するまで迷うことが多かった。自宅でのケアは私がやらなければならないので必死で覚えようとしているのに、看護師が交代する度に違うことを言われるとどうやっていったらいいのかすごく不安になった。外科手術は絶対に免れないと担当医師から説明を受けていたのに、看護師からは「このままの状態が続いたら手術しなくてもいいかもしれませんね」といわれたり、腸炎で再入院した時は、朝の人は「もう大丈夫」と言ったのに、交代した次の人は「まだまだ治っていない」と言ったり。微温湯であらうことになっているはずなのに、冷たい水で洗う人がいたり、手術当日、子供の足にはめられている名札(?)を見ると、生後月も性別も間違えていた。指摘すると、夜勤明けでうっかりしてましたと笑顔で言われ、手術中心配で心配で涙が止まらなかつた。術後の経過も良く、今では普通の子と同じ生活が出来ているので、担当医には感謝していますが、もう二度と入院させたくないです。先生は信頼しています。

三田市 新生児搬送 経産婦 経膈分娩
「本当にこども病院で良かった!!」の一言です。2002年11月18日、出生と同時に〇〇病院の小児科の先生より「横隔膜ヘルニア」診断され、どのような状態なのかよく理解してないまま、そちらへ搬送され、産後という事で私には何もできる事がなく、ただ明るく「大丈夫!私のこは強いから…」と全面的に、こども病院の先生方を信じている日々でした。私は、医学について無知なのでおまかせするしかありませんでした。その結果、約1ヶ月で退院する事ができ当初は3ヶ月後、6ヶ月後と定期検査と言われていましたが3回目ぐらいの時に「もう心配ない」と言われ、予定より早く回復したので、その後そちらにはお世話になっておりません。そちらのすばやい判断と処置のおかげで、我が息子は、すくすくと成長しております。元気な姿を又、見せにいかせていただきます。本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。〇〇〇子

神戸市 新生児搬送 初産婦 39週 経膈分娩
私は妊娠中の定期検診、出産と個人病院で見てもらいました。定期検診では異常がなく順調に大きくなってると何の不安もありませんでした。自分も他の妊婦さん達と同じ様にお母さんになるんだと当たり前の事のように思っていました。しかし命は当たり前のものではなくとても尊い物だと息子を亡くして初めて知りました。息子は先天性横隔膜ヘルニアでした。妊娠中お腹の中でとても元気に動きまわさかそんな病気だなんて予想もしてませんでした。数千人に1人で起こる確率の病気と聞きました。いままではその1人に自分になってしまうとは考えた事ありませんでした。へその緒から肺呼吸に変わるまで発見は難しく原因もないからと言われても私の妊娠中の過ごし方に問題があったのではないかと自分を責める日々が続きました。もしまた神様から命をお腹に授かる日がきたら私は不安で心配で怖さでいっぱいだと思います。少しでも医療の整った病院で万が一に対応できる病院でこども病院で受診出来る事を希望いたします。また最後まで全力で救おうとしてくださり、皆様の温かいお心で息子を見送って下さり本当にありがとうございました。末筆ながら新生児科〇〇先生、主人を励ましてくださりありがとうございました。

明石市 母体搬送 経産婦 32週 経膈分娩
長男も停留こう丸でopeした事もありその時からこども病院に信頼はとてもありました。ていねいな説明も受け安心して入院生活を送らせる事ができました。まさか次男の時に親子でお世話になるとは思ってもみませんでした。入院した時は不安ばかりで泣いて泣いての毎日でしたが総合病院とは違い同室の方々皆さんが同じ様な思いをしているせいかすごくはげまされました。少しずつ明るい自分を取り戻すことができ安心して出産する事ができました。その後も赤ちゃんも安心して入院し、すくすく育てくれました。スタッフの皆様ののおかげだと思っています。長男の時は母乳が出なくてつらい思いしたのがうそのようにこども病院では次男の時に母乳のみで育てられました。冷凍母乳を毎日持参し、大変だったけれどそれもとても今ではいい思い出です。母乳が出た事は私にとって精神的にケアしていただいたスタッフの皆様のおかげだと思っています。おかげさまで三男がこの3月に誕生しました。母乳のみで

大きく育っています。皆様のおかげです。いろいろお世話になり本当にありがとうございました。

明石市 新生児搬送 経産婦 38週 帝王切開
私の場合子供だけが入院していたのですが仕事の終わった後毎日病院へ行っていました。幸い病状は軽かったのですぐに退院することができたのですが、この間病院のスタッフの方には非常に親切にして頂き感謝しています。

養父市 新生児搬送 初産婦 38週 経膈分娩
NCUを利用していただきましたが下駄箱の臭いが気になりました。せっかく手洗いをし、消毒までしているのにスリッパを使い回すことに抵抗がありました。

神戸市 新生児搬送 初産婦 37週 経膈分娩
面会時間が決まっていたなかなか会う事が出来ずに寂しい思いをしましたが、今思うととても安心でした。1才半まで検診もしてもらったのもとても安心でした。いつでも診察券があれば自由に診てもらえればと思う事もあります。この夏で、生まれた娘も5才になりました。去年とおととしの春にソケイヘルニアの手術(右側、左側)もして頂きましたがその後も元気に毎日幼稚園に通っています。ありがとうございました。

神戸市 母体搬送 初産婦 32週 帝王切開
28週ぐらいまでは前の病院で何も言われなかった。しかし、21週頃体中がかゆくてかきすぎて足首の皮が何本にも縦にはじけた。お腹がつるので受診したら薬が出ただけだった。32週に入ろうかという頃検診に行ったらいきなり今日から入院と言われた。仕事は5日前に退職していたが朝6時からのバイトは電話一本で辞めることになった。定期を買って2日しかたってないのに。そういえば母親学級でも不愉快な思いをしたのだった、この病院は。入院して4日目、午前中に診察を受け2000gにたりないこどもはうちでは出産できないといわれ一駅となりの病院を紹介するからと言われた。一度病室に戻り、看護婦さんに薬は飲まなきゃいけないから昼食を摂る様指示され、その後身支度させられた。この病院の看護婦さんはわりとのんびりしていた。親切な看護婦さんが1人いたが点滴の針をさすのに何度も失敗し最終的に手の甲にさされた。14時ごろだったか近くの病院がいっぱいなので須磨のこども病院に移ってもらいます、そこで予定日まで入院することになるだろうと言われて救急車で移動した。乗り心地はあまりよくなかった。気分はどんどん悪くなって行った。到着して何人もの先生が話しているのを聞いて様子をみるのではなく、手術に向かって話が進行しているので焦った。食事した?と聞かれ食べたと答えたとえーっという顔になった。いわれるままに食事をしたのに泣きたいのはこっちだった。良くここまで頑張ったねという先生にぎりぎりまで放っておかれた前の病院のせいだ、と言いたかった。ここにきて初めてC型肝炎キャリアだと知らされた。踏んだり蹴ったりのこの状態。だんだん不安になってきてとうとう吐いてしまった。後で考えると吐いたのが良かったのかもしれない。かわいそうにと言う先生の声が聞こえた。トントン拍子で進んでいくのを見ていてもうすぐ切られるという実感が出てきて恐ろしくなった。手術室で運ばれて行き、この時なぜかア

イマスクがなくて目を開けない様にと言われたがまぶしさと恐ろしさでとても開けられる状態ではなかった。麻酔の先生が耳元でささやいた。<今から始めます。次に聞いたのは肺が動いた。膨らんだ。呼吸してるの？人工呼吸ってこういうものなのかと体験して始めてわかった。でも管の通っている喉の右側が違和感で痛い。意識がある間はとっても気になるのでこれは早く自分で呼吸しなくてはと頑張った。1日半後やっとそれははずしてもらえた。そして第一声、「今日は何曜日ですか？」と聞いていた。食事は絶対残しては回復がおくれると思い全部食べた。先生にも「重体やったわりに回復がはやいなあ」と言われた。他の先生にも「あなた、命拾いたねえ」と言われた。本当にそう思う。よその病院に行ったらきっとお星様になっていただろう。4年前のことだけれど、今でもくっきりははっきり思い出せる。17日間の入院生活。小学校に上がる頃には追いつくであろうと言われた子供の体も標準枠に入った。あんなに大変だったとは想像できないくらいの成長ぶりだ。小さすぎるのがかわいそうで病院では3枚程しか写真を撮らなかったのに今はそれを後悔している。思い出に撮っておけばよかったと。病院関係者の皆様には大変お世話になりました。

芦屋市 母体搬送 初産婦 31週 帝王切開

こども病院の看護婦さんには、出産にいたるまで、又出産時、出産後と精神的な面でも支えて頂きとても感謝しています。不安でナースコールを鳴らしてもたいした用事ではないけれど立ち上がれないので嫌な顔ひとつせずいつも来てくれました。夜中の搾乳のときは産婦さんの希望時間がそれぞれ違うのにそれぞれ起こしてきてくださりく当時は眠たいので少し忘れてもらっても？よかったような気がした覚えがあります。>だんだんおっぱいも出るように励まして下さったりマッサージして下さりどのスタッフもとてもあたたかいハートの看護婦さんでした。普通のお産ではこども病院をすすめることは出来ないのですが、それが残念でもありますが、こども病院は本当に素晴らしい病院であると思っています。私は2人目もお世話になりました。そんな我が子も普通に成長してこの春小学校1年生になりました。あの不安な緊急時のことはそれでも今も私の心にはつい昨日のこのようですが。これからも素晴らしい病院でいて欲しい。私のような産婦の助けになって頂きたいと思っています。

神戸市 新生児搬送 経産婦 36週 帝王切開

入院中は大変お世話になりました。私の場合は現在子供が元気に育っているので助けていただいたという感謝の気持ちで一杯です。先生方の説明も決して押し付けではなくこちらが理解するまでゆっくりわかりやすくお話していただいた記憶があります。通院が不便な点をのぞけば私達家族にとっては最高の病院だったのだとおもいます。この先子供に何が起るかわかりませんができればお世話にならなくてすむ様日々健康に留意しこどもとともに成長していただきたいと考えています。

神戸市 母体搬送 経産婦 39週 経膈分娩

通ってきた病院から「週産期センターへすぐに行きなさい」と言われて不安いっぱい泣きながらセンターへ行き

ました。でも先生の温かいはげましと私の立場になって一緒に考えてくださり、やさしい先生に心から感謝しています。ナースの方や助産婦の方もみなさん親切でとても心強く思っていました。もしまた妊娠することがあっても信頼できる先生のおられる週産期センターで出産できればと思っています。息子ももうすぐ3才です。元気に育っています、ありがとうございました。

姫路市 母体搬送 経産婦 37週 帝王切開

前子染色体異常のため羊水検査をした結果主人と全く同じ染色体均衡型転座とわかりこども病院で出産させて頂きました。先生方からは親と同じならば問題なしとの事でしたが出産、育児は不安でいっぱいでした。しかし娘ももうすぐ3才元気いっぱいのおシャベリなおテンバ娘に育っています。これからも主人と娘と健康に気をつけて元気に楽しく過ごしたいと思っています。次の子の事はもう考えていません。がこども病院のお世話になり感謝しております。ありがとうございました。

神戸市 母体搬送 初産婦 34週 経膈分娩

初産で早産となってしまい、不安と後悔にさいなまれながらの入院でしたが看護婦さんや先生の丁寧な説明、介護でとても救われました。娘は未熟児だったことがウソのように元気で大きく育っています。慣れない育児に不安になり、こども病院のGCUに電話することもしばしばでした。「夜泣きがとまらないんです。」「便通が3日もないんです。」などと今思えば本当に些細な質問にも担当のお医者さまにとりついて下さり、根気よく答えて下さり本当に感謝しております。「本当にごめんなさい。」今度お産をするなら是非、こども病院で、とは希望するものこのちらは危険なお母さん、赤ちゃんの専門です。体調管理に気を付けてこども病院のお世話にならないように無事、出産したいな一と思っています。最後になりましたが、こども病院のあたたかいケアで1人でも多くのこどもさんたちが健康に退院することを祈っています。

神戸市 新生児搬送 経産婦 36週 経膈分娩

多胎出産で〇〇病院でお世話になっておりましたが一胎児が妊娠8ヶ月の時に異常があることがわかり出産前からこども病院の先生と連絡を取っていただいております。出産後直ちにこども病院に移送、翌日手術していただき、一ヶ月後に退院しました。私はもう1人の胎児と病院に残ったため離れ離れと遠方だったので毎日見舞にもいけず、心配な日々を送っておりましたがこども病院の看護婦さんに電話で様子をお聞きすることができたので信頼できる病院だなと感謝しておりました。大変お世話になりありがとうございました。駐車スペースがもっとたくさんあれば良いな、と思っています。

神戸市 母体搬送 初産婦 38週 経膈分娩

私は妊娠まえよりかなりの肥満だったので妊娠してこども病院にお世話になった時皆さんに親切に頂きました。何よりも自然分娩で出産出来た事がすごく嬉しかったです。でも21時間かかりましたが出産した子ももうすぐ3才になります。日々感謝をしております。2人目の予定はないのですが今後妊娠、出産の際にはお世話になるかも

しませんがその際はよろしくお願いします。

神戸市 母体搬送 初産婦 36週 帝王切開

同じ様な多胎児のママさんや子供さんに、病気のあるママさん、みんな明るくて楽しい人たちでした。「産前、励ましてもらって嬉しかったです。」看護婦さんたちもはつらつとして親切な方が多かったです。産後はバタバタしましたが良い思い出がたくさん出来ました。また子供を連れて伺います。(晩のお食事の時間が少し早かったのと味付けが濃かったのは残念でした。)

他府県 母体搬送 経産婦 32週 経膈分娩

ごぶさたしています。〇〇〇子です。私は平成13年の2月の初めから3月の終わりまで約2ヶ月、周産期医療センターに入院し、3月26日に32週で第2子を出産し、その後1ヶ月子供がGCUでお世話になりました。その頃奈良県内にはハイリスクの妊婦さんに対応できる施設がなく、出産予定の病院で6ヶ月の検診の時子宮けいがんが短くなってきていておなかの張りもあるということで緊急入院しました。それからもし、いつ出産になっても大丈夫なようにということで県内でNICUを持つ県立〇〇病院に搬送され入院しました。しかし、この県立〇〇病院から(ここの病院の対応はひどすぎます)NICUが満床になってきたということで医者から何の説明もなく深夜突然、こども病院に搬送されてもう精神的にまいっていました。すぐに〇〇先生の診察があったのですが先生が「確かにこの時期にしては短いけどまだまだもつと思います。大丈夫ですよ。」と顔色も変えずあっさりと言われ(それまでの病院の先生は診察後すごく困った顔をしたり、どうしようという感じだった)すごく精神的に救われました。次の日〇〇先生が来られた時にうちの母が「もうどこにも搬送しないで下さい。」と言うと、「しばらく、ゆっくりここにいたらええよ」と言われたのにもすごく安心することができました。こども病院は私がこれまで知っていた病院とは全然違いました。看護師の人がナースキャップをかぶってなかったり、絶対安静でなければ食事は食堂でとったり、個々のベッドまわりのスペースが広かったり、保養所という感じでした。一番うれしかったのは上の子に会える事でした。それまでの病院では産科病棟内に子供が入るのは禁止になっていたの、家からこども病院はとても遠いですが週一回でもゆっくりと子供に会えるのはうれしかったです。今思うとこども病院に搬送されてなかったら精神的にまいってしまい、7ヶ月で子供を出産ということになっていたかもしれません。32週までもつことができたもの、こども病院のおかげです。こども病院には感謝の気持ちで一杯です。本当にありがとうございました。子供は小さく生まれましたが、何の問題もなく育て今3才になり、元気に保育園に通っています。奈良県内にもやっと周産期医療センターが県医大にできたようです。こども病院のようなハイリスクの妊婦さんに精神的ケアをしてくれるような施設であってほしいです。今までお礼をと思っていたのですが、なかなか出来ずに申し訳ありません。本当にありがとうございました。

神戸市 母体搬送 経産婦 33週 経膈分娩

救急で搬送され、担当医が〇〇先生になったが結局出産時は別の先生になりそれはよくある事なのだが、産後の回

診時、出産に立ち会った先生が自分の担当の患者に声を掛けてばかりで自分には全くで孤独感を味わった。担当医も無事に生まれてよかったですねとあっさりした感じがあった。自分は入院期間が短かったからかも知れませんが。ナースは皆、親切でいてねいに接してくれた。産後、一年程育児内科で发育状況を見て頂いて先生によっては淡々として、さんざん待って受診したのに形式上で(目を見て話さない、若い先生に多い。)観察していつくらいなのかという不満が残った。〇〇先生には自分の心境を瞬時に読み取って頂いたように思え、救われる気持ちを与えて下さって感謝している。ちょっとした一言でも常日頃育児に追われている母親にとって大変な励みになるものです。

神戸市 母体搬送 経産婦 31週 帝王切開

リスクがありとても不安でしたが先生、看護婦さん共にとても親切でそんな不安を少し取り除いてくれました。出産後のケアも行きとどいていました。1人めでほとんどでなかった母乳も看護婦さんのマッサージ指導で2人目は母乳だけで育てる事ができました。とても良い出産ができました。

神戸市 母体搬送 経産婦 33週 帝王切開

私の場合二回目の出産ですのとても不安でした。けれどこども病院での出産でとても安心感があり、今思うと本当に良かったと思っています。先生、看護師お世話になりました。

三木市 母体搬送 経産婦 32週 帝王切開

約2ヶ月程入院させて頂き朝、夕〇〇先生が診まわりをしてくださり、何のトラブルもなく出産できたけれど、いつでも先生に声を掛けることができる機会があるというのは非常に入院生活に安心を与えてくれました。又受け持ちナースからは出産がゴールではなく育児がスタートすること、その為には自分の体をギリギリまで我慢させず、余力を持つようアドバイスくれた事。毎日の受け持ちナースもいろいろと声を掛けてくれた事は本当に安心して過ごせました。只、一つつらい事は食器が重いこと。これを片付けるのは、胎児、羊水他、計5kgがお腹にいる妊婦にはつらかった。産後、1年半辛さに涙を流さずには話せないくらいに育児はつらくお世話になったこども病院へのお礼も手紙一つだせず過ぎてきて、今2才になった3つ子連れでお礼を言いに行こうかと思っていた矢先のこのアンケートをお借りしてお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。私のこどもたちは現在、特に障害もなく元気に過ごしていますが<本当に勝手ではありますが>おろせる週数で3つ子以上がわかれば、障害の危険性、育児の想像つかないつらさを伝えてもらえれば、私もおろす選択をしたかもしれないと思いながらも反面、3つ子の面白さも経験している今日この頃です。もう一つ、子供が5ヶ月か6ヶ月の頃にグループで貴院へ電話させて頂きとても親切に対応して頂いた〇〇先生にお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

神戸市 母体搬送 経産婦 27週 帝王切開

2人目の出産でまさかあんなに大変な目にあうとは思っていませんでした。ベット上で起き上がることも許されず

たくさんの点滴をうたれていた生活は今、思い出だけでも胸が苦しくなります。子供も1045gで生まれてしまい3ヶ月程入院でお世話になりました。私の入院中もそうですが本当に看護師さん達の励ましに支えられました。1kgほどの我が子を見た時のショックは今でも覚えています。数日間は死んでしまうかもしれないと言う先生の言葉にただただ涙を流すばかりでした。どんな時もNICUの看護師さん達はいつも笑顔で子供の世話や私の精神的な支えになってくれました。本当に病院内の先生方、看護師さん、スタッフの方々には感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございました。

神戸市 新生児搬送 経産婦 35週 帝王切開

その節はお世話になりありがとうございました。いろいろ不安もあったのですがていねいにケアしていただき安心してお任せすることができました。もう5年近く経つので改善されているかも知れませんがその時は病院の規模に比べて駐車場が少なかったように思います。病院に通った時に多少不便に思ったのはその程度のことで後は特に問題もなかったと思います。その後子供も元気にすくすくと育ちました。本当にありがとうございました。

神戸市 母体搬送 初産婦 23週 経膈分娩

先生方や看護師の方々が一生涯懸命、ご指導して下さり安心いたしました。出産も初めてで、私は不安が多く「出産できるかなあ?」と思っていました。産後、初めて子供に会いに行った時、保育器の中から頑張っている姿を見て、「僕、がんばっているのにお母さんはダメだなあ。」ってすぐわかりました。子供に教えられる事がこれからもっともっと増えるんでしょうね、と思いました。

神戸市 母体搬送 初産婦 41週 帝王切開

1人目の時に通っていた産婦人科に1人目出産後(半年位)不正出血があったため、診察に通いましたがいつからか不妊治療になっていたのです。三度目位の診察の時先生が「今日、排卵しますよ。」と言った事でびっくりして何も言葉が出ませんでした。カルテを見れば帝王切開で出産しているのがわかるはずで、まだ出産して半年しか経っていないのに。それ以来信用できなくなりもし2人目が出来た時どうしたらいいか悩んでいる時にこのアンケートが届きました。そのアンケートに医者が信用できず悩んでいる事を名前、住所も書いて紙面で相談させて頂いたら、〇〇先生が妊娠したとわかったら直接連絡したらいい、と言う内容のお手紙を下さり、すごく安心して、そのお手紙をずっと持っていました。そしてそのアンケートから何年か過ぎていましたが、妊娠とわかりお電話してみると快く対応してくれ、ほっとしたのを覚えています。入院中も皆さん、親切でゆっくり入院できました。私はもちろん主人も子ども病院で出産できた事に嬉しく思い先生や看護師さんには感謝しています。ありがとうございました。もう少し食事がいいといいのですが。追伸、1人目は緊急帝王切開で3735gのジャンボベビー女の子でした。今もやはり体は大きく8才で130cmもあります。2人目は36週で2700gで生まれた男の子ですが9月で3才になる息子は身長100cm体重15kgでまわりからいつもびっくりされる大きな子になりました。2人とも病気せず元気に育ってくれています。

神戸市 母体搬送 初産婦 34週 帝王切開

日々、息子が元気に成長しているのは、こども病院のおかげだと感謝しております。入院中は日々の投薬、点滴、注射と苦しかったり痛かったり不安の毎日でしたが、乗り越えられたのも先生方の詳しい説明と、あたたかいお言葉と看護師さんの仕事ぶりを毎日見て、特に下の世話をして下さってもこころよくして下さい、本当に申し訳ない、ありがとうございました。そして私も同じようにがんばろうと力を与えて下さったように思います。又、病室には同じような容体の方や別の方いろいろといらっしゃって、食堂で一緒に食事をしたり話したりと気のまぎれる空間でもあり、助けてもらったり、人とのつながりもできて、私にとってはすばらしい場所でした。

神戸市 母体搬送 初産婦 36週 帝王切開

7年目で不妊治療で授かった子供達です。その前に始めて妊娠した子を6週目で流産しました。その後、1コの卵子から2つの影が見えると先生に言われ、先生も主人も看護師さんもびっくりしたことを今でも覚えています。しかし、先生からはカーテンがないからベトナムの双子の様だと大変だから、こども病院へ紹介状を書くからと言われ、喜びからドン底でした。医学書を読んだり見たりで特に落ち込みました。こども病院ってどんなところかと見に行くと、障害をもたれている子供さんの姿に不安を増したのは正直なところでした。しかし、32週で入院、しまりもあると言われ、安心の入院生活でした。高齢出産もあり帝王切開しか考えられなかった私は、出産まぢかに先生より自然分娩もできるよと言われ迷いましたが、看護師さんたちの声や、同室の方々のはげましで帝王切開で出産しました。その後の看護師さんの看護には頭が下がりました。どうぞこれからも不安で一杯で入院されてくる母子を、はげまし助けてくださる様をお願いします。

神戸市 新生児搬送 経産婦 40週 経膈分娩

子供が病気で子供だけがこども病院に入院しましたが、母親は異常がないので産婦人科医のまま3日間入院しました。1. 別々に離れ不安である 2. 退院してからおっぱいが痛くて、こども病院にマッサージはしてもらえないか聞きましたが、ここで出産していないのでできないと言われた。以上の理由で母として不安や元の病院に足がむかない等、感じました。子供のケアや先生に信頼はしていますが、できれば子供だけでなく、親も一緒に転医できれば、2週間家で泣く事はなかったかなと思います。親にも心のケア等、これからのお母さんにはうけていただきたいです。

神戸市 新生児搬送 経産婦 36週 帝王切開

生後4時間後に抱く事もなくこども病院に運ばれ、3日後に病院に面会に行った際、まず子供がとても元気で嬉しかったのと、とにかく看護師さんがやさしく子供を見てくれていて、そして母親に対してもすごくあたたかい言葉、まなざしは本当にほんものだと思います。

明石市 母体搬送 経産婦 39週 経膈分娩

1人目の子供が病気を持って生まれ、長く生きられないと聞かされた後、元気な子供のお母さん達と一緒に母乳を搾らないといけないのは辛かったので、部屋を分けるとか、

難しい事だとは思いますが考えて欲しかったです。2人目の時、やはり辛い思いをされているお母さんがいらっしゃって、母乳を搾りながら泣き出されてました。(横で赤ちゃんに直接、母乳を与えてる姿を見て) 食事のごはんの量が多すぎると思います。ほとんどの人が半分ぐらい残されてもったいないです。

神戸市 新生児搬送 経産婦 30週 経膈分娩

未熟児だったので、今までの出産で一番小さい子だったので、生きてくれるのか心配でしたが、退院させていただきよかったです。こども病院様の治療のおかげで今があるのだと思います。今後もこども医療に力をそそいでいただきますよう、お願い致します。

神戸市 母体搬送 経産婦 37週 経膈分娩

陣痛の時にあんまり看護婦さんが見に来てくれなくて、すごく不安でした。もう少し呼吸法とか指導してほしいかったです。子供の状態について、産科の看護婦さんに何度か「新生児科の方はどう言った？」と聞かれてたので、産科と新生児科はあまり連絡をとったりしないのかなと思いました。

神戸市 母体搬送 初産婦 35週 帝王切開

面会時間を延長してほしい。食事がもう少しおいしくなれば…。

西宮市 新生児搬送 経産婦 37週 経膈分娩

産後当日にこども病院に運ばれましたが、検査の結果、異常なしとのことで、一週間で退院しました。顔の様子からダウン症ではないかと相談をしましたが、近くの〇〇医大で染色体の検査をするように、上の子たちと同様に育てて下さいといわれました。検査の結果、ダウン症だったのですが、生後6ヶ月まではゆっくりながら順調に成長していました。ところが生後7ヶ月の定期検診で肺炎がみつきり、通常の治療では回復せず、呼吸器の管理となりました。その間に心房中隔欠損、心室中隔欠損、動脈管開存がみつきり、右の心臓が肥大して、肺にも水がたまっている状態でした。その後、カテーテル検査が必要ということが〇〇循環器病センターに転院。動脈管開存についてはコイルで閉鎖。心房・心室中隔欠損は手術せず、肺には無気肺がみつきり、肺高血圧もあったため24時間、酸素吸入を続けることになりました。現在は月に一回通院し、酸素吸入をしながら保育所に通っています。産後一週間の時に、心臓(肺)の異常をみつけていただいたら、3ヶ月近く生死をさまよう、つらい思いをさせなくてもよかったのでは、とも考えています。

明石市 新生児搬送 初産婦 41週 帝王切開

「こども病院」については何も不満はありませんが、子供の事で少し気になる事があります。うちの子供は生まれてすぐ胎便吸収症候群で、呼吸をせずすぐにこども病院に運ばれました。今は無事、通院しなくても良いということで退院したんですが…。今、1才7ヶ月になるんですが、食が細く、毎日ほとんどご飯を食べません。それに言葉も何も話せないし、歩行もできません。一度、診察してもらった方が良いでしょうか？近所の小児科で聞いてもそんな

真剣に聞いてくれず悩んでいます。こども病院は紹介がないと行けないのでどうしたらいいのでしょうか？今1才7ヶ月で身長は75cmですが、体重は7900gしかありません。食べさせたいのに食べてくれない私の悩みです。もっと重症なお子さんがいらっしゃるのにこんなこと書いてすいません。どうしてももう一度、こども病院で診てもらいたいのですが駄目ですか？

〇〇〇子

明石市 新生児搬送 初産婦 38週 経膈分娩

初めての妊娠・出産で予想外のトラブルが続き、産後精神的にも参っていた時の子供の転院で、本当につらかったです。ただ、新生児科のスタッフの方々の笑顔と温かい言葉にどれだけ救われたかわかりません。幸い子供は数日の入院で無事に回復し、元気に退院する事ができました。こども病院の皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。今もなお、病院で頑張っておられる他の子ども達に温かいケアとフォローをお願いしますと共に、一人でも多くの子どもさんが元気になれる事を祈っています。これからも安心してきる病院として、益々の御発展を心より願っています。

他府県 母体搬送 初産婦 24週 経膈分娩

平成13年に23W0dで破水して、大阪府の病院が満床でこども Hp に搬送されてきましたが、残念な事に24W5dで陣痛が来て、男の子を出産しました。生まれて30分位の命でした。その時は、赤ちゃんの状態も悪かったのか、帝切してもあまり良い方向にはないと先生から言われました。その後、平成15年に母子センターで双子の赤ちゃんを17Wで流産し、母子センターの内科の先生が検査などしてくれたり、こども Hp に前回の出産の事をきいてくれました。本当にこども Hp の先生方にも感謝します。そして今回は20Wの時にマクドナルド法をして23W6dで破水し、帝切で女の子648gが生まれました。今はまた母子センターに入院していますが、1800gになり、ゆっくりですが大きくなってます。今回の出産でやっと頸管無カン症と原因が分かり良かったと思います。こども Hp、母子センターでのかなしい事もありましたが、今はやっと母親になれて良かったです。3年間で医療の進歩もすばらしいと思っています。

神戸市 母体搬送 初産婦 41週 帝王切開

帝王切開で緊急入院し、何もわからなく不安と感じた事もありましたが、先生や看護婦の方に大変よくしてもらい、何事もなく退院することができ、良かったと思います。また同部屋の方とも仲良くなりいい思い出となっています。後、病院をよくする意見は、お見舞に来院された方が、談話できる様な談話室みたいなのがあれば、たすかると思いました。

神戸市 母体搬送 初産婦 40週 帝王切開

こども病院で出産できて、とてもよかったと思っています。ほかの産院のようにはいかないでしょうが、もう少しベッドを増やして、子供に異常がなくても、母体になにかあれば、最後まで受けつけてもらいたいと思います。

神戸市 母体搬送 経産婦 39週 帝王切開

緊急手術(帝王切開)になりましたが、素早い対応で不安に思う時間が短くすみました。子供に授乳することが可

能だったため、授乳時間に授乳をしていましたが、子供の空腹時とうまく時間が合わず、ひたすら搾乳していた記憶が残っています。これが一番辛かったように思います。もうシステムが変わっているかもしれませんが、子供が欲している時の授乳ができればいいなと思いました。スタッフのみなさんが笑顔で接してくれるのは、とても気持ちのいいことですね。私の場合子供に異常は認められず、安定した気持ちで入院生活を送ることができました。医師からの説明もわかりやすく、検査時にも必ず説明書をくださるので、あいまいにならずよかったです。どうぞこれからもよい医療を提供して行って下さい。

他府県 母体搬送 経産婦 21週 経膈分娩

たまたま旅行中に異常に気付き、救急車で運ばれ、それまで何も異常がなく順調だったので、パニックになりました。そして、助からないと分かって自然分娩になったのですが、とてもショックの中、その時の看護師さん、お医者様の温かい人柄だけが救いでした。そして、そこで葬儀を行っていただき、その時も部長先生にも立ち会っていただき、亡くなった子供も報われた様な気がいたしました。今でも、こども病院のスタッフの方には心から感謝しております。心が傷ついている時にどんなにいやしていただけたか…。今でも毎年、命日には家族皆でお参りに行っていますが、その度にわざとこども病院の前を通って行かせていただいております。あらためて、その際は本当にありがとうございます。そのあとの子供も入院はしましたが、無事出産出来、元気に育っています。

母体搬送

D)の1.の間で、エ.2回目、オ.1回目と書いているのですが、私は1人目妊娠の時近所の病院に通院しており、常に出血があったため、ほとんど毎週のように行きましたが、原因が分からず、その間何の検査もしてもらえず、とうとう19週目に子宮口が全開し、こども病院へ行くことになりましたが、入院して2日目に流産してしまいました。結局感染症にかかっており、早期に発見してくれれば流産しなくても済んだそうです。その時〇〇先生が「次は初めからうちにいらっしやい」と言って下さり、そうすることになりましたが、切迫早産で8ヶ月から9ヶ月迄約1ヶ月入院することになったものの、1度退院し、それから陣痛をわかえ、再びこども病院に戻りました。私は他の病院には通っていませんでした。ですが、新生児ベッドに1人分しか空きがなく、私の赤ちゃんが生まれると本当にそのベッドを必要としている赤ちゃんのベッドがなくなるということで、他の病院で出産して欲しいと言われ、泣く泣くそうすることにしました。実際思い出すとつらい思い出しかありませんが、明るく優しい看護師の方や、信頼できる先生の元、叶うなら普通妊娠・出産であってもこども病院にかかりたいと思っています。

神戸市 母体搬送 初産婦 39週 経膈分娩

食事があまりにひどかった。特に朝食はソーセージ1本とうすい食パン2キレと牛乳という日が多々あって、お昼ごはんまでまちきれないくらいお腹が減る毎日でした。長い入院生活、食事ぐらいいか楽しみがないので、これは是非改善して欲しいです。売店もあれではあまりにも貧相な

ので、もう少しきれいに、大きくしたら…と思います。

明石市 母体搬送 初産婦 36週 帝王切開

1度目がこども病院、2度目が一般の産婦人科での出産だったので、比較してみると、帝王切開の術後のケアがいきとどいている、産後のおっぱいについて丁寧に教えてもらったこと、こども病院での看護師さんの対応などすべてがよくて、2度目の出産時は何だかもの足りない感じでした。一般の病院と違い、ハイリスクの出産と背中あわせであるからかもしれませんが、本当にいきとどいたケアだったと思います。娘も、今も小さいながらも、体はとても丈夫でとてもおしゃべりな娘に成長しています。今の娘が元気であるのも、こども病院のおかげと思っています。本当に感謝しています。これからも妊婦さん、赤ちゃんの立場にたったよりよい医療をお願いします。

西宮市 母体搬送 経産婦 30週 帝王切開

私の手術は多分、本来の先生ではなく、助手もしくは初めての手術をされる先生だったみたいで、普通の帝王切開なら30分位で終わる手術が1時間半位かかった上（主人はそうとう心配していた様です）先生と助手の方の会話が手術中、ずっと聞こえていたし、先生が時々その助手の方に「そうじゃなくてこうだろ」みたいなアドバイス等をしていたのが不安で不安でたまりませんでした。先生にしてみれば大した手術ではなくても、私にしてみれば初めてで、ましてや救急車で運ばれて当日に手術という、心構えが出来ていない上での手術だったので、よほど手術中に「いいかげんにして！」と言いたかったです。確かに誰でも初めての手術はあるのだから仕方ないと言えば仕方ないのですが、せめて手術をされている本人には気付かれない様に心づかいをしていただきたいし、会話も聞こえるのなら控えてほしかったです。ただし、その後のアフターフォロー等は満足しています。（でも手術のキズ跡はチョー汚いし、ゆがんでます）これからもそちらで出産される多くの方々はいろんな状況で不安が一杯だと思います。精一杯、がんばっていただきたいと思います。

明石市 母体搬送 初産婦 30週 帝王切開

先生方、看護師の方々はもちろん、清掃をされている方まで、みなさん笑顔で優しくしていただきました。ここでの出産は誰もが不安で苦しいと思うので、私たちにさせていただいた様にこれからも素晴らしい病院であってほしいと思います。おかげさまで、娘は元気に成長しております。ただ、要望としましては、通院の際、長時間待つこととなります。もちろんたくさんの子供たちの命を救っておられるので待つことには不満はありません。しかし、もし可能でしたら、大まかにかまいませんので、待ち時間を教えていただくか、薬待ちのように「今は何番の方」という表示などをしていただければ嬉しいです。そうすればせっかくの外の公園や受付横のプレイルームを利用し、少しでも子供をイライラさせず待つことができると思います。簡単にできることなのか分かりませんが、勝手な意見を書かせていただきました。これからもたくさんの子供を助けて下さい。

〇〇〇子

小野市 母体搬送 経産婦 31週 帝王切開
初めに入院した市民病院では、設備の不十分さから入院生活も制限されることばかり。看護師さんの対応もけっこう事務的で、毎日が本当につらかった…。でも、こども病院では看護師さんの対応もとてもよく、いそがしい中、こまかなことへの心くばりまで、本当に看護のレベルの高さを感じました。また多胎であることもめずらしがられない環境で、やはりみんな、なにかしらのリスクをかかえていることがあってお互い、自分の悩みを打ち明けやすかったようにも感じます。とても快適な入院生活でした。小さく生まれたこどもたちも初めは不安を感じましたが、このスタッフにまかせておけば大丈夫だという安心感・信頼感も、この快適な入院生活の中から生まれてきたものだと思います。これからも医療技術の高さももちろんですが、このステキな看護師さんたちがいつも笑顔で働きつづけられる病院であってほしいと思います。

伊丹市 母体搬送 初産婦 35週 経膈分娩
私は1人目の妊娠で双子を出産し、妊娠に関しては初めての事ばかりで、不安で一杯でした。でも担当していただいた〇〇先生や看護師さんは、誰もがする様な一般的な質問にも笑顔で答えてくれました。比較する訳ではないのですが、出産後も双子の兄がこども病院でお世話になっているのですが、同じ様に誰もがする一般的な質問をした所、あまりいい顔をされず、はっきり言えば“またその質問かぁー”という顔をされました。それ以来、正直その先生を心の底から信頼することが出来ません。先生方や看護師さん達も毎日忙しく、大変な仕事をされているとは思いますが、先生方には何人もいる患者のうちの1人かもしれないですが、私達にとっては大事な大事な子供です。質問には適当な返事をして頂きたく思います。(周産期医療センターの事ではないのですが、すいません)最後になりましたが、出産の時は最後に〇〇先生にお腹を押して頂いて、先生方みんなにお世話になった出産でした。〇〇先生が転勤される前に出産出来た事も嬉しかったです。ほんとうにほんとうにありがとうございました。

西宮市 母体搬送 初産婦 37週 帝王切開
こども病院では本当にお世話になりました。医師、看護師の方々はみなさんととても親切でしたし、とても不安な思いを抱えて妊娠していたので、同室に入院していた方とは今でもとても仲良くしています。(親友になりつつあります。)私は、もし、次に妊娠しても、普通の病院でいいと退院時に先生に伺ったのですが、本当に可能ならこども病院で出産したいです。

神戸市 母体搬送 初産婦 38週 帝王切開
3年前の1月にお世話になって、早2人の母となっております。心音が乱れてNSTもとれない状態となり搬送された時は頭が真っ白で、ふるえがとまりませんでした。担当して頂いた産科の〇〇先生をはじめ助産婦さんには大変お世話になりました。入院中は同じ心境のお母様方が周りにいらっしゃったので、「自分だけではないんだなあ」と思え心がなごむことができた様に思います。子供も、お蔭様で、体重は軽る目ではありますが無事大きくなり幼稚園にも通っております。本当に、子供を助けて頂いたこども

病院へのご恩は一生忘れません。ありがとうございました。

神戸市 母体搬送 経産婦 37週 経膈分娩
可能であるならば、同じような障害をもつお子さんの家族と話をする機会があればいいと思います。出産後不安な時期にそういった方の話が聞ければ参考になることもあるのではないのでしょうか。

加西市 母体搬送 初産婦 33週 帝王切開
2ヶ月弱の長い入院生活でしたが、同じ部屋の人、看護師さんと色々話することができて、とても楽しい入院生活でした。痛かった事、しんどかった事もたくさんありましたが、みなさんに支えてもらえたので頑張れたんだと思います。私にとってはいい思い出ばかりのこども病院ですが、看護師さんがもう少し気を遣って下さればと思う事も少しだけありました。点滴を右うでから左うでに変えたらスリッパが反対側でベッドから下りられなくて困った事がありました。あと、夏は暑い冷たい飲み物が飲みたいので水を持ってきてもらえると嬉しかったです。先生方は、みんな信頼できる先生ばかりで安心して任せられました。ありがとうございました。

津名市 新生児搬送 経産婦 40週 経膈分娩
入院中、先生や看護婦さんの心の温かみが身にしみる程、つたわってきた事がすごく印象に残っています。おかげ様で子供もすごく元気になり今ではやんちゃで毎日かけまわっています!!一時はどうなる事かと心配で毎日泣いてばかりでしたが…この場をかりてお礼を言わせて下さい。今の明るい家庭がある事をすごく感謝しております。

神戸市 新生児搬送 初産婦 38週 経膈分娩
お蔭様で私が退院した2日後に子供も無事退院することが出来たので面会には1度しか行けなかったのですが看護師さんがとても優しく接してくださり勇気づけられました。本当にどうもありがとうございました。

神戸市 母体搬送 初産婦 42週 帝王切開
こども病院で緊急帝王切開で子供を産み、ずうっと傷口が痛く、半年ぐらいてもおさまらず診察をうけましたが(産んだ所でみてもらった方がいいと思ったので)、紹介じゃないから初診料をとられ、又、その後調子よくなく、訪れましたが、又、初診料をとられ、毎週行く度に取られて、そこで産んだ経緯でみてもらっているのに毎回毎回初診料をとられ、調子悪くてももう行くのやめようと思いました。もう少しアフターを見てくれてもいいんじゃないんですか。ちょっとつめたいなと思いました。

神戸市 母体搬送 経産婦 34週 経膈分娩
切迫早産で2ヶ月半ほど入院しました。安静にすることや家族と離れていることで最初は不安でいっぱいでしたが、先生たちや看護師さんたちのおかげで楽しく過ごせました。入院している時、ポータブルトイレを使用する時に何かいい音消しの用な物があればいいなと思っていました。同じ部屋の人達にもですが面会の方が来られている時にはよくガマンしたので。それとヨーグルトや飲物を冷蔵庫から出し入れするのに授乳室にしかないのは不満でした。小さな冷

蔵庫が部屋に1つあれば安静で歩いたりできない時はとてもウレシイと思います。入院中もでしたが、出産の時も看護師さんや助産婦さんはとてもありがたかったです。上の子の時よりも落ちついて良いお産が出来たことを、本当に改めてお礼が言いたいです。ありがとうございます。上の姉もお世話になった双子もすくすく育ってくれています。

西宮市 母体搬送 初産婦 32週 帝王切開
子供との面会時間が限られているのがちょっとさみしかったです。でも、先生方、看護師の方々には、大変よくして頂いて、安心でした。ホームページをお持ちでしたら、子供の様子等を投稿したり、質問や相談等の情報交換ができて、いいなと思います。

明石市 母体搬送 経産婦 35週 帝王切開
その節は色々とお世話になりありがとうございました。救急搬送されすぐに帝王切開…と精神的に不安を抱え一日を過ごしました。夜間眠ることができず色々なことを思い出したり考えたりして涙がポロポロとでました。そんな時見回りに来られた看護師さんがピクッと動いた私に気づかれ、忙しい中、イスにすわって長い間私の話に耳を傾けて下さいました。その時のうれしかったこと、今思い出しても涙が出てきそうになります。時間を気にすることなく私のたわいない話に付き合ってくれた看護師さんありがとうございます。あの30分足らずのひとときが私にとって本当に精神的に安らいだ瞬間でした。この場をおかりしてお礼申し上げます。

神戸市 新生児搬送 初産婦 35週 経膈分娩
当時は何もわからず、お世話になっておりましたが、後から、技術的にとても優れた病院である事を知りました。また、お世話になることがあるかも知れませんが、その時はよろしくお願い致します。

神戸市 新生児搬送 経産婦 40週 経膈分娩
出産した病院ではよい思い出もなく、先生の信頼もありませんでした。こども病院に転院になり、先生や看護師さんに本当によくしていただき、とても安心できました。細く小さな手に点滴をされているのを見ると、健康に産んであげられなくて申し訳なく思い涙が止まりませんでした。面会の時には看護師さんが様子を教えていただいたり、私自身の体も心配していただきとてもうれしかったです。今では3才になり元気一杯毎日朝から外で走り回っていて、当時の事がうそのようです。ただ3人目はやっとな女の子を授かったのですが、心室中隔欠損で通院中です。3人目は信頼できる病院、先生に診て頂いているので安心していきます。今後、手術をしなければならぬ場合はまたお世話になるとは思いますが、よろしくお願い致します。

神戸市 母体搬送 初産婦 33週 経膈分娩
看護師さん、助産婦さん、皆さん大変親切で、初めての妊娠で入院しましたが、無事に出産できました。妊娠についての知識も教えていただき、産前産後のケアもしっかりしていて、たくさん勉強になりました。入院中はベッドとトイレにしか行けず、つらいことも多かったです。せめて、パソコンや電話をベッド上で使えるようにして欲しかった

です。もう一つは食事の多さ(量)におどろきました。動かないから大してお腹もすかないのに、いつも、半分以上残して、本当にもったいなかったです。あれだけは考え直して欲しかったです。こども病院にはいろいろな子がいて、簡単に通院できないのは分かりますが、2人目を考えると、やっぱり信頼のおける病院に行きたいです。どうか、少しでも多くの人に病院が開放されるよう、よろしくお願い致します。

三木市 新生児搬送 経産婦 37週 帝王切開
たった4日間の入院でしたが、私も別の病院で入院しておりましたので大変不安でしたが、お忙しい中看護師の方の電話での対応もていねいでくわしく教えて頂き本当に安心できました。ありがとうございます。

加西市 母体搬送 経産婦 39週 経膈分娩
ベッド数やスタッフの方の人数など、難しい問題もあるとは思いますが、心の中、精神的な面においてリスクを背負っている妊婦も、心を安心させる為こども病院で出産までお世話になることができたなら有難いと感じました。自分の体やお腹の赤ちゃんに何かしら問題がある人は当たり前だけど、心に傷を負っている人も、やはりハイリスクであると思います。妊娠中、気持ちを少しでもおだやかに過ごすことができるよう、協力して頂けたらと思いました。心のケアもして頂ける病院になってほしいと希望します。

神戸市 新生児搬送 初産婦 38週 経膈分娩
現在も通院中です。こども病院が自宅より近くて、大へんよかったですと思っています。入院中ICUに入りましたが、看護師さんの心配りにとても心が安心しました。初めての子どもで入院、手術と不安でたまりませんでした。毎日の面会の際に細かに説明して下さい、子どもの状態もよく分かりました。ICUは周産期医療センターの方で新しい病棟でしたが、本館の方は古いなあーと。特にベッドがさびており柵が上下しにくかったりしていました。外来の受診の際はとても混雑しており、心外科や循環器内科を受診した時はAM9時に行きPM15時30分ごろまでかかりました。外来の先生がお1人で50人近くの患者さんを見られるのですから、よく理解していますが何とかならないものかと・・・。私1人で行ったので昼食も食べられず、帰宅した頃には4時をまわり、クタクタでした。遠方から来られている方はもっと大変かもしれません。今後もこども病院に通院することとなりますが、よい思い出となる様に我が子が大人になった時、話ができたらなと思います。先生、看護師さんに期待しています。

神戸市 母体搬送 初産婦 33週 経膈分娩
出産後退院をし、再び手術のために入院したことがありますが、生後2ヶ月の子供をナースステーションから見えない4人部屋に預ける事かなりの不安を覚えました。看護師さんの人数も少なく、忙しそうで、他のお子さんを見ても、30分以上泣かせたままの現状を見ました。

川西市 母体搬送 初産婦 36週 帝王切開
産科において…床上でトイレの際、ナースコールで「トイレの準備を…」と言にくいので(大部屋のため)、暗

号のようなものがあればいいと思います。例えば番号にする等。／NTSを長時間つけるのはとてもつらいものがあります。30分なら30分、時間が経過したら直ちにはずすようにしてほしい。(特に問題のない波形なのに、まれに忘れられていたりしたので・・・)／(寝たきりの場合)菌磨きを自分のタイミングでできるように準備してほしい。お昼の後等。／ベッド安静中の人のカロリー計算をした食事を考えてほしい。／こども病院でのボーダーとされる34週を過ぎても、こども病院で出産されたいと希望されるお母さんについては、紹介元病院に戻るのではなく、そのまま継続して診て下さるような施設がまた別であればいいと思います。

神戸市 新生児搬送 初産婦 38週 経膈分娩
いつもお世話になっています。うちの子供は月に一度、〇〇内科にかかっているのですが、毎月採血をしなくては いけません。ただでさえ、採血はすごく難しい子なのに、その日の採血の担当の先生に前もって「難しいので、確実に採れる人をお願いしたい」と言っても、結局3回くらいさされるだけさされ、失敗され、子供は泣き、えずき、もどすという悪循環が1年に何度もあります。結局〇〇先生にとっ ていただくことになるので、少しは親の言っている事を理解して いただいて、ゆうずうをきかして、サッと先生に採血して いただけたら、他の先生の手間をかけずにすむと思います。

明石市 母体搬送 経産婦 32週 経膈分娩
入院中、前の子の事を急に思い出して泣いた日がありました。長い時間担当の助産師さんがついていてくれてうれし かったです。今回は長い入院となり色々な方に会いお話が できました。産前産後どちらの時も思ったのは、週数や様 態(安静の度合)が良い程気持ちも安定しているとは限ら ないということでした。一人目か二人目かでもそうだと思 いました。私は前の子の事があったので生まれて泣き声 が聞こえただけでうれしくて、しばらくだっこできない事は それ程苦になりませんでした。同じ週数で生まれた方で 上にお子さんのいる方は、その事がとても辛いと話してく れました。経験があることでかえってつらいこともあるん だと思いました。前回は何もわからず入院も短く動揺して いるうちに退院でしたが、今回の経験で以前よりも増して 前の子の事を思います。同じくらいの体重の子がGCUでが んばっているのをみたり、ベッド上安静で何週間ももちこ たえて産まれたりして、もっとがんばれたら良かったと思っ たりしました。退院後育児をしてもあの子ならどんな 風に泣いたんだろうかと考えたりします。そんな時は以前 助産師さんに「いっぱい泣いてあげて」と言われた事を思 い出しています。今回無事出産した後、前回の事を覚えて いて良かったねと言って下さった時は、涙がたまってお礼 を言えませんでした。ありがとうございました。

他府県 新生児搬送 経産婦 39週 経膈分娩
子供が病院を嫌がら無いために、もっと遊べるスペース (プレイルームや公園 etc) 充実させてほしい。病院の館 内を子供の好きな色やキャラクターも病院のにおいのしな い、楽しい所っていうようなイメージにしてほしい。例え ば、宮城県立子供病院?みたいな感じ。先生や看護師さん

には入院中は大変お世話になりました。不安な気持ちを安 心にかえて頂きました。今では(通院中ですが)楽しく子 育てしています。本当にありがとうございました。

神戸市 新生児搬送 初産婦 36週 経膈分娩
息子が夜、調子が悪くなった時、とても親切にしてもら いました。ありがとうございました。

神戸市 新生児搬送 初産婦 37週 帝王切開
初めての出産で生後すぐに入院、検査、手術でした。術 後はICUに入り、その時は看護師さんと色々な話がで き少しづつ不安も解消されました。しかし一般病棟では看護 師さんも忙しくされており、ゆっくりと子供の事を相談で きなかつたのが残念でした。たくさんの子どもさんが入院 されており、多くのご家族にも接する事ができましたが、 退院後は通院のみのため同じ境遇の方と接する機会もない ため、できれば心疾患を持つお子さんの家族会を立ち上げ て頂ければうれしいです。また、病気のことなどを何でも 気軽に相談できる窓口があれば、また病棟からもそういう ものがあると教えて頂ければ助かります。親の心の不安を もっともっと受け止めて下さる病院になって下さい。

姫路市 新生児搬送 経産婦 40週 経膈分娩
先生方やナース、スタッフの方には良くしていただきま した。本当にありがとうございました。ただ一つどうして も不便だった事は、NCUやHCUには子供が入室出来ない為、 やむを得ず部屋の外に年少の子供を待たせなければならな かった事です。部屋の前にはエレベーターもあり、危機管 理という意味でも問題があると思しながら、一人子供に言 い聞かせて待たせるのは、病身の子供の心配以外にもう一 つ心配を抱え、心苦しかったです。せめて、何か起こった 時に中にいるスタッフか家族に連絡が取れる子供でも使える インターホンを置くとか、ベビーサークル的なもの又は 部屋を設置するなど何か対策があれば、今後の利用される 方にとって助かると思います。子供が大きくなった時に、 こんなすばらしい病院で元気にしてもらったんだとほこり に来るように、今まで通り、そしてそれ以上に良い病院 になるようにがんばって下さい。

加古郡 新生児搬送 経産婦 33週 経膈分娩
小さかっただけで特に悪かった所もなかったので、1歳 1ヶ月となった今は大きくなっています。退院後の診察は 丁寧で、安心して診ていただけたと思います。入院中は、 看護師の方がとても丁寧に赤ちゃんをお世話して下さって いたと思うのですが、面会に行った時は「まだいての」 と言わんばかりの扱いがとても居心地が悪くて、抱っこし ていいものなのかしらと悲しくなったこともありました。 小さく産まれたのは関係ないかもしれませんが、気管が弱 く、今は自宅から近い〇〇病院にかかりきりです。喘息性 気管支炎で2度も入院してしまいました。

神戸市 新生児搬送 初産婦 34週 経膈分娩
思いもよらず、切迫早産で2週間入院の末34週4日で 1790gの男の子を出産しました。今思えば、ひどいマタニ ティーブルーでした。当時の事を思い出すだけで今でも涙 が出てきてしまいます。(元気に!!1才4ヶ月になりま

した。)息子のケアもすばらしいものでした。それ以上に母親の私にしたいだいたのケアがすばらしいと感じました。色々なあたたいはげましや新生児の世話のしかたのレッスンなど。こども病院で私は母親にさせていただいたと思っています。本当にありがとうございます。息子は生後7ヶ月で発熱、みずぼうそうと大変でしたが、それ以外全く病気もせず元気です。先日、数歩ですが歩き始めました。

神戸市 新生児搬送 初産婦 39週 経膈分娩

40日の入院でした。先生も看護師さんも優しく、いろいろな相談や悩みなども聞いていただき、アドバイスもいただきとても良かったです。忙しいのでなかなか難しいとは思いますが、看護師さん達ともしっかりと話の出来る場があれば尚いいと思います。

神戸市 母体搬送 経産婦 28週 経膈分娩

子供が7ヶ月で死産という事実は、本当につらく悲しく、今でも思い出すと涙がでできます。しかし、医師や看護師の方の対応が、このような事態に慣れていらっしやるとは思いますが、私の気持ちに対して配慮していただいた対応だったので、とてもうれしく思いました。対応や言葉づかいなどが適切でなければ、もっと心が傷ついていたと思います。簡単なお葬式でしたが、院内で行った時、子供をとりあげてくれた医師の姿があったとき、とてもうれしかったのを覚えています。こどもさんも重病で来られる方が多いと思いますし、高リスク妊婦さんが多い中で、ちょっとした気持ちの込められた配慮というものが感じられ、とかったと思います。これからも、がんばって小さな命を救っていただきたいと思います。ありがとうございます。

神戸市 母体搬送 初産婦 33週 帝王切開

退院してからの検診の時、車で行ったが、駐車場がいっぱいのため車の止めるのに時間がかかった。もっとすむわずに止めることが出来ればよかった。

明石市 母体搬送 初産婦 21週 経膈分娩

入院中の事は、断片的に強い印象をうけた事だけ覚えています。同室の方がクリスマスに双子ちゃんを出産した事、別の方は産後だったのにお祝いを言い忘れた事。そして入院して数日で分娩となりましたが、その時助産師さんが別の助産師へ首を振った事(赤ちゃんの状態を知らせたと思います)なぜか死産だと赤ちゃんに会えないと思っていた私は、赤ちゃんをだっこさせて連れて来てくれた時、生きているのかなと思いました。とても呆然としていた様になります。部屋では赤ちゃんにごあいさつをと言ってくれた助産師さんが手をあわせられました。夫は腹が立ったそうです。でも私はそれを見て、ああこの子は亡くなったんだと初めて認識し、見送ってあげなければいけないんだと思いました。見送りの時には若い先生と一緒に泣いてくれた事、母乳が出る様に手伝ってもらった事。部屋の様子などは忘れていましたが、それらの事は3年たっても覚えています。退院後は2、3ヶ月インターネットや本で流産や早産の事をずっと調べていました。私達も赤ちゃんも先生方もできる限りのことはしたと思っていましたが、やはり何か自分の行動に原因があったのだろうかと思い、そしてそれをまた納得する為に調べつづけていました。その後5ヶ

月たって仕事をしようと思える頃まではほぼ毎日泣いていたと思います。産まれてからはほんの2日間しか一緒にいられていませんでしたが、その2日間を過ごさせてもらえてとてもよかったです。”

神戸市 新生児搬送 初産婦 39週 経膈分娩

1週間ほどの入院でしたが、NICUの看護師さんは本当に親切にしてくださったと思います。初めての出産で主人も私も不安でいっぱいだったのですが、私達の心の不安もやわらげてくださっていたように思います。退院後も電話相談にてサポートしていただきましたし、私は心強かったです。検診時も、先生がとても親切に質問に答えてくださって、子供が運ばれた時の症状と今後のことなどの疑問なども解消されました。貴院にてお世話になり、スタッフの皆様様に心より感謝しております。本当にありがとうございます。

加古川市 母体搬送 初産婦 31週 帝王切開

緊急入院だったため、また突然の出産だったため不安だらけでしたが、先生・スタッフの皆様によくしていただき、無事に出産退院でき、感謝しています。新生児科(NICU・GCU)の面会時間をもっと長くできるようにしてほしい。新生児科から退院する時にもっと退院指導をしてほしかったです。

多可郡 母体搬送 初産婦 37週 経膈分娩

何もかも突然の事で入院した際は不安でしたが、こども病院の先生や看護師さんがはげまして下さり、少なくとも、前向きに出産の事を考えられる様になりました。入院して3~4日後には、安心感さえありました。何とか無事に出産でき、子供も異常なく、退院できた時は本当にうれしかったです。こども病院のスタッフの皆様、ありがとうございました。

他府県 母体搬送 初産婦 34週 帝王切開

分娩の待合室が狭かったと両親が言っていました。(結局帝切になったが、緊急で)食事がいまいちでした。トイレの数が少なくてよく待った。

神戸市 新生児搬送 初産婦 32週 経膈分娩

大変お世話になりありがとうございました。息子は生後1日目から13日目まで入院しておりました。よくして頂いたのですが、いくつかの不満を書かせて頂きます。担当の方がころころ変わり細かい事を相談できなかった。母乳がなかなか飲めず苦労したがあまり指導してもらえなかった。(結局1ccも飲めないままの退院で、家に帰ってとても悩んだ。その場でお聞きしたらよかったのですが、とても忙しそうで「特に息子は他のお子さんに比べ大きかったので」聞ける雰囲気ではなかった。)退院時に「母乳の事などはここに相談したら…」等前もって用紙を用意してあるとありがたい。退院後何度かお電話で相談させてもらったけど結局・・・周りの人に助産院を紹介してもらいました。お母さん達の心のケアをしてほしかったです。

姫路市 母体搬送 初産婦 27週 帝王切開

前の病院で適切な説明を受けず、とにかくこの足でこど

も病院に行ってくれと言われ、到着後すぐの手術となりました。わけがわからず、なすがままの状態で556gの赤ちゃんを出産し、それからが私の悪夢ともいえる日々の戦いで、いつ死ぬか、生きても障害児として一生この子を支えていく覚悟が持てるのか、それならいっそ…と考える毎日。そこから抜けさせたのは先生を初め、一生懸命我が子を救おうとしてくれたスタッフの姿でした。幸い、小さいながらも現在走り回っている“優”の姿を見る度感謝の気持ちで一杯になります。又私の場合翌年に第2子を授かり、こども病院で見てもらえたお陰で無事出産でき、母親としての自信を復活することができました。通常出産は本当はこども病院で出産できない事は承知していましたが、私みたいな場合、次の出産が不安でたまらず、安心できる病院で出産したいと希望する方は多いと思います。その点を考慮してあげて欲しいと思います。又、できれば産後の1年後検診があれば良いと考えます。術後の相談だけではわからず今になって検診に行きたくても出産と関係ない病院へ行きづらいです。最後に辛い体験の出産でしたが、この病院と出会え、周産期の大切さを認識できた事は良い経験になりました。本当にありがとうございました。授かった大切な命を大事に育ててもらいます。

小野市 母体搬送 経産婦 37週 経膈分娩

先生を前に何をどう聞いたらよいか？怖いけど何か1つでも分かっている事があれば聞きたい。だけど毎回言われる事は「産まれてみないと何とも言えない」だった。「体がやせ細っている元々の原因がなにか？…失礼だけど染色体に原因があるのかもしれないし…」もし染色体に元々の原因があったら公にはできない恥ずべきことなのか？そう思え、(聞こえ)誰かれに相談もできず苦しみました。積極的に、知識として覚悟するにあたり、1つでも知りたいたのに、いつもうやむやうちに診察が終わってしまい、先生のささいな言葉、顔つきでいろんな解釈をしてしまい不安いっぱいでした。そうして迎えた出産。分娩台の上でもなお「生まれてこないで!!」と思ってしまったことを深く後悔しております。確かに産まれてみないとわからないけれど、可能性の話は分かる限り知識として教えてくれるべきではないか？そうすればそれなりの覚悟をもって妊娠中を過ごせたかもしれない。

神戸市 新生児搬送 経産婦 36週 経膈分娩

こども病院には次男が生まれてすぐにお世話になりました。先生、看護師さん、みなさんとても親切で良くして下さいました。緊急の時には是非お世話になりたいと思いますが、通常の出産であれば近くの慣れた病院でよいと思っています。

神戸市 新生児搬送 経産婦 39週 経膈分娩

こども病院にお世話になったのは5日間位でしたが、その子もうすぐ3歳になります。言葉が遅く心配していましたが、幼稚園に通い出し少しずつ増えてきました。これからも赤ちゃんの為、こどもの為にがんばって下さい。

神戸市 新生児搬送 初産婦 経膈分娩

こども病院の看護師の人達は親切で、出産した病院よりも印象がよかったです。今も定期検診を受けてますが、先

生がきちっと話を聞いてくれるので安心します。もし、今後出産するとしたらこども病院がいいと思うのですが、現在は一般の人は受け入れしてないので、できるようになったらうれしいのですが…。

加古川市 新生児搬送 初産婦 42週 帝王切開

入院期間が3日間と短いものでしたので、特にありませんが、とても親切にして頂き心から感謝しております。面会時間に制限、面会人に制限がありましたが、これは仕方のない事だと思っています。1ヶ月健診の時、子どもの状態、様子等ゆっくりみて頂いたと共に、私に対しても、励ましの言葉等掛けて頂いた時は、とても心強うれしく忘れる事ができません。本当に有り難うございました。子どもの事で心を痛めている両親にこの様な言葉掛けがある(フォローがある)のはとてもいい事だと思っています。医師、看護師、その他スタッフの方々、お体に気を付けて頑張ってください。ありがとうございます。

宝塚市 母体搬送 初産婦 28週 帝王切開

同じ不安を持つ妊婦さんたちと一緒に、産前産後を過ごせるのは、そうでない場合(普通に出産し退院される方や、婦人科で入院の方々と同室)と比べて、安心感や励みとなる状況に置かれて良かったです。こども病院の先生や看護師さんの方々のケア(心身ともに)もとても行き届いて心強かったです。ただ…まだ経験の少ない看護師さんの採血など(注射針をさすとか尿袋をとりつける)は貧血気味の患者や衰弱している患者とは別にしてほしいかったです。何度もやり直しされると不安やいらいらが増してしまいます。産後の指導や退院後の電話相談など親切にさせていただいて心強かったです。どの職場や社会でも言える事と思われませんが、技術と共にそこで携わる人の人間性によって居心地の良い所となることができると思います。その点、こども病院に搬送されて、お世話になることができ幸せでした。ありがとうございました。

神戸市 母体搬送 初産婦 34週 経膈分娩

〇〇先生をはじめ、看護師の皆様の温かい看護のおかげで3ヶ月以上の入院生活にもなんとかたえる事ができました。入院中には色々な方が入れ替わり入院し退院していかれ、通常では考えもしなかったらう出産をされ、私自身もたくさん事を学びました。この子が生まれてきてくれた事への感謝も人一倍です。これからも、小さな命を助けてあげて下さい。本当にありがとうございました。

神戸市 母体搬送 経産婦 29週 帝王切開

①緊急手術で入院したのですが、手術後病室で麻酔から覚醒してナースコールに手がとどかず困りました。②母乳があまり出ず、看護師さんに相談すると「そんなに母乳にこだわりますか？」と言われたのは辛かった。③内診台の上で大股を開けている私にカーテンを少し開け、血液検査データの説明や薬の事、生活の事、長々と説明された時には恥ずかしくて言葉もでなかった。女性の医師でした。精神面への配慮が欠けていると思います。

神戸市 新生児搬送 初産婦 40週 経膈分娩

出生時の危ない状態がうそのように今は何の後遺症もな

く元気に育っています。娘の成長を思うたびに入院中の事を思い出しますが、先生をはじめ看護師のみなさんが本当に良くして下さいと感謝しています。

氷上郡 新生児搬送 経産婦 41週 経膈分娩
妊娠中に女の子だと知り、主人も私もお兄ちゃんも楽しみにしていました。予定日が過ぎても陣痛がこないで、どうしたんだろうと思っていましたが、まさか、障害があるとは考えていませんでした。しかし、生まれた子は異常があり、私が抱く事もなく、救急車でこども病院に運ばれました。たちあい出産していた主人も、汗が流れてきて、力がぬけていきそうになりました。私がかども病院で子どもにあったのは3日後のことです。やっと会えたね、やっと抱っこしてあげられたねと声をかけました。それから5ヶ月入院して今も、外来でお世話になっています。不安でいっぱいだった私を救ってくれたのは、看護師さんの“笑顔”でした。しっかり子どもを見てくださり、いつも笑顔で接してくださり、安心してあずけられました。先生方も看護師の方々もたいへんだと思いますが、笑顔でいやすれるのでこれからもがんばって下さい。

明石市 母体搬送 初産婦 26週 帝王切開
突然の出産でなにがなにでどうかなんて全然わからないまま入院→診察→出産、7ヶ月での超早産、502g超未熟児、今想いかえるとすごく大変な事だったと思います。しかし私の入院中も気持ちに波がある私の話をいっしょうけん命の方でも聞いてくださり、いつも笑顔で接して下さいました。新米ハハの「まとはずれた質問」にも笑顔で答えて下さいました。前の病院では前みたいな質問をすると鼻で笑われました。だから質問をしたりお世話になるのはいけない事と思っていた私を心の底から安心させて下さいました。私より大変な思いをしている方はいっぱいいると思います。Dr. はじめみなさまの笑顔で支えてあげて下さい。ただひとつ不満なのは子供と一緒に入れるWCがたしか1つしかないと思います。私ひとりで検診に行くんですが荷物はあるしWCに入って子供を床に座らし、ズボンもあげずに外へ出て広い所で子供を座らしズボンをあげるようにすごくものすごく困ってます。本当に困ります。今回は伝いだちをするようになったので便器に手をつこんでそれはそれは大変でした。本当にWC事を考えて下さい。本当をお願いします。※院長が書かれていた「子供のいたみについて」読んで安心しました。来月手術があるので読んで安心しました。

篠山市 母体搬送 経産婦 23週 帝王切開
こども病院で出産した子ども6ヶ月で2歳になりました。24週と3日まで何とか持たせ出産。入院中はつらくて泣いてばかりの毎日。不安でたえきれず看護婦さんの前で泣いた事もありました。看護婦さんは優しく話を聞いてくれました。こども病院で過ごした2ヶ月間。今となってはいい思い出です。822gで生まれた子ども今では10kg近くに成長し元気に走りまわっています。今では小さく生まれた事を忘れるほどです。これも全てこども病院に入院し出産する事が出来たからこそ…と感謝しています。〇〇先生…渉をたすけて下さりありがとうございました。半年に一回の健診で先生に会えるのをいつも心待ちにしています。スタッフ

の皆様ありがとうございました。 ○〇〇子

神戸市 新生児搬送 初産婦 35週 帝王切開
紹介状が必要になると、なかなか受診がむずかしい。かかっている病院の先生にわざわざ書いてもらわなくてはならないし、先生にも気をつかうだろうし。紹介状がいるというだけで敷居が高くなる。

宍粟郡 母体搬送 初産婦 39週 経膈分娩
第一子はこども病院に入院し、無事出産し現在元気な3才児です。第二子も妊娠4ヶ月から切迫流産・切迫早産等で3ヶ月間入院し、出産ぎりぎりまで落ちつかず不安な日々でした。出産は無事でその後も元気に育っています。ただこども病院での入院生活や特に3ヶ月の安静入院生活は精神的につらい事が多く、妊娠中の思い出はあまりいい事がありません。幸い無事出産できたのでこれらの日々を「よかった」と思うようにしていますが、何がつかったかという、異常妊娠してしまった(と思い込んでいた)自分への責めと、何人かのナースの方の何げない態度・言葉。今思えばささいな事でも当時は深く傷つきました。「お母さんが泣くと赤ちゃんはもっと泣くよ!」「もう交代時間なのに、早く帰宅したいわあ」「(液もればかりするので)点滴針みんな刺すの嫌がってるから今先生呼んでくるね」「出血が止まらないね。赤ちゃん、何がしたいのだろうね!」嘘のようですが、実際言われた言葉の一部です。進歩する医療も大切ですが、入院中の不安を少しでも取りのぞいてくれる言葉も大切だと思います。大半のナースの方は優しく看護して頂きました。その方の笑顔は今でも素敵な思い出です。大変な仕事とは思いますが素晴らしい生命に携わる仕事、これからもがんばって下さい。

尼崎市 母体搬送 初産婦 28週 経膈分娩
死産という残念な結果にはなってしまいましたが、こども病院にて出産できた事で、子供に会うことができたし抱っこもできた。ナースの方々もいろいろ配慮をしてくださり心が安らぎました。一つ、心残り、写真を残してあげられなかった事です。手を合わせる時、今でも目にうかぶ小さな小さな赤ちゃんの顔。もう一度(写真でも)あの子に会いたい…今はそう思うようになりました。カルテにつける分としてでも写真を残していただけたら…後で、ゆずってもらえることもできるだろうし…と思います。とにかくみなさまにもしっかりと見送っていただき私はこども病院で出産できてよかったと思っています。本当にありがとうございました。 H16.6.29 Y・H

神戸市 母体搬送 初産婦 29週 経膈分娩
私の場合、ホルモンのバランスが悪かった為、内服薬でバランスを保ち、注射薬で排卵促ししていたこともあり、初産が双子。男・女両方一度に出産できたので次どうするかはまだ考えていないところが正直ですが、もし次子供がほしいと思っても、私の場合は、また通院しての計画妊娠になるでしょうし、また多胎妊娠の可能性もあると思うので体質的に早産のケースになりやすいかな?と感じているので、多胎妊娠であればこども病院を希望すると思います。緊急時に設備がととのっているのが安心。とくに異常がなければ、個人病院の方が質問等はゆっくり聞けたり、多数

の医師ではなく、常に同じ医師にみてもらえるので安心だし、心強いとも感じる。大きい病院だと待ち時間等も気になる。どちらにしても私の場合は通院していた医院でもとても親身になって支えて頂いたし、救急で受け入れて下さったこども病院スタッフのみな様にも大変良くして頂いたので感謝しております。ありがとうございました。これからよりよい病院づくりにがんばって下さい。

他府県 母体搬送 経産婦 31週 帝王切開

入院中は産科、NICU 共に Dr やナースに親切にして頂き快適に過ごせました。産科では手術時の状況など、カルテや写真を見せてもらい納得のいく説明を受けることができました。NICU では誕生当日の赤ちゃんの写真を頂き(帝王切開では当日見る事ができないので)とても嬉しかったです。できれば病室にテレビをつけて頂けると良いな一と思いましたが。あと夏場は冷蔵庫が部屋にあるとありがたいです。(普通に出産とかで入院している場合はなくてもいいのですが、切迫早産等で安静度が強く部屋から出られない時に冷たいお茶とかが飲めないのは苦痛です。その為に忙しい看護師さんをお呼びにもいかなし)あとNICUの面会時間ですが、日赤などは24時間になったと聞きました。残業等で遅くなったお父さんにも会えるしもう少し(24時間と言わないまでも)面会時間が増えればと思います。以前、〇〇では月・木は検査日という事で面会できませんでした。最初は「毎日会えないなんて」と不満でしたが産後はやはり疲れがでるので、かえってその月・木があったかったです。会えると思うと無理してでもつい面会に行くので、月・木はダメと言われるとその日は家でゆっくりできました。

他府県 母体搬送 初産婦 27週 帝王切開

とても大変な出産だったので、心も身もボロボロだったところ、受持ナースの人がきめ細やかな看護をしてもらい感謝につきます。30週までは、絶対安静でもがんばりたかったのですが出血と破水のためあえなく出産となりました。毎日毎日、ミルクをしぼり西宮から須磨まで通った日があるのではなつかしい思い出です。今では920g、1062gの子供たちが6kgまでとなり私をこまらせて悩ませてますが元氣なので何よりです。本当にありがとうございました。

加古川市 新生児搬送 初産婦 39週 経膈分娩

2380gで娘は産まれてきました。主人も私も背が高いのに娘は小さく産まれそしてひどい黄疸におそわれ、あの日こども病院へ運ばれた日は悪夢でした。産後すぐという事もあり私は落ち込みすべて自分が悪い!こうなったのは妊娠中の私に原因があると涙を流していました。今まで感じた事のない悲しみにおそわれました。でも担当の看護婦さん先生が励ましてくれました。きっと私の姿を見てそうしてくれたのだとおもいます。新生児室にはとても小さな赤ちゃんが沢山いました。こんな小さな赤ちゃん達もがんばってる!!私もがんばらなないとおもい、毎日痛いおっぱいを1人でしぼっていました。退院が決まった時は看護婦さんの前で涙を流しいっしょに喜んでくれました。娘はすぐ良くなりすぐの退院でしたが私達親にとってはとても辛い思い出です。この様にこども病院の存在は私達にとっては強い味方です。何かあればあそこがある!!というので安

心できます。2380gで産まれた長女は今年4才です。体は細いですが私達に似て背が高く大きく育っています。娘をとりあげてくれた助産婦さんやこども病院の方々への感謝を忘れたことは1日もないです。ありがとうございました。

三木市 母体搬送 初産婦 37週 帝王切開

子供はすくすくと育ち、今2才3ヶ月になりました。こども病院で出産したのが嘘のように、とても元気です。本当に有難うございました。

神戸市 新生児搬送 初産婦 40週 帝王切開

医事課、受付の対応が悪かった。何度も嫌な気分になった。でも、今後、妊娠、出産時何か異常があれば、こども病院を頼らずにはいられない。他にこども病院と同レベルの病院はなく、私達に選択はできない、と思います。

神戸市 新生児搬送 経産婦 40週 帝王切開

おかげ様で手術をしていただいた子供も順調に成長しています。病院から紹介していただきこども病院へ向う道中は絶望の心境でしたが、こども病院での先生の診察、手術、入院...と本当に救われる思いでした。今後も多くの子供、親を救ってくださる事と期待します。

神戸市 母体搬送 初産婦 27週 帝王切開

新生児科での子供の取りあつかい方が乱暴に感じました。(GCU)

神戸市 母体搬送 初産婦 32週 帝王切開

早期破水でかかりつけから救急車で搬送されたせいもあるが、なじめる雰囲気になかった。ハイリスクで長期入院を余儀なくされてナーバスになっている方たちを「多胎」というくくりで同室にされ気を使った。せめて出産後は産後の人ばかりのへやだと気楽だったのに、と思った。(管理上仕方のないことなのでしょうが)ただ、医療自体は安心感のある満足のいくものだった。特にICU、NICUなどはシステムティックでよかった。「出産は病気ではない」のが「病気になってしまった」人たばかりの病院なので雰囲気が暗いのは仕様がなと思うが。その後多胎のひとりがダウン症と判明。ひき続きお世話になっているが、院内で「ダウン症児」の健康管理パターンが確定されているため、結果的にこども病院で生んで、親として一番ストレスのない状態でいけたと思っています。ただし、院内でいろんなセクションでの受診を受けるにあたり、1回1回書類を書くのが煩わしく思う。その辺が改善されるとダウン症児の親としてはうれしく思う。

神戸市 母体搬送 初産婦 30週 帝王切開

入院中は先生方をはじめ、看護婦さん、スタッフの皆様には大変お世話になりました。初めての妊娠で予期せぬ事態となり、長い入院生活を余儀なくすることになりました。不安とベッド上安静という身体的苦痛の中で看護婦さんや、同室者の方には色々な面で支えていただきました。あの入院生活で出会った方々には感謝の気持ちでいっぱいです。最後に、担当看護師だった〇〇さん。処置やケアが多かった私の受け持ちになって大変だったと思います。お世話になり、本当にありがとうございました。

神戸市 新生児搬送 経産婦 41週 経膈分娩

その節は大変お世話になりました。出産自体はとても軽くすんだのですが、母体からの水ぼうそう感染疑いということでそちらにお世話になることになりました。幸い発症することもなく元気に退院することができました。こども病院では本当に重い病気の子供さんを見るのが多く、胸がつまる思いがしていました。

尼崎市 新生児搬送 経産婦 36週 経膈分娩

〇〇先生をはじめていねいに医療内容を紙に書きながらご説明いただき、感謝の気持ちで一杯です。すごく不安な中、今どういう状況であり、今後どうするかこまかく説明があった事で安心でき、ベストな方法をとってもらっているんだとおまかせする事ができました。

神戸市 新生児搬送 経産婦 33週 帝王切開

子供が入院中は「元気だ」と言われても不安で、こんなに早く退院して大丈夫かと思いましたが、自宅で育てているうち、日に日にたくましく成長し、本当に元気な子だったんだとわかりました。〇〇医院の先生やこども病院の方々の適切な処置のおかげだと大変感謝しています。活発に動き回り、大変な事も多いですが、言葉も増えて順調に育っている事を大変うれしく思っています。こども病院には、いろんな重症の赤ちゃんがおられますが、お母さま方が明るく、たくましく、しっかりされている方ばかりのように思いました。病院の先生も看護婦さんも明るい感じの良い方ばかりでした。どうぞお母様方をはげまし、力になってあげてください。

豊岡市 母体搬送 初産婦 38週 経膈分娩

長男の出産の際、先天性横隔膜ヘルニアということでお世話になりました。結果として息子は亡くなってしまいました。先生方、看護士の皆様には感謝しております。昨年次男が誕生しましたが、今度はE3の値が0ということで帝王切開での出産となりました。幸いにも母子共に異常なく赤ちゃんも順調に育っておりますが、2人続けて異常があったということで、この先の妊娠・出産にもかなりの不安を感じています。希望すれば子供病院での検診・出産が可能になるのであれば心強く思います。

神戸市 母体搬送 経産婦 37週 帝王切開

出産後、子どもの状態が悪かったので、母乳をやる事ができずさく乳をしていましたが、元気な赤ちゃんを産んだお母さん達が楽しそうに母乳を飲ませている横で、さく乳するのはとても複雑な気持ちでつらかったです。その他は不満な事はありませんでした。よくして頂いて感謝しています。

神戸市 母体搬送 初産婦 34週 経膈分娩

早産(34週)で1908gで生まれた我が子もはやいもので1才7ヶ月、11kgを超え、元気に成長しております。充実した医療体制で、早産、救急搬送というハイリスク分娩でも安心して出産できました。新生児科の先生もよくして下さい、今でも感謝の気持ちでいっぱいです。(退院後の電話相談ほんとうに助かりました)入院中はもちろんいやなことはなかったのですが、面会については少し困ったこと

がありました。私の部屋は切迫早産で入院中の方ばかりで出産を終えたのは私だけでした。「おめでとう！」と身内が入室してきたらどうしよう、と必死で公衆電話から面会について説明しなければなりません。出産した人だけ別室にしてもらえるとありがたかったです。同室の方々はいい人ばかりで「無事出産できていいなあ〜」と言われ、何だか心ぐるしい感じでした。分娩を担当して頂いた〇〇先生、〇〇先生、助産婦の皆様本当にありがとうございます。〇子はすっかり大きくなって、やんちゃで困るほどです。

神戸市 母体搬送 初産婦 23週 経膈分娩

・以前 NICU にお世話になりました。入る時にエプロン？をしていましたが本当にそれだけで外からの雑菌が防げるのかなと思いませんでした。・私は23週で赤ちゃんができてしまい552gの赤ちゃんを見た時、やはりショックでした。でも泣いているばかりの私に担当の看護師さんがすごく前向きにはげましてくれました。名前は覚えてませんが、その人のおかげで頑張ることができました。

神戸市 新生児搬送 初産婦 42週 経膈分娩

うちの子はCCAMでしたが、同じような病気をもっている子の親と知り合いになりたい。(表現は悪いですが)よくある病気の子(心臓病等)は親の会などがありますが、CCMAについてはインターネットで調べても出てきません。病気の重い軽いは別として、どんな病気の子の親も不安や悩みを相談できる人が欲しいと思っています。こども病院のような大きな所ではめずらしい病気でも、少しは同じ患者がいると思います。ボランティアや民間の団体等でもよいので、そういった同じ病気の子を紹介？できるようなシステムを作ってもらえたらいいと思います。病院は守秘義務があり、むずかしいとは思いますが…

神戸市 母体搬送 経産婦 34週 帝王切開

子どもが産まれた時は正直なところ、なんとふびんで可愛いそうでした。ほんとに生きていけるのかと、お乳をあげたくても飲めない我が子が…私の体ならともかく、生まれながらにして重い苦勞を背おって生きてくれるのか不安との毎日でしたが、手術の時は私を勇気づけてくれ、助産婦、看護婦さんには一緒に涙を流してくれ、〇〇の先生方の対応とは全く違いました。先生方、助産婦、看護婦様には本当に感謝でいっぱいです。心身面でブルーになる時でしたから…先生方の配慮、気くばりは同じ痛みをもった母、患者さんにとっては信頼できるし、真心で接していただきありがとうございます。又、ここで出産させて頂いたからこそ、子供が助かったと思っています。現在が幸福であるのはこども病院のおかげだと深く感謝しています。ありがとうございます。もっと周産期医療センターの病院が増えるといいと思います。

明石市 母体搬送 経産婦 31週 帝王切開

2人目の子供だったので妊娠した時も、1人目より落ち着いて生活していました。でも、朝に出血し痛みもだんだん強くなり、かかりつけのクリニックへ行きましたが、こども病院を紹介され「いったいどうなるんだろう」と思いましたが、先生・看護師さんも親切に下さり「ああ、

ここで良かった」と思いました。4人部屋でみなさん元気なお子さんを出産されて、話の内容も子供の話で楽しい入院生活でした。私が退院しても子供は入院が続き、2日に1回、お乳をためて車で通い、日に日に大きくなっていく子供を見て、ホッとして自分を思い出します。1800gでしたが、他の子供さんはもっともっと小さく「ああ、こんなに小さくても精一杯生きようとしている。ガンバレ!!」と思って見ていました。昔にくらべて現在では未熟児も元気に育っていくことが出来るので安心してあります。子供が退院してからも近くの小児科を紹介されたので母親としてはとても安心でした。現在2才5ヶ月になり、元気に毎日保育園に通っています。身長83cm体重は11kgと少し小さいですが、よく食べてよく遊んでいます。先生方これからも子供達の為に頑張ってください。

明石市 母体搬送 初産婦 24週 経膈分娩

入院中に感じた事ですが、部屋が同じ方で産前の方と産後の方が同じ部屋になるのが少しづらかったです。まだおなかの中において欲しかったのにやむをえず出産したので、産後におなかの大きい方を見ると、とてもうらやましい思いでいっぱいでした。あと授乳室でも赤ちゃんのいる方は赤ちゃんしにちよくせつ授乳されていて、それを同じ部屋で自分はおっぱいをしぼっているのがなさげなく感じました。私と同じようにおっぱいをしぼっている方が「うらやましいね」と涙をながされたのを覚えています。わける事がいいかどうかわかりませんが、つらく思っている方は多いのではないかと思います。

神戸市 母体搬送 初産婦 34週 経膈分娩

第1子は早産・早産でかなり長期にわたり入院生活を送りましたがこども Hp に入院中はなんの不自由もなく楽しい入院生活を送れました。ベッド上安静も入浴不可も全く不快に思ったことはありません。現在もロート胸でお世話になってますが、3才での手術も安心してお任せできます。第2子も当院で出産したかったのですが紹介状がないとの事で他院となりましたが同じく早期からの出血やお腹の張りがありとても不安でした。そんな時もこども Hp の助産師さんや NS さんに電話すると忙しいにもかかわらず相談にのっていただきました。はげまされつつ無事に出産しこども Hp のスタッフのみなさまには感謝しています。ただ紹介状がなくても検診していただければなお幸いです。

明石市 新生児搬送 初産婦 41週 経膈分娩

・病院内の雰囲気が暗いので、もっと明るくした方が良いと思う。(照明・壁の色・カーテン等)・病棟の中に、親が使えるトイレがないので、とても不便です。2Fのトイレも和式なので床がとても汚くそのまま病棟に上るのは不潔だと思います。洋式にした方がよいと思います。子供病院なのに、子供用トイレは1つしかないし、子供を待たせておく場所がないのは、おかしいと思います。・循環に入院中ですが、MRSAの患者と、そうでない患者を、1人の看護師が受け持つのはやめた方がよいと思います。今までも、何回か感染しました。・入院中の子供の為に、屋上遊園地を作ってほしい。・看護師内の伝達がきちんと出来ていない。同じ事を何回も言わないといけないので、腹が立つ事がある。

神戸市 母体搬送 経産婦 33週 経膈分娩

・出産後、同室だった妊婦さんが、毎日泣いており、身体もとてもつらそうで、(お腹の中の赤ちゃんに障害があって、大きくなる前に産んでしましましょう。という話をお医者様がしておられました。)お見舞いに来てくれた人達も大きな声で、おめでとうとか良かったねと言えず、私自身も、ただただ喜ぶ、という事もなんとなく出来なかった事を覚えています。その人の立場になっても、無事に出産した人と同室というのは、かなり精神的につらいのではないのでしょうか。・〇〇クリニックさんとの食事の差があまりにも有り過ぎて、とても悲しかったです。“病気で入院”と“出産で入院”は全く別の事かと思えますので、入院費を少し上げてでも、つらい出産を乗り越えたお母さんの心をいやす、という意味でも、もう少し内容を検討した方がよいのでは、と思います。・分べん室は、もう少し暗くした方がよいと思います。

神戸市 新生児搬送 経産婦 34週 帝王切開

1歳健康診査まで、子ども病院にお世話になりました。現在は少し皮膚が弱く、とびひに3回、1年中ひざの後ろに気をつけないと皮膚炎になったり軽いぜんそくをもっています。これは家族・親戚にアレルギー性の病気を持っているせいだと思います。それをのぞけば、よく遊び、成長も順長に育っています。病院での待ち時間をのぞけば、入院中も充分すぎる程、よくして頂いたと思います。

神戸市 新生児搬送 初産婦 36週 帝王切開

不安な気持ちのなかで、先生方や看護師さん達の「あなたかな対応」がとても印象に残っています。病気はもとより、心のケアをこれからも大切にしていって欲しいと思います。とても大変な仕事だと思いますが、これからも頑張ってください。

神戸市 新生児搬送 経産婦 帝王切開

その節は大変お世話になりました。私の場合、緊急にそちらで出産になり、わけもわからず運ばれました。その時、かなり不安になっていた私に横で婦長さんが“大丈夫よ大丈夫よ”と励まして下さいました。ほかの看護婦さんも皆笑顔で…怖がっていた気持ちが少し落ち着いたのを覚えています。普段なんとも思わない行動も体や心の弱っている方には敏感に届くんだなあと思いました。そちらで無事出産できた事、心より感謝しております。その子供も先日2才になりました。入院中の母乳をさく乳する時ですが、真夜中に1人のとき、ラジオがかかってありがたかったです。が、個人的にはそれでもまだ、なんだかさみしい気持ちになっていました。他のお母さん達と一緒に時はお話できて楽しかったです。

姫路市 新生児搬送 初産婦 35週 経膈分娩

出産直後に心臓病であることがわかり、貴院へ入院し、治療を受けることになりました。頭が混乱して倒れそうになりながら、周産期医療センターまでの廊下がとても長かったことを覚えています。「お世話になりたくなかった…」というのが正直なところですが、先生や看護師さんに大変よくしていただき、感謝しております。これといった提案はありません。今の病院の雰囲気、姿勢を今後も続けていっ

ていただきたいと思います。

神戸市 母体搬送 経産婦 24週 帝王切開
二人目の出産でしたが 自分でも何が何だか分からないうちに子ども病院に搬送され 3日後に出産致しました。わずか24週672gでの我が子は毎日々が勝負の日々でした。入院中は同じような体験を持つお母さん達から励ましの言葉をたくさん頂き 又 先生やナースの方々にも支えて頂いた事 本当に有難く思っています。今では当時の事はいい思い出になりましたが 無事成長している息子を誇りに思い これからも育てて行きたいと思います。息子(現在3才)が大きくなったら こども病院での事を話そうと思います。そして今度は 息子が人を助ける事のできる人に立場に育ってくれるよう願っています。有難うございました。(無限なる感謝！)

神戸市 母体搬送 初産婦 29週 経産婦
はじめての出産だったのに、前の病院では、何も教えてくれず、すごくおこられました。こども病院では、先生も毎日来てくれて、とても良かったです。退院する時も、次、妊娠したら、ちゃんと見てあげるから来てほしいと言って下さった事が、とてもうれしかったです。ありがとうございました。

芦屋市 新生児搬送 初産婦 39週 帝王切開
小児医療の現在をもっと県民に情報源として発信していただきたいです。小児医療についての情報が、あふれている中で、より新しく、大切なことをもっと発信してもらいたいと思います。

神戸市 新生児搬送 初産婦 38週 経産婦
とても親切に対応して下さいまして感謝しております。ありがとうございました。

神戸市 母体搬送 初産婦 35週 帝王切開
当時は何が何だかわからずに過ぎていまいましたが、後になって、こども病院でなければ、赤ちゃんは助からなかっただろうと認識し、感謝の気持ちで一杯です。これからも一人でも多くのお母さんと赤ちゃんが助けられればいいと思います。

神戸市 新生児搬送 初産婦 40週 帝王切開
こども病院に通院していますが、1人で子供を連れて行くと言うこともあり、待ち時間等に私自身がトイレへ行くこともできません。少しの間、例えば、会計に行く時等、目を離さなければいけない時に子供の一時預かりの場があればと思います。せめて、トイレにベッドがあれば(一緒に入れる)とも思います。アンケートにもありましたが、2人目を出産するのはやはり不安があります。1人目の子供の状態事情をわかって預けてると思うだけに、子供病院での出産を受け入れてもらえると、何かあった時の対応を早めに対処してもらえないかと少し安心できるのですが。

神戸市 母体搬送 経産婦 9週 経産婦
出産後のケアも丁寧で産科については本当に感謝してい

ます。産後、気管支炎での入院の時には、病状が他のお子さんより軽いので、どうしてもほっておかれる事が多く、不安がありました。看護師の方々が大変なのがわかるだけに何も言えませんでした。こんな状態で退院させたのか...と言われ入院しなければよかったと思いました。

神戸市 新生児搬送 初産婦 39週 経産婦
入院中は大変お世話になりました。お陰様で4歳になる息子はとても元気に成長しております。一週間の入院でしたが、初めての出産時にすぐ離ればなれになってしまうという経験は私の人生においても大変貴重なものとなりました。まだよく出ない母乳を搾り病院に届けることが私と子供の最初のつながりとなり、現在の育児に対する考え方もつながっています。一度電話にて気になることを質問させて頂き、丁寧にご回答頂きました。息子の場合、短期間の入院で以後の検診も数回伺っただけだったので、こども病院にお聞きしてもいいことなのかしらと躊躇したように思います。お答え頂いてとても助かりましたので、退院後も御相談しやすい環境をつくって頂けるとありがたいと思います。今後ともたくさんの患者さんのためにご奮闘いただきたくお願い申し上げます。

篠山市 母体搬送 経産婦 34週 経産婦
こども病院で出産した子供の上に当時幼稚園のお姉ちゃんがありました。いろいろな状況を考えると、とてもむずかしいのはわかるのですが、面会で赤ちゃんにふられるのは、父と母のみというのは、なんとかならないものかと思えます。楽しみにしていた赤ちゃんがやっとうまれてきたのはいいけど、ガラス越しにしか見れないのはちょっとさみしいと思いました。卵アレルギー、アトピー、3才を目前にしてまだまだ紙パンツ、言葉もやっ和二語文かなど、まだまだ幼い弟を毎日チュッとしながら、お姉ちゃん共々、すくすく育っています。

加古郡 母体搬送 経産婦 34週 帝王切開
産科でも、上に小さな子供がいる場合、出産までの間、入院を長い間しないといけない場合は、家族も一緒にとまれる様にして頂けたらとてもうれしいと思います。

西宮市 母体搬送 初産婦 24週 帝王切開
高齢で、やっと思えた初めての子供が死産だったため、産後、精神的にキツイというか、つらい状態でしたが、ずっと個室のままにしてくれたり、他の妊婦さんや赤ちゃんを見なくてすみました。そういった配慮がとてもありがたかったです。それに病院内でこどものお葬式をあげる事ができ(車イスではこんでいただいたり)本当に感謝しております。その時に先生や看護婦さんもそばにいてくださった事は今も忘れられません。二度目の妊娠は信じられない位、何事もなくこども病院の先生達にささえていただき、無事出産できました。その時の入院で感じた事ですが、母乳を出すためのマッサージが痛すぎたのが大変でした。退院後、近くの母乳教室みたいな所へ行っただけですが、痛い思いもせず、ちゃんと出ました。その辺を少し考えて下さい。帝王切開など産後、体が大変な方がほとんどなので、それ以上痛いのはつらいです。

芦屋市 母体搬送 初産婦 35週 経膈分娩
家から遠く離れ、初めての出産で早産になればと不安がありました。優秀な先生が常時している事、施設が整っている事、数多くの早産、低体重の子供をとりあげている話を聞き、安心してまかせられました。また、長期の入院でしたが、看護師さん達が皆、明るく親切で、身のまわりの世話をとてもよくしていただきました。更に、入院、出産費用がお安く、助かりました。ただ、見舞いに来てくれる主人にとっては、車がないので電車と混み合うバスを乗りつがなれないといけなないので、大変だったようでした。つらく不安なはずの長期入院がすばらしい先生、看護師さん達のおかげで、とても良い思い出になりました。また、2016gと少し小さく産まれた娘も大病もなく元気に過ごさせていただいています。本当にありがとうございました。

西宮市 母体搬送 初産婦 31週 帝王切開
多胎間輸血症候群の為、長い入院後31週で出産しました。子供達にも無呼吸や様々な心配がありましたが、私自身、門脈血栓症になり、産後、1週間ほどで〇〇病院に搬送されることになりました。〇〇病院では、自分の病気への不安、子供達を思うと、心配で涙が止まらず、つらい思いをしていました。そんな時、こども病院の先生や看護師さんがお見舞いに来て下さったり、新生児病棟からは子供達の担当の看護師さん方から、保育器に入っている子供の写真やメッセージを届けて下さったり、本当に嬉しかったです。暗い気持ちに光がさした様な。一生忘れられない程、感謝しています。こども病院に入院中もスタッフの方々すべて温かく、支えられて頑張れました。院内も明るく良い印象ばかりです。子供達も経過観察を経て、すくすく育ち、心から感謝しています。これからも苦しい中にも素晴らしい心の触れ合いのある、こども病院であって欲しいと思います。

小野市 母体搬送 経産婦 33週 帝王切開
同じような状況の人達が多かったせいか部屋のお母さん達とはすぐに仲良くなれ、毎日楽しかったです。看護婦さんもやさしくて良くしてくれました。出産の時は陣痛がきて、看護婦さんと2人きりで分べん台に上がりその時先生は他の手術でした。陣痛の痛みがひどく今までにない痛み方でした。たえられませんでした。やっと先生がきてくれ、モニターみてくれました。赤ちゃんのあごがひっかかっています。もう痛みにたえる事ができず帝王切開で出産しましたがもう少しはやく先生がいてくれたら、もしかしたら普通に産めていたのではと少し思います。先生もいなく家族も遠かったのも、なかなかこれですべて不安な出産でした。それ以外は楽しかったですけど。少し残念でした。

宝塚市 母体搬送 初産婦 26週 経膈分娩
こども病院の周産期医療センターでは、本当にお世話になりました。ハイリスク妊産婦を多く扱われてきただけに、身体はもちろんのこと、精神的なフォローアップが充実していたから、何とか出産までこぎつけたかと思われす。私は寝たきりの重度の妊婦でしたので、何をすることもできずに、すべて看護婦さんにお世話になりました。心暖まる声を掛けていただいたり、お世話をしていただいたり、心より感謝申し上げます。これからも、たくさんのハイリ

スク妊婦をお世話なさることでしょう。その方々の心の支えになって下さいますよう先輩妊婦として応援申し上げます。

宝塚市 新生児搬送 初産婦 41週 帝王切開
こども病院でカテーテル8回、手術、小さいのも合わせて5回受けました。出産当日、こども病院に運ばれ、非常に父母とも驚きました。医師からも説明があり、重い心臓病で何回か手術が必要とのこと。本当に「ショック」でしたが、3才半で最終の海そうフォンタン手術を行い、今はSP91ぐらいですが、元気に保育所にも通っています。本当に感謝しております。もう一人子供を授れば産みたいですが、やはり次の子ももし、「同じ病気で産まれてきたら…」と不安です。こども病院で出産したいのが本音ですが、少し遠いこともあり、このような素晴らしい病院が、神戸市・北区・三田・宝塚辺りでも建てられたらと思っております。

他府県 母体搬送 経産婦 37週 帝王切開
第一子がこども病院通院中でもあるということで、貴院で出産させていただきました。申し訳ないくらい健康な(?)妊婦だったのですが、入院は貴重な体験となりました。どんなに大変でも、手間がかかっても、子供といっしょの生活のありがたさをしみじみ実感しています。

宍粟郡 母体搬送 経産婦 39週 経膈分娩
出産直前に子の異常を告げられ、こども病院を紹介されました。里帰り出産のつもりが、そうならず、精神的にも不安定なままの入院でした。しかし、先生方が助産師、看護師の皆様の温かいお心遣いやお言葉に励まされ、出産に臨みました。分娩中は第3子だったにもかかわらず、9時間かかりました。その間、ずっとついていて下さった助産師さん。本当に心強かったです。3人各々違う病院での出産になりましたが、こども病院が一番、安心して産めました。産後のケアも良かったです。母乳指導も助かりました。何より、子の障害を受け入れられない私の心により添うお言葉や態度には感謝いたしました。つらい出産だと思っておりましたが、一年経とうとしている今はあの頃が嘘のようです。この夏も子の手術でお世話になり、まだまだ続く治療ですが、頑張っている人達を見習い、親子でのり切りたいと思います。本当にありがとうございました。

芦屋市 新生児搬送 初産婦 10週 経膈分娩
早朝5:00、長男を出産し、ねむけと疲れがまだ残っていた正午頃、担当医から突然の報告で、長男はこども病院に運ばれました。何もかも初めてで、心配と不安とまどいばかりでしたが、こども病院の先生方、看護師の方々のやわらかい表情で、とても落ちつくことが出来たことをよく覚えています。手術もうまくいき、順調に回復し、1カ月後、退院できました。退院する日、〇〇先生から「甘やかさないようにしてあげてください」と言われました。泣くとチアノーゼが出て、子供もしんどい。だから、どうしても甘やかして、物をあたえたりしがちなんですけど。でもそれは、決して子供のために良いことではない。とても大切な課題を与えていただいたように思います。2人目も生まれ、子供たちも大きくなり、教育やしつけについて、主人と話をする時、よく「甘やかしてきたかどうか」「それはど

ういうことなのか」と話しをします。おそらくこれからも。〇〇先生、ありがとうございます。先生方が思っている以上に、先生方の一言一言が、子供・親の心に影響を与えていると思います。私はいつも〇〇先生（定期健診の担当をしていただいています）に感謝しています。

神戸市 母体搬送 経産婦 36週 経膈分娩

・私は子供が出産後2週程、直接授乳ができなかったので、さく乳をしなければいけなかったのですが、授乳室でさく乳するのがつらかったです。他のお母さんは自分の子供にお乳をあげているのに、1人でミルクびんにさく乳していました。看護師に“つらいので部屋でさく乳したい”と申し出ましたが、ダメの一言でした。丈夫に産んであげられなかった自分が情けなくて、さく乳のたびに落ち込みました…。・出産が夜遅く、そのまま部屋に帰って、眠ったのですが、朝起きると、まくらもとに、おそう式が…というプリント（多分、赤ちゃんが亡くなられた方のためのものだと思います）がおかれていたので、ものすごく不安になりました。後で婦長さんが謝りに来られましたが…。新生児の面会の方法もよく分かっていなかったのですが、1人の看護師には不安なら自分で会いに行ったらいいでしょう！みたいなことを言われ…。出産前に面会の方法の説明をして欲しかったです。小さかった双子も今では元気に幼稚園に行っています。背の高さも平均より上になりました！その折は、大変お世話になり、ありがとうございます。色々なことありましたが、今こうして子供たちが元気なのは、こども病院のおかげだと思っています。

小野市 母体搬送 初産婦 38週 経膈分娩

こども病院で出産してから、早、2年半が経ちますが私の場合は、無事出産でき、赤ちゃんにも異常はなかったので、結果的にもこども病院を選んで良かったと思います。こども病院に入院中の少しつらかった思い出は出産後の搾乳の時間です。おっぱいが順調に出る人と一緒に搾乳していると、当時ほとんど出なかった私は不安とプレッシャーでかなりへこみました。こども病院のような特殊な病院でこのようなことはたいしたことではないかもしれませんが…。

神戸市 新生児搬送 初産婦 40週 経膈分娩

初めての出産で自分自身がパニック状態で、やっと産まれたと思ったら「赤ちゃんの呼吸が少しおかしいので、こども病院に転送します」と告げられ、目の前がまっくらになったことを今でも覚えています。しかし、我が子は、一過性の多呼吸だけで1週間で退院することができました。周産期医療センターには本当にいろいろな病気のお子さんがいっしょけんめいに生きようとがんばってる姿をみて涙がとまりませんでした。我が子は重度の病気ではなかったので、退院のとき、何か他の子やお母さんにもうしわけないような複雑な気分を今でも覚えています。でも、短い間だけでしたが、看護師のみなさんの温かさは本当にうれしく、ありがたかったことは忘れていません。本当にありがとうございます。これからもがんばって下さい。

神戸市 母体搬送 経産婦 37週 帝王切開

家族が少ないため、事務手続きなど入院中もひとりではなければならないことが多かった。帝王切開後、何日かたっ

ていたが、事務に行かなければならず、しかも、手ちがいで、2往復したのはさすがにきつかった。

神戸市 母体搬送 初産婦 40週 経膈分娩

2人目を出産する7日前迄、こども病院の産科にかかって、当然そちらで出産出来るものと思っていました。私がB肝eキャリアで、当時肝炎を発症しており、妊娠継続さえ母体に負担がかかり、難しいと言われていたところをそちらの先生方に早産についてお話を聞いて、最悪のケースも含めて考えて産む決意で臨んでおりました。結果的に出産の7日前にこども病院でのベット数が足りないということで他病院へ転院し、35週で2人目を無事出産しました。最後迄、そちらで見て頂けなかったのは非常に残念な限りですが、それでも、今2人目の子供もすくすくと成長し、私の身体もすっかり良くなり、仕事も持つところまで回復しました。今この生活があるのは、当時そちらでお世話になった先生方のお陰と思い大変感謝しています。

神戸市 新生児搬送 初産婦 経膈分娩

私共の子供は幸い、思い病気ではありませんでしたが、生後2日目でミルクを吐き、容態が悪くなり、こども病院へ運ばれた時は、私達両親は不安な気持ちでいっぱいでした。そんな時、迎えて下さったスタッフの方や先生がやさしく、おだやかな対応して下さい、気持ちが少し落ち着いたのを覚えております。その後の病状の経過の説明なども、とてもいねいにわかりやすくしていただき、非常にうれしく思いました。その後、数ヶ月して、今度は尿路系の病気がみつき、最初は〇〇病院の方でお世話になりましたが、退院の時、迷わず、こども病院を紹介して下さいをお願いしました。その時も数回の入院と手術で、良い先生、良いスタッフの方々に大変お世話になりました。今も年に一度、通院しております。こんなすばらしい病院が近所にあるなんて、とても幸せだなあとつくづく思いました。

神戸市 新生児搬送 経産婦 36週 帝王切開

3年4ヶ月前に三男が32日間お世話になりました。短い間でしたが充分な治療、看護をしていただけたと思っています。酸素をしながら抱っこをしたり、母乳をあげたり、お風呂に入れたりさせていただき、大変感謝しています。子供の世話を何かできたことの自己満足ですが、先生方も通りかかる度に声をかけて下さり、病状や子供について、はっきりお話しいただいた事が信頼につながりました。息子は亡くなりましたが、今でも家族の一員になっています。

神戸市 母体搬送 経産婦 36週 経膈分娩

私は、こども病院に3ヶ月以上入院をしていました。入院生活が長かった為、看護婦さん達と仲良くなり、ストレスがたまらない様にできるだけ、話をするようにしていました。入院生活は、医者より看護婦との交流は大切なものだと思います。3ヶ月はとても長く、妊婦にとっては、不安、ストレス等、たくさんあります。その際、他人と話す事により少しでも解消されると、私は思いました。これからも、良い医療、良い看護をお願い致します。

神戸市 母体搬送 初産婦 39週 経膈分娩

・看護師の国家試験をひかえており、出産予定日が近く、

不安な毎日をご苦労しておりましたが、Drをはじめ、助産師さんの力強いはげましで、両方とも、無事に手に入れることができました。不安なことをひとつづつ、ていねいに答えてくださり、安心感もてました。入院時の対応がもう少し、くわしく説明があった方がよりよくなるような気がします。退院時のオリエンテーションのように、わかりやすくお願いしたいと思います。今後、病院にお世話になることがあっても、やさしい、強い、助産師達で安心です。これからも1人でも多くの赤ちゃんを救っていただけるようお願い申し上げます。がんばって下さい。〇〇〇子

神戸市 母体搬送 初産婦 39週 帝王切開
出産直後、写真を撮らせてもらえなかったのが心残りでした。ビデオや写真をもう少し自由に撮らせてもらえれば、うれしかったと思います。

小野市 母体搬送 初産婦 30週 帝王切開
長い入院生活でしたが、たくさんの仲間ができて、お互いに励まし合いながら、頑張ることができたと思うし、先生方や、ナースの方の治療や方針に納得ができたので、安心していられました。現在、母子共に健康に過ごせているのも、こども病院で出産したおかげと本当に感謝しています。忘れられない思い出や感動をたくさん味わった日々でしたし、何よりかけがえのない大切な命を授かりました。本当にありがとうございました。医師の方々、スタッフの方々、病院へ勤務されてるすべての方も四六時中お忙しくされていると思いますので、どうぞ、お体に気をつけて下さい。今後いっそう、病に苦しむ人たちを一人でも多く救って下さいように。

他府県 新生児搬送 初産婦 40週 経膈分娩
こども病院にお世話になった時は、先生を初め、スタッフの方々には、大変よくしてもらいました。産後すぐの私に、わかりやすく説明して下さったり、娘に対する対応も親切でうれしかったです。みなさんのおかげで私もやってこれたのだと思います。ありがとうございました。一つ、淋しく思ったのは、娘が亡くなった時、一人の看護婦さんは義務的に点滴をはずしたりという作業をされてたことです。看護婦長さんは亡くなっている娘にも一言一言お声をかけてくれていたせいでもあるのか、若い看護婦さんの行動が少し残念でした。そう思うのは私だけなのかもしれませんが、もう少し子供を亡くした親の立場をわかってもらえたら、もっとありがたいなと思います。大人と違い、小さな体を治すということは、とても大変なことであると思います。入院されているお子さんがみなさん元気になって退院されることを祈っています。先生方・スタッフの方々もお体を大切になさって下さい。色々ありがとうございました。

明石市 母体搬送 初産婦 36週 経膈分娩
入院が思わぬ長くなったので、その間に多くの方が入院退院をされました。たくさんの方と出会えたのですが、皆それぞれにトラブルを抱えているのでどう声をかけていいのか、戸惑うこともありましたが、仲良くなることもでき、今でも連絡をとりあって、子育てやいろんな話ができる友だちも作ることができました。私は長くこども病院にお世

話になったので、(妊娠初期から)健診等で先生との信頼関係も築くことができましたが、緊急で運ばれた方などは十分に先生を信頼できないままに、いろいろなことがあって、不満の声もあったようです。短期間で対応せねばならないことの多い病院ですから難しいなあと思ったこともありました。私自身も育児の中でいろいろ心配事やどうしたらいいかなあと悩んだことも「これくらいのことで、こども病院の先生に相談するのは申し訳ないかな」と遠慮してしまったこともありました。他の病院では対応できない症例を取り扱う使命のある病院でそれはとても大切なことだと思う一方で、気軽にちょっと相談できるという身近さがなく、寂しく思いました。最後になりましたが、開設10周年おめでとうございます。これからも、いろいろな方のために力をお貸しください。よろしく申し上げます。

神戸市 母体搬送 初産婦 30週 帝王切開
前の病院で異常があって、救急車で運ばれた時にはすごく不安で、こわくてこわくて、今から何をされるのか、どうなるのか心配でした。すぐに検査を受けたのですが、その時、看護士さんが少しでも気分をやわらげるような声をかけてくれたらと思います。入院中はみなさんとても親切で、たまたまその時の看護士さんも忙しかつたのでしょうが、初めての入院でこわがっている患者に最初に声をかけてくれる看護士さんの対応は大切だと思います。その後のNICUとか産科病棟では、お医者さんも看護士さんもみなさん親切で、説明もていねいで、やっぱり優秀なスタッフの人たちが集まっているんだなあ、と思いました。子供が無事に育ったのも、みなさま方のおかげだと深く感謝しています。

神戸市 母体搬送 初産婦 39週 帝王切開
帝王切開でしたが、産まれたときに、ハッピーバースデーの音楽を流して下さったこと、とても嬉しかったです。先生方は皆お優しく、心から信頼できましたし、看護士の皆さんにもよくしていただきました。プロフェッショナルなお仕事をされていると思いました。こちらで出産できたことは、私にとって大変よかったと思っております。ありがとうございました。

神戸市 母体搬送 初産婦 35週 帝王切開
入院中、何を言っても「規則です」「県立病院なので」の理由だけで、こっちの意見は何一つ聞いてもらえず、出産にしても「35週は早いので37週まで」とお願いしても、結局無理で、子供は障害を持つ事になり、後のフォローは何もなしです。特に〇〇科の先生には何かと腹の立つ事ばかり言われ、精神的にも傷つけられ許せない気持ちでいっぱいです。受付に対しても、金額の間違いがあってもこちらから言わないと気付かず、対応も感じ悪く、教育が全くされていないのが不思議です。トイレも汚くて病院でありながら不潔です。

神戸市 母体搬送 初産婦 39週 経膈分娩
入院中は先生方、看護士さんの皆さんにとっても親切にして頂き、感謝しています。ありがとうございました。一つ残念だったのが、お食事でした。“こども病院”なので仕方がないのか、たとえば昼食時にプリンとヨーグルトが同

時についていたり、デザート系が多くて、変わりに一品お
かずが欲しいと感じたりしました。それと煮物の味が濃
いかったように思います（同室の方も同じ意見でした）そ
れと、退院時に思ったのですが、育児のことや産後の母体
についてのパンフレットを頂いてとてもよくわかったので
すが、“お父さん用”のパンフレットがあればと思います。
いろいろお世話になりました。

加古川市 母体搬送 初産婦 40週 経膈分娩

最初、子供が小さいので、入院して様子を見ないといけ
ないと言われた時はすごくビックリしたのとショックな気持
ちで一杯でした。初めての妊娠だったので、何もなく普通
に出産出来るのがあたり前と思っていたからです。けど入
院して、いろんな妊娠があるという事がわかり、すごく勉
強になりました。こども病院は新生児科とのれんけいプレ
ーで出産をむかえる事が出来るので安心なので、出来れば、
紹介されなくても、誰でも望む人はこども病院で出産出来
れば良いと思います。けど、リスクのある妊娠と一般の妊
娠がみんな行くと、混雑して大変な事になるとも思うので、
むずかしい問題だとは思いますが…。私の場合、無事子供
も生まれ、何事もなく元気にすくすく育っている娘。こど
も病院とご縁があった事を心よりうれしく思っています。

西宮市 母体搬送 経産婦 32週 帝王切開

切迫早産で子供を産んでから、2ヶ月の間は、毎日が心
配で、そして、一喜一憂の日々でした。産まれた赤ちゃん
が当たり前とするミルク（母乳）が飲めないという現実
に、赤ちゃんを見に行く度、涙を流していた毎日でした。ミ
ルクを飲むと下痢（下血）をして、また中断し、輸液のみ。
お腹を空かして泣いているわが子を見ても、親として何も
してやれない自分にくやしくて悲しくて、そして先生に悲
しみをぶつける日々でした。でも先生は、その都度、きち
んと説明して下さり、納得いくまで話しをしてくれました。
確定となる原因がわからないので、毎日が試行錯誤のよう
な感じていたが、先生方で、わが子の為に会議を開いて頂
き、どのようにすればいいか話し合いをして下さっている
というのを聞いて、先生方も一生懸命とりくんでくれてい
るのを感じていました。結果、退院する時は、あの辛かっ
た日々がうそのように、体重も増え、母乳もごくごく飲め
るようになり、先生方、看護婦さん方に感謝の気持ちで一
杯でした。今は2才になり、早く産まれたのが信じられな
いくらい成長して（身長は高め、体重は平均）います。私
にとってこども病院はいい思い出となりました。

明石市 母体搬送 経産婦 37週 帝王切開

入院費用は少々高くなってもいいので、食事の内容を良
くしてほしいです。

神戸市 母体搬送 初産婦 23週 経膈分娩

2人目を違う病院で出産しましたが、1人目の時と同様、
1ヶ月程の入院をしなければなりません。感じた事
は、こども病院の看護婦さんたちの対応の良さ、設備の良
さ、食事もおいしかったです。ただひとつ、担当の先生に
は、全信頼をおくことが残念ながら出来ませんでした。こ
の事を除けば、こども病院の方が他と比べて良かったと
思います。今は2人の子どもが度々お世話になっています。

私にとって忘れることの出来ない場所となっています。こ
れからも、たくさんの人たちを救ってあげてください。お世
話になりました。

明石市 母体搬送 初産婦 28週 帝王切開

入院して約1ヶ月後の出産でした。おなかの子の苦しい
悲鳴（心拍の低下）がわかって2日後、帝王切開でした。
入院中は酸素吸入と点てき。入院してからは周りの方がし
ているような赤ちゃんの心拍をみるベルトをつけていませ
んでした。（私はいいのかなあとちょっと不安でした）だ
から、心拍の低下も出産となる2日前にベルトをして、初
めてわかったのです。医療のことはよくわからないけど、
もっと早くにベルトをして、赤ちゃんの悲鳴をキャッチ
できていたら…と思います。（キャッチできない週だっ
たのか…）子どもは脳性まひの障害をかかえています。笑
顔のかわいい子です。でも首のすわりもなく、おすわりも
できません。介助も大変です。なにより苦しそうな顔をす
る我が子を見てるのがつらいし、せつない。（つらいけど
かわいいよ。）小さくうまれても（28週より）元気な子も
います。私の28週が本当に子供のためだったのか…。生か
されてだけ幸せと思うべきか。むだなことだったのかもし
れないけど、くいが残ります。（ベルトできなかったこと。）

神戸市 母体搬送 経産婦 33週 帝王切開

2度目の妊娠は、双胎ということもあり、最初から様々
な不安もありました。なんとか、8ヶ月も終わりという33
週目に突然破水をし、かかりつけの産院では、対応しきれ
ないということで、こども病院を紹介されました。すぐ
に検査がはじまり、ますます不安が高まっていく中、カー
テン越しに意外にも優しい声で語りかけてくださる医師の開
口一番は、「赤ちゃんは、今、生まれても大丈夫ですよ。
一人が逆子になっているので、陣痛が来る前に切開しましょ
う。」と落ち着いた様子でわかりやすく状態を説明してく
ださりました。おかげで、それまでの不安は、一気に期待
へと変わりました。初めての手術室には、あまりのたくさ
んのスタッフの方がいて、恥ずかしい思いもしましたが、
みなさんが常に声をかけて下さり、また、看護師さんが手
を握っていてくださったのを気が遠くなりながらも憶えて
います。無事出産を終えたその後は、想像以上に切開後の
激痛がありましたが、切開したのだからしかたないと一人
耐えていました。看護師の〇〇さん、担当医の〇〇先生が
そんな私を見かねて、薬を処方してくださったり、エコー
で腹部の様子を見てくださったりしたおかげで、順調に回
復することができました。特に、先生のガーゼ交換の丁寧
さと看護師さんの母乳指導などのきめ細かさには、感動し、
私も他人が辛い思いをしているときには、こんなふうに接
してあげられたらどんなにいいだろう、と思いました。そ
して、その経験は、即、育児に活かされました。双子の子
どもたちが退院して、当時5歳の長男の世話と併せて、3
時間おきの授乳、頻繁なオムツ替えがあり、睡眠不足も相
当なものでしたが、まったく、苦になりませんでした。そ
れは、本当に辛いときに支えてくださった、こども病院の
スタッフの方への感謝の気持ちが育児の辛さをすべて幸せ
な気持ちに替えてくださったのだと思います。退院して、
1ヶ月もたたないうちにひとり、熱を出しました。その
ときには小児科の先生に診ていただきましたが「かわいそ

うに、兄弟がいて、しかも冬に生まれた子は、どうしても風邪を引きやすい。栄養満点の母乳を与えて元気にしてあげてください。このくらいの月齢の子に出せる薬はありませんが、様子がおかしいと思ったら、いつでも来てください。」と丁寧に應對していただきました。また、ひとりには、腹部に痔状血管腫あり、そのことでは、小児科の〇〇先生にお世話になりました。現在もそのままにして様子を見ています。今では、子ども自らが「イチゴけっちゅ、だいじ！」と喋ってかわいらしく笑います。ふたりは顔がよく似ていることから、唯一、違いがわかる部分でもあり、この痛くも痒くもない、血管腫に愛着すら感じている私たちですが、残念ながら(?)、最近では、少し色が薄くなってきたように思います。さいごに、昨年、高等学校を訪問する機会があり、その折、「ふたごの出産」というタイトルで、プレゼンテーションを行いました。このときは、プレゼンテーションそのものを説明するのに用いましたので、内容的にどうかとは思いますが、自分の体験を通して生徒たちに伝えたいこともあって、作成したものです。添付しますので、ご覧いただけると幸いです。これを見た生徒からは、「双子についてあまり知らなかったけど、よく理解できた」など、関心を示す意見が多くありましたことも付け加えておきます。それでは、いつまでも患者に、またその家族に優しいこども病院でありますように、また、スタッフの皆様のご活躍とご多幸をお祈りしています。〇〇〇子

尼崎市 母体搬送 初産婦 29週 帝王切開

初めての出産で本当に大変でした。2ヶ月早い出産で突然のことで、びっくりしました。でも、産科の先生、看護師さんに助けられました。子どもも新生児科の先生、看護師さんに助けられました。こども病院で出産できた本当によかったと思っています。特に子どもを担当して下さった看護師さんには感謝しています。保育器の中での初めての沐浴。ちゃんと記念撮影までしていただいて…。その写真をお願いした時の喜びは忘れられません。初めて抱っこした時、保育器を卒業した時、初めておっぱいをした時…のこと、私よりも担当の看護師さんは覚えていて下さって、感激しました。今でもその看護師さんとはお手紙のやりとりをさせていただいています。第2のママ(=担当看護師さん)としてわが子の成長をこれからもぜひ見ていただきたいと思っています。そしていつの日か第2子ができた時、できることなら出産はこども病院でしたいと思えます。

明石市 新生児搬送 初産婦 40週 経膈分娩

大きい病院なので仕方がないと思っているのですが、検診や診察などで利用させてもらっているけれど、本当に待ち時間が長すぎます。生後1ヶ月の赤ん坊を連れて行った時、もう何度、帰りかけたか分からなかったです。みんな理解しているとはいえ、私たち親子は本当にくたくたになりました。もう少し考えて頂ければうれしいです。

神戸市 母体搬送 経産婦 38週 帝王切開

開設10周年おめでとうございます。第1子が先天性重度障害児のために、大きな不安を抱えての第2子分娩。無理を押し、通院させて頂いた事を感謝しています。周産期医療があると言う事は出産する上で、大きな安心となります。

した。DOCTOR や助産婦さんの行き届いたケアも出産に向け、心強いものでした。帝王切開だったのですが、麻酔が覚め、頭は起きていても体が動かず、声も出せず、伝えたくても何も伝えられないときの苦しさは、第1子を自然分娩した私にとって厳しいものでした。低体温だったのか、電気毛布にくるまれ、一晩中とても暑く、息苦しかったのを覚えています。ただ、その一点だけ、他は本当に感謝の気持ちでいっぱいです。第2子の女の子は只今、すくすくと順調に育っています。

神戸市 母体搬送 経産婦 36週 帝王切開

初めて行った時、点滴を手を持ったまま、受付で30分ほど待たされたことが忘れられません。入院中の生活や設備、看護師さんの対応などは大変よく、いい入院生活を過ごさせていただきましたが、受付の混雑や子どもが大勢訪れるのに待合室やトイレに子ども向けの配慮が欠けていることが気になりました。これからは子どもと妊婦の強い味方でいてくださることを切に願っています。

神戸市 母体搬送 初産婦 29週 帝王切開

入院中はすごく不安だらけだったが、同じ部屋の人たちと話しているうちに“大丈夫かな”と思えるようになってきました。小さい赤ちゃんでもここなら絶対大丈夫だと思いました。1人目未熟児で産まれたので2人目もこうなるかもという不安はかなりあります。そろそろ2人目ほしいと思っていますが、できることならこども病院で出産したいです。1人目のときの対応が早かったから、今元気に普通の子と変わらない成長ぶりです。他の病院で同じような対応をしてくれるか不安もあります。できることなら、1人目こども病院で出産した人は、本人の希望があれば、2人目以降も産めるようにしてもらいたいです。

神戸市 母体搬送 経産婦 34週 経膈分娩

こども病院の先生、スタッフのみなさんは、本当にすばらしい方々で、私が今まで出会ったどの病院よりもすばらしく、こんな病院があるんだなあとつくづく思いました。特に私の担当医の〇〇先生は、私にとって神様のような存在で、この先生にまかせていたら、絶対に大丈夫だという安心感がありました。〇〇先生は私のささいな質問にも、とてもわかりやすく、ていねいに説明して下さい、気になる事は何でも教えてくれました。看護師の〇〇さんはいつも明るくて、私の心も元気になってくれて頼れるお姉さんのような存在でした。入院中はとてもリラックスして出産できたので、退院する日が寂しいような気さえしました。こども病院の方々は、ただ出産させるだけでなく、私の心のケアまでしてくれました。私の心と子供の命を救ってくれたのは、こども病院のおかげです。私は2人目の出産で、とてもすてきな出産ができました。本当に言葉にならないくらい感謝しています。ありがとうございます。(アンケートのD)がとても気になりました。私はもう1人子どもをほしいと思いますが、前の産院で出産するのは先生を信頼できないし、他の病院で出産するのも不安です。また、同じように子供が小さかったら…とも思い不安ですが、信頼できるこども病院で出産できるなら、安心して妊娠生活を送れると思います。)

神戸市 新生児搬送 初産婦 40週 経膈分娩

私は1人目を自宅近くの産院で出産しましたが、赤ちゃんは仮死状態であり、その後、子ども病院に搬送されましたが、残念ながら死亡しました。産院での分娩管理がズサンだったので、もっと速く子ども病院に搬送してもらえたら違う結果になっていたんじゃないかと感じております。2人目を妊娠した際は前回の辛い経験から個人産院は避けて、子ども病院で出産をお願いし無事に我が子を抱くことが出来ました。子ども病院では出産に関する説明や産後ケアなども満足出来、よかったですと思います。子ども病院に対してというよりも、世間では医療事故などが多発し、訴訟ざたにもなっていますが、医療に従事する方々には、仕事に対して責任を持つのは当然ですが、医師と患者の人間的なつながりを大切にしたいと思っております。

神戸市 母体搬送 経産婦 40週 経膈分娩

悲しい思い出の残る出産でした。前医院での胎児の突然死。40週を迎え、投薬による出産予定でした。しかし、突如、自家用車で転院。そこでお世話になったのが、子ども病院でした。いろいろな検査をして頂き、でも、赤ちゃんは初声をあげることなく自然分娩となりました。たとえ、赤ちゃんが死んでいたとしても、私を強くはげまして頂き、無事出産する事ができました。そして、その赤ちゃんを私のそばに眠らせてくれて、氷を何度も変えて頂き、やさしく、赤ちゃんを抱いてくれたりと、とても親切にして頂きました。とても辛い出来事でしたが、はげましのお言葉、私や赤ちゃんのに対しての接し方にとっても感動しました。現在4人目（この赤ちゃんを含み）の子供を妊娠しました。7ヶ月です。二度とあの辛い出来事にあわないよう、日々祈っております。まだまだ私のような赤ちゃんはたくさんおられるようです。でも先生、助産師の方々のお力をお借りして、1人でもそのような胎児を少なく、そして多くの元気な赤ちゃんが、この世で生を受けれますよう、お願い致します。P・S 開設10周年おめでとうございます。とても心強い病院と思っております。益々のご発展お祈りいたします。

三木市 母体搬送 経産婦 33週 帝王切開

半年ほどの入院生活でしたが、とても親切に頂いて、感謝しています。入院中は色々な事がありましたが、同室の方の事では何度か、不愉快な思いをしました。夜11時を過ぎても、面会の方とボンボンとしゃべり声が聞こえたり、携帯でしゃべっていたり、その声が気になって、何日か寝る時間が遅くなり、イライラした日が続きました。他の同室の方と相談し、思い切って看護師さんに言ってみたのですが、その方は、状態が悪いので、特に、消灯時間を過ぎても面会を許しているとの事でした。室内の温度もその方に合わせて、上げたり下げたりするので、寒い思いや暑い思いをしていた日が続きました。結局、何日かした後、個室に移って行かれましたが、その時は、後の3人で胸をなでおろしました。状態が悪いのなら、早めに個室に行きたく事も考えてもらいたかったような気がします。その時、個室は空きがあったのですから、室温や睡眠時間は大切ですね ○○○子

三田市 母体搬送 初産婦 33週 帝王切開

『子ども病院』をキーワードに思い起こせば、これまでの3年間で出産、再入院、手術などなど、あらゆる出来事がとめどなく浮かんで胸がいっぱいになりました。でも、この10周年の記念すべき機会に1つだけ、お伝えしたい事があります。私にとって、子ども病院、特に周産期医療センター4FのGCUは唯一の“シュルター”でした。予期せぬ事態での出産から始まり、我が子の成長に一喜一憂したNICU、GCUでの3ヶ月間はもとより、退院して自宅に戻ってからの現実（他の人とは違う出産・育児に愕然としたこと、近隣の小児科医でさえも奇異な反応を示したこと）に直面して一層、子ども病院だけは、ありのままの私達親子を受け入れてくれる場所でした。他では話せない苦悩もそこでなら心を開いて話すことが出来ました。そして、他のどこでも得られなかった心の平静を取り戻して、また普通の生活に立ち向かうことが出来たのです。子どもだけでなく、親の私も子ども病院のたくさんのスタッフの支えを頂いて今があります。精一杯の感謝をこめて…。 ○○○子

伊丹市 母体搬送 初産婦 40週 経膈分娩

私は臨月に入ってから、子ども病院に転院になり、初産ということもあり、不安でいっぱいでした。出産前に初めての入院になり、1日目の夜は心細かったのを思い出します。その夜、消灯の時間に来て下さった○○助産師の方に励ましの言葉をかけていただき、本当に嬉しくて、涙があふれました。それから数日後、私が出産後、分娩台の上で待っている間にのどがかわいたので、その時の助産師の方に言うと、他になかったのか、安産のお守りの紙の入ったコップを持って来たので、仕方なく、その水を飲んでその場をしのぎました。夏の時期には飲み物を用意しておいて欲しいと思いました。入院生活には満足しています。食堂での食事楽しく、友達と一緒に良かったと思います。ただ、食事がもう少しおいしければ、良かったのかなと思います。病院は4人部屋でとても楽しく過ごせました。4人とも同い年ということもあり、意気投合し、友達になれて良かったです。今回、このようなアンケートのおかげで、また、みんなと会える機会に恵まれ喜んでます。最後になりましたが、開設10周年おめでとうございます。今後もこのような節目ごとに子どもの成長と共に、子ども病院といつまでも関わりがあれば、嬉しく思います。追伸：2人目も可能なら、出産したかったです。（昨年9月12日に出産） ○○○子

神戸市 新生児搬送 経産婦 39週 経膈分娩

先生方も、看護師さんたちもとても優しくあったのを思い出します。病院によっては技術ばかりで、心のない診察をされることもあります。皆どこか病んで病院のお世話になります。そんな気持ちが弱くなっているのを救ってくれるのは病院の方々の優しい接し方だと思うのです。これからも忙しくても患者に優しい病院でいて下さい。看護師さんたちの笑顔に救われました。 ○○○子

尼崎市 母体搬送 経産婦 33週 帝王切開

妊娠中毒症を甘く見ていた私は、今迄とは違う体調も単なる42才という加齢によるものと自分勝手に判断し、仕事も続行し、個人の産科医師から子ども病院へ行く様、勧め

られた時は不安と事の重大さに改めて気づき、一人病室で泣いたのを覚えています。周産期医療センターについては、設立された頃、新聞で読み“ハイリスク”という点で非常に抵抗もありましたが、今迄の三回の出産とは大きくかけ離れ、すごく1人の人間として、今から出産の場面を迎えるにあたって、暖かく優しさあふれる看護の元、その時を迎える事が出来、小さな生命の産声をきいた時は涙が止まらず麻酔科の男性医師が“良かったですね”と涙を何度も拭いて下さり、私は本当に忘れる事の出来ない貴重な経験をさせて頂きました。心配されていたむくみも日増しにとれ血圧もどんどん落ち着いて、私以上に先生方、看護師の方々が笑顔で“良かったなあー”と云って下さるのを聞いて、本当に心の中で手を合わせ感謝の気持ちで一杯でした。又、母乳をより良く出す為のマッサージも痛い日々もありましたが、あれ程熱心に指導して頂くのも今回が初めてでした。本当にスタッフの皆様には心から感謝の気持ちと、こども病院へご縁の持たした事を嬉しく私の宝物として大切にしまっておくつもりです。本当にありがとうございました。○○○子

六栗郡 母体搬送 経産婦 37週 帝王切開
私はこども病院で帝王切開をして、赤ちゃんを産んだのですが、とても安心して産むことができました。助産婦さんの○○さんと○○さんにとっても親切にいただき、心と体をリラックスさせてもらい、だいじょうぶですよ！と不安な私の手をギュッとにぎって下さり、とても感謝しています。又、看護師の○○さん、2人にも親切にいただき、今でも忘れられません。本当にありがとうございました。私の家は、○○町なので、少し遠いので入院した際に、全員テレビを病院側から用意していただけたらと思いました。

加西市 母体搬送 初産婦 37週 帝王切開
私は陣痛がきてもいい時期と言われたすぐ後に、赤ちゃんの頭が大きい、水頭症かもしれないので、すぐ明日、朝一番にこども病院に行ってくださいといわれ、何が何だかわからなくなり、涙が止まらなかった。不安で不安で眠れず、次の日こども病院に行き、○○先生に見て頂き、気持ちが少しおちつき、安心する事ができ、赤ちゃんの状態を脳外科の○○先生にきき、私の不安な気持ちをすべて分かってもらえてると思いました。先生の言われる事が本当にすくいでした。子供産むとき、子供が産まれてからも私の事を先生と看護婦さんがやさしくして下さいって本当にうれしかったです。本当に感謝しています。子供の命を救って頂いてありがとうございます。子供はすくすく育っています。子供の事は一生心配ですが、何かあったら、信頼できる先生がいると思うと安心です。よろしくお願ひします。

尼崎市 母体搬送 初産婦 33週 帝王切開
現在、妊娠7ヶ月（2人目妊娠中）ですが、この間○○病院にてシロッカー手術をしました。その時に○○病院で出産しようと思っっているので出産時のことを聞くと、1人1人ケースバイケースなので、とくに私の場合、帝王切開になるので体の調子が悪ければ、子供を全面的に預かってくれたり、お乳などもどうしてもきっちりあげなくても大丈夫と看護婦さんにアドバイスしてもらい、気分的に楽に

なりました。それよりも入院中お母さんがいかに楽しくできるか、そしてそれが子供につながればいいとの意見も言ってくれました。予定は10月ですが、前とちがいくごく楽しみになりました。正直、こども病院の看護婦さんたちはプロだなと思いましたが、返って、完べきな指導、完べきな授乳、沐浴、面会時間（子供の）なにもかもが時間に追われ、体がつかれきって、入院中に10kgもやせて帰ったのを覚えています。まあとくに1人目というのもあったからかなと今は思いますが、それでも精神的にあの時がきつかったと思います。当時、子供と一緒に退院できませんでした。正直子供を見るのも嫌になっていたのも、お乳もあまり運ばなかったと思います。今は、2才と4ヶ月ですが、もちろんかわいくてしかたありませんが…。

神戸市 母体搬送 経産婦 31週 帝王切開
最初かかっていた病院は、今時のきれいな、おしゃれな個人病院だったので、結構ギャップにショックを受けました。ベッドの周りにもいろんな機械が置いてあったりして、私って病人みたいと思いました。しかし、やさしい先生と明るい看護師さんのお陰で乗り越えた様に思います。又、おなかの赤ちゃんの胎動が少なくなった時、看護師さんが何度もモニターの結果を伝えに来てくださったんですが、となりのベッドの付き添いの方がその度に、付き添ってる方（となりのベッドの方）を心配して「あなたのお腹の子はおかしくないだろうね？」と訪ねているのが耳に入り、辛かったですね。長い入院生活を送って来たのに、このままお腹の中で死なれるなんて、上の子にも申し訳なくてこのまま私も飛び降りて死んでしまいたいと真剣に思った事もあります。安静だったし、主人も遠いので、しょつ中病院に来る事が出来なかったし、精神的に追いこまれていたのだと思います。

神戸市 母体搬送 初産婦 37週 経産分娩
先生、看護婦さんがとてもやさしく安心して出産することができました。今後もしびしい状態にある方々にこども病院で最新の医療を受けられ、一人でも多くの元気な赤ちゃんが誕生されることを願っています。

明石市 母体搬送 初産婦 32週 帝王切開
出産後のケアがいきとどいてとてもよかったです。双胎で1児死亡していたので、とても傷ついていたところに看護士さんがやさしい言葉をかけてくれたり、気をつけてもらって、頑張れたし、明るくなれました。あと、患者さんが、みんなたいへんなめにあっているの、みんなやさしかったし、支えになりました。ただ1つ不満を言うとしたら、手術をしてくれた先生が若かったせいか、子どものおへそが出べそになったこと、ショックでした。

神戸市 新生児搬送 経産婦 32週 経産分娩
手術、入院中は大変お世話になりました。おかげ様で今ではすっかり、病気をしたようには思えない程、元気に暮らしています。初め、入院が決まった時に、レントゲンをとり、生後2日の子を1人でレントゲン台にすわせた時、すごくかわいそうで、他のやり方はないのかと涙しました。血液検査も、浣腸も下剤も絶食も…。私にとっては生きた心地のしない、人生でもっとも辛い出来事でした。でも、

そんな辛い事も“こども病院”だからこそ、信じていたので乗り越えられました。毎日辛くて、泣いていました。でも、今の元気な息子がいるのは、〇〇先生のおかげです。本当に感謝しています。息子が大きくなったら、入院生活の思い出話をしたいと思っています。ありがとうございます。*1つだけお願いがあります！入院中の面会を、母親だけでも24時間OKにしていたら、1番うれしいです。病気の子供をあずけて、8時に病院を出なければならぬので、1晩中、家で心配です。

神戸市 新生児搬送 経産婦 36週 帝王切開

帝王切開で赤ちゃんが最初の対面もできないうちに、子供だけこども病院に移され、不安な毎日でした。お乳をしばらく冷凍してもらい、主人に運んでもらわなければならないという不便さも感じました。できれば異常が起きた場合、子供だけでなく親子で受け入れてもらえるようになれば、親としては安心です。

明石市 母体搬送 初産婦 22週 帝王切開

私は22週で出産し、翌日に赤ちゃんは亡くなってしまいました。ただ婦長さんをはじめとするスタッフの方々いろいろなぐさめられました。入院中もつらいことが多い中、気持ちよく過ごせたと思います。シャンプーや洗顔がどれだけ気持ちよかったことか。先生にもめぐまれたと思っています。残念な結果になりましたが、40才になった今も不妊治療を続けています。そしていつか今度こそ、元気な赤ちゃんをこども病院で産みたいと思います。院長先生をはじめスタッフの皆様、お仕事は大変でしょうが、どうぞご自愛のほどをお祈りしています。 〇〇〇子

氷上郡 母体搬送 初産婦 34週 帝王切開

私の場合は、本当にこども病院に入院し、治療していただいたからこそ、赤ちゃんの命が救われましたスタッフの方々には大変感謝しています。こども病院に入院する前に、通っていた病院の先生に早くに異常を発見していただき、こども病院を紹介してもらってよかったです。スタッフの方、周りの同じように入院されているお母さん方に接するうちに気持ちも前向きになれました。おかげ様でこども病院で生まれた子も、4才、大変元気です。(相変わらず細いですが、全然気にならないくらいです)次の子が2才、又、10月には第三子が産まれる予定です。

尼崎市 母体搬送 初産婦 32週 経産婦

破水して入院した為ベッド上での生活でしたが、毎日色々なケアをして頂き、ここまでお世話して頂いていいのだろうかと思ひける時もありました。入院中は確かにつらい日もありましたが、今思えば本当に「こども病院」で出産できて良かったと思えます。おかげ様で32週と6日で生まれた子供も、今では元気に保育園に通い、クラスでも大きい方なんです。退院するまでに先生方に丈夫に育つようにしっかり育ててもらったおかげだと感謝しています。今後、病気はしないで欲しいけれど、もしも大病をした時は「こども病院」があるからと心の支えにして

宝塚市 母体搬送 経産婦 25週 帝王切開

出産前すごく不安だった時、産科のスタッフ達がすごく

はげましてくれたので出産できました。今までにないくらい親切にして頂きましてありがとうございました。NICU・GCUの方々とも入院が長かったのですが、最後までケアして頂きうれしく思っています。みなさまのおかげで今、息子はとても元気です。

明石市 新生児搬送 経産婦 38週 経産婦

2人目の出産ということで、1人目と同様に「安産で産まれて来てくれる」と思って、個人病院で出産したのですが、産まれてすぐに様子がおかしい事に気づき、2、3時間後にこども病院へ搬送されました。ただただ子供と離れ、顔も見れない事に悲しみを感じていました。でもどうしても子供と会いたく、私もまだ入院しておりましたが、数時間後外出許可を頂き、母乳を持って会いに行っていました。その時も看護師さんが「お母さんの体は大丈夫？」とたずねて下さったり、子供の様子もていねいに教えて下さったり、先生も私達の不安や質問に丁寧に教えてくださいました。本当にありがとうございました。その子ももうすぐ2才になろうとしています。毎日お兄ちゃんと元気に走り回って遊んでいます。これからも、子供にとってはもちろんですが、親の心のケアなど不安や疑問にお答え頂ける病院でいて下さい。

西宮市 母体搬送 初産婦 25週 帝王切開

954gで産まれた子も元気に育っております。病院スタッフの方には本当に感謝しています。スタッフの皆様のケアはもちろん、あたたかい言葉に元気づけられました。何より、子供のアフターケアをしていただけるのが一番ありがたいです。今も育児内科、眼科のお世話になっています。ただ、子供との面会時間が短いのがつらかったです。できればもう少し、長時間あればありがたかったです。それと、産科にも退院してから相談できる機会があればいいと思います。もっとこども病院が増える事を希望します。外科でも入院していた事があります。夜中も付きそえるようになればいいと思いました。こども病院で出産でき本当に良かったです。

神戸市 母体搬送 経産婦 40週 経産婦

食事があまりおいしくなかった思い出があります。以前の病院があまりにも良かったのでそう思うのかもしれないですが…。でも先生方は皆、御親切で、よく診て頂き感謝しています。大変なお仕事でしょうが、これからも一人でも多くの赤ちゃんとお母さんを助けてあげて下さいね。お願い致します。

神戸市 新生児搬送 経産婦 38週 経産婦

新生児の集中治療室にいたのですが、上に2人も子供がいるのに中には入れず、外から見るとは危険な感じの場所だったので苦勞しました。有料でもいいから院内に託児所があれば、と何度も思いました。それか目の届く所にプレイルームがあれば、とか。面会時間は限られているのに、上の子が気になって、毎日30分程度しか顔も見れなくて辛かったです。他は文句のつけ所はなかったです！！先生方も看護師の方も気さくな方ばかりで、入院期間は短かったです。信頼できる方、というか心強い方ばかりでした。おかげ様で子供ももうすぐ2歳になります。上の2人の子

にも負けないたくましさや個性をもち、母としての喜びをかみしめる毎日です。ありがとうございました。これからも頑張ってください。

神戸市 母体搬送 経産婦 36週 経膈分娩

周囲の方に比べ普通の出産だったので、母子同室で授乳をしたかったのができなくて残念でした。新生児は別の科に入院、連絡や承諾がとりにくい時がありました。本当に大変な方が多かったので、基準がズレているとは思っていますが、産後順調な方もありましたので…。周産期センターの方々には優しくおだやかに接して頂き、本当に感謝しております。ありがとうございました。

小野市 母体搬送 経産婦 29週 帝王切開

妻が重度の妊娠中毒症でこども病院へ緊急入院。2時間後に子どもの心ばく数が弱まっているのと、妻の血圧上昇ですぐ帝王切開とつげられ、先生のいわれるがままに970gの女の子が誕生。動揺がかくしきれない状態で、妻が2日ほどは頭は痛い、目はチカチカすると言う。子どものアフターは私としては安心はしていたが、モニターの呼吸の音がピコピコという、息が止まって死んでしまうのでは、と心配ではあったが、時がたち雰囲気にもなれた。91%までは生存率があると〇〇先生からいわれたとき、9%は死ぬのか、そんな事があってたまるかと思った。すごく%で表わされた時、100%だじょうぶといっほしかった。でも今では、1歳4ヶ月、女の子のくせに、らんぼうもので、10kg近くになって遊んでいます。ただ、妻の方は、入院の2日目あたり、看護師さんは「何でもおっしゃってください」といっておられたが、1人の看護師の方に「ベタベタされてもこまるし」ときいた。それは、妻がトイレに行くのに、たちあがれないためにそういった。私は思った。大きな病院のプライドがそう言わせたのかと。こんな完ペキな病院でえらい先生がおられてもまかせてられないと、思い、その当時、産婦人科の〇〇先生に、その事をぶちまけた。先生は、「しっかりと注意します。なんでもいってくれたらいいから」と。「婦長さんにも言う」ともいったが、「いってください」とけっきょくは、婦長さんにはいわなかったが、その後、その看護師さんは、もう一度見直しをしてくれたのか、その態度はかわっていた。でも私は、あまり話をすることは少なく、その看護師さんがいるのを見かけると、少し、さけてしまった。でも助産師さん、他の看護師さん、新生児の看護師さん、新生児の部長さんは特に好きでした。

神戸市 母体搬送 初産婦 31週 帝王切開

産科…とてもめずらしい事だとおもうのですが、3人共こども病院で出産させていただきました。看護師の方も1人目のころからお世話になった方もいて、入院中も少し心強い感じでした。2人目からは担当の看護師さんというのがありましたが、とても良いと思います。毎日変わると何度も同じ話を話さないといけなのがめんどろですが、とても仲良くなれて、話しやすくて良かったです。Drがいつも変わっているのがさみしかったです。普段のDrはていねいに見てくれるのですが、日曜日など休日のDrは(少し年輩の方)とてもえらそうで、ポケットに手を入れたままキズの消毒をされて、とても不快でした。・新生児

科…こちらのNICUへ行く時はやっぱり不安から、気分が沈みがちでしたが、こちらでも担当の看護士さんが、1日の様子などもきかせてくれました。1gでも増えるとうれしくなる様な不安定な時でも笑顔で接していただけたのが、とてもはげみになりました。本当に長くおつきあいをさせてもらってますが、いつも大変なお仕事だと思います。これからも私のような弱くなってしまいう時期でもあたたかくささえてくれる様な医療をつづけていって下さい。3人の子供達と、夫婦共々大変お世話になりました。ありがとうございました。〇〇先生は毎日の様に声をかけてくれましたが、担当のDrはほとんど接してくれませんでした。少しさみしかったです。〇〇〇子

神戸市 母体搬送 経産婦 34週 経膈分娩

2人目の子供を34週で出産しました。初めての場所での急なお産でしたが、お医者様のあたたかい助けがあり、無事に産むことができました。その子ももう、今年の8月で4才の誕生日を迎えようとしています。小さな病気はたくさんしましたがすくすくと元気に成長しています。でも、病気をすると、「早く生まれたからかな…?」とか心配になる事があります。ですから1年に1度でもいいので、健診の様なものがあれば安心します。

神戸市 母体搬送 初産婦 28週 帝王切開

私自身は28週での出産で子供がすぐにNICUに入り、直接母乳をあげることはできませんでした。他の正期産で生まれた方を見ると母子別室で昼の決まった時間しか授乳出来ないのがおかしく思いました。搾乳する際、他の患者さんが赤ちゃんを抱っこしているのを見るのがつらくもありましたので、出来れば授乳室と搾乳室を別に設けることは出来ないかと思います。あとNICUの面会時間について、夫の仕事の帰りが遅くていつも外から子供と面会する状態でしたが出来れば10分でいいから中で面会出来たらなあと思いました。

神戸市 母体搬送 初産婦 34週 帝王切開

帝王切開で出産後赤ちゃんに会いにいけなかったのが辛かったです。産科と新生児科が専門分野でわかれているのは大変心強く思いましたが、出産後2~3日(赤ちゃんに会えない期間)は元気な赤ちゃんの様子を伝えてもらえたらなあと思いました。「特に連絡がないので元気だと思いますよ」と言うのが看護婦さんの答えでした。夫が毎日来てくれていたので、夫を通してNICUから出られたよ等伝えてもらってました。搬送後から分娩までのスムーズな流れ、分娩中のケア、出産後のケアすべてを通して素晴らしいかったです。こども病院を紹介していただいて本当に良かったなと思えました。小さく生まれた娘はこの4月から元気に幼稚園へ行っています。その節は本当にお世話になりました。

明石市 母体搬送 経産婦 27週 帝王切開

私は入院中の経過はよく退院できたのですが、すぐ次の日に再入院になり、その日に陣痛がきてしまって緊急の帝王切開になったのですが、ちょうどその日が祭日だった為先生がいなくてすぐに診察してもらう事ができなかったの、休日でも先生がいて下さったらいいと思えました。

神戸市 新生児搬送 初産婦 39週 経膈分娩
すごく良い病院でとても安心できたのを覚えています。
兵庫県の誇りだと思います。これからもたくさんの赤ちゃん
を助けてあげて下さい！！

神戸市 母体搬送 経産婦 41週 経膈分娩
紹介状がなくてもかかれるようにしてほしい。かかれなく
ても電話で話しを聞いてもらったりアドバイスなどを開
ける所があるとうれしい。入院中は、つらい体験をしてい
る私にとっても親切に、勝手なことも聞いてもらえて助かり
ました。これからもそんな心のケアができる助産師さんを
ふやしてほしい。

明石市 新生児搬送 経産婦 帝王切開
出産後すぐに子供はこども病院に転院しましたが、あま
り不安がありませんでした。面会に行った時も、皆さんが
とてもやさしく良くしていただきました。退院し通院とな
った時も外来の女の先生もとても感じ良くやさしく受け答
えて頂き、こども病院にはとても感謝しております。家に
帰って、何か不安、身体の異常、心配事がありましたらい
つでも来て下さいとおっしゃって頂きました。今はその子
も大きくなり、もうすぐ4才になります。大きな病気もな
くすくす育ってくれています。入院の時のあまり不安が
なかったのは、たぶん、自分の子供は未熟児だけで、他
にいろいろなお子様がいらっしゃり、先生や看護師さん達
も本当に大変だと思います。これからも頑張ってください。
本当にありがとうございました。

神戸市 母体搬送 初産婦 38週 帝王切開
その節は大変お世話になりました。今回この様な形で
お手紙できます事、とても嬉しく思います。入院した日の事
は忘れることがありません。それまでは自分1人が辛い思
いをしていて思っていました。入院して、私よりもつ
と大変な人がたくさんいること、そして私は子供に病気
があるのではなく自分の病気で入院できて幸運だったと考
えが変わりました。おかげ様で息子は今月3才になります。
いつも病院に連れて行きたい、看護師さんに元気な姿を見
てもらいたいと思っているのですが、日々お忙しく働かれ
ている様子を思い浮かべると、ご迷惑ではないか…と躊躇
してしまいます。私達にとっては、妊婦さんの学生寮とい
う感じで、なつかしく、とても貴重な楽しい思い出です。
他科（小児科や神経科）との連携もしっかりしていて、入
院中に色々、納得いくまで相談できて、安心できる病院だ
と思います。本当は、未だ筋腫を持ったままなので、今は
別の病院にかかっていますが、こども病院で手術していただ
けたら…とよく思います。本当に献身的に家族のように
やさしく接して下さった看護師さん、父のように温かか
った先生方、本当にありがとうございました。これからも
がんばってください。

神戸市 母体搬送 経産婦 28週 帝王切開
入院中は大変お世話になりました。救急車で運ばれ出産までは大変だったのであまりよくおぼ
えていないのですが、先生、看護師さんが頻りに来てくれ
ても心強かったです。しかし帝王切開で出産し、私の体が
動くようになった頃には朝の検温の時に看護師さんと話す

程度でほっとらかしという感じがしていやな気分になり
ました。人手が足りなかつただけか、2人目の出産だから大
丈夫と思われていたのかよくわかりませんが、退院までは
もう少し声をかけに来るなりしてほしかったと思います。
子供は小さく生まれましたがとても信頼できる先生に出
会い、子供はもちろん、親も精神的に助けて頂き、感謝の
気持ちでいっぱいです。今だに、年に1、2回検診や救急で
お世話になっているので、私達にとって、これからも信頼
できるこども病院であってほしいと思います。

高砂市 母体搬送 初産婦 32週 帝王切開
とても親切にして下さり、子供も小さく産まれましたが
すごく安心して任せる事ができました。育児内科でも元
気に育っていると大きく言ってもらえたり、悩みもすぐ解決
して下さい本当に感謝しております。育児内科以外で現在
かかっている科もありますが、心配していない事もありま
せんが任せて大丈夫という安心感を持っています。これか
らも宜しくお願いします。私の子の様に元気に育つ子もい
れば、障害や重い病気の子も多くいると思います。1人
でも多くの命を助けてあげて下さい。

加古川市 母体搬送 初産婦 33週 経膈分娩
NICUやICUでは満足のいく看護が受けられましたが、
一般病棟では二度とお世話になりたくないと思いました。
物心のつく年齢なら自分で意思表示ができますが、うち
の子のような首も座っていないような赤ちゃんでは、ほ
っとらかしにされたという印象しか持てませんでした。ICU
の収容人数が少なすぎることも、大きな問題だと思います。
周産期センターでは婦長さんをはじめ看護師さんがと
ても親切丁寧で、悪い印象を受けた事はありませんでした。

他府県 母体搬送 初産婦 25週 帝王切開
私がこども病院に搬送されてから6日目に緊急帝王切開
で出産となりました。25週と5日、わずか778gの女児
でした。まだ母親となったという実感もわかないまま、搾
乳という作業が始まりました。周産期センターの看護士
の方々は心身共に不安定な私を気遣って下さって、話をし
に来てくれたり、マッサージや熱をもってキンキンに張
った胸を冷やしてもらったのを覚えています。子供は108
日間の入院を経て我が家へ（実際には実家へ）やって
きました。1歳5ヶ月までアメリカで暮らしました。帰
国後も眼科の検診に2回（2年）通いましたが異常なし
と言われ、今はこども病院に何うこともなくなりました。
何事もゆっくりで小柄な娘ですが、元気で過ごして
います。3歳8ヶ月になりました。来春から幼稚園に通
わせる予定です。母子共にこども病院には大変お世話
になりました。ありがたく厚く御礼申し上げます。

加東郡 母体搬送 経産婦 35週 帝王切開
私の場合、他の病院では親子が無事に出産できるか
どうかという状態での転院で、こども病院だったから
無事に産まれたと思っていますし、先生に対しても感謝
しかありません。看護師の方々にも心のケアをして
もらい、安心して産めました。夜中でもいやな顔も
せず話しかけてくれたり、不安なことを聞くと
すぐに対応してくれるし、すごく良い病院だと思
います。これで食事がおいしければ言うこ

とないです。

明石市 母体搬送 初産婦 32週 帝王切開

私は品胎妊娠で〇〇病院では「出産はできますが赤ちゃんはこども病院か〇〇医大へ搬送になる」と言われ、紹介してもらえとの事だったので8週からお世話になりました。途中、シロッカー手術前に2度の切迫流産で即入院2ヶ月と、出産2ヶ月前(32週で出産)からの管理入院でまったく不安なく無事出産できました。入院中はほとんど点滴につながれたままで、トイレ歩行のみでしたが助産士さん達が入れ替わり様子を見て来て話をしたり笑ったりと入院生活はけっこう楽しかったです。ゆいいつ食事が…なんだかいつも同じ食材を使用し、アレンジしてはくれていますが、目で楽しむ事もなく「やっぱりと大きいと病院の病院食って…」と感じました。入院中の楽しみといえば食事だと思うので、できる限りでいいので、改善していただきたいものです。

神戸市 新生児搬送 初産婦 42週 経膈分娩

紹介状があるなしに関わらず受診できればうれしいです。次の子はこども病院で産みたいです。

西宮市 母体搬送 経産婦 30週 帝王切開

私はこども病院で出産したものの、赤ちゃんがたったの16時間しか生きていませんでした。もう少し時間が過ぎれば良いのかもしれない。

神戸市 新生児搬送 経産婦 37週 帝王切開

子供が5日間程の入院でしたが看護師さんのやさしい対応にうれしく思いました。出産後すぐに搬送された為私と別々の入院となり、自分が子供を出産したという自覚がうすれてる自分に気が付いてたのですが、面会に行った時に看護師さんが「今日はこんな表情をしてましたよ」「こんな動きをしてましたよ」と細かく説明して下さり話をいただき、親の心境も察してくれているのもわかりました。すごく安心して子供をあずける事ができました。今では看護師さんのやさしい笑顔だけが思い出です。院内が迷路のようなのにはビックリしました。何度か迷子になりそうになりました。あと食事する所がもっとあればいいなあ。

明石市 母体搬送 初産婦 36週 経膈分娩

売店の充実(新聞の販売など)、銀行・郵便局のATM導入、郵便ポストの設置、同胞を預けられる託児所(有料でもかまわないのであったらとても便利と思います)

西宮市 母体搬送 初産婦 30週 帝王切開

双子が生まれて4年がすぎました。当時の記憶は薄れつつあります。今年の2月に長男が生まれ、にぎやかな毎日です。帝王切開でしたが、先生が前回のお産の状況などこども病院と連絡を取ってくださり、おかげ様で2674g38週までもつことができました。ありがとうございました。近くにあれば利用したいです。子供はいつ病気になるかわかりませんし、病院の診療時間内に病気になるともかぎりません。今年の春に子供3人がロタウイルス腸炎にかかり、783gで生まれた次女が入院しました。日曜日昼にせめて点滴でもと救急診療所に行きましたが、薬の飲ませ方が悪

いと言うだけで何の処置もしていただけませんでした。ガリガリにやせて、みるからに危ない状態でも、子供に点滴を付けるのがむずかしいからというのがバレバレでした。むずかしいなら、他の病院に紹介してほしかったです。本当にこども病院が近くにあればと思いました。

加古川市 母体搬送 経産婦 36週 帝王切開

2回目の出産時は出産前より入院して、先生や看護師、助産師の方にとってもよくしていただき、安心してすごす事ができました。出産後(帝王切開)入院患者が急に増えたのでベッド数が足りなく、手術後1週間で退院となったのはかなり不安でした。私も皆様に子供とともに命を救っていただいて感謝して、次は困っている人にゆずってあげなくてはと思っていますが、やはり体力的にもしんどかったし、同じ日に手術された人は抜糸もせず退院となっていたのは本当に大丈夫?っていう気持ち、不安で一杯でした。産後ももう少しゆっくとすごせたらもっとよかったなあーと思います。

氷上郡 母体搬送 初産婦 33週 経膈分娩

初めての妊娠で緊張している時に破水し、こども病院へ転院。子供の発育が悪い事や、知らない病院での出産と不安でたまりませんでしたが、退院する時には「ここで産んでよかった」と感謝の気持ちでいっぱいでした。新生児室に父親が入って、ミルクをやったり、お風呂に入れたり、おむつを替えたりできたのがとてもよかったです。退院してからも、大きくなっても、2人目ができて、全て協力的で、上手にしてくれています。「初めての出産」だからこそ、こども病院で色々細かく教えて頂けてよかったと思っています。2人目は近くの病院で出産しましたが、こども病院で教えて下さる程、丁寧ではなかったので、「これで退院したら、不安でたまらない」と思いました。小児科の先生に不安で子供の様子を聞いてもらいに行ったことがあります。大した事はないと言わず、優しく説明して下さり、その上「子育て満点ですよ」とはげまして頂きました。主人と本当にこども病院でよかったねと、泣きました。子供は1796g小さく生まれましたが、今では身長も体重も標準になり、元気に走り回って遊んでいます。心配な所はありません。本当にありがとうございました。

姫路市 母体搬送 初産婦 27週 帝王切開

1人目をこども病院で出産してよかったです。普通の病院なら子供は助かっていないと思います。先生や看護婦さん達にすごくよくしてもらって本当によかったです。2人目もこども病院で出産をしたかったのですが、普通に行ってみてもらえるのかわからなかったため近くの病院にしました。今ではやっぱりこども病院にしていればと、すごく思っています。2人目は、色々ありましたが何事もなく元気になる子供だったのでよかったのですが、私はこども病院がと思いました。今から3年前は本当に大変でした。ありがとうございました。

三田市 母体搬送 初産婦 40週 帝王切開

産まれてきた我が子は普通で体重も3434gと大きく元気でした。しかし周りは未熟児だったり障害があったりと、とても自分の子が元気なのが悪い気がしました。授乳室で

も私は直接子供にお乳を飲ませる事ができたけれど、そうでないお母さんがほとんどでとても気の毒でした。だから早く退院したいとすごく思っていました。今回2人目を〇〇病院で出産し、周りもみんな元気な子を生んでいて授乳室も楽しかったしやかったです。我が子が何もなく生まれきたからこそこんな事が書けるんですが…でも、こども病院の先生方には本当にお世話になり、ありがとうございます。先生方のおかげでもうすぐ4才になろうとしてる息子はとっても元気に育っています。

加古郡 母体搬送 経産婦 39週 経膈分娩

先生、助産婦さん、皆様がとても親切で、安心できました。3人目を妊娠した時も、こども病院の方がとても信頼できるし、しんせつだったので出産したいと思いましたが、そこでいろんな子供さんを目にしたので、お腹の赤ちゃんが健康であれば元の個人病院で…と思い、出産しました。やはり、皆、不安をかかえてこられる患者様が多いので先生方の温かい対応や、助産婦さんの笑顔にすくわれると思います。これからも、1人でも多く赤ちゃんを救ってあげて下さい。心よりお祈り申し上げます。先日、何年かぶりに兄が耳鼻科にかかり、久しぶりにおとづれました。少しなつかしく思いました。やはり、先生は親切に説明して下さい、安心して帰ってきました。本当にすばらしい病院だと思います。

神戸市 母体搬送 経産婦 35週 経膈分娩

第1子の時は何もかも初めての事で、おろおろしていましたが、看護師の方々や先生の励ましもあり安心して子供をお願いする事ができました。その後、また2人目の時までお世話になるとは思ってもみませんでした、安心していました。助産ケアや、産後のケアもいろいろお世話していただきとても感謝しています。本当にありがとうございました。その後、2人共今では入院してたの？と思うぐらい元気ですくすくと育っています。反抗したり、共に笑いあえたりと、山あり谷ありの子育てですが、子供と共に私も日々教えられる事が多々あります。今後もお母さん達が安心してまかせられる、変わらないこども病院であってほしいと思います。本当に皆様ありがとうございます。

明石市 新生児搬送 経産婦 25週 経膈分娩

出産を断念しなければならなくなった時はショックでした。そんな時、苦しく悲しい心に寄り添って頂けるような暖かい心の看護師さんを多く育てて下さい。

西宮市 新生児搬送 初産婦 34週 帝王切開

面会時間が決まっていて(両親さえも)それに合わせるのが大変だった記憶があります。第1子がハイリスク児で通うならば生活が大人だけなので、ある程度の融通がききますが、第2子、3子ともなると子供中心で時間が動いているため限られた時間内に行くというのは大変ではないでしょうか。核家族化している現実とのギャップがあるとあります。

神戸市 母体搬送 初産婦 30週 帝王切開

個室に入院中、ユニットバスに小さなハエのような虫がわいていて気持ちが悪かったです。また、ユニットバスの

シャワーの出が悪くて頭を洗えないくらいでした。(あれではシャワーのついた個室の意味がないと思う)高い個室料を支払っているのだから、きちんと快適にしてほしいと思いました。

三木市 母体搬送 初産婦 31週 経膈分娩

入院中は〇〇先生をはじめ、皆様に大変お世話になりました。有難うございます。残念ながら子供は3日しかこの世に生まれませんでした。初めは悲しみばかりでしたが、少しでも母親にさせてもらった喜びや人生について色々な事を考えさせられる機会を与えてもらい、今では子供に感謝しています。そして、子供が長く生きられないとわかった時に、一緒に泣いて下さった看護婦さん、先生のお心遣いにも、とても感謝しております。人の命の大切さ、人の優しさを強く感じた、入院、出産でした。 〇〇〇子

明石市 新生児搬送 初産婦 38週 帝王切開

以前、子宮外妊娠で入院した時、子供を出産した方と同室だったため、精神的につらかった。でも、同室の方、先生、看護師さんには、大変親切にいただきました。子供が入院していた時も、子供に対しても、初めて出産した私に対しても、親切で丁寧な対応をしていただいて、とても感謝しています。 〇〇〇子

神戸市 母体搬送 初産婦 37週 帝王切開

私は4年半前にお世話になりましたが、今思い返しての感想を書きたいと思います。私の場合、母子ともに生命を左右する重症という事ではなかったのですが、こども病院にお世話になっているという事が心苦しく申し訳ない思いでした。先生、看護師さん達は分け隔てなく温かい態度、言葉をかけて下さいましたが、他にもっと大変な方もいるのに…という想いで何か聞きたい事があっても「スタッフの方の忙しい手を止めるのはできないな」と一歩遠慮したかたちになりました。これからも私と同様に感じる方がいらっしやると思います。その方たちが退院された時に「大きい病院だったけど、お世話になってよかった」とこども病院でのいい思い出が一つ増えている様になっていればいいなと思います。 〇〇〇子

神戸市 母体搬送 初産婦 37週 経膈分娩

・切迫早産で長期入院しました。入院中は婦長さんをはじめ、看護師さん、先生にも本当にお世話になりました。特に朝の忙しい時間に婦長さんがベッドサイドでゆっくり話をきいてくれたのがとてもうれしかったです。私は産後の方ばかりの部屋になる事がとても多かったのですが、赤ちゃんとの面会、搾乳などで皆ほとんど部屋にいることがなく、いつも1人でした。大人の病棟なので、切迫早産のように長期入院の人ばかり集まると、何かとトラブルが出てくるから…との配慮かなあとも思いましたが、やはり1人でずっと過ごすのはつらいものがあります。・産直後、夫は看護師さんに「先生からお話があります」と言われ、新生児室へ赤ちゃんをすぐ見に行ったのですが、分娩室前にいた私の両親は夫が新生児室から帰ってくるまでの間、「先生からのお話ということは、きっと赤ちゃんに何か異常があるんだ…」とものすごく不安になり泣いていたそうです。家族への声かけをお願いします。

神戸市 母体搬送 経産婦 36週 帝王切開
入院した時は2月で寒い時でしたが、毛布が足りないとのことで、いつ空かわからないから、家から持ってきてくれと言われ驚きました。患者さんの使う備品等はベッドの数くらいは用意してほしいと感じました。それ以外は本当に皆様に親切にして頂き、感謝しております。

明石市 母体搬送 初産婦 30週 帝王切開
里帰り出産の予約に訪れた〇〇病院で切迫早産が判明し、当院に搬送されました。26週でした。点滴で落ち着きましたが、私の精神状態が悪くなり破水、30週5日の朝、子供の心拍が弱まり帝王切開で出産しました。1606gの小さな男の子。NICUとGCUで1ヶ月半お世話になり、脳性まひや難聴の疑いも出てきました。入退院を繰り返し、脳や血液の検査を進めたところ、一才5ヶ月目で異常が見当たらないことがわかりました。まだ難聴の疑いは残っていますが、この頃から徐々に体重が増え始め、笑ったり、声を出したり、手を伸ばしたりするようになりました。小さな子供を育てるのは自分との闘いでもあります。周囲の心ない言葉で傷ついたことも多々あります。神頼みもしましたが、最終的には子供の生きる力を信じるのが大事だと思います。スタッフの皆様。母子共に体と心のケアをありがとうございました。

神戸市 母体搬送 経産婦 30週 帝王切開
ハイリスクの出産ばかりで、みんなで励ましあえたので、ブルーにならなくて良かったです。寝たきりの状態でしたが、みんなが（患者さん、先生、看護師さん）よくしてくれてうれしかったです。分からない所も詳しく教えて頂き、帝王切開の傷跡もきれいでありがたく思っています。転勤の為、栃木に行きましたが、紹介状も書いて頂き、こちらの病院に通院していますが、元気に育っています。もしまた出産する時はお世話になろうと思っています。本当にありがとうございました。P・S 〇〇先生、〇〇先生、〇〇さんありがとうございました。

神戸市 母体搬送 初産婦 33週 帝王切開
帝王切開だったのですが、とても痛かったです。どんどん歩いて下さいと言われ、つらかったです。3時間おきにさく乳するのに毎回起こしてくれました。有難うございました。3度の食事が楽しみでした。おいしかったです。小さく産まれたのですが、今では元気にすくすく育っています。まだ標準ではないですが、標準に近づいています。本当に有難うございました。

他府県 新生児搬送 初産婦 37週 帝王切開
私は帝王切開で一人目を産みました。その直後、子供はこども病院に運ばれ、離れ離れになってしまいました。全身麻酔だった為声も顔もみることもなく…どういう状況なのかも家族からのまた聞きだったので理解に苦しみました。気になって夜も寝れませんでした。ちょっとしたメモ書きでもいいのでNSからこどもの様子を書いた物を家族に渡してもらえたらありがたかったように思います。

加東郡 母体搬送 初産婦 34週 経膈分娩
破水してからこども病院に空きが出るまで1日だけ〇〇

病院で待機だったのですが、導尿で一歩も動くことができずご飯も寝たまま…こんなのが続くのかと思っていましたが、次の日、こども病院に行くと昨日がうその様に楽しくなりました。やはり設備もとのっているし、専門はすごいなと感じました。スタッフの皆さんもよくしてくださり、不安で一杯でできた私にとってはものすごい励みになりました。ただ一つ気になったのは、確かに特別な病院ではあるのですが、出産を迎えた後はもう少しサービスがあってもいいかなとは思いました。普通の病院だと哺乳瓶がサービスでもらえたりすると聞いていたので、ほとんど準備していませんでした。そんなささいなこと以外は、こども病院で出産できてよかったと思っています。こどもももうすぐ一才になります。日に日にかわいくなっていくのを見てみるとみなさんのおかげでここまでこれたのだと感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございました。

明石市 新生児搬送 経産婦 39週 経膈分娩
出産後すぐの入院でどうなるかと不安に思っていました。先生の説明や看護師達のやさしさに安心できました。ありがとうございました。

神戸市 母体搬送 経産婦 帝王切開
今回、記念アンケートにて個人の意見を調査して下さいと感謝いたします。今後、あらたに妊娠したとすれば強くこども病院での出産を希望したいと存じます。（リスクの高い妊産婦が高度な医療を必要としその方々がまず重要とされてからの事ですが。）こども病院での安心感他病院でえることは出来ないと思います。可能であれば、又こども病院で出産できればと思います。入院中ですが、夜間の授乳はさく乳でしたが直接、授乳できればと感じました。

神戸市 母体搬送 初産婦 37週 経膈分娩
出産した人としていない人を同じ部屋にしない方がいいと思う。3時間おきにおっぱいをしぼっていたんですが、昼間、元気な赤ちゃんを病棟に連れてきて、いろいろされていましたが、子供とはなればなれにいながらおっぱいをしぼっていて、元気な子供さんの姿を見ながらはつらかった。別々の部屋にして欲しい。こどもの面会時間が少なく、自由に様子とかみれるようになればと思います。

神戸市 母体搬送 経産婦 37週 帝王切開
退院後の母乳で悩みました。第一子は問題もなく一才2ヶ月まで母乳でしたが第二子の時は乳腺炎か？にかかったのか熱が出て痛くて眠れませんでした。どこに相談したらよいかもわからず、生後9ヶ月で断乳するまで悩みました。

飾磨郡 新生児搬送 経産婦 39週 経膈分娩
親がそばにいてやれないのが泊まれないのがとてもつらかったです。そういう事も子供にとってストレスになるんじゃないでしょうか？

姫路市 新生児搬送 初産婦 34週 経膈分娩
面会に行ったときに看護師さんがその日の子供の様子などを話してくださったのがとてもうれしかったです。

神戸市 母体搬送 初産婦 37週 帝王切開

こども病院で入院、出産させていただけたことをたいへんありがたく思います。妊娠後期の異常でなかなか気持ちの整理がつかない私に先生も看護師の皆さんも丁寧に何度も治療方針の説明をして下さり、なっとくし、信頼してお任せすることができました。たくさんの方に支えられ、助けられた妊娠、出産でしたが、その記憶の一つ一つがそうして生まれた我が子を大切に育てていこうと思う力になってると思います。産後、体調が悪くて赤ちゃんの顔を見に行けない時、看護師さんが赤ちゃんの写真をとってもらって来て下さいました。先生は何度も様子を見に来て下さいました。感謝することはたくさんありすぎてこの紙には書ききれません。もし何かお願いがあるとしたら・・・退院後のことを書きたいと思います。幸い産後は順調で一ヶ月検診では母子共に異常なしだったので、検診後に私は9度6分の熱を出し、子供は顔が赤くなりそれぞれ病院にかからねばならなくなりました。近所の内科、小児科ではく出産した病院で診てもらって下さい。>と言われこども病院ではく近所の小児科にかかってください>と言われ大変、心細い思いをしました。こども病院<卒業>というのは大変幸せなことなのですが卒業してからも安心してお任せできる病院にめぐりあえるまで、相談にのっていただければ不安も少しはやわらぐのでは・・・と小さな希望を述べさせていただきます。

神戸市 母体搬送 初産婦 33週 帝王切開

初めての出産でこども病院に転送されたときは、ただただ動揺してしまっただけですが未熟児で生まれた息子も今では3歳になり、元気に幼稚園へ通っています。こども病院での入院生活は他を知らないの比べようがないのですが、先生、助産婦の方々にとても親切にケアしていただいた事を今でもはっきり覚えています。しっかり、授乳指導していただいたおかげで息子も母乳のみで育てる事が出来ました。自宅が遠いのでなかなか伺うことが出来ませんが今後より一層のご発展をお祈りしております。

芦屋市 母体搬送 初産婦 30週 帝王切開

産科の〇〇先生、新生児科の〇〇先生には心から感謝しております。こども病院のおかげで娘は元気にうまれてくることができました。新生児を対象とした最高水準の病院が存在してくれて、本当にありがたいと思っています。今でも当時の事を思い出すと恐怖心(赤ちゃんをうしなうのではないか・・・という)がまざまざとよみがえってきます。これからも多くの子ども、そして母親たちを救っていただきたく存じます。入院中に一つ残念だったのはある看護師さんのことです。私は母乳の出も悪く、乳房が非常に痛んだのですが、その方は乱暴にマッサージを行い、あまりの痛さに「やめてください」とお願いしたところ、「こんなことで痛がってどうする、赤ちゃんはもっとしんどい思いをしているんだ」と叱責されました。また、「帝王切開で楽をしているのに、自然分娩したお母さんたちの方がもっとしんどいのに・・・」ということも言われました。結局母乳の出は最後まで良くなく長い間「母親として失格だ」という気持ちにさせられました。自然分娩できなかつた、母乳が充分でなかつた、と言う心の傷はこれから一生、残ると思います。もちろん、私などよ

り大変つらい思いをされているお母さんたちはたくさんいらっしゃるでしょう。やはり母親の心のケアとまでいきませんがせめて気付かってもらいたいと思います。〇〇〇子

神戸市 母体搬送 初産婦 38週 経膈分娩

お久しぶりです。私の事の意見<わがまま>かもしれない。産んですぐに小児科に子供をつれていかなければならないと言っていたかもしれないが産んだ子を近くで見せてもらえませんでした。すぐに連れて行く予定がのびたので父親は抱くことができてましたがカンガルー式？みたいに産んだ赤ちゃんに感謝したい気持ちがあったのに泣くのをがまんして遠目でしかみれなかったのが今でも残念です。次の子は自分の親にも産んだすぐの赤ちゃんを抱いて欲しいので分娩に立ち会える病院でチャレンジしたいです。子供は元気で保育園に行ってます。あと質問なんですけど夕食時にケーキができてきたんですが、産んですぐにカロリーは高くないのでしょうか？あと・・・小児科の残りと言っていた人もいたんですが本当でしょうか？

明石市 母体搬送 経産婦 34週 経膈分娩

一卵性双生児で高血圧(妊娠中毒症)もあり胎児発育不均衡という事もあり、毎回検診の時に主治医の先生にたとえ、1%でも可能性がある事は良い事も悪い事も言われ、悪い事のほうがやはり心に残って、しまうので落ち込んで帰ったものでした。毎日不安の中、28週目で入院する事になり上の子が2才半くらいで私とそんなに長い間、離れた生活をした事がなかった為それもまたかなりの不安材料で落ち込んでいましたが、主治医の先生方、ナースの方々(特に受け持ちナースさんには色々相談し何でも話せたので心強かったです。)それに家族に支えられ無事に二人とも出産することができました。今では、7ヶ月になり、あんなに小さく産まれた事を忘れるくらい元気にブクブクと育っています。あのつらかった2ヶ月半の入院があったからこそ無事に産できたこと心より感謝しております。ありがとうございます。P.S食事の事ですがごはん食の時にはフレークだけでなくおかずを一品(納豆だけでも)付けてくれると食べやすかったと思います。

神戸市 母体搬送 初産婦 35週 経膈分娩

不妊治療をしていた私がやっと妊娠できて喜んでいたのもつかの間切迫早産でこども病院に搬送され2ヶ月間寝たきりの生活が続きました。結果、流産という悲しい結果に終わりましたがその間先生はじめスタッフのみなさんの看護とはげましにとっても感動しました。辛い日々をへて、その後妊娠する事が出来、再び、こども病院へ妊娠期間中、流産の不安を抱えながら長い入院生活が続きましたが、先生やスタッフの方々への信頼をもっていたので頑張る事ができました、感謝しています。ありがとうございます。今は二人の子の母として忙しい日々を過ごしています。こども病院へはすっかりご無沙汰してしまってますが今日このような形で近付くことが出来た事を本当にうれしく思っています。

神戸市 母体搬送 初産婦 41週 経膈分娩

危険な状態での出産も多いこども病院で元気な赤ちゃんを出産することができて、本当によかったと思いました。

ぜいたくな望みだと思いますが、無事に生まれたのならもう少しくおめでとうという雰囲気があればよかったですと思います。

神戸市 新生児搬送 経産婦 36週 帝王切開

思いがけない状態の赤ちゃんが多く入院されていた事が一番心に残っています。自分自身の子供、ましてうまれてすぐ少しはなれた場所に移される事の淋しさは今でも子育てでイライラしたりつついとおこりすぎたりする時おもいだしてしまいます。先生方のおかげでこんなにげんきになに事もなかったかの様に生活しているありがたさを忘れがちになったとき今も入院中ががんばっている小さな赤ちゃんがいる事など色々、私自身の人生観として反省したり考えたりしています。看護婦さんに抱かれ安心して寝ていた我が子を思いますと、皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。お便りありがとうございます。

他府県 母体搬送 初産婦 39週 経膈分娩

入院中不安になると看護婦さんが必ず気にかけてくれたのが何より心強かったです。先生方も何とかいいお産を、とにかく赤ちゃんの命をという懸命さが伝って来て安心して出産させていただきました。私自身はいろいろ不安はありましたが、こども病院に入院し出産できたことは命に対する勉強になりとてもよかったですと思っています。娘はもう3才になりましたが、出産したときのあの喜びを思い出しこれからも愛情をたっぷりそそいで育てていきたいと思えます。このアンケートがきたことで、私が忘れていたことを思い出させてくれたみたいで、娘が無事生まれてきてくれたあの瞬間をなつかしく感じています。奈良県在住ということで、2人目はこども病院にお世話になれなくて本当に残念でした。無事生まれたと思っていたものの心臓疾患があり、こんなことなら・・・と後悔もしました。現在は〇〇センターにお世話になっています（年に1回ほどの通院）が、今でもこども病院で治療を受けたいという思いがあります。うちの娘よりもっとも優先される子どもがいることもよくわかっていますが、違う県でも出産からお世話になれるようにしていただければうれしいです。（1人目の退院時に、2人目は遠いから難しいかな・・・と先生にも看護婦さんにも言われ断念しました。）これからも信頼できる先生、心あたかい看護婦のみなさんでこども病院が発展し続けることをお祈りいたします。

明石市 母体搬送 経産婦 35週 帝王切開

子供3人お世話になり有難うございました。妊娠中毒症と言うと本人の不摂生が原因ときめてかかる先生（看護師）が多くて病院へ行くたびに責められて嫌な思いをしてきました。3人目は早くから紹介状を書いてもらって通院させていただきましたが1人目、2人目の時もこうだったら救急車で運ばれることもなかったらと思うました。せめて中毒症の電話相談みたいなものがあれば良いと思います。中毒症の症状が出て自分の先生に紹介状を書いて下さいとは言にくいものなのでまず電話で話を聞いていただいでそこから診察を受け入れていただければ助かる方も多いのではと思います。

他府県 新生児搬送 初産婦 41週 帝王切開

お世話になった頃は社宅住まいでしたが、昨年夏に家を購入して引越しました。娘の死後、泣いてばかりいては亡くなるまで精一杯頑張っていた娘に顔向けできないので新しい資格を取ったり再就職もして現在は精神障害者福祉施設の末席を汚しております。小さな身体で生きようと頑張っていた娘の姿、親として娘に与えてやれたもののあまりの少なさを思うと今も切なく涙が出ますが、何より愛しい者の命を失ったからこそ周囲の様々な生命が大切に思えることも知りました。娘が亡くなってから得た出逢いやマイホームも全て娘から私達への遺産と思ひ大切にしていきたいと思えます40才を超え、結局我が子とは縁薄い人生なのかと諦めかけていた今春思いがけず妊娠し年末には家族が増える予定です。今度はお世話にならずとも育てくれる子供であってくれればと願う毎日です。末筆ながら皆様のご活躍をお祈り申し上げます。〇〇〇子

尼崎市 母体搬送 経産婦 22週 経膈分娩

低体重児を出産した（してしまった）原因が、まだ解明されていないとの説明でした。だから次に、子どもを産む気になりません。（もともと2人子どもを産むつもりでした）いくらかは、母親に原因がある。それをはっきり指摘してほしいが、自分を責める材料になるのでおそろしいです。幸いにして後い症もなく？（未熟児網膜症の手術をして左右視力が違いますが目がねが必要。）元気に育っています。風邪をひくとすぐ気管支炎をセットで診断されますが、2歳にして体格的（身長）に標準に追いついています。こうなってくるとあの時、未熟児網膜症の手術をしなくて済んでいたら・・・と欲が出ます。定期的に眼科には通院していますが、どれくらいの視力があるのかまだ年長的に調べられていません。歩くバランスが悪いのはこのせいだと考えています。もう2歳にして目がねが必要です。視力が出るのならばやくそうしたいが。

神戸市 新生児搬送 経産婦 38週 経膈分娩

病院から搬送される時はもうだいぶ状態がよくなっていたのですが抱かせてもらえなかったのがとても残念でした。1度搬送される前にだっこしたかった！あと何度か検診に行ったが時間がきまっていたがやはりまち時間が長かった。NICUに入院していたが面会に行った時始めてなのでどうやって入っていいのかわからなかったのにはじめだれも何もおしえてくれなくて、とてもとまどった！消毒の仕方や衣服（白衣）のある所など・・・。

明石市 新生児搬送 初産婦 40週 経膈分娩

私達にしたらずべてが初めての体験で楽しみにしていた子が産声もあげず、息が止まっててすごく不安な気持ちだったのに「子供病院に運びます」って聞いた時は正直安心感がありました。先生には「他の子に比べたらたいした事ないですよ。」って言われたけど今、現に元気に走り回れるのは先生、スタッフのお陰です。ありがとうございます。

神戸市 新生児搬送 経産婦 37週 経膈分娩

入院中は検査処置におきましてとても迅速に対応して下さり子供をまかせるといふ点ではとても信頼がおけ安心することができました。また、入院する時には子供病院の救

急車ではこばれることとなりましたが、その際は先生と看護師さんも同行して下さいましたこととその時に「あとはおまかせ下さい」と一言言って下さったこととはげみとなりました。ただ、入院する時は完全看護ということでつきそいが出来なかったのがとてもつらく悲しかったです。やはり母乳をあげる時期はほしがるときにあげたいと思います。その時なんらかのつきそいの出来る方法があればいいと思いました。

明石市 新生児搬送 経産婦 37週 経膈分娩

入院中は大変お世話になりました。3人目ではじめての入院、オロオロ、ドキドキ、このまま死んでしまうのでは？と思うぐらいでした。でも先生に「大丈夫ですよ」と言われ本当に安心できました。みなさんのやさしさにも救われ7日間の入院が心配ではなく安心でした。子供だけでなく母にも本当に温かい言葉などをいただきありがとうございました。入院する前の事は思い出したくないのですが子供病院での事は一生忘れる事なく子供が大きくなった時に話してやりたいと思っています。これからも多くの子供やお母さんを元気にしてください。ありがとうございました。

神戸市 母体搬送 初産婦 33週 経膈分娩

たくさんの不安を抱えての出産でしたが、こども病院の先生方、スタッフの方々が本当に良くケアして下さいましたので、こども病院で出産する事ができて良かったと心から思いました。明るい病棟の雰囲気にも不安が和らぎましたし、スタッフの方々の前向きな姿勢に、私自身も頑張ろうという気持ちにさせてもらいました。本当に良い病院で産ませてもらったと感謝しています。ありがとうございました。これからも患者さん達の不安を取り除いてあげる様に、大変だと思いますが、皆さん明るく優しく頑張って下さい。

洲本市 母体搬送 初産婦 34週 経膈分娩

大きな不安に包まれての長い入院生活でしたが、常に全力での治療とケアをして頂き、どれだけ安心感と希望を持ち毎日を過ごせたことか計り知れないくらいです。この周産期センターがあったからこそこんな私でも元気な赤ちゃんを産むことができたのだと本当に心から感謝の気持ちでいっぱいです。ここで小さく産まれそうになったのを助けて頂いたこと、貴重な命を守って頂いたことは一生忘れません。本当にありがとうございました。

三田市 新生児搬送 初産婦 41週 帝王切開

こどもが入院した時、またその後の定期検診どの時も先生はじめ、看護婦さん皆さんとても親切でいいねいっこども病院にはとてもいい印象を持っています。先日検診に行った時、会計横の掲示板に心臓移植の寄附の張り紙を見ました。寄附箱を設置することはムリなのでしょうか？振り込みとなると金銭的にも色々な意味でしずらいですが、あの場所に寄附箱があれば、同じこども病院に通う者として少しの金額でも入れればと思いました。

宝塚市 母体搬送 経産婦 25週 帝王切開

出産後（帝王切開）私自身に少し異常があってもかんとんに診察してもらう事がむずかしいのが不便に思います。ただ子供の方はいつもこども病院がついてくださる感

じがしてとても心強く思っています。いつもありがとうございます。

篠山市 母体搬送 初産婦 34週 帝王切開

授乳室と搾乳する場所を別にして欲しかった。直接赤ちゃんに乳をやる人の授乳を見るのはつらかった。保育器に入っておっぱいをしほることしかできない人にはとてもつらいものがあった。こども病院に入院するということはだいたいの方は入院が長びくものだけど、Drやナースの方々は精神的にもケアをして下さって今までの病院の中でも最高の幸せな一時でもありました。

尼崎市 母体搬送 初産婦 32週 帝王切開

私自身の入院はたいへん苦痛でした。今産まれたらどうなるのだろうかという不安とベッド上安静と早産をおさえる点滴のつらさと戦う毎日でした。本当に辛いことだらけで今思い出しても涙がでてきそうです。毎日くじけそうになったりわがママをいう私を主治医の先生他看護師のみなさん全員でなんとか支えていただけたおかげで2ヶ月半後に無事双子を出産することができました。今ふたりの笑顔を見ることができてたいへん幸せに思っています。こども病院だったから無事産まれてこれたのだと思っています。本当に感謝しています。

宝塚市 母体搬送 初産婦 31週 帝王切開

私は他院より転院してきたのですが、同じ症状でこうも違うのかとびっくりする事ばかりでした。個室を使用させてもらい（無料で）薬の量もちがいがいい、ケアの仕方が全然ちがいました。同じ県立病院でもこんなに違うのかなと…食事（減塩食でしたが…）おいしくいただきました。出来れば次出産する事が出来るならこども病院でしたいと思っていますが、これは無理なのですかね…看護師さんにもよくしていただき（産科、新生児科、GCUとも）本当にありがとうございました。うちの子は小さく定期的に、まだ検診していただいているのでこれも安心です。先生方や、スタッフの方々に感謝しています。

氷上郡 新生児搬送 経産婦 35週 経膈分娩

とても親切で親の不安をとり除いてくださる様に説明して頂いたので安心して子供をお願いしようと思いました。（入院中）外来で午前中の予約外来はちょっと（3時間程）待ち時間が長いかなと思いました。

芦屋市 新生児搬送 初産婦 29週 経膈分娩

新生児病棟（NICU・GCU）の中に、父・母だけでなく祖父・祖母も入れるようにしてほしい！GCUの看護婦さんがとても良かったです。あわない人も中にはいたけど良い看護婦さんが多かったです。ありがとうございました。

神戸市 新生児搬送 経産婦 32週 帝王切開

個人病院では搾乳機（大きな医療用なもの）があり、しっかり母乳も出ていたのですが、退院後手での搾乳が上手にできず、日に日に搾乳量が減って悲しくなりました。せめて、こども病院で搾乳機があり、使用する事が出来たら…と思いました。市販の搾乳機も購入してみましたが痛いばかりでダメでした。もしくは、面会時間に関係なく、子供

に母乳を含ませてあげたらなと思います。お世話になった子も、7月25日で2才です。今は、元気に保育園にも通っています。体重も13kgありクラスでも大きい方になってしまいました。びっくりです。ありがとうございました。

芦屋市 母体搬送 経産婦 34週 帝王切開
突然の出血、破水でこども病院へはこぼれました。絶対安静でベットから一步も降りれず、最初の一週間は食事ものを通りませんでした。痛みと不安で押しつぶされそうな時看護師さんから声をかけていただき、本当に嬉しかったです。先生もこと細かく状態を説明して下さいてありがとうございました。私は2ヶ月弱で子どもと一緒に退院できました。が他の皆さんはほとんど子どもさんは入院のままの退院でした。入院生活がとても長い方や初産での入院の方もたくさんいました。おそらく皆不安だらけの毎日です。そんな時経験豊富な看護師さん先生方の笑顔や声かけに心から救われます。どうかこれからもお仕事がんばって下さいね。

津名郡 新生児搬送 初産婦 24週 帝王切開
子供病院では36日間お世話になったのですが毎日、淡路から車で行っていたので途中銀行によることもできず、お金をおろす事ができず少し困ったことがありました。できればキャッシングコーナーがほしいです。医療の面ではとても満足しています。今でも安心して先生にまかしています。入院中かのご婦さんには、とても勇気づけられて、がんばることができました。とても感謝しています。

津名郡 新生児搬送 経産婦 23週 経膈分娩
盲目症の手術で入院した時に治療後もこども病院での入院を希望したが医局が同じだからと言われ受け入れられず、その後、淡路へ戻り退院することはできましたが、在宅酸素が必要で、えん下障害、ピエール病などがあり、不安で一杯でした。私のかかりつけ医には、「なぜ、こども病院でみてもらわないの?」と言われ続けていましたが、紹介型というのがネックになり、なかなか行動に移すことができず、H15年10月のこども病院でのGERの手術後に退院してからは体調がどんどん悪くなり、酸素の量も増える一方で、今年2月に入院した時にはすでにぎりぎりの状態で残念ながら亡くなってしまいました。もっと早くにこども病院でみてもらってれば?と思えて仕方ありません。紹介がなくても重症と思える場合には、診ていただけるような病院になってくれたら良いと思います。また、〇〇病院の小児科医もこども病院の先生と同様に信頼できるようになることを望んでいます。

加東郡 母体搬送 初産婦 39週 帝王切開
出産までに入院生活を少し送っていたのがその間に心臓病の勉強をさせて欲しかった。心奇形なのは分かっていたがそれがどれくらいのレベルなのかどのような治療が必要かなどまったくわからないまま出産になったので出産後パニックになった。ある程度の病名がわかっているなら予備知識ぐらいは知っておきたかった。その後子供が長期入院をしていたがDrと看護婦、看護婦と親のコミュニケーションが悪い時があると感じた事がある。何事も話し合わなければ近付けないのにギクシャクした間柄の中で子供を預け

るのに不安を感じた事がある。もっとコミュニケーションをとって欲しいです。

他府県 母体搬送 初産婦 32週 経膈分娩
入院中は大変お世話になりました。神戸という見知らぬ地での入院、出産だったのでとても心細く不安だったり、子供の入院中はなかなか面会に行けずなかったんですが同じ部屋のお母さん方と励ましあったり、いろんな思い、子育て観にふれる事ができ、とても貴重な経験ができたと思っております。また子供だけが入院していた時も看護師さんたちがいつも優しく声をかけてくださり、必要な医療は十分にうけれると思っていましたので離れていても不安はありませんでした。こども病院を通じて一生の友人ができた事も嬉しく思います。私のように良い思い出ばかりのお母さんばかりではない事も悲しいですがあるようです。どうかこども病院で良かったと皆さんが心から思える病院でこれからもありつづけて下さい。

三田市 母体搬送 経産婦 40週 経膈分娩
不安にかられる中の出産でとまどいもありました。2人目の出産で妊娠中に異常(子供の)が見つかり周りからは責められと本当に不安でした。でも、一人の先生と全ての助産師、看護師さんの心あたったかい言葉にすくわれました。又、新生児科のDrには、はげまされた事もあり、親切に病状の報告もして頂いた事。今でも忘れません。本当につらい妊娠だったので、もし次の機会があるなら、ぜひ、こども病院で産みたいと思っております。出産したあと、不安もありましたが、今では、その子も、もうすぐ3才です。とっても元気に育っている為「本当に異常があったの?」と思うぐらいです。こども病院の助産師さんには本当に感謝しています。親の心も救ってくれたんです。今でもあの時の事、思い出すとつらくて涙が出ます。でも、助産師さんの言葉と笑顔は忘れません。本当にありがとうございました。まだ、この先何度か通院に予定です。先生方、助産師の方、大変なご苦労もあると思いますが、どうぞがんばってください。

他府県 母体搬送 初産婦 39週 経膈分娩
本当に運のよいことに、何の異常もなく、元気に出産できたことに感謝しています。今でも思い出すと感動で涙がこぼれます。厚かましいけれど、2人目も欲しいと思っっているのですが私の体質上、また、妊娠期間中 気のぬけない、注射を自分でするなどの苦勞を思うと考えてしまいます。でも、こども病院なら、元気に産ませてもらえるのでは?と思えるのです。とても信頼しております。入院中も同室の方々に恵まれ、今でも交流を持って楽しく過ごしています。

相生市 母体搬送 経産婦 40週 経膈分娩
平成10年7月にこども病院で1人目を出産し、死産しました(染色体異常の為)高齢出産の為2人目もこども病院で出産させて頂きました。辛い事もたくさん体験致しましたが、現在は娘(4才)と楽しい毎日を過ごしております。当時大変お世話になりました先生、〇〇Dr.〇〇Dr.には感謝しております。そしてたくさんの助産婦の方々、心のケアまでして頂き、本当にありがとうございました。

伊丹市 母体搬送 経産婦 32週 経膈分娩

2人目妊娠8ヶ月末早期破水で救急車でこども病院へ搬送された時は不安と心配でどうなるかと思いましたが産前、産後も先生や看護婦さんの優しくあたたかい言葉をお掛けして頂き、大変お世話になりありがとうございました。お蔭様で早2人目 3歳になり大きな病気もせず元気に育ち現在3人目妊娠中22週胎動も元気で11/14秋出産予定ですがやはり今回もどの様な出産になるか心配ですが毎日2人の子供達がお腹を触っては声かけしてくれる事で励まされ新しい家族の誕生を楽しみにしています。暑さは続きますが皆様の御健康と御多幸を心よりお祈り申し上げます。開設10周年心からお祝い申し上げます。平成16年7月12日

神戸市 母体搬送 経産婦 10週 経膈分娩

一人の子供の時は、陣痛がきてから、出産までの間、助産婦さんや先生がほとんどついてくれず、主人と2人でぎりぎりまで待っていたので、こども病院の出産で助産婦さんについてていただいたのは、心強かったです。子どもの病気のことで不安な事がいっぱいありましたが、無事出産できたことには感謝しています。子どもはその日のうちに亡くなりましたが、生まれてくる子どもたちのために、これからも、いっそう、ご尽力下さいますよう、お願い申し上げます。

神戸市 新生児搬送 初産婦 41週 経膈分娩

オッパイを毎日あげに行っているとお友達もできて心強かった。

西宮市 母体搬送 初産婦 27週 帝王切開

私は普通の病院から、こども病院へと移送されましたが、こども病院は先生方の技術力の高さ、スタッフの対応の良さ、そして、同室のお母さん方が同じ様に高いリスクの方々相談ができたり、励まし合ったりと精神的に良かったと思います。お部屋も広く明るくきれいでした。冷暖房も嬉しかったです。お食事もおいしかったので、リラックス出来ました。出産して4年ですが、今でも当時同室の方とは年に数回逢っています。こども病院は高いリスクのお母さん方にとって、とても力強いサポートの病院だと思っています。ずーと、あり続けて頂きたいと思っています。

明石市 新生児搬送 経産婦 38週 帝王切開

赤ちゃんを産み幸せなはずなのに一おめでたいはずなのに身内からは誰からも「おめでとう！」の言葉をかけられなかった。私は毎日泣いていました。色々な思いが頭を駆けめぐっていた「ごめんネ、会いたい、なぜこんな事にー」等々 早く会いたいがこども病院はかなり遠くすぐには行けなかった。初めて会ったのは5日後くらいだったと思う。いっそ、赤ちゃんと一緒に搬送していただければよかったのではないかと思います。

明石市 母体搬送 経産婦 32週 帝王切開

第一子の出産児に大変困難があり、幸い無事に生まれ育っているのですが、とてもこわかったので第二子の妊娠が判った時に、何かあった時の為にこども病院へ搬送してくれる〇〇病院を選びました。予想通り長期入院でこども病院へ搬送される事となり出産しました。子供にとっては専門医

のいるこども病院で良かったと思います。出産でお世話になりましたが、子供の病気の時にいつも不安になるので気軽にこども病院で診察をして頂けたらいいと思います。休日や夜間等に診察を受けて誤診をされた事もあり幸い命に関わる様な事ではないので別の病院と再度、再々度と診てもらった事もあり、専門外の診察だった為だという事です。こども病院は総合的に診て頂けるので普段から診て頂きたいと希望致します。

神戸市 母体搬送 初産婦 31週 帝王切開

おなかの赤ちゃんの事を考えると、こども病院で出産できれば何かあった時にフォローが早いので安心です。でも、週数もかせげ、おなかの中で赤ちゃんも順調に育てていたら、こども病院で産む事には、こだわりません。こども病院と〇〇の産科のスタッフを比べてみると、こども病院のスタッフは、産むまでフォローをしてきてる人達で〇〇は産後のケアに力を入れているように感じました。こども病院の助産師さん達もしっかりしていますが、産後のケアは、まだ入院している重症患者さんに手が取られる為か、今ひとつだったような気がします。理解は出来るのですが、子供を産むまでとても支えになってくれていたのが、出産してしまうと、突然体の状態を聞かれる事もなくなり、すこしさみしかったです。極小未熟児で産まれた子供も3才になり、普通の幼稚園に通っています。こども病院だから命を助けられ、今元気な子供が居る事に感謝しています。

芦屋市 母体搬送 初産婦 41週 経膈分娩

初めての出産が死産となり、2人目は流産と2度お世話になり、3人目の妊娠がわかってすぐ、こども病院でみていただきました。異常がなかったのですが、そのまま出産までお世話になることとなり、やっと元気な赤ちゃんに恵まれ、本当にうれしかったです。始めは良い思い出がなかったのですが、結局楽しい思い出となる病院になりました。出産後、授乳は大変でしたが、朝10時に授乳室に来る、子供に会えるのが楽しみでした。夜は、新生児室で見ていただいているので、安心でしたし、入院一週間が楽しかったのを覚えています。結局3度こども病院でお世話になりましたが、はじめの2度も看護師さんのお気づかひもとても伝わりました。又、お世話になるかもしれませんが、とにかくありがとうございました。

神戸市 母体搬送 経産婦 28週 帝王切開

初診のときの受付手続きにとっても時間がかかった事があります(4~50分くらい)予約の確認との事でしたが、予約カードが新しいフォーム(プリントされたもの)だったので、混乱していたのでしょうか?ちょっと疲れてしまいました。双子の1人が入院(ヘルニア)したとき、もう1人を預けたりするのが大変でした。病棟の入り口でボランティアの方にだっこしてもらって、説明を受けたこともあって、申し訳なかったのですが、面会のとき託児というか病院の近くで短時間でもOKの託児をしてくれるところは無いでしょうか? ○〇〇子

神戸市 新生児搬送 初産婦 40週 経膈分娩

どこの病院でも同じと思いますが、紹介状がなければ、受診できないというのは、少しおかしいと思います。紹介

状がなければ受診するのに費用がかかるというのも首をかしげてしまいます。大人が受診するのに紹介状なしで費用としてお金をとられるのは、少なからず納得するけども、子供にというのは…この少子化時代に。

明石市 母体搬送 初産婦 22週 経膈分娩

以前はこども病院の名前すら存じあげなかった状態で、自分がまさかこんなことになるなんて、と思っていましたので本当に突然お世話になったのですが、自分が妊娠22週で出産し、それがどんなにリスクが大きかったのか、後から実感し、自分の子供の命を助けて下さった先生方に本当に感謝しております。産科、新生児科のスタッフの方々は思っていたより人間的で正直あのようなショックの最中に滞在していたのに嫌な思い出はありません。自分がメソメソ泣いている時でも自分の子供のケアをして下さっている姿を思うと涙もひきました。本当に一緒に山を越え谷を越えやって来た、というのを感じました。それだけ、先生方、看護師の方々が私の子供を大切に思ってくれていたのを感じられたからだと思います。他の以前通っていた産婦人科とは比べものにならないレベルの違いを感じました。

明石市 新生児搬送 経産婦 39週 経膈分娩

実は母親である私自身が心臓の方でこども病院のおせわにずっとなっていました。だから子供を出産する際、1人目の時から（入院した子は2人目でした）自分の体のこともあるので、1度で良いから大きな病院、特にこども病院で妊娠中の検診を受けたいと思っていましたが、紹介がないと受け入れてもらえない事が分かっていたので、受診する事もなく出産をむかえました。ですから、まさか生まれたばかりの子供が救急車に乗ってそちらの病院に行く事になろうとは夢にも思いませんでした。出産した医院では〇〇病院と〇〇大とこども病院を教えてくださいましたが、子供の容体をあとで「こども病院でなければたすからなかったかも…」と聞いて、本当に親子2代でおせわになったこと感謝するばかりです。ただ、ひとつ私も子供も、今現在不便なことがひとつありまして、自分のされた診察や治療について、書面をいただけたら、と思います。私の方は心臓疾患で16才までこども病院にかかりましたが、その後大きな病院で検査するための紹介状をいただかなかったので、今も経過が分かりません。子供はNICUだったので、その時に輸血や投薬等、どうだったのか、その時に聞いたはずなのですが、いろいろ大変だったので記憶の欠落もあり、この先別の病気をした時に困りそうです。今からでも分かれば、たすかります。ありがとうございました。その節はお世話になりました。子供は無事すくすく成長し、出産時のことが夢の様です。 ○〇〇子

神戸市 母体搬送 初産婦 帝王切開

今から思うと医療ミスだったなという事がいくつもあった。先生は良かったし、出産の時についてくれた看護師さんetc すばらしい人もいたのだが看護師のほとんどは冷たく、対応が悪かった。出産した時、先生の対応だけなら、またかかりたいが、どうしても看護師がひどい。退院の時も誰もあいさつしてくれず、つらかった。看護師さんのミスで2回死にかけ、別のミスであざだらけになったりもした。本当はうったえたいぐらいだけど、先生はどの先

生もやさしくていねいで本当によかった。一応死ななかったし、もういいやと思った。看護婦だけは何とかして欲しい。

川西市 母体搬送 初産婦 23週 経膈分娩

出産数時間後、まだ子供が生死をさまよっている状況にもかかわらず、分娩室から運ばれた部屋は、面会人がひっきりなしに楽しそうにおとずれる大部屋で（もちろんこども病院に入院している以上、ハイリスクな出産をされた方々ばかりだとは思いますが）自分がおかれているシチュエーションとのあまりにもギャップがありすぎて、つらさがより一層増幅されました。やはり、精神的にナーバスになっている当日くらいは家族だけで静かに過ごせる様、患者側の要請の有無にかかわらず個室にいれる等の配慮をされたらと思います。（授乳室から夜中に聞こえる子供の泣き声もかなりつらかったです）（※五年も前の話ですので現在の様子は分かりませんが）当時の率直な感想です

○〇〇子

神戸市 母体搬送 経産婦 39週 経膈分娩

①どうしてICU・HCU前のロビーには空調がないのですか？家族がどんな思いで待っているか、ご存知ですか？真夏の午後～夕方にあの場に行かれたことはありますか？②職員の方々の名札はそれぞれの職種によって違っていたのを、わざわざ統一したのはなぜですか？医師、看護師長はともかく、一番子供に接する看護師に首からIDをぶら下げるのは、処置中の事故をまねくと思わないのですか？！こどもの立場になって考えてみて下さい。痛くて、苦しくて寝ているしかないのに、目の前に目障りなものがブーラブーラ…たまたま顔にもあたりそう…何の為に左胸に名前を刺しゅうしていたのですか？！③救急に力を入れて設立した割には、色んな物品を他の病棟に借りに来るのはなぜですか？医療にさしつかえが出なければ、看児が不快な思いをしながら闘病することは、やむを得ないことなのですか？！④どうして一番子どもの近くでがんばっている現場の声に耳を傾けないのですか？！お世話になり、感謝している病院であるがために、現場の声を無視する姿勢がとても歯がゆいです。 ○〇〇子

神戸市 母体搬送 初産婦 28週 帝王切開

まわりが同じような体験をした人ばかりなので、不安な事が多くてもはげましあうことが出来、入院中もはりのある生活ができました。他の病院では、なかなか皆と話すことは出来なくても、ここでは授乳室や、食堂など自然と話す機会があったので、さみしい思いもしませんでした。早産になってしまったのは残念ですが、子供もすくすく大きくなり、今ではこの病院ですごした事も良い思い出です。ありがとうございました。 ○〇〇子

神戸市 母体搬送 経産婦 20週 経膈分娩

前回の入院は結果的にお腹の赤ちゃん2人共失うというとても辛く悲しい出産でした。しばらくは「こども病院」と聞くだけでも涙が出たり胸が苦しくなっていました。今思い返すと看護師さんにはとても親切にさせていただいて、それだけは良かったなあとと思います。特に担当していただいた〇〇さんの笑顔は忘れられません。「今度は無事な赤

ちゃんを産ませてあげるから」と言って下さった先生の言葉もすごく励みになりました。もう子どもを産めないかも？と不安がいっぱいでしたが幸い昨年10月に第2子を無事出産致しました。

神戸市 母体搬送 経産婦 40週 経膈分娩

HCV抗体がプラスで紹介されたのですが、検査結果はマイナス、通院中に子宮こうが開いている、高位破水等で1ヶ月ほど入院し、大変お世話になりました。お蔭様で楽しい入院生活を送り、無事40週を迎えることができました。が、ハイリスク妊産婦の多い中で軽症の私(?)は看護婦さんに生まれてくる子の事を「巨大児」と笑われたり、精神的につらい思いもしました。入院用のベッドの少なさや、夜間の看護婦さんの少なさに不安もありましたが、新生児科もあり、こども病院で出産できてよかったですとありがたく思っています。車の運転のできない私には通院も大変で、上の子を抱っこしてベビーカーを担ぎバスの階段を登るのもつらく、せめてノンステップバスだったら…。という思いもしました。2000年に生まれた娘ももう三歳、来年は幼稚園への入園を楽しみに毎日走り回り、元気な日々を過ごしています。私にとってこども病院は思い出深い病院で、長い入院生活、同じように元氣なわが子に会うために励みあった中間に出会えた病院です。少しでも多くの方が、私のように出産に楽しい思い出をもてるようスタッフの方々には頑張っていたいただきたいと思います。

神戸市 母体搬送 初産婦 26週 帝王切開

駐車場の数が少ないので空いている所をぐるぐる回ってさがさなければいけなかった。緊急の時は大変困る。面会者(保護者)が病院で昼食その他をとらなければいけない時食堂もそんなに大きいわけでもないの、そして近くにコンビニなどが無いので もう少し、売店のごはん(おかしなどではないもの)の種類を増やしてもらえたらうれしい。

神戸市 新生児搬送 経産婦 38週 経膈分娩

民間の病院で出産したものの思いがけないトラブルで転院になり不安がいっぱいでしたが先生、看護師さんにとっても親切にして頂き感謝しておいます。(特に新生児科の先生には納得の行くまで詳しく子供の病状を説明して頂き安心できました。)今後も、いろいろとお世話になる事があるかもしれませんがその時はどうぞよろしくお願い致します。(新生児科の看護師さんの丁寧な対応と子供に対する優しさには ただただ感謝しました。)

西宮市 母体搬送 初産婦 37週 帝王切開

36週6日で こども病院へ搬送され翌日37週0日帝王切開で出産しました。37週で1786g 41.2cmで低体重児で出生し現在も もうすぐ5才ですが低身長は悩みの種ではありますが こども病院で出産できた事が本当によかったと思っています。もし近くの病院で出産していたら うちの子だけどうして…なぜ?と きっと思っていたに違いありません。こども病院では色々な出産をされている方がいましたが皆さんとても明るく前向きで心から救われました。あの入院期間がなければ今の様に「他の子と同じでなくても元気でいてくれればそれだけでいい」と思えなかったと

思います。第2子(H15年12月出産)もこども病院で出産したかったのですが遠方でもあり仕事もしていたので通院する事ができませんでした。先生や看護婦さんにも皆さん親切で本当に良くしてくださり感謝しています。生後1ヶ月半でのソケイヘルニアの手術も先生を信頼でき不安なく手術を受ける事ができました。無事に産まれても この先どの様に成長していくのか分かりませんが こども病院で出産できた事で前向きにやっつけようです。ありがとうございました。

神崎郡 新生児搬送 経産婦 36週 帝王切開

今思えば大変な2年間でした。初めての出産で双子ということもありそして、通院に高速を通過して1時間。あの時は、ただただ必死でした。病院では先生(医師)におまかせすることしか出来ず、病状が悪くなれば落ち込み、良くなれば喜びのくり返しでした。看護婦(士)さんは多くの方が話しやすく相談も、たくさん出来たので、とても良かったです。今は、完治し、年1回の通院ですが病棟に上がることも楽しみの1つです。看護師さんの入れ変わりもあり、だんだんさみしくなりますが、それだけ我が子が成長しているのだと実感しています。ほんとに多くの方にお世話になり、感謝しています。

神戸市 母体搬送 初産婦 26週 帝王切開

入院中は看護師の皆様には大変お世話になりました。2週間の入院はベッドでの寝たきりでした。はじめは同じ状況の方と同じ部屋だったんですが、4人部屋に移動となり その部屋は私以外の方は自由に歩くことのできる方達でした。その生活で特に気を使いつらいなあと思ったのは排便でした。(毎日のことなので大変でした。)排便は3人の方が部屋にいない時とかまで待ったりとかして看護師さんをお呼びインターフォンを押すのにも気を使いました。病院では大変だろうと思うのですが歩ける方、ベッドの寝たきりの方はなるべく同じ部屋にさせていただけたら状況も同じです話しやすいと思うんです。突然病院に運ばれ今日から～週まで入院しなければいけない状況になった時、いろんな事で精神的につらいです(同じ部屋に)同じ状態の方がいれば(お互い寝た状態で)相談にものってもらいやすいと思えました。主治医の先生に朝の回診以外にも部屋に立ち寄っていただけたらと思い精神的に落ちつきますし一日でも長く頑張れると思います。

西宮市 母体搬送 初産婦 34週 帝王切開

(1) 私は妊娠中、出産は夫に立ち会ってもらいたくて、夫も希望していましたが、双胎の逆子だった為、帝王切開の出産になりました。帝王切開は手術室で行われるので夫の立ち会いは無理でした。手術室には夫は入れないのでしょうか。入室が無理ならせめて産声が聞こえる場所までは行けないのでしょうか。あの感動的な声を聞かせてあげたかったです。(2) 私の病室には4人部屋でしたが、イビキのひどい人との同室でした。出産までは特にする事もなく安静にしているだけだったので眠い時に寝れば良かったのでそう気にもなりませんでしたが、出産後は疲れているのと、4時間おきにやってくる搾乳タイムとで眠れないのは、つらかったです。出産後はもしベッドが空いているのであれば移動するのはどうでしょうか？(もちろん本人の意思を

確認した上で(の事ですが)入院中は本当にお世話になりました。3週間の入院生活でしたが、医師看護師さんたちのおかげで楽しく過ごす事ができました。上記2件も考えださなければならぬほどの快適生活でした。子供たちも元気に過ごしています。本当にこども病院で出産できて良かったです。ありがとうございました。

神戸市 母体搬送 初産婦 36週 経膈分娩

私は2度目の出産でお世話になりました。1人目の時は何事もはじめての上に重度の中毒症になり暗室で1番きびしい制限(トイレもベッドの上、ねたままの食事等)の中で先生や看護師の方々に励まされ帝王切開でなく普通分娩で出産する事ができました。入院初日~3日目までは泣いてしまったり産まれてくる子供を心配したり精神的にもかなりおちこんでいましたが看護師さんがお話をしてくれることですごく楽になりました。産まれた時は2086gと小さな赤ちゃんでしたが今はとても元気でもうすぐ4才になります。2人目の時は1人目よりは軽かったのですがやはり入院となり、お世話になることになりました。1人目の時にいらっしゃた先生や看護師さん達の見慣れた風景の中で自然にすごせて無事出産できました。私のような母体にリスクが大きい妊婦をたくさん見てらっしゃる看護等に慣れた施設に産まれてくる赤ちゃんを万全な体制で見守ってくれる周産期医療センターでの出産は私にとってこれ以上ない最高の分娩施設でした!!普通の産院とは違って患者にとってはつらい体験が多い出産になる病院でスタッフの方々も大変でしょうが無事出産できて元気に帰れた私にとってすごく思い出たくさんある病院です。これからはがんばってこのままこの施設で元気な赤ちゃんがたくさん産まれる事を願います。看護師の〇〇さん、2度も担当になっていただき大変お世話になりました。2人とも(上の子はもうすぐ4才、下は9ヶ月)元気に大きくなっています。〇〇〇子

他府県 母体搬送 経産婦 37週 経膈分娩

初め個人医院にかかり、異常をみつけてもらい近くの大きな病院を紹介してもらいました。が、いろいろと説明してもらったのですが、いまひとつ納得ができず、さらに、こども病院を紹介してもらいました。上の子のことや、気がかりもたくさんあり、速くで一人で入院だったのですが、納得のいく説明もしてもらい、安心して出産することができました。私よりもっと大変で、入院している人もたくさんいて、11日間いろいろなことを考えさせてもらいました。無事に出産するというのが、どんなに、良いことなのか…1人目はなんともなく、なにも考えることもなく産まれたので、(…)しあわせなことなのだなあ。と思いました。産まれた子は今はなにごともなく元気にしていますが、まだまだこれからだあー。と思っています。もし、近くにこども病院があれば、いじょうがあってもなくても、かよいたいです。

神戸市 母体搬送 初産婦 38週 帝王切開

入院中は、お世話になりました。看護師の方も、若い方が多く、話し安く、楽しい入院生活だったので良い思い出になりました。先生も〇〇先生もおもしろく、信頼しています。出産後も1年間子供が検診でお世話になり、アフターケアも行き届いています。1つお願いしたいことは、こ

ども病院での検診も終わり、その後風邪をひいた時など、こども病院では、みてもらえるのか疑問で風邪ぐらいだと、断られるのかと、受診しませんでした。何か大きな病気以外でも診察して頂けるのか、教えて欲しいです。

神戸市 新生児搬送 初産婦 39週 経膈分娩

こども病院に入院中はお世話になりありがとうございました。1週間の短い入院生活でしたが、スタッフの皆様には大変良くしていただきました。入院しました息子も検査の結果、異常が無く、3才になりました今、元気に幼稚園に通っております。こども病院が高度な治療を行う専門病院であるということは私達、母親にとって、とても心強く安心できることです。ですから、治療を必要としている方のために、一般の(リスクの少ない、無い)出産はあまり扱わない方が望ましいと思っています。あと、駐車場が狭いので、立体駐車場にしていただければありがたいです。これからも子供達のためにがんばって下さいね。

神戸市 母体搬送 初産婦 37週 経膈分娩

初めての妊娠で、お腹の中の赤ちゃんに心臓の異常があるとわかり、こども病院を紹介され、出産まで約2ヶ月間、入院しました。生まれてくる我が子の命がいつ、どうなるのか…誕生しても、命の保証も無く、不安の中、それでも無事、生まれてくれて、抱っこしてやりたい、かわいい顔が見たい…そんな思いで、出産に望みました。出産後、顔を見ることもなく、NICUに運ばれました。深夜だったので、翌朝の面会まで私は、赤ちゃんの命を祈りながら、面会を待ちました。一睡もできず朝になりNICUでの面会を求めると、「引き継ぎがあるのでAM10時すぎまでできない」と、事務的に言われ、胸がつぶれる思いで赤ちゃんとの対面を待ちました。現場の事情もありますが、母親の気持ちもわかってほしかったと思います。その日の夜、我が子は天国に行きました。短い我が子の命でしたが、この世に誕生し、自分たちの子どもとして、懸命に生きてくれたことは、今の私たちにとっても大きな重みがあります。こども病院の医療と、看護のおかげだと、じっかんしています。

神戸市 新生児搬送 経産婦 38週 経膈分娩

面会時間が厳しすぎる。遠くから来たり、入院している子以外にも子供がいたため、スムーズに病院に行けない為、もう少し面会時間に余裕を持たせてほしかった。入院している子供が、とてもとくに感じた。

神戸市 新生児搬送 初産婦 経膈分娩

専門医であり、他の病院に比べて信頼できる。皆に信頼できる病院であって欲しい。

神戸市 母体搬送 初産婦 26週 経膈分娩

双子を妊娠していて、妊娠が分かったと同時に、切迫早産。何度も入退院を繰り返し、切迫早産にもなってしまう、入院中に「もう下に下がってきているので大きな病院へ」との事でこども病院を紹介していただきました。入院後担当の〇〇先生にはとても親切にいただき、おなかの張りをなんとか止めようとベットを交替してくれたり(真ん中に穴があいておしりがスポッと入るようなベット)寝

たきりの私に月刊誌をもってきてくださったり、1日に何回も様子を見に来てくれたり、とても嬉しかったのを覚えております。でも結局入院して3日後、相室から個室に移動してすぐ陣痛、破水、骨盤位だった為、第1子は死亡、第2子は906gという超未熟児での出産。とても自分を責めたり、こうなる前にどうしてもっと早く帝王切開してくれなかったんだらう。「そうすれば2人共助かったかもしれないのに」と疑問に思って先生に泣きながら聞いた事もありました。先生はそれをしてしまうと、26週よりもっと長くおなかの中にいれるかもしれない子を無理に帝王切開で出してしまうのもどうかと・・・それもそうですよね。先生の判断は適切だったと思います。第1子が亡くなってしまった事も色々聞きました。「どうして・・・」と先生はもし第1子が助かったとしても脳に重い病気をもって産まれてくる事になる。第1子が産道を作ってくれて、何の障害もなく第2子が産まれてこれた。犠牲になってくれた。とてもやさしい子だったんだ・・・納得です。その通りだと思いました。この出産で私は生きる勇気をくれた。とてもつらかったけど、とても悲しかったけど、回りの協力、主人がいてくれたから、こども病院の先生方がおられたから、救えた命だと思っております。今3才になり年少として幼稚園に通っています。回りの子より細くて小さいけど人一倍元気な子です。1才の弟もできました。体重はほぼ一緒ですが性格は全然違います。いつか「あなたには双子のお姉ちゃんがいたのよ」と話せる時が来るのはいつかなあ。こうして元気に育っているのも子ども病院の先生方のおかげだと思っております。ありがとうございました。

他府県 母体搬送 初産婦 40週 経膈分娩

里帰り中に突然入院することとなり、不安でいっぱいでしたが、担当の先生をはじめ、スタッフの皆様、又同室の入院患者さんに恵まれ退院に至るまで、不自由なく、明るく過ごさせて頂きました。又、このような病院が自宅の（実家ではあるが）近くにあったことを心より恵まれた環境に感謝します。入院中一番つらかった事は、点滴三昧の毎日、2、3週間くらいから、体が注射針を受け付けなくなり、皮膚が、ヒリヒリ痛かったり、内出血したりして、スタッフの方々に迷惑をかけたことです。早産の可能性があって入院したものの結局40週までもつことが出来ました。出産する病院を、もともと里帰り出産をするつもりであった病院であるか、こども病院であるか、かなり迷いました。私より、もっと危険度の高い方にその機会を譲った方がいいのではないかと考えました。しかし、担当の先生と相談の上、こども病院で出産させて頂くことが出来ました。入院生活が長かったことと、スタッフの方々も懇切丁寧に下さったりと、とても離れることができないと思いました。又、お世話になる事もあるかと思いますが、その時は、よろしくお願い致します。

明石市 母体搬送 経産婦 32週 帝王切開

23週に母体搬送でこども病院へ入院しました。なんと、32週目まで持ちこたえ、無事に出産しました。看護師さん、Dr.の方々に支えられ、入院生活は、いろいろありましたが、温かみのあるTPを受ける事ができました。子供が退院してからは、始めは、頻繁に、健診があり、不安な事を相談する機会があったのですが、市の健診や、日

常生活で、異常なことを指摘され、次回の健診まで、間があると思うと、心配でしかたがないという事がありました。幸い手術にはなりませんでしたが、“経過観察”という期間が、とても不安で、長く感じました。ですが〇大が主体となっている「YOYOクラブ」に参加する機会があり、相談できる場所ができたのは、ありがたかったです。困った事があれば相談できる、育児外来みたいな所があればなお良かったと思います。それと、次回で育児内科が卒業になり、YOYOクラブもこの秋で卒業なので、これから先のことを思うと不安です。

伊丹市 母体搬送 初産婦 37週 経膈分娩

私が初めてこども病院へ行ったのは、1人目の死産だった子の分娩をしてもらった時です。いきつけの医院で、すぐに心音がなく母子共に危険な状態でしたが、パニック状態の私をはげまし、死産の子の蘇生処置を適切にしてくださいました。まさか蘇生処置をしてくれるとは、私も主人も思ってもみなかったので、主人から「処置してくれてたよ」と聞いた時、うれしかったです。次に妊娠したら、こども病院をすぐ紹介してもらい、3度入院して約3週間早い出産でしたが、2780gと元気な男の子を出産する事が出来ました。2人目は元の産院で生まれましたが、1度下腹の痛みで診察してもらいそのまま2日入院しました。本当に私の出産には、こども病院の存在なしではありえませんでした。そして、〇〇先生他看護師さんにささえられ、安心して元気な子を生む事が出来ました。これからも、安心して、たよりに出来る病院ですとあって下さい。返信が遅くなりました。

神戸市 母体搬送 初産婦 41週 帝王切開

入院中は大変お世話になり、深く感謝しております。胎児に障害があるかも知れないと告げられ、精神的に不安定な状態での入院生活…、涙を流さない日はほとんどありませんでしたが、〇〇看護長さんをはじめ、担当していただいた看護師さんには、話をきいていただいたりして気持ちが楽になったこともありました。こども病院でお世話になることができ、本当に良かったと思っておりますが、残念なこともありました。その出来事は、ある看護師さんが私のためにとあって下さったこと…、同じ事をしてもらって嬉しく思う患者さんもいらっしゃるのかも知れませんが、当時の私にとっては、とても辛いことでした。そして、その看護師さんには、入院当初からよくしていただいていただけに残念でなりません。しかしながら、こども病院で出産させていただいて良かったという気持ちに変わりはありません。本当にありがとうございました。そして、息子は現在もこども病院に通院中です。今後ともよろしく願います。

伊丹市 母体搬送 初産婦 31週 帝王切開

小さな赤ちゃんが急に産まれて、母親になる心と体はホルモンの変化もあるだろうが、それはそれはつらいものでした。嬉しいことなんて、考えられず、ただ、どうしよう。ちゃんと育つか。お乳が痛い。いつもそんなことばかり思い悩んでいた。毎日、赤ちゃんに会いに行くことかいいいな。早く大きくならないかな。と実感してくるけど、おっぱいがよく出すぎて、とてもつらかった。吸ってもら

えず、搾乳のくりかえし。ついには、乳腺炎になってしまった。パロアル分3でも止まらず、真冬のクーリング、カチンカチンの大きなおっぱいをさわられることも苦痛になり、眠れなくて、すべてが嫌になった。〇〇助産所で助けていただいたけど、おっぱいのケアを充実させてほしい。

美囊郡 母体搬送 経産婦 32週 帝王切開

自宅から遠く、上の子もいたため、面会が少なく必要な物がそろわなかった上に、ベッドから動けない状態で、どうしようもなかったのに、お茶を入れてほしいと言ったら「水とうを用意してもらってね」と嫌な顔をされた。ステーションにやかん等をおいてかし出してほしいと思う。緊急手術だったので病院により必要な物が違うから困った。(予定の病院では湯のみだけでよかった) 他は4人部屋にうつり、同室者とも仲良くしてもらえ、食堂へ行き、食事することで、又、友達もできてよかったので、問題なかったです。子供も障害もなく成長しています。ありがとうございました。

伊丹市 母体搬送 初産婦 37週 帝王切開

初めての妊娠で双児という事もあり、不安なまま、約1ヶ月半入院しましたが、周りには、もっと大きな不安を抱えている方々がいることを入院中知りました。入院中は信頼できるスタッフの方々に色々教えて頂きました。退院してからも入院中に知り合った方とメール等やり取りして、育児に悩んだ時等、相談したりしています。私にとって入院中知り合えた方々、教えて頂いた事等が貴重な財産となっています。娘が妊娠したら、自分の経験した事や教えて頂いた事等を話してあげられたらいいと思います。

明石市 母体搬送 初産婦 35週 帝王切開

入院中は他の妊婦さんと、共にハイリスクな状態であるけれど、お互い励ましあい、悩みも相談したりと、精神的にもいい状態ですごくすることができました。助産師さんや看護師さんにもいっぱい励ましてもらったし、その頃の入院経験がいまの看護師の仕事に生かせてます。

神戸市 母体搬送 経産婦 35週 帝王切開

未熟児で出産して退院後のことなど不安でいっぱいでしたが、先生方や看護師の方々が色々アドバイスをしていただけなことがすごくうれしかったです。また「いつでも電話をしてきて下さい」との1言が安心材料になりました。ただ、出産のために入院してた私にとっては食事があまりおいしくなくて入院中の唯一の楽しみが少なかったことが残念です。

明石市 母体搬送 経産婦 29週 経膈分娩

こども病院で出産できて、本当によかったと思っています。私は33週1690gで第一子を他の病院で死産していたので不安でいっぱいでしたが、入院期間中、私よりも大変な方々のお話を書いてあるノートや助産婦さん、先生方に勇気づけられ、29週1340g出産しました。出産後も新生児科の方々に大変お世話になり、今では低体重児で生まれたとは思えない成長ぶりです。こども病院の設備とケアがなければ、今の私と子供はなかったとさえ思っています。経験豊かで専門のケアをしてもらえる病院としてなくてはな

らない病院だと思います。

神戸市 新生児搬送 経産婦 41週 経膈分娩

入院時の書類一式に様々な助成金の一覧(青色の紙)が同封されていますが、その時点では突然の事でバタバタしており、自分達がどのケースに当てはまり、どのような申請をすべきなのか判断できずにいました。そのため、特定疾患の見舞金を市に申請せず、金額的に結構な額をもらえずに終わってしまいました。先生・看護師の皆様にごままでご相談できるのかどうか…と迷っている間に、の辛い経験でしたので、人手が必要になり、なかなか実現は難しそうですが、「医療以外のアドバイス」をして下さる方が数人でもいらっしやれば、とても安心です。「お宅の場合は…」と細かく当てはまるものを教えていただければ、精神的負担も減ります。・患児の上の子が就学前で、面会時にとっても苦勞しました。2時間ぐらいでいいので預かって下さる部屋でもあれば。私は上の子の昼寝の時間に合わせて車で家を出発し、40分かけて到着しそのまま駐車場に車中に寝かせておいて面会に行き、気になるので患児といてやれる時間は10分程ですぐ車に戻り、また40分かけて帰宅、の生活を1ヶ月続け、きつかったです。(託児施設に預ける日もありましたが、金銭的にも負担でしたし、上の子の精神的な面も考えると…)

神戸市 新生児搬送 経産婦 39週 経膈分娩

入院中は大変お世話になり、ありがとうございました。入院中は、不安で不安で、育てていけるか、今後、どうなのか悩み続けましたが、今では3才の誕生日をむかえ、毎日、元気に保育園へ通っています。これからも、定期検診で半年おきに行かないといけなないので、今後共よろしく願います。

神戸市 新生児搬送 経産婦 33週 経膈分娩

兵庫県立こども病院周産期医療センター開設10周年おめでとうございます。早産・未熟児で生まれた息子も、早いもので4才になりました。喘息・慢性中耳炎となかなか病院通いが止められませんが、元気に幼稚園に通っています。息子がこども病院に入院している時は、看護師さんが親身になってくれたり、担当の先生も私が不安に思っていることを納得いくまで説明して下さい、とても安心しました。ただ、その後のフォロー(育児内科)が1年程で終了したので、その後がとても不安でした。「発達・成長は修正月齢で」と言われたものの、どうしても近所のお子様と比べてしまって…。早産・未熟児のサークル等があればよかったのと思いました。

加古川市 母体搬送 経産婦 37週 帝王切開

一人目(全前置胎盤)2人目(ゆちゃく胎盤)と2回とものお産をこども病院でさせていただきました。2回とも、大変なお産になって、その時は、本当につらかったです。でも、先生方、看護師さんのとても優しい態度には、本当に勇気づけられ、とても安心できました。患者にとっては、それがとても重要な事なのでこども病院のみなさんには感謝の気持ちでいっぱいです。すばらしいスタッフだなあ、と感心いたしました。今では、2人の子供も元気にすくすく育っています。皆様のおかげだと感謝しております。本

当にありがとうございました。これからは素晴らしい活躍を心よりおいのり申し上げます。

加古川市 母体搬送 初産婦 36週 帝王切開

こども病院に2ヶ月間入院して出産しました。出産まで色々不安が多く、初めての出産なのに「なぜ私が…」とかなしく涙する事も多くありましたが、こども病院の先生方や看護婦さんの優しさにとっても感激したのを覚えています。リスクを抱えていた私にとってその事がどれだけ安心感を与えていただいたか…。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。娘ももう3歳半です。毎日元気に自転車に乗って遊んでいます。母子共に元気を毎日送っています。

神戸市 新生児搬送 初産婦 35週 帝王切開

アンケートに答えた対象の子でなく、双児のもう一人が現在時々の入院治療も受けながら受診しています。入院中、看護師さんのあたたかいケアに感謝しています。又、完全看護というのは大変親にとって安心です。一方で子どもの精神状態によっては、親もいっしょに夜泊まってやりたい事もありますが、それができない事が不安であったり、心を痛めたりもしています。今後、検討されるチャンスがあれば、よろしくおねがいします。

神戸市 母体搬送 初産婦 26週 帝王切開

もうすぐ子供は2才になります。今でも新生児科の先生にお世話になっています。喘息様気管支炎(CPもあり)で入退院をくり返しており、病棟NSの方々にも大変お世話になっています。今まで各階病棟に入院させていただきましたが、各病棟で看護・療育に差があると思います。寝たきりの子供、OP前・後の子供、色々な疾患の子供さんがいて大変だと思いますが、私が今まで入院してきた病棟の中に“ここの病棟だけは2度と入院したくない”と思うところがあります。その理由は・優しさが無いということです。それは子供にも家族にも…。こども病院には障害を持った子供さんが沢山います。家族も毎日の療育の中で、苦しんだり、悩んだりしながら、がんばっています。もう少し、優しい言葉かけ、態度に注意してほしいと思います。2、3人のNSの為にその病棟全体のイメージがとて悪くなります。

明石市 母体搬送 初産婦 32週 帝王切開

かなり無理だとは思いますが、第一子を連れて出産(入院)できれば…理想です。もしくは、こども病院の近くに保育施設があったらなーと思います。

神戸市 母体搬送 経産婦 35週 帝王切開

予約制であり乍ら、かなり待ち時間の長い事が多々あり、上の子がいたため、幼稚園のお迎えの時間に重なってしまう事があり困った。待ち時間の目安がわかれば、キャンセルするなり他の方法をとる事もできたと思う。検診の時は二人の間に体重差はないと言われていたのに、いざ産まれてみると600g以上の差があり、多血児と貧血児で少しショックをうけた。超音波診断の誤差の範囲内なのか疑問だった。一人は逆子と言われていたので、陣痛促進剤も効かなかった。帝王切開に踏み切ったが、結局二人とも頭位であっ

たこと。手術前の心音チェックでおかしいなと思ったものの特に指摘はなく、通常分娩にするか、帝王切開にするかの最大のポイントだった為、しばらく納得できなかった。ただ二人の体重差の事を考えると、現在二人共同様に健康に成長している姿を見れば、帝王切開を選んで良かったんだと自分に言い聞かせている。検診の時、“1こちゃん、2こちゃん”と呼ばれていたが、先にとりだされたのは“1こちゃんなの、2こちゃんなの?”未だにわからずじまいなので残念です。新人教育の為とはいえ、慣れない看護師さんや医師にあたる事がありますが、1、2回の失敗までは辛抱できるけれど、それ以上は横についているベテランの方にかわっていただきたかった。(ex、尿管を通すのに何度も失敗され苦痛だった。)

他府県 新生児搬送 初産婦 36週 経膈分娩

初めての出産直後にこども病院に運ばれ、全く予想していなかった事態に、訳がわからず、現実が受け入れられなくて、思う事は「死んだらどうしよう。」「重い病気だったらどうしよう。」「障害が残ったらどうしよう。」など最悪の事ばかりでした。産後の私は身も心もボロボロでした。入院中他のお母さんが、生まれたての子を抱えている姿を見るのがつらくて病室で一人泣いていました。そんな時、こども病院の方が「いつでも電話して」と言って下さって、何度も何度も電話でこどもの状態を問い合わせる私に対して、嫌な態度一つせず、親切に対応して下さいた事は本当に感謝の気持ちで一杯です。退院してから、こどもが非常に不安定で、全く寝てくれず、泣きっぱなし抱きっぱなしで大変で、もし生まれてすぐの入院がなかったら、何かちがったのかなと考えたりしました。二度と経験したくない思いが強く、二人目を生む勇気がないまま、今日に至っておりますが、こども病院の皆様には心より感謝しております。優秀な先生方に「異常なし」と言っていただいて、安心しております。 ○○○子

揖保郡 母体搬送 初産婦 37週 経膈分娩

私が入院した時の同室の人達は皆、母体を安静にしていればよく胎児には異常が無い人ばかりで、寝たきりの状態で辛いと泣いたりしている人もいましたが、私にしてみれば「自分さえ頑張れば元気な赤ちゃんに会えるじゃないか。私はどんなに頑張ってもお腹の子は重い病気を抱えて生まれてくるのに!」と思っていました。そうしたことを考えて部屋割りをするのは難しいですが、出産前が辛い人と出産後に辛いことが待っている人との対応に配慮が欲しかったです。また出産後、子供はICUに入りましたが、急変して容態が悪くなる可能性もあったし、そのとき個室にいたので、夫も泊まれるよう頼むと「そんなに悪いんですか?」と産科の看護師さんに言われました。産科は産んだら終わり、その後の子供の事については無関心なのかなと思いました。子供は3ヵ月半で亡くなりましたが、その間、ICUのスタッフの方々には本当によくして頂きました。短い間だけでしたが、子供との思い出をたくさん作ることができ、感謝しています。 ○○○子

他府県 母体搬送 初産婦 30週 帝王切開

子供3人とも、大変お世話になりました。本当に感謝の言葉がみつからない程の思いです。病院内では手厚い治療、

看護と文句一つない状況をつくっていただきました。ただ、退院後の不安・心細さは想像をはるかに超えるものです。地域の方々と連携がもう少し密になり、気軽に相談できるシステムがあれば、とてもありがたいです。(行政はなかなか敷居が高い) ○○○子

他府県 新生児搬送 初産婦 39週 経膈分娩
初めての出産で赤ちゃんの扱い方がぜんぜんわからなかった時に看護婦さんが優しく世話のやり方を教えて下さってうれしかったです。

姫路市 新生児搬送 初産婦 39週 経膈分娩
一般の病棟に入院した時(子供3ヶ月)看護士さんの目がいきとどいてないようにかんじられました。確かにうちの子が入院したのはたいした病気ではなく、熱が上ったり下がったりという程度で点滴をしていた状態でした。まめに熱とか計ってほしかったのですが、午前中に熱がなく、その日に退院できる予定といわれ、夕方いったら、私たちが抱っこしてなんだか熱いなあとと思い、熱を計ってもらったら、また、熱がすぐでたという事があり、けっきょく、そこからまた入院になりました。確かにたくさんの患者さんがいらっしゃるし、重病な方や機械をたくさんつけていらっしゃる患者さんの方が大変だと思いますが、入院させてる以上、親としても心配だし、こんなことがあると、入院させた方がよけい悪くなるんじゃないかと思ってしまう。家が遠い分、すぐにつけてあげられないので、入院さすことになったら、安心してお願いできるようにしていただきたいです。子供の病気は一生ついてまわるものなので、どんな病気の子でも、ちゃんと様子を見てあげてほしいと思いました。

水上郡 母体搬送 経産婦 37週 経膈分娩
衛生面においても、きちんとされているし、看護婦さんたちの態度も産科においてはいいと思う。でも、個人病院より少し冷めたかんじがするところがある。なぜか、淡々と患者をあつかっているようなかんじもする。自分の仕事だけをこなすのではなく産科に入院した人ならば、自分の担当でなくても、気持ちによゆうをもって接してほしいです。医療的には満足していました。

神戸市 母体搬送 経産婦 31週 経膈分娩
Drのムンテラがきちんとしていて、安心できました。スタッフもよくしてくれました。一つだけ言うなら、24h keepの点滴がもれた時4~5回新人NSが入れられなくて、かなり我慢しました。でも、今では上手になったんだろうナと思うと、いい経験になったかと思えます! あと売店がもう少し大きいといいなと思いました。でも本当に良くしてもらいました。今では、元気に幼稚園に通園しています。ありがとうございました!

神戸市 母体搬送 初産婦 37週 経膈分娩
28Wで我が子に異常があるとわかり、枯れるぐらいの涙を流したけれど、今は我が子を無事に産むことを優先しなければと思い、出産をむかえました。お腹の中いるところから、だいたいのはわかっていたはずなのに、現実、目の前にしてみると、又、その頃と同じような悲しみがよ

みがえってきたのか、連日、泣いていたような気がします。病院の看護婦の方にはげまされたものの、お母さんのせいではないと言われたものの、やはり、自分のお腹から産まれてきた子に、元気な体で産んであげなくて…という思いは、一生私の心のどこかにありつづける思いだと思います。今、第2子を妊娠中ですが、本当に前のような異常がないのか心配です。こども病院で検査して頂けることを、切に願います。

母体搬送 経産婦 36週 帝王切開

切迫早産で入院になった時はすぐにも産まれてしまうんじゃないかと不安でいっぱいでしたが、助産師さんが交代でモニターを見に来てくれて、その度やさしい言葉をかけていただいて、心が落ちつきました。私は2回目のお産で双子だった事もあり、状態が落ちついてからも、出産までお世話になりました。お産後はとても忙しく、ちょっと疲れましたが、入院中、お友達もでき、楽しく過ごせました。

三田市 母体搬送 初産婦 34週 経膈分娩

こども病院での入院生活は、私の生き方や考え方を大きく変えてくれました。妊娠をして、普通に出産することがあたりまえで、それしか知らなかった私でしたが、こども病院での入院生活で健康であること、健康に産まれてくることは、すごいことだと感じました。おかげさまで3さいになる娘に、私は何も望みません。ただ、健康に元気に産まれてきてくれた娘に、もうそれだけでママは充分だと言いつけています。時にきびしく、時にやさしい、先生に看護婦さん、みなさん本当にプロ意識をもっていて、本当に安心できる場所でした。どうか、これからも不安でいっぱいの妊婦さんを助けてあげてください。私は心も体もみなさんに救われました。娘も低体重児とはみえない、毎日走り回って、今は真っ黒のモリモリさんです。本当にありがとうございます。

西宮市 母体搬送 初産婦 33週 帝王切開

最初はすごく不安でした。しかし、いざ、入院、出産と2ヶ月余り入院しましたが、先生やナースの方々が、いつもニコニコしていて、親や姉妹のように接していただき、振り返ると長期入院だったのに、早かった様に思いました。今でも、時折り、病院に寄らせて頂き、当時の先生やナースの方々と楽しくお話しさせていただいています。次の出産も“ほぼ100%子ども病院で出産になるでしょう。”と聞いているので、次の出産も安心していきます。入院も長かったので、色々な事もありましたが、同じ様な方々と仲良くなり、今では友達も沢山出来て、お互いの子育てを話し合い相談しながら、子ども病院での思い出を語り合い、毎日楽しく過ごしています。先生、ナースの方々は大変なお仕事だとは思いますが、これからも素敵な笑顔で頑張ってくださいと思います。

他府県 母体搬送 経産婦 33週 帝王切開

こども病院に入院中は母子共にお世話になり、ありがとうございました。Dの質問では、つらいことを思い出しながらの出産は耐えられそうにもなく、いいえとしましたが、産科の○○先生、新生児科の○○先生には大変良くして頂

きましたし、娘が産まれてから亡くなるまでの10日間全時間をこども病院で過ごしたということで、私にとってはこども病院は娘との数少ない思い出の全ての場所であり、大切な大切な場所です。一つ要望を書くとすれば、妊娠中の精神的なケアをもう少しお願いしたいものです。

神戸市 母体搬送 経産婦 29週 帝王切開
早期胎盤はくりで、こども病院に運ばれましたが、前の病院では「赤ちゃんは多分無理でしょう」と主人も言われていた位、危険な状態でした。一命はとりとめたものの、次は何か障害が残るのでは…と、とても不安だったのが、先生達や看護師の方々のあたたかいお言葉でずい分すくわれました。こども病院に運ばれていなければ、命も無かったかもしれません。私にとっては、こども病院は、ハード面もソフト面でも、とてもすぐれた病院です。

神戸市 新生児搬送 経産婦 36週 経膈分娩
出産後、すぐにベビーだけが入院して、面会時間や授乳時間のきびしさにおどろいたんですが、でも、きちんとできて安心しました。衛生面にも、きちんとしており、医療面でもすべてにおいて安心してまかせることができました。ありがとございました。しかし、1ヶ月健診の時に時間が決まっていたので、すぐすむと思ったのに、1、2時間もかかり、スムーズにいかず、とても疲れました。もう少し、待ち時間を少なくしてほしいと思いました。医療の面で安心ですが、診察時間、待ち時間がイヤで通院したくないと思いました。

西宮市 母体搬送 初産婦 38週 帝王切開
入院中は病室の方も仲良くなり、とても楽しかったです。みんな、不安のある出産なので、親近感がわくのか、色々な話ことができました。退院してからも、子どもを交えて、会っています。先生方も、とても親切でどんな質問にも答えてくれたので、安心でした。

神戸市 新生児搬送 初産婦 帝王切開
こども病院の先生、スタッフの方には、子供の命を救っていただき、本当に感謝しております。ありがとございました。最初、こども病院はかなりの重症患者が運ばれると聞いていたので、いざ我が子がこども病院へと聞いただけで真暗になりました。でもすばらしい先生、スタッフ、最新の医療と何もかも信頼でき、こども病院でなければ子供はどうなっていたかわかりません。本当にありがとございました。

神戸市 母体搬送 経産婦 35週 経膈分娩
子供向けの食事を妊産婦用として量を多くしているだけのように思えたので、改善して欲しいと思った。

明石市 母体搬送 初産婦 34週 帝王切開
1600グラムで産まれた双子も現在2才になりました。1才半を過ぎててもなかなか歩けず、心配しましたが、今は元気に走り回っています。“こども病院は転院したら、絶対安静で動けないよ”といつも当時かかっていた病院の先生に言われていたので、本当に転院となった時は正に救急車の中で泣きながらという状況での搬送となりました。が、

転院してからは、ここへ来たからもう大丈夫という気持ちもあって症状も少し落ちつき、なんとか34週まで持たせることができました。産まれる前も産まれてからのケアも本当にすごくよかったので安心して産むことができました。当時同じ部屋だった三つ子ちゃんのママとは今でもメールしたりして、お互いにはげましあっています。同じ頃に産まれた赤ちゃん同士の交流などがあつたらよかったなあと思います。不妊治療の末にさずかった双子でしたが、そのあと又、女の子をさずかりました。今は、3人の子育てで毎日が精一杯ですが、健診の時に見た病気のお子さんなど、健康が1番だなあと思う毎日です。小さい赤ちゃんのケア大変でしょうが頑張ってください。心から感謝しています。ありがとございました。

三木市 母体搬送 経産婦 33週 経膈分娩
こども病院のスタッフはどの方も明るく元気で、いつも笑顔だったのが、とても印象的でした。私は早期破水で救急で運ばれましたが、赤ちゃんも私も元気だった為、こども病院で入院しているのは少し申し訳なく思いました。まわりの方はみんな大変な状態で入院なさっている方ばかりだったからです。でももし長期の入院だったとしても、明るいスタッフから、元気がもらえる様な気がしました。お陰様で、娘もすくすく成長し、今月(7月)には2才になります。こども病院で出産できて本当に良かったと思っています。お世話になりました。ありがとございました。

神戸市 母体搬送 初産婦 36週 帝王切開
私は入院中に少しわがままだった気がする。それは今、自分がどういう事になっていて…とか他の人がどういう事になっているのかが、ハッキリわからなかったからだ。となりのベッドの人がつらい時でも私は大きな声で笑っていた。もっと気をつかうべきだったと思う。反せいしている。だけど、私の担当の〇〇さんや、〇〇先生、〇〇先生はとっても優しくだったので、うれしかった。4人部屋でみんな退院して、1人になった時、〇〇さんが車イスに乗せてくれて、外に連れていってくれた事があった。紅葉を見に。キレイだった。うれしかった。気がきくかんごふさんが働いてとても良い思い出になっている。入院中はお世話になりありがとございました。

三原郡 新生児搬送 経産婦 28週 経膈分娩
"ICU から状態が少し良くなると、うちの場合は循環器病棟に移室されたのですが、状態が良くなっているとは言え、まだ新生児と変わらないくらいの体力にもかかわらず、病棟・病室に出入りする家族の方々の感染予防の方法が行き届いていない様に思いました。同室の子供達もかなり大きな子供達だったので、その点では、もっと細かく部屋割をしていただければ良かったと思います。大手術にも耐え、いよいよ退院かと思っていた矢先、肺炎にかかり、短い命は絶たれました。病院に居ながらにして、何故、肺炎にかかるのかが、今でも疑問に思います。もう少し、病室に配慮が欲しいなと思います。例えば、手洗い、消毒はもちろん、マスク、エプロンの着用など、過ぎるくらいの事をしている、丁度良いのではないのでしょうか。今更ながら、絶たれた命は戻ることはないでしょうが、これからも、今でも入院されているお子様のお役に立てれば幸いです。"

伊丹市 母体搬送 初産婦 23週 経膈分娩
入院していた時は、先生、助産婦さん、みなさんに、とてもお世話になり、すごく感謝しています。ありがとうございました。双子を妊娠して、自分も双子という事で、すごく嬉しい妊娠でした。けど、先生たちも、とてもがんばって治療してくださったんですけど、かいたく死産でした。赤ちゃんにとっても申し訳なく思い、ごめんねって何度も謝りました。お腹の中にいた、2人の赤ちゃんを看護婦さんが毎日部屋につれて来てくれて、抱っこしたり、顔さわったり、すごくしました。こんなに自分の子供って愛おしくて、かわいいんやっ…って思うと、また涙がでてきて、たまりませんでした。けど、いつまでも、双子ちゃんの事思うと、2人が天国で安らかに眠れないと思ったので、ちゃんと供養してあげました。それから2ヵ月後、4月に妊娠がわかり、現在は4ヶ月に入りました。これも〇〇と〇〇(双子の名前)のおかげだと思います。子供病院のみな様、本当にありがとうございました。

神戸市 母体搬送 経産婦 30週 帝王切開
双子の1人が心臓の病気で今も当病院にお世話になっています。一昨年・昨年と2度の手術をしていただき、今ではみちがえるように元気になりました。今では2人共、それほど差がつかずに仲良く元気に遊んでいます。本当にありがとうございました。

神戸市 母体搬送 初産婦 40週 帝王切開
H15.5.21 3744gの男の子をもうけました。私は、生まれつき足が不自由なのですが、出産一ヶ月前に、じんうえんで入院した時も、出産時も色々沢山の山の人にご配慮頂き、大変お世話になりました。これからは、私みたいに障害をもつ方がはいてこられた際は、心も体もたくさん手伝っていただきます様お願い申し上げます。そのせつは誠にありがとうございました。〇〇〇子

三木市 母体搬送 初産婦 36週 経膈分娩
こども病院には産前2週間、産後1週間入院して、お世話になりました。切迫早産になりそうになり(32週)たいへんでしたが、スタッフの方、先生にもお世話になり、無時出産することができました。出産後も子供もよく見て頂き、いろいろ私もおしえて頂き、本当に感謝しております。2人目はまだですが、妊娠した場合、そちらでお世話になりたいのですが、今現在は東京に在中、1人目が幼稚園に通園中のため、こども病院での出産は良い思いです。
〇〇〇子

多可郡 母体搬送 初産婦 34週 経膈分娩
私は、初めての出産で、すごい不安な気持ちでした。私の子供は元気に生まれてくれるのかなあとか、いい母親に私は、なれるのかなあって！何かツラくなって来て、子供病院に入院してる時ずっと泣いていました。そんな時に私を元気に励ましてくれたのが、先生や看護婦さんで、私、泣いてたらダメやあー母親になるのって思っ。子供病院で元気な赤ちゃんを生むぞって、かなり痛い体験をしたけど、私にとってすごい、いい思い出です。 〇〇〇子

神戸市 母体搬送 経産婦 28週 帝王切開
1人目は普通に分娩ができたので、この病院のようなハイリスタの人達を扱う病院にはかかわりがなかったのですが、今回、2人目のお産で切迫早産になり、不安いっぱいこの病院に運ばれてきたんですけど、先生、看護婦ともにみんな親切で明るく、優しく対応して頂けたことにびっくりしています。お産しても新生児のスタッフもみな親切で明るく、本当にうれしかったです。また、子供が大きくなったら、一度つれていきたいなと思います。これからもご期待にそってがんばって下さい。

加東郡 新生児搬送 初産婦 42週 経膈分娩
突然の事でビックリした私(母親)の心の面のフォローまで、医師、看護師の方にしていただき、どうにか乗り切れた様に思います。今も通院中ですが、先生の言葉にはげまされ、育児に奮闘中です。

三木市 母体搬送 経産婦 31週 帝王切開
運ばれてから不安でしたが、先生やみなさんのおかげで、元気に産まれました。本当にありがたかったです。子供が1才になった時に、お礼にうかがいましたが、県立病院なので、なかなか受け取って頂けなかった(紙しばいでした)それ以降もずっとお礼をしたい気持ちでいっぱいです。私は美容師なので、入院してる子供たちのカットとかする機会があればボランティアでいつでも行きますので、言って下さい。そんな事しかできませんが、入院してるたくさんの子供が幸せな日々を送れる事を願っています。

神戸市 母体搬送 経産婦 27週 帝王切開
入院したばかりの頃は、不安で眠れませんでした。自分で思っている以上に状態は良くなって…。担当の看護士さんは、病室をこまめにのぞきにきてくれて、私の不安が少しでも軽くなるようにと私の話をきいて、一つ一つにきちんと答えてくださいました。先生も、心配なことには、とことん説明して下さり、必要な検査はすべて行って下さいました。新生児科でもいきとどいたケアと十分な説明で信頼してお任せすることができました。いつも患者側としっかり向き合って納得がいくまでお付き合いくださるその姿勢がすばらしいと思っております。

西脇市 母体搬送 初産婦 35週 帝王切開
・赤ちゃんが退院してから焼く1年程は定期的に診察がありましたが、1才をすぎて、特に問題がなければ診察がなくなってしまい、その後の発育については何かあれば近くの小児科で診てもらって下さいと言われましたが、近くの小児科で相談してもあまりくわしく教えてもらえず、本当にこれで大丈夫なのか不安があります。親が安心するまでの期間、年1回でもいいので、診察してもらうことが出来ればすごく安心です。・初めての子が未熟児だとまわりの人からいろんな事を言われたり同じ年の子供とくらべられたり、市の健診などでは小さいトバカにされたりします。そういった不安などのケアをしてほしい。不安をどこにぶつければいいのかわかりません。保健師さんに相談してもわかってもらえない。・季節ごとにこども病院に集まったりして、いろんな人達と情報交換出来る場があればいいなあって思います。

神戸市 母体搬送 経産婦 36週 帝王切開

1人目の出産は、初めてというもあり、帝王切開で手術というのが、すごく恐く、前日からふるえていたり、過換気症候群のような事を言われたのですが、2人目、こども病院へ運ばれ、突然出産がきまり、また同じような症状が出るのかと思っていましたが、〇〇先生がとても親切に話してくれ、安心させてくれて助かりました。また、何かあれば、〇〇先生にお願いしたいです。でも一度、退院すると、一般では診てもらえないと言われ残念です。

神戸市 母体搬送 経産婦 31週 帝王切開

私の場合、3人目で初めて前置胎盤と診断され、突然の出血、そして突然の搬送、急な帝王切開と何の心の準備もないままの出産でした。31週1646gで産まれた二女も今は満3才になり、口も達者でとても元気に育っております。これも当時のスタッフの皆さんのお陰だと感謝しております。入院の時に出来た友達お母さんとも、今も仲良く交流させて頂いております。ただ、欲を言えば…、やはり、こどもHPに来られているお母さんは、自分の子供の事でほんの少しの事でもかなりナイーブになっていると思います。ほんの少しの声かけや気遣いがあると、入院中、心がおだやかにすごせるかな…と思います。そして、やはり看護師の態度が人によってかなり差があった事は感じました。今は主人の転勤により、沖縄に住んでいます。遠方より益々の子供病院の医療の向上・発展を祈念致します。来年には又、神戸に戻る予定なので子供を連れて顔を出したいと思っております。

他府県 母体搬送 初産婦 36週 経膈分娩

搬送された時はただ不安ばかりでしたが、担当して下さい〇〇先生をはじめ、スタッフの方みな様のあたたかい会話から心の平静をとり戻すとともに、早産の危険性も薄れました。絶対安静の点滴生活、ベッド上での食事に排泄はつらいというか、同じ病室の方やスタッフの方に申し訳ない気持ちでいっぱいでした。しかし、逆に同じ病室の方に声をかけられ、元気づけられたり、助けてもらったり、出産を無事終えられたのは、全て、先生、スタッフのみなさん、同室・隣室のお友達ができたからこそだと思っています。同じようなリスクをかかえた方、リスクをかかえ出産を済まされた方、4人部屋は一人きりにとじこもり、不安だらけの私に明るい笑顔をとくさん見せてもらえました。ふたごということもあり、毎日エコーを使って心音の確認があったことも励ましになりました。母体が一番の保育器、おなかの1日は外の3日。くり返しくり返し、一日が過ぎるのを待ちました。破水、陣痛、出産、むくんでばんぱんの足でしたが、新生児室に通えた日は楽しかったです。2人目が心音が落ちて吸引だったのですが、新生児科のスタッフの方に迅速に対応して頂いたので、安心でした。無事に2人を抱え、一緒に退院できたこと、昨日のように忘れられません。ありがとうございました。

神戸市 母体搬送 経産婦 27週 帝王切開

私が2人目で入院した頃、すごく不安でしたが、すごく信頼できる看護師さんがいて、その人がいる時にしか点滴の交換をしてもらいませんでした。その看護師さん(〇〇さん)にはすごく感謝しています。でもイヤな人もいまし

た。私が陣痛がきてしまって出産の時、ちょうど夕方！先生が当直の方で1人では帝王切開できない！と言われ、1時間近く最強の陣痛をガマンしてました。私は陣痛がきてから、子宮全開まで30分もかかりません。(1人目もそうでした)頭がはさまってるのがよくわかりました。そのせいで生まれた時には体(上半身)が紫でした。そのせいで頭蓋内出血して水頭症になりました。私はそう思っています。まだ娘が今は遅れながらも成長している、元気であるので、NICU、GCUの先生、看護師さんには感謝しています。

神戸市 母体搬送 初産婦 38週 経膈分娩

初めての出産が双子の出産ということで、不安ばかりでしたが、こども病院を紹介されて、すごく運が良かったです。妊娠中にも入院したり、手術をしたりと、本当に不安だらけで、楽しいマタニティーライフではなかったけど、唯一こども病院の看護師さん、助産師さん、先生方に会えて、すごく温かく、人間対人間として、エラそうに物言を言われることもなく、安心して過ごせて、良かったと思っています。今でもすごく良い思い出ばかりです。それと、同じように双子、3つ子などのお母さん方や妊娠中の不自由なことの辛さを同じように感じておられる方々と過ごせる、お互いに話し合えるのが、すごく心強く思いました。

芦屋市 新生児搬送 初産婦 40週 帝王切開

初めての出産が突然の緊急出産、(帝王切開)そして、仮死産、出産後一週間目にして、やっと、だっこした時のことは忘れられません。その息子も先週、3才になり、毎日があつという間です。息子はお腹の中にいたときもずっと順調で無事予定日まできたのに、翌日から急に動きがぶくなり、予定日の2日後に生まれてきました。思いもよらぬことでしたが、少し落ち着きをとり戻してから、あらためて周りをみれば、小さい息子よりも、はるかに小さい赤ちゃんたち…、世の中には本当に様々な出産があるのだと実感しました。その後、健診で行った時、E.V.の中であった妊婦さんは明日帝王切開とのことで、大変緊張してたので「私もそうだったけど、やっとお腹の赤ちゃんに会えると思って頑張ってたね」と声をかけました。わずか数ヶ月先ばいママだけなのに、自然とこんなことを言った自分にあらためて(あーこの子に会えて良かった。この子のおかげで、私も母になれたんだなー)思いました。今は、忙しい毎日を過ごしていますが、これもあの時の皆さまのおかげで、幸せに元気になった息子がいてくれるおかげです。ありがとうございました。・退院後初の健診時、D.E.から「お母さんも初めての出産がこんなことになり、本当に大変だったでしょう。」との言葉はとても何だか心が軽くなり、そのあとの質問もこどもというより、私へのケアのような健診ですごくホッとしたのを覚えています。

神戸市 母体搬送 初産婦 27週 帝王切開

入院中はみなさんに大変良くして頂いたので、不快な思いはまったく無かったです。とても感謝しています。ただ一つあげれば、会計裏の人達の対応は冷たく感じ、今でも用事があっても行きたくないと思わせるほどでした。本当に良くして頂いたのにすみません。こども病院で出産できた事、うれしく思ってますし、感謝してます。ありがとうございました。

神戸市 母体搬送 経産婦 40週 経膈分娩

私は出産までの間、様子をみるという風でしたので、あまり不便も感じず、部屋の方々とお話ししたりおやつを食べたり等して、楽しくすごすことができました。ただ、食事の味がうすかったので、ソースやマヨネーズなどを持って来てもらったり、夜におなかやすいてしまうので、おやつを食べたりしていました。出産までの間、甘いものはひかえないと思いつつ食べていたので、2週間弱の間に体重が増えてしまいました。(あまり指導がなかったのでもいいのかな～と思いながら) 出産後も息子と共に退院できたことをうれしく思いました。(それが普通だと思っていましたが、色々な方がいて、勉強になりました) まだ、検査などで年に一回程度お世話になる予定です。よろしくをお願いします。

神戸市 母体搬送 経産婦 34週 帝王切開

深夜の入院でしたが、医師の方、看護師、助産婦(師)さんたちのスタッフのてきぱきとした対応にちょっとびっくりしていました。手術までの時間が短かったのですが、助産婦さんがやさしく対応してくださったのが記憶にのこっています。産後のさく乳はつらかったのですが、同じ入院中の方々といろいろお話ができていまでは楽しい思い出です。同室だった人達とも年賀状などで近況報告をしています。

他府県 母体搬送 経産婦 37週 経膈分娩

下の子の出産時にお世話になりました。今年無事、2歳の誕生日を迎えることができました。とても嬉しく思っています。今でも入院生活(約1ヶ月)でつらかったこと、出産後の喜びを昨日のここのように、思い出します。入院中は精神的にもかなり落ち込んでいましたが、担当医だった〇〇先生のはげましにとっても力づけられました。同室だった方々も皆それぞれに大きなストレスをかかえながらの入院生活だったようで、お互いに声をかけ合って元気づけ合ったものです。看護師さんの一言で気分が左右されてしまう弱い立場の患者に対して少しでも理解しようという気配りがあれば、質の向上に必ずつながると思います。出産時はとても信頼していた助産婦さん(〇〇さん)だったので安心して乗り切ることができました。一生忘れられない貴重な思い出となっています。

西脇市 母体搬送 経産婦 26週 帝王切開

今思えば、入院・出産の時の事は少し良い思い出になってきました。出産した子供は今3才になります。産後しばらくは病院(特に周産期センターへ)近づくのもこわいくらいでした。もう2度と妊娠・出産はこりごりだと思いましたが、今となっては母子共に元気に今があるのはこども病院的スタッフの方々に助けて頂けたからだと思えます。産まれたときからずっと子供共々お世話になっている新生児科の〇〇先生はじめ、今でもずっと子供の成長を見守って頂いています。私が出産した時の先生はもういらっしゃいません。出来るだけ今後は長い期間、同じ先生にいて頂ける事がベストなように思います。こども病院入院中は色々細かい配慮で行き届いた入院生活でした。私自身は子供たち(双子、うち1人は障害を持っています)が元気で生きてくれているので良い思い出になったのだと思いますが、同じ入院中で子供を亡くされた方は今でもやはり良

い思い出ではないようです。今後のこども病院と周産期センターにて1人でもたくさんの命が誕生する事、心より祈っています。ありがとうございました。

神戸市 母体搬送 初産婦 32週 経膈分娩

不安を抱えての緊急入院でしたが、運ばれた時にケアして下さった看護婦の方の対応がとても厳しかった事が忘れられません。もう少し柔らかく患者がいやな思いをしないような対応の方が良かったのではないかなと思います。何せ数人の看護婦の方が恐かったです。あと、医師の先生の中にとってもビジネスライクな先生がいらっしゃって驚きました。

神戸市 母体搬送 初産婦 40週 経膈分娩

母子共に本当にお世話になりました。命が危ない所までできて子どもを見ずして助けて頂き感謝の気持ちで一杯です。大変だった子どもも、もう1才8ヶ月になり、すくすくと元気に育っています。入院中には夜間でも電話で子どもの様子を親切に教えてくださり、親としては、それだけでも気持ちが休まりました。退院後も、心配事があり、電話をかけさせてもらいましたが、みなさん、ていねいに優しく教えてくれました。退院しても不安で一杯な私達には、その後のケアがとても気になります。なので、今まで通りの様に、退院後も何でも聞きやすく電話もかけやすい対応でいてほしいと思います。これからもお願い致します。

神戸市 母体搬送 初産婦 36週 帝王切開

今はベッド数の関係もあり、不安をかかえていても、2回目以降の出産を他の医院ですることが多い様です。やはり、一人異常をもって産まれてくれば、それ以降の出産もかなり不安になりがちですので、できることなら、受け入れの体制があればと思います。入院中、大変お世話になり、精神的にも親身になっていただいて、心強く感じました。その分、2人目の妊娠、出産が、前の時の様にならないかと不安な面もありました。他の方も、この様な意見をお持ちの方がおられましたので。

洲本市 母体搬送 初産婦 34週 経膈分娩

妊娠5か月から出産するまで入院していましたが、先生方や看護師の方たちがとても親切でよかったと思いました。あと長い入院期間中、食事が大変おいしかったことが良かったです。遠い所から入院してるため、食事がおいしくなければ食べられず、持ってきてもらうこともできず…で、本当につらかったと思いますが、食事がおいしかったので、長い入院もできたと思います。(何もせずじーっとしていると、もう食べることしか頭になかったもので…)

神戸市 母体搬送 経産婦 20週 経膈分娩

結果は20W、死産(約2ヶ月入院後)でしたが、医療看護スタッフには大変よくしていただきました。辛い思い出ではありましたが、満足しています。外来受診での受付、会計は他の病院に比べると、接遇面や、時間のかかり方などに対しては、不満が多くあります。退院後、外来受診した際、Drは外来は卒業といわれ、その後、出血が続くので再診をしたのですが、紹介状のない初診の扱いになると

受付で言われ、初診料と紹介状なしの料金を、支払いましたが、子供病院で出産し不安があった場合分娩を取り扱っていただいた病院以外にいけない以上この料金システムには納得がいきませんでした。院内の公衆電話はICカード対応のものが多く、テレホンカードのものが少なかったので、大変不便でした。(携帯電話が使用できないいじょう)設置台数を増やしてほしい

明石市 母体搬送 経産婦 37週 経膈分娩

こども病院に救急車で搬送された時のことは今でも鮮明に思い出されます。この先、どうなるんだろうという不安でいっぱいでしたから…。でも、こども病院に来てみると先生方の適格な処置、看護婦さんたちのいきとどいたケア、そして、同じような立場やそれ以上に苦勞されている妊婦さんたちの懸命な姿は、私の励みともなり、おおげさかもしれませんが人生勉強ともなってこれからもたくさんの妊婦さんや赤ちゃんの支えとなつていただける病院であつてほしいと願っています。

神戸市 新生児搬送 経産婦 35週 経膈分娩

4人目は呼吸器障害で出産直後に入院し、当院で手厚いケアを早期にして下さったおかげで後遺症もなく、元気に育っております。5人目は心雑音で、出産20日目にこども病院でエコーをとっていただき、動脈管開存と僧帽弁閉鎖不全が分かり、毎月の検診を行っていただいた後、5か月で手術をしていただきました。内科の〇〇先生心臓外科の〇〇先生に大変お世話になりました。ことに、心臓外科の〇〇先生には、いつも丁寧な診ていただき、家族全員が感謝しております。看護師の方々もとても優しく適切な医療のケアをしていただきました。どうもありがとうございます。今後とも、よろしくお願ひ致します。

尼崎市 新生児搬送 初産婦 41週 帝王切開

妊娠中は本当に順調だったので、出産後にこれ程まで大変な事態になるとは思ってもいませんでした。でも出産後、初めて我が子に直面し、涙しそうになった私は看護師の方々の温かい励ましで、とても勇気づけられました。また環境や設備も整っており、45日間という長い入院でしたが安心してお任せすることができました。これからもお世話になり治療を続けていかなければなりません、この病院に来れたことを心から感謝しております。本当に有難うございました。これからも更に医療技術が進歩し、色々な治療法が見つけれれることを願っております。

神戸市 母体搬送 初産婦 39週 経膈分娩

・外来受診の時エコーの写真が欲しかったのですがこちらが言うまでくれなかったの、言わなくてもエコーの写真をもらえたらいいと思いました。(気を使って言いづらいので) ・外来・入院共ですが、行くたびに違う看護婦さんだったので、できれば同じ看護婦さんだったらいろいろ話も出来ていいのになと思いました。 ・出産した日診察の日だったので7分おき位に陣痛が来ていたのに前駆陣痛だと言われ家に帰されその日の夜 家で出産しました。他の妊婦さんに比べれば私の症状はたいした事なかったのかもしれませんが、診察の時に入院させてほしかったです。(母子共に無事でよかったです) : 自分と同じ

出産日前後の人と同じ部屋の方が他のお母さんと仲よくなれていいと思いました。

三木市 母体搬送 初産婦 経膈分娩

私はこども病院で3度お世話になりました。私が小さい頃より慢性腎炎で通っていたのもあり担当医だった〇〇先生に産科を紹介していただきました。1人目は残念ながら無事には産まれてきませんでした。2人目、3人目はとても元気に産まれました。今も2人ともとても元気でもうすぐ5才と3才になります。〇〇先生には大変お世話になり感謝しております。ありがとうございました。

高砂市 母体搬送 初産婦 36週 帝王切開

片方の腎臓に異状があることからこども病院で出産することになり、主人も私もショックで産科外来のソファでしばらく立ち直れませんでした。入院してからは同室の方との会話や看護婦さんとの会話で頑張ろうという気になっていきました。3週間後出産して…でも異状があるのには変わらないので看護婦さんからの「おめでとうございませう」という言葉に素直に喜べませんでした。後に、主人から小頭症…という病名を告白され、消灯になってから声をこらして涙が止まらず、看護婦さんの夜半の見回りにも、声をかけてもらったのですが、泣いてるのを必死でかくして平気な素振りをしていたのを思い出します。子供の状態を産科の人がみんな知っているとわかっていたら、全部気持ちを言って思っきり泣いて少しはラクになつてたかも…と今振り返ります…看護婦さんや産科のDrが子供の状態を全部知っているのかどうかわからなかったの… 現在はその後のフォローをよくしていただいて、定期検診もきて、子供も子供なりに元気にすくすく成長しているので毎日が楽しいです。自分も強く成長できたと思います。家族もきずなが深まり、楽しくゆっくりすごしています。

神戸市 母体搬送 経産婦 24週 帝王切開

私の場合、24Wで入院し、その2日後に緊急帝王切開となりました。残念ながら双胎のうちの1人は後で亡くなりましたが、先生方も救命(胎児の)を最優先させるため、とにかく早急に帝王切開しなければならなかったのだらうと思います。でもだからこそ、十分じっくりと説明してもらいたかったなあと思います。先生方の緊迫な様子がとてもよく伝わったので、帝王切開をすぐに了承してしまいましたが、後になって母が自責の念を抱くかもしれない事を想定して、短い時間で限られた中で 生涯で最も重大な決断をすることをくみとって、先生と母親の信頼をそこで強く結べるように これから模索して下さい。

神戸市 母体搬送 初産婦 33週 帝王切開

入院中は大変お世話になり有難うございました。おかげさまで、子供達も元気に成長しております。管理入院中、長期にわたり担当の看護スタッフの方が、本当に精神的な支えとなりました。私の場合初期の入院と出産直後の1ヶ月半をこども病院で過ごしましたが、「担当」のスタッフの方が変わらず、何でも話せる様な安心感が持てました。ただ、たまにしか、受けもちしてもらわないスタッフの方の時に週数も増し立っているのもつらい時期に(看護婦さんも日常こなさなければならぬスケジュールがあるのは

理解できますが・・・) シャワーの予約時間の直前まで、予定に入られると終わってもお腹が張ってすぐにはシャワーに行けず、あきらめたり、食事の直前も、やはり遅らせたり・・・と時間通りに終わってもらっても、体には無理がかかる事を理解して欲しい時もありました。

神戸市 母体搬送 経産婦 37週 帝王切開
私はすべてが急におこったので、無事出産しても精神的に動揺がひどかったです。スタッフの方には優しくしてもらっていましたが、入院中、精神的なサポートの専門の方がいたらもう少し早く落ちついたかも・・・と思いました。

姫路市 母体搬送 経産婦 24週 帝王切開
24週で超未熟児(男児665g)を帝王切開で出産しました。23週で救急車で運ばれましたが数日で生まれてしまいました。数日間の入院(母)でしたが、精神的にも肉体的にもかなり疲れていました。24時間点滴と絶対安静でトイレも行けず、つらい体験でしたがそれよりも「早く生まれてしまったらどうしよう」という不安。また生まれてしまったらどんな大変な事がまっているのか…障害は出るのだろうか等等とそちらの心配の方が私をかなり不安定にしていた様に思います。実際には24週と5日目に突然陣痛がきてしまい生まれてしまいました。生まれてきた子供に申し訳ない気持ちとこの先の不安、数々の病気との戦い、手術……。私を救ってくれたのはその時1才になったばかりの上の娘と夫、祖父母、そしてNICU、GCUの先生と看護師の方々。母親に対する心のケアは他では経験した事がないほどすばらしかったと思っています。お蔭様で、息子は現在4才で4月から元気に幼稚園に通っています。未熟児網膜症による強度の近視以外は何も障害は残りませんでした。心から感謝しています。*生まれてすぐ母親と一緒にいた上の娘に比べ入院で離れていた息子には何か私の母性が目覚めるのが遅いような気がしました。入院中の子供との絆を深める事、何か積極的にかかわれる事が大切な様に思いました。 ○○○子

神戸市 母体搬送 初産婦 38週 帝王切開
22週の時に入院していた○○病院からこども病院に転院しました。経過が悪く、周期的な強い張りがあったため、あきらめムードでした。担当の○○先生に診ていただいて説明を受けました。穏やかな話し方でしたが内容は厳しいものでした。助かるのか、もう生まれてしまうのか、助かってどんな障害が残るのか育てていけるのかなど不安ばかりでした。でも看護師さんがていねいな対応をしてくださったり、先生が1日に何度も様子をみに来てくださったりだんだん穏やかに過ごせるようになりました。また絶対安静の時も体をふいて清潔にいただいたり食事もとれるようになり安心できるようになりました。経過は順調ではありませんでしたが、それなりに周を重ね一度退院しその後無事38週で出産することができました。こども病院に入院し治療を受けることができなければ、子どもはいなかっただろうと思っています。本当に感謝しております。特に目立つトラブルのない妊婦さんが通う産科とは違い、先生方、看護師の方々、スタッフの方々のご苦労も多いのでは、と思っておりますが、不安を抱える母親・子ども達の支えになっていただけたらと願っております。 ○○○子

他府県 母体搬送 初産婦 34週 帝王切開
3ヶ月におよぶ入院生活を支えていただきました○○先生、○○先生看護師の○○様はじめスタッフの皆様、大変お世話になりました。一卵性双胎で一子は無脳症ということで、長い入院期間中にはくじけてしまいそうになることもあったのですが、献身的な医療、看護により無事出産することができました。自分自身たいへん満足のいくお産であったと思います。ただやはり子供を亡くすショックは覚悟の上とはいえ、大きく自宅に戻ってからの落ちこみがありません。1年後、やっと「子供を亡くした親の会」を見つめることができ、自分の気持ちを人に話すことでずいぶん救われました。出産時にそういう会の情報等を教えて頂くことができたならばと思います。又、無事出産された方との同病室であることや、子供を亡くした親への精神的ケア等改善、そして発展していかれることを切に望んでおります。最後になりましたが、双子の姉「○○」は出産後6時間で私達から旅立ってしまいました。妹「○○」はたいへん健康に育ち、来春幼稚園に入園致します。ありがとうございました。乱筆乱文お許し下さい。 ○○○子

神戸市 母体搬送 初産婦 35週 帝王切開
回診はいらないと思う。急に顔も知らない年配Drが来て「変わらないね ハイ」で去って行った。大学Hpではないのだからおかしい!!

神戸市 母体搬送 初産婦 31週 帝王切開
私達夫婦にとって残念な結果になってしまいましたがこども病院の先生看護師さんたちには大変お世話になりありがとうございました。○○病院ではいやな日々だったのでこども病院に転院してから病院内が明るく入院生活ができました。過産期医療センターで出産できればと思っています。今は妊娠していません。 ○○○子

明石市 母体搬送 初産婦 34週 帝王切開
何人か集まって搾乳をするのですが、母乳の出が悪いとその時間がつらくてたまりませんでした。(これは他の病院でも同じ気持ちを持った友人がいますが)看護師に相談すると「そのうちできるようになる」とか「自分で助産院等をさがして指導をうけなさい」とかいわれました。病院内で指導がうけられればベストですが、せめて助産師のリストなどを整備し紹介するなどのケアをお願いしたいものです。 ○○○子

西宮市 母体搬送 初産婦 32週 帝王切開
先生方看護師の方々、共によい印象しかありません。特に看護師の方々は他の病院とは違い大変有能であるように感じました。ただ、薬を頂く際、薬局にて大変長い時間待たされたような気がします。現在息子が発達がゆっくりで、(1才くらい遅れている)現在普通の幼稚園に通いながらカウンセリングセンターへ週1回通っています。原因が未熟児で生まれたからとは限りませんがそのような子供たちのフォローしてくれる所があればうれしい。(1度小児科に電話したところ市内のセンターを紹介された)

加東郡 母体搬送 初産婦 25週 帝王切開
早産や破水妊娠中毒症などで子供が未熟なまま産まれて

きた人心の準備もなく仕方なく産んでしまった人子供が産まれる前から病気や障害があるとわかった人などの心のケアをもっとしてほしいと思いました。その時の気持ちとか聞いてもらうだけでも元気が出てもっと前向きに考えられると思います。最後になりましたが私の入院中そして子供が入院中いろいろお世話になりました。無事に退院することができました。これから先もいろいろあると思いますがこども病院で多くの方に助けられ励まされた事決して忘れません。本当にありがとうございました。この場を借りてお礼申し上げます。

他府県 新生児搬送 経産婦 40週 経膈分娩

2人目の出産でしたが、呼吸障害があるとのことでこども病院へ救急車で搬送された時は「この子はちゃんと育つのか…」と不安でいっぱいでした。入院中も子供と離れている寂しさや不安で辛く思いましたが、面会に行けない時でも電話で子供の様子を親切に教えて下さりとても安心した記憶があります。その後一週間程で退院し、あれ程心配しましたが今では元気いっぱいスクスクと育っています。その節は本当に有難うございました。

他府県 母体搬送 経産婦 25週 帝王切開

次男の妊娠、出産は私と家族にとっては本当につらく大変なできごとでした。しかし、こども病院にお世話になったことで今の私達家族があります。産科の担当先生は私と共に戦ってくださりましたし、新生児科の先生、スタッフの方々も次男を大切に育ててくださりました。今でも、この思いが強くあり、感謝しております。これからも益々周産期医療センターが充実し、沢山の赤ちゃんとその家族が救われることを心より願っています。追伸 ただ一つ当時から思っていたことです…。退院前に次男と同様なケースの先輩ご両親にお話が聞くことができれば良いと思います。次男がどう育つのか？家族の生活はどうなるのか…？全く想像できず、不安で一杯でした。経験者のお話があればもう少し気持ちに余裕ができていたと思います。

竜野市 母体搬送 経産婦 36週 経膈分娩

周産期医療センターの看護師さんはすごく親切で親身になって相談に乗って頂いて心がすくわれました。

津名郡 新生児搬送 初産婦 39週 経膈分娩

初めての出産で出産したその日の夜にこども病院に転入。私自身毎日我が子を見に行けず（出産したばかりだし…）主人も仕事がありなかなか行けず。自分の子供が入院していた病棟の婦長さんはじめ看護師さん先生がよくして頂いて、わからない事とかもくわしく教えてもらい、すごく感謝しています。

洲本市 新生児搬送 経産婦 40週 経膈分娩

看護師さんや保育士さんに子供が大切にいただき、うれしく思っています。入院中うれしかったのは、今日遊びでしたことや、治療でした事などをノートに書いて交換ノートとして、渡してくれた事です。今でも保育士の〇〇さんをお子ももちろん私も覚えています。私たちにとっては医者の方々もそうじの人たちも（子供や私に話しかけてくれ

たりと）色々なスタッフに親切にいただいたと思っております。公衆電話が近くにあれば、入院中の子供も家や祖父たちの家と電話ができるのと思いました。たぶん難しいと思いますが…

明石市 母体搬送 経産婦 31週 帝王切開

出産直後は異常も認められず小さい方の赤ちゃんもすぐに追いつくでしょうという説明を受け出生後1ヶ月後ぐらいいには先に保育器からも出たのにそのとたん状態が急変して原因がわからないわからないで結局は脳性マヒをおこしていましたがそういうことを医師からははっきりと聞かされないまま退院して療育施設で療法士に脳性マヒの子供はね、といきなり言われてかなり動揺したのをおぼえています。そういう説明をもう少しはっきりと病院にいる間に聞かせてほしかったと思います。

神戸市 母体搬送 初産婦 34週 帝王切開

妊娠中からお世話になりキビしいアドバイスのおかげで健康的なそして楽しく妊娠生活が過ごせたと思います。無事に出産でき感謝しています。入院中雰囲気の良い時もありましたが、悪い時も部屋でありました。出産後昼夜かわらぬ睡眠をとりたくても部屋がうるさくつらかったです。（妊娠中の方がさわいで）妊娠中の人と出産した人が同室だとメリットもありますが（本人の常識によりますが）うるさい人への対応や対策をしてほしかったです。

三木市 新生児搬送 初産婦 39週 経膈分娩

先生も看護師さん達も大変な現場で仕事をしていらっしゃるのにビリビリした感じはなく皆さん親切に対応して下さいましたのがとてもうれしかったし不安も軽くなったと思います。初めての子に障害があり、生まれてすぐ離れてしまったのでかなりのショック状態でした。そんな時冷たいというか機械的な態度で対応されたら相当とまどっていたと思います。1つ提案するなら障害がある子にはその障害に合った施設を教えてほしかったです。うちの子供は難聴と診断されましたが結局自分でさがして施設に通園していました。先生が無理ならケースワーカーさん等相談できる方がおられたらよかったです。もしかしらそういう部署があるかもしれませんが知りません。もしあるなら先生か看護師さんからそういう情報を教えてもらうか掲示板に掲示してほしいです。もう1つ追加で…食堂がもう少し大きくて席数が多いといいなあと思います。

神戸市 母体搬送 初産婦 39週 帝王切開

平成12年9月に出産しました。双子の為、2ヶ月程入院しましたが、その間看護師さんや、先生方の心温まるケアをして頂き、無事、出産することができました。本当にありがとうございました。入院中の楽しみといえば、赤ちゃんのエコーを見せてもらったり、同室の方のおしゃべりですが、食事も大きなお皿を食べていると思います。こども病院の場合、子どもさんの入院患者さんと同じお食事内容なのではないでしょうか、とてもかわいらしく楽しいものでした。私の中でこども病院に入院していたあの2ヶ月間は、本当に良い思い出となっています。できれば、次妊娠したら、やはり、こども病院で…と思います。やはり無理なのではないでしょうか。母子ともに大変な事情で、出産に向かわれ

ている方が大勢おられることと思います。これからも最高の医療とケアで一人でも多くの命をこの世に送り出してください。ありがとうございました。

神戸市 母体搬送 経産婦 30週 帝王切開

入院中は看護婦さん達に本当にいろいろとお世話になりました。立ち直るために必要な言葉をたくさんいただいたと思います。感謝しています。只、手術中のDr達の雑談や笑い声がどうしても後々まで耳についてしまいました。私の子供は生存の可能性がほとんどなく、生後1時間で亡くなりました。きっと全力を尽くしてくださった結果だとは思いますが、私にとって重く、つらい出産だったにもかかわらず、現場は楽しそうだったのでギャップに戸惑いました。

明石市 母体搬送 初産婦 35週 帝王切開

こども病院に転院した時に看護婦さんにとっても親身になっていただいた事を覚えています。もちろん正常にお産ができない人たちがばかりが集まってきているのだから当たり前なのかもしれませんが、私の場合中毒症で子供がお腹の中で大きくならない事がはっきりわかってきてとても心配で夜中に泣き出してしまった時忙しい中看護婦さんがしばらく話し相手になって下さった事を昨日の事のように思い出します。主治医の先生も(〇〇先生だったと思うのですが)ほとんど毎日顔を出して下さいました。子供が無事産まれ、退院してからも約1ヶ月真夏の暑い中毎日母乳を病院に運んだことを思い出します。2050gで退院した娘も今ではとても元気な5歳です。まだまだ他の同い年の子に比べおチビちゃんですが、毎日元気に保育園に通っています。本当にありがとうございました。

他府県 母体搬送 経産婦 28週 帝王切開

もう4年前の事になりますが、夜中の手術にもかかわらず、双子の子どもたちの命を救って頂き本当に感謝しています。28週で産まれてきたのに先生方はすごく前向きに勇気づけて下さいました。今では歩けないかも(脳性マヒの疑いで)と言われた息子がウソのように走りまわり自転車にも乗っています。902gの子が14.15kgになってわんぱくに育っています。出産後も親切にみていただいたり、指導して下さいましたことうれしく思っています。来年からは幼稚園です。やんちゃな時期が過ぎたら元気なこどもたちをつれてこども病院を訪ねてみたいです。私はひとりひとりに本当に細やかに指導や勇気をくださったこども病院が大好きです。これからもひとりでも多くの小さな命を最後まであきらめずにすくってあげて下さい。

神戸市 母体搬送 初産婦 41週 経膈分娩

先生を始めスタッフ同様に親切に接していただきました事、有難うございました。おかげで安心して出産にのぞむ事ができました。又、後日子供の写真を送付して頂きとても良い記念になります。大切に一生大事にしたいです。

神戸市 新生児搬送 経産婦 36週 帝王切開

私は〇〇病院、生まれた子供は、こども病院と8日間離れてすごしました。はじめは、一緒にいられず、つらく、また小さかったことで、心配しました。私も何度か面

会にいける様になり出産後はじめてしっかり抱かせてもらった時はとても感動しました。また看護師さんから息子の様子をくわしくおしえて頂いたり、沐浴、授乳指導とつきっきりで指導していただいたのを嬉しく思いました。私の術後の体にも気をつけて頂き、ありがたく思いました。おかげ様で息子も3歳になり毎日元気に走り回っています。本当に色々ありがとうございました。

神戸市 母体搬送 初産婦 37週 経膈分娩

3ヶ月近くの長い入院生活でしたが、看護師の皆様はじめ、多くの方々にはげましていただき、精神的にも安定していた入院生活だったと思います。早いもので子供も今年5才になります。子供病院に入院させて頂いて、今日が無事すごせているのだと思います。私が、一番感じた事は、看護師のみなさんが、仕事に対して、とてもプライドを持っておられて、とても前向きに対応されていた事です。時には友達のように、時には母親のように… 本当に色々な面で助けていただいたと思います。ありがとうございました。子供病院での入院生活の事は、一生忘れられません。これからも、ますます、ご発展下さい。

明石市 母体搬送 初産婦 40週 経膈分娩

出産予定の日、少しの腹痛で産婦人科に診察してもらった時すでに長男は亡くなっていて、その後、私の体の状態が悪くなりこども病院でお世話になりました。見たことない病室、初めて会うスタッフの方々(当然ですが)不安と、自分自身と赤ちゃんに何が起こったのかわからない中、私に対して皆さんととても親切にやさしくして下さいました。亡くなるとわかっていても長男を産むことができ、とても嬉しかった。その上に助産婦さんの配慮で見えるところで、長男をベビーバスに入れて下さり(主人が手伝って)あの時のことは本当に忘れません。その反面、同じベットで長男と私が寝ている部屋に入ってこられた先生が「赤ちゃんの解剖するんですか?」と主人に聞いたり、病院内のお部屋で赤ちゃんとのお別れをして悲しんでいる私が部屋に戻って1番初めに見たものはついさっきまで長男がねていたベビーベットだったというほんのちょっとした事ですが、我が子を亡くした者にとって辛いと感じることもありました。

明石市 母体搬送 経産婦 36週 経膈分娩

病院の先生はじめスタッフの方々、大変優しくして頂き、36週までお腹の中においておくことができました。看護婦の皆さんが丁寧に接してくれたので、不安だらけの妊娠後期をなんとか乗りきることができ、感謝で一杯です。その子も今年の秋には5才になります。元気に幼稚園に通っています。入院中は妊娠33週ぐらいから、自由に身動きできないのが情けなく、お産に対する不安もあり、また、同室の赤ちゃんがお腹の中で亡くなったり、ナーバスになりました。何かとデリケートな妊婦さんを、これからもやさしく見守ってあげて下さい。私にとっては本当に貴重な体験ができて、辛い時期もありましたが、よいお産ができて満足です。

神戸市 母体搬送 初産婦 40週 経膈分娩

最初、こども病院と聞いた時は、そんなに大きな問題が

あるのかと不安でしたが、今、振り返ってみるとこども病院で出産できて良かったです。〇〇先生はじめ、その他の先生方、看護士さん、みなさんによく声をかけていただき、すごくこちらも話しかけやすくて良かったです。その時に知り合った友達も、今でもたまにですが連絡をしたり、会ったりしています。できれば、2人目もそちらで産みたかったです。あと、食事が出産前も後も一緒だったので、出産後はもう少し変えてほしかったなと思います。私にとってこども病院は、初めての出産だったので、とても印象に残っている病院です。ありがとうございました。

神戸市 新生児搬送 初産婦 38週 経膈分娩
出産後すぐ(数時間後)に運ばれて、もちろん私もついて行って、何がなんだか訳がわからなく、頭の中が真っ白で、赤ちゃんも産まれて直後にすぐ2~3分しか抱っこしてなくて、子供病院に入院することになり、保育器に入って、まだオムツも替えたことがなく、抱っこすらできてない時に病状説明があり、外性器の形が悪いらしいのですが、「見られて何か変だと気づいたでしょ？え、気がつかなかったんですか？」と言われ、私も第一子だったし、産まれたてのまだへそのおをやっと切った時しか会えてないのに主人にも「旦那さんは男だから見てすぐに分かったでしょ、変だったでしょ」…とか気づかない方がいけない様な言い方と、何度もたまたまかけられて言われて、凄くイヤな気持ちになりました。私たちも気持ちが平静な時でないで、特に気になりました。あと、若い先生の説明が早口で、のみこむのに時間がかかり、(理解するのに)もう少しゆっくり説明していただけると、こちらも落ち着いて聞けると思います。それに、その方が、安心感があります。疑問に思ったことも、お話の間に尋ねたりできますし… もちろん、たくさんの先生方、看護士さん方に、一生懸命治療していただいた事、本当にありがたく感謝しております。ありがとうございました。もう少し、こうしてほしいな、と思ったことを遠慮なく書かせていただきました。これからも、大勢の天使達のため、がんばって下さい。

神戸市 母体搬送 初産婦 37週 経膈分娩
ハイリスク出産とゆう事で不安でしたが、こども病院を信頼していたので、心強かったです。こども病院は好きですが、今のまま、何かしらリスクのある赤ちゃんや妊娠したお母さんだけを受け入れてもらいたいです。どうしてかと言うと健康なお母さんや赤ちゃんと居ると辛いし、話が合わないと思うからです。みんな何かしらあるから仲良くなれるとも思います。これからも不安をかかえたお母さん方のために頑張ってください!!

三木市 母体搬送 経産婦 36週 経膈分娩
先生も看護婦さんも、すごく親切で安心できた。不安で不安でしかたなかったんだけど、そんな気持ちも和らんでいった。私達患者は、先生、看護婦さんの言葉で落ち込んだりすることもあります。何気ない一言でも…。でも、周産期のある看護婦さんは、とっても素敵なお人でした。出会えてすごく嬉しかったです。毎日、忙しいとおもいますが、体に気をつけて頑張ってくださいね。

神戸市 新生児搬送 初産婦 31週 経膈分娩
私は31週で出産し、未熟児だった為、産院から子供病院に子供だけ運ばれました。私は産院、子供はこども病院と別々だった為、かなりさみしい思いはしました。私がまだ入院中一時外出という了解を得て、産後3日目にして初めて、我が子と再会。その時早く産んで(産まれてしまって)ごめんねという気持ちで一杯でした。我が子を目にした時、目から涙があふれ、止まらず、NICUの看護士さんにティッシュをいただきました。優しく接してくれたこども病院の看護士さん達に感謝してます。母親との接し方や、初めて母親になった私に対してこまかく色々教えてくれたり(母乳あげ方・沐浴など)と看護士さんの気くばりは大変ありがたかったです。そんな看護士さんはこども病院に大切な存在だと思います。現在子供は4才になり、元気にすくすくと育ち、私のお腹の中には2人目がいます。また早産になるかもと不安はありますが、これからは妊娠生活を楽しみながら生活していこうと思います。

神戸市 母体搬送 経産婦 36週 帝王切開
専属のスタッフがついてくれて安心して出産が出来ました。赤ちゃんに対してのケアもすぐれていて、気分的に楽が出来ました。私の場合、筋腫があり、腹部の痛みが激しかったのですがスケジュールどおりに進行されGCUに連れて行かれた時も、頭がもうろうとしていた状態で赤ちゃんとの対面、先生との話し合い、これは少しきつかったです。看護師さんたちの仕事ぶりはすばらしかったと思ってます。忙しいけど無理せずこれからがんばってほしいと思います。

加古川市 母体搬送 初産婦 39週 帝王切開
初めての出産、妊娠で不安でいっぱいだった所に38週の時に妊娠中毒症といわれ、ショックでした。私の血圧も高かったし胎児も2kg弱と言われていたため、入院したら胎児の心音が下がっていました。一晩様子を見たけれど、変わらなかったためこども病院に運ばれました。こども病院では看護婦さんをはじめ、いろいろな方に優しく接してもらえうれしかったです。小さく産んでしまった事を悔やんでいたのですが、他の入院している人達と話すと元氣になりました。授乳室でも親切におしえていただいたのですが、他の人が赤ちゃんに授乳しているのを見るのはちょっとつらかったです。体重が少なかつただけで39週に出産していたため、1800gで退院したので毎日が不安でした。授乳の練習も2回だけ、お風呂も1回しか練習していなかったので、もう少し指導を受けたかったです。子供は2才9ヶ月になり普通の子に変わらず元氣に成長しています。お世話になった〇〇先生、看護婦さんのおかげです。ありがとうございました。

三木市 母体搬送 経産婦 32週 帝王切開
不安いっぱい入院したのに、しっかりした対応、すばやい対応でとても安心しました。大きい病院なので、自分の担当となる主治医にもよりますが、自分が納得して治療を受けることができました。どの産科医、小児科医に当たっても安心できる病院であり続けてほしいと思います。

西宮市 母体搬送 経産婦 31週 帝王切開
出産予定日よりも早目の入院をしました。ベッドでの安静ですべての事を看護婦の手をかり、とても良くして頂いた感謝です。

他府県 母体搬送 初産婦 29週 帝王切開
初めての出産、そして高齢、中毒症もあったので、すごく不安でしたが、先生方の敏速な対応のおかげで無事出産ができました。ありがとうございます。日頃地方医療に対してどうしても、対応の不適切さを感じています。病院。診療所はあるのですが、どうしても…遅れています。不安でした。もし、次にできたとしたなら、高齢と言うだけでも出産させてほしいです。看護師の方でも、不安を一緒になって、考えて励ましてくれました。ありがとうございます。1日の担当の看護士さんの名前を覚えられませんでした。

神戸市 母体搬送 初産婦 34週 経膈分娩
主治医の〇〇先生、〇〇先生、担当の〇さんを始め、他スタッフの皆様には大変お世話になり、本当に感謝しています。入院中は、トイレまでの歩行以外は絶対安静の毎日が2ヶ月続き、不安だらけで、『こんな生活早く終わってほしい…』と思っは、『少しでも長く、赤ちゃんにはお腹にいてもらわなくては!!』と矛盾を感じながらも、つい考えていたものです…。幸い同部屋の方に恵まれ、お互いの話をするうち『皆頑張ってる!!』と励みになりました。今でも時々交流があり、いい思い出となっています。34週で早産だった息子も11ヶ月目を迎え、ますます元気に活発に育っています。ただ一つ、入院中に感じたのは、冷蔵庫が各部屋に一つあると便利だろうなという事です。夜食として、夕食時に同時に出されるものの保存に困りました。授乳室にあるものの、絶対安静の身には、なかなか利用できず、場所が場所だけに、面会時に家族にも頼めませんでした。入院期間が長かったため不便を感じたのかもしれませんが、どうかよろしくお願ひします。

他府県 母体搬送 経産婦 33週 経膈分娩
33週に入っすぐに陣痛が強くなりウテメリンの点滴も効果なく子宮口が開き、救急車にて搬送されました。初めての病院で体調もかなり悪かったのですが、優しい看護師さんの対応にとってもリラックスして出産に望めました。出産後も患者一人一人に担当の看護師の方が“今から〇〇が担当します。”と言って声をかけてくれたことがとても信頼感を持って、他の病院ではないことだなあと感じました。それとみんな笑顔で対応してくれたこと、ハードなスケジュールの中でも皆さん明るかったことが印象的です。医療設備、技術はもちろんすばらしい病院ですがスタッフの方々も親切であたたかかったです。お陰で双子も2才を元気に迎えました。いろいろお世話になりました。これからもたくさん赤ちゃん、妊婦さんを助けてあげて下さい。ありがとうございます。〇〇〇子

明石市 母体搬送 初産婦 34週 帝王切開
入院中、ケイタイを禁止するのはあたり前の事だと思ひますが、どうしても出産時はTELしたいのです。枕元に一台ずつ他の病院には2~4人以上の部屋にもついでい

ます。何も無理をしなくても家庭にいる人、友人、親に声が聞きたくなるし、しゃべりたくなります。(今はどうかしりませんが…。ついてたりして。)・人事が変わりすぎて(Dr)相談がしにくくなりました。・最新の機器がどこよりも早くそろってほしいです。

揖保郡 母体搬送 初産婦 30週 帝王切開
私は胎児が異常とのことで、とにかく不安な気持ちで一杯でこども病院に行きました。でも、先生方やスタッフのみなさんの“一緒にがんばりましょう”と私たち夫婦の立場に近付いた温かい対応をして下さり、本当に心救われました。その為、出産までの過程や手術など色々なことを納得して受け入れることが出来たせいか、子供が大きな病気をもって誕生してきたことも、あまり心乱すことなく受け入れることが出来ました。その上、二週間という短い命にあったにもかかわらず、高度医療を受けさせて頂いた我が子は恵まれていたと思います。又、産まれたばかりなのに、先生方に“この子は重い病気を持ちながら、ここまでよくがんばってきた”とあって褒めて頂いたことにより、産んで良かったと思えました。こども病院で出産していなかったら、きっと自分を責め苦しんで、悲しみながら立ち直ることが難しかったと思います。今の私があるのは先生方やスタッフの方々とのコミュニケーションがあったからで、本当に感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございます。

宍粟郡 母体搬送 経産婦 20週 経膈分娩
私の場合、お腹の赤ちゃんが水とう症でした。いつもの病院で知らされた時はすごいショックでした。しかも、1人目の時に帝王切開だったため、18週にもなって中絶するというのは簡単では無いと知って…。赤ちゃんをあきらめなければいけないのに 帝王切開で傷が残るのは 精神的につらいからとのことで、先生には通常の分娩の様にして頂き とても感謝しています。入院してから 処置が痛くて、何回も泣いてしまったけど、看護婦さんとても優しく、手をにぎってくださったり 励まして頂きとても嬉しかったです。赤ちゃんをあきらめるというのはとても悲しくてつらかったけど、こちらの病院にお世話になれて良かったと心から思ひます。これからも 安らげる 病院でありますように。

神戸市 母体搬送 初産婦 33週 経膈分娩
1人目の子供が、先天性の病気で生まれて、その後、2回の出産も、こども病院でお世話になりました。下の2人は健康に生まれましたが、羊水検査なども受け、不安を抱えたままの出産でした。担当医の〇〇先生をはじめ、スタッフの方々にはいつも、「大丈夫。」とはげまされ、勇気ももらっていたと思っています。3人の子供の親となり、忙しい毎日を送っていますが、今の私があるのは当時、迷ったり悩んだりしていた私を助けてくれた人たちのおかげだと思っています。もしも、4人目を産んでみようと思ったら、きっとまた、相談にうかがうと思ひますので、よろしくおねがひします。

神戸市 母体搬送 初産婦 35週 帝王切開
私は、1人目の出産の時、妊娠中毒症になり 緊急帝王切開術をうけ、3日間は絶対安静という事で、こどもの顔

を見る事ができたのは、2日目に看護婦さんが撮ってきてくれた写真でした。その時、写真を撮ってもよかったんだ…と知り、少し、「もう少し早く、お願いすればよかたな…」と思ったりもしました。やはり、我が子には少しでも早く顔を見たいし、いろんな事を知りたいと思いますから…けれど、新生児室に連れていってもらって、沢山の看護婦さんから、大切に見守られながらいる子供を見てとても、安心した気持ちになり、自分の体をはやく治そう!と、思い、ゆっくりと寝る事ができました。退院する日まで、いろんな不安や、相談を聞いて話をしてもらえ、これからの子育てに対する心配や不安が、「なんとかなる!!」という心強い支えにできたのは、看護婦さんと先生のおかげでした。実は、2人目の子供の時も、切迫早産で入院したのですが、とても、私の出産に関しての希望や質問に丁寧に答えていただいて、本当に感謝しています。ひとつの悩み事に、何人かの看護婦さんから、いろんなアドバイスや説明をしてもらえる事は本当に心強く、なによりも嬉しい事でした。私は、何よりも沢山の話を、私にしてくださった、先生方と看護婦さんに心から感謝しています。ふたりの子供達はとても、元気に仲良く、笑いあい泣きあいながら、成長していってくれています。ありがとうございます。

神戸市 母体搬送 初産婦 34週 帝王切開
駐車場が狭い。

西宮市 母体搬送 経産婦 36週 帝王切開
本当に入院中は、お世話になりました。有難うございました。今も時々、こども病院での事は、よく思い出しては、なつかしく思っています。入院中の一分、一秒たりとも、帝王切開の日まで、おなかの中で、ちゃんと、成長してくれる事だけを、思いつづけた日々でした。一日24時間が、すごく長い時間に、感じました。無事その日を迎えられたのも、皆様のお陰だと思っています。元気で何事もなく、産まれる事が出来ました。退院後、1ヶ月健康診断以後は、大きく成長していて、心配もないので、こども病院との関係は終わってしまいました。ただ、親は、心のどこかに、“この子は少し早く生まれている”っていう心配がぬけきれず、ちょっとの熱などにも不安いっぱいになります。他の近くの病院へ行けばいいのですが、やはり、安心できるのが、お世話になった、こども病院で、何度か電話した事もございます。その都度『近くの病院を』と(ちゃんと、容体は聞いて下さいました)言われ、すごく淋しさと不安を感じたものです。元気な赤ちゃんでも1年間ぐらいこども病院での医療が受けられればと思います。」

加古川市 母体搬送 経産婦 38週 帝王切開
こども病院にお世話になったのは、2人目の出産の時です。今から3年前のことです。1人目を死産で亡くしていたのですごく不安でいっぱいして、入院生活がはじまり、最初は大部屋になじめるかも心配でとても嫌でした。しかし、元気な赤ちゃんを生みたいという共通の思いがあるのですぐに皆と仲良くなれ、お互いのお腹の子の話で毎日楽しい入院生活がおくれました。3年たった今でも手紙のやりとりがあります。ナースの方々もすごく親切でとても快適な日々が過ごせました。1人目、3人目と3回別々の所で出産しましたが、こども病院の先生、ナースの方々が1番、信頼

でき安心できた出産だったと思います。でも家から、遠い事があり、入院中、家族がかよう事を考えると、近くの病院からの方が負担が少ないかと思ひ、3人目は近くの市民病院での出産になりました。でも今思うと、やっぱりこども病院で出産の方がよかったかな?と思います。

明石市 母体搬送 8週

救急車で運ばれたのですが、ナースの方々の手際の良さに感動しました。又、日曜日にも関わらず、〇〇先生も居らっしゃり、ありがたく、感謝しました。あいにく、死産でしたが、〇〇先生をはじめ、主治医の先生、ナースの皆様のご信力で、私の体も元に戻り、元気で生活しております。妊娠中毒症の恐ろしさも、よく解かり、周囲の人にも教え、紹介して頂くのなら、こども病院へ依頼する様言っています。しかし、良いのは、世間で知られていますが、普通では、お世話になれないのがネックの様です。

神戸市 新生児搬送 初産婦 38週 経膈分娩

入院中は本当にお世話になりました。先生はもちろんのこと、看護婦さんにも、とてもよくして頂きました。初めての子供で、抱き方もわからないまま、入院し、お風呂の入れ方や抱き方なども看護婦さんにおしえて頂きました。退院後、子供の様子に不安になり、泣きながら電話をかけた事もありましたが、とても親切に対応して頂き、助けられました。先生や看護婦さんには、頭の下がる思いです。子供の命と私達を助けてもらいました。今、私達親子が幸福に生活しているのもみなさまのおかげだと感謝しています。今でも、1年ごとに通院しています。久しぶりに行くと、なつかしく思います。待ち時間が長いのが、ちょっと困りますが、たくさんの方が、来ているので仕方ないかとあきらめています。自宅の近くにたくさん病院がありますが、どこも100%信用する事ができず、こども病院をこえる病院はありません。こども病院を私は100%信用しています。これからもよろしく願います。

神戸市 新生児搬送 初産婦 40週 帝王切開

出産4日目にして、朝まで元気(…に見えた)にしていた、子供が突然こども病院に搬送されました。当日当直医だった院長先生の説明は「チアノーゼをおこして、こちらでは対応できませんので、こども病院に搬送します」ただそれだけでした。素人の私はなないがなんだか解らず、小さなケースに入れられ救急車で運ばれていくわが子をパニックに近い状態で見送るだけでした。そんな時ですら、院長先生は何も言うてはくれませんでした。その後、私たちもこども病院に後追い、待合で待っていますと、当直の若い先生が、子供の現在の状態、今後の治療方針などを説明してくださいました。多分、大事ではないだろうという先生のお話を聞いたときの安堵は今でも忘れません。数日後、部長の〇〇先生との面談もあり、細かいでさらに安心できました。入院中も子供の状態が心配でならない私に看護士さんたちはてきぱきと適切に、また思いやりにあふれた態度で接してくれ、不安に思うことなく子供を預けて帰っていくことができました。こども病院に集まるこどもたちはみな何らかの問題があり、難しいこともあり、医師、看護士共に優秀な方々が集まっていられるのはわかるのですが、色々な意味で、自分が出産した病院とレベルのあま

りの違いに驚いてしまいました。(問題があったら排出し、その後病院としての説明が全然なく、何事なかったかのように対応されてしまった。モチロン精神的ケアなどもあるはずもなく)数ヶ月の間おなかの中で大事に愛しんでいたわが子が、産まれてきてなんらかの問題があるというのは、母親にとって本当に苦しく絶望的な気持ちでいっぱいだと思います。こども病院の新生児室のスタッフの方々は、そんな母親が絶望感を捨て、自ら育てる勇気と希望をもてるようになるときの力強い支援的存在であるとも感じました。素晴らしい病院と出会えたのですが、残念なことに神戸から転勤のため先だって東京に引っ越してきました。(そのときも今後のために紹介状もいただき本当に感謝しております。)その後問題もなく、現在、わが子は元気に成長しています。入院中、〇〇先生にわが子を抱きながら「おかげさまで元気になりました」と言ったところ、先生が「私たちじゃない、〇〇ちゃんのがんばりです」とおっしゃったことが印象的です。進んだ医療の結果、今まで生きていくことが無理であったらうこどもが多くこの世界で成長していきます。それに伴い、新しく生まれる母親や家族の心のケアも難しくなっていくと思いますが、生きてゆこうとする生命の強さ、取り巻く医療関係者の力を信じてがんばってほしいと思います。今後の兵庫県立こども病院の発展を祈ります。

神戸市 母体搬送 経産婦 27週 帝王切開
入院から出産まで12日間寝たきりで、病院の方々に大変お世話になりました。大きな病院でリスクのある妊婦さんが大勢いて、わがままを言っているとは思いますが、個室で誰とも会話がなくて、夜家族の面会以外がとてもさびしかった気がします。パンを焼くこともできず、味噌汁やスープをストローで飲み、寝たまま、なかなか飲み込みにくかったことも覚えています。医療のお仕事にさしつかえない、ボランティアの話し相手になるような人(患者からの希望者制とかにして)がいてくれたら、さびしさやつらさが和らぐように思うのですが…。正直、こども病院入院中の思い出のイメージがあまりよくなかったのですが、先生方や看護婦の方々の献身的なお姿やお人柄は本当に素晴らしく、今でも感謝しています。子供には障害という大きな荷物を背負う人生になりますが、“ここがあなたのふるさとだ”と一生言い聞かせていきたいと思っています。これからもお身体に留意され、ますますご発展されますようお祈りしています。出生時を思いかえす機会を与えていただき、ありがとうございました。

明石市 母体搬送 初産婦 36週 経膈分娩
生まれて初めての妊娠で緊急入院し、その後、救急車でこども病院にはこばれた時、「どうして私だけが…」と不安でいっぱいでした。「普通じゃない」ことに動揺も強く、生後ほとんど生きられない「ポッター症候群」と告知を受けたあの日の事は今でも忘れられません。生まれる前から死亡宣告を受けたのですから…。こういう「告知」をする場合、看護師に同席して欲しかったです。医師から入院直後、夫と2人で告知を受けましたが、あまりにも簡単に告知されたので、なかなか消化できませんでした。告知から2ヶ月半経過し分娩しました。分娩前後の看護師さんのかかわりは心あたたまるものがあり、本当に感謝しています。

かなしい出産でしたが、こども病院で出産してよかったと思っています。月日は流れ、その後2児に恵まれ幸せにしています。が、決して第1子を出産し、なくした事は忘れません。色々とお書かせてもらいましたが、「悲しい出産」が世の中から少しでも減ることを祈りつつ…失礼致します。

三田市 新生児搬送 経産婦 35週 経膈分娩
NICU、GCUには一週間ぐらいしかいませんでしたが、その間、とてもやさしく、適切な医療看護提供していただき、感謝しています。5F Aへ転棟したあと、2カ月入院し、その間、心カテ、肺動脈弁をバルーンで拡張する治療などしました。9月に退院して、自宅で様子をみていましたが、なかなか体重が増えず、今年の4月に根治術をしていただきました。今月15日に1才のたんじょう日をむかえます。元気にしていただいて、本当にありがとうございます。今後も患者の立場に立った医療看護を充実させていって下さい。〇〇〇子

姫路市 母体搬送 経産婦 36週 経膈分娩
私は、こども病院の話だけはチラッと聞いたことがあったけど、実際に行ったのは初めてでした。(できれば行かずにすめば、もっとうれしかったけど)赤ちゃんが亡くなってしまった事をのぞけば、入院生活は、良い思い出になっています。今でも同室の3人と連絡をとり合って色々話を聞いたり、聞いてもらったりしています。(メールや手紙で)ほんと子供の事が無ければ、合宿のような楽しさでした。子供の事にふれるのは今でもつらいけど、周産期医療センターはすばらしいと思います。お腹の中で育っている命と、世に出てきた小さな命とを、一生懸命支えておられる先生やその他のスタッフの方々に感動しました。普通の病院では見ることのできない様子を見れたのは、良い経験をしたと思っています。私達のように、つらい思いで退院していく人が、1人でも減るようにこれからも頑張っていって下さい。

西宮市 新生児搬送 初産婦 40週 経膈分娩
原因不明の水泡ができ、すごく不安でした。でも看護婦さん達がとても親切に接して下さったので、心が救われました。しいて言うなら、毎日、担当の看護婦さんが代わるので聞きたい事などがあった場合、誰に聞けばいいか、ちょっと困った時があった。(シフトの関係で仕方ないと思うのですが…)でも、先生方、看護婦さん、すばらしいスタッフがそろっていると思います。

神戸市 母体搬送 初産婦 36週 帝王切開
出産後搾乳についてですが、私は帝王切開だったので、初めての搾乳が3日後くらいでした。いくら何でもちょっと遅すぎると思います。思います。私の場合は赤ちゃんが母乳を吸う力がなかったので、仕方がないのですが、哺乳に問題のない赤ちゃんでも直母が1日にたったの2回は少なすぎるように思います。重篤な赤ちゃんも多く、自力でのめない場合がおおいでしょうが、それでも、直母をあきらめた訳ではないと思うので、可能性は残してほしいです。赤ちゃんの面会ももっと時間を増やしてほしいと思いました。入院中は快適でした。

神戸市 母体搬送 初産婦 30週 帝王切開
入院時は22週で危険な状態といわれていましたが、先生やスタッフの方々に1日1日が大切で、今日1日が終われば、明日1日頑張ろうと目標を目の前に置いていただいたことが私にとって大きな励みとなりました。絶対安静が長く毎日、カレンダーとのにらめっこでしたが、先生は毎日病室に足を運んでくださり、不安なことは、分かるように説明していただきました。看護師、助産師の方々にも献身的な看護をしていただきました。毎日の保清は、寝たきりの私にとっては、どんなにありがたかったかもしれません。状態に応じて目標や計画をたててもらい、安心して入院生活を送ることが出来ました。毎日子供の命は、どうかと心配でしたが、無事に生まれてくれたことは、みなさんのおかげだと思っております。心より感謝いたします。ありがとうございました。

三木市 母体搬送 初産婦 36週 経膈分娩
テキパキとした助産婦さん達のケアに助けられ、無事出産できた事に感謝しております。これからも、ケアのプロとしてのご活躍に期待しております。初診の時の会計さんの対応はあまりよくなかったです。

神戸市 母体搬送 初産婦 32週 帝王切開
入院中は、本当に不安でいっぱいだったけど先生方いろいろお世話になり 分娩の時は、助産婦さんに手をにぎってもらってすごくうれしかったです。初めての出産をこども病院でお世話になってよかったです。子供も元気で産まれてきて、本当に感動しました。先生方、本当にいろいろお世話になりありがとう ございました。一生の思い出です。

三田市 母体搬送 初産婦 36週 帝王切開
行き届いた医療体制・ケア体制の下、安心して入院生活を送る事ができました。しかし、こども病院の性格上、ハイリスクの妊婦さん、子供に障害のある妊婦さん、産婦さんがおられ、何度も、泣いていらしゃる姿を見ました。普段はとても明るくされている方が何かのきっかけで、堰が切れた様に涙を流されていました。私自身も、これと言った理由もないのに、悲しく気分が沈む時もありました。専門家の心のケアを強く必要と感じました。深刻になり過ぎず、今の病棟の明るさのままで、自然な形で心の専門家がスタッフにさりげなく加われば、(今もいらっしゃると思いますが、常在で)と、思います。

神戸市 母体搬送 初産婦 35週 帝王切開
前前置胎盤のため管理入院を含め、1ヶ月入院しました。通院時の外来診察ではいつも丁寧に診ていただき、入院してからは、いつ何があっても、おまかせできる!と信頼し、心強い医療体制の元、安心してすることができました。実際真夜中に大出血しましたが、看護師さん、先生方の迅速なご対応で母子共に緊急帝王切開にて、無事出産することができました。産後は新生児科のシステムとして仕方がないとは思いますが、もう少し、赤ちゃんと会うことができればいいなと感じました。

神戸市 母体搬送 初産婦 35週 帝王切開
順調であると、信じて疑うことなく(検査を受けたところ、突然、異常を告げられ、翌日にこども病院を受診、当日の内に帝王切開をなり、私にとっては本当に辛い出来事でした。大変、動揺していた私や主人を、看護師の方々、諸先生は温かく気遣って下さり、お陰様で娘も無事に一歳に誕生日を迎えることができました。感謝の思いで一杯です。本当にありがとうございました。こども病院の性質上、難しいこととは思いますが、・次回の妊娠に関する相談・実際に妊娠した際の受診(紹介状なしでの)等、(既に対応済みであればすみません。)受け入れていただければ、心強く思います。スタッフの皆様には、激務の日々を送られていることと、と思いますが、どうかこれからも、不安な思いを抱く母親、子供の「心のよりどころ」であり続けて下さいますよう。最後にもう一度、本当にありがとうございました。

神戸市 母体搬送 経産婦 34週 経膈分娩
入院中、本当に先生にも助産婦さん、看護婦さんにもよくして頂きました。優しい対応にどれだけ勇気づけられてきたかわかりません。私も以前、看護婦の仕事をしていたことがありましたが、こんな病院で働けたらなあと感じました。本当に感謝で一杯です。ありがとうございました。

神戸市 母体搬送 経産婦 29週 帝王切開
入院中は大変お世話になりました。切迫早産で毎日不安の中、いつも先生や看護師さんがやさしく接して下さり、とてもうれしかったです。医療のレベルがとても高く、適切な対応をして頂いたので、安心して入院生活を送る事ができました。痛かった思い出や、つらかった思い出もたくさんありますが、今となってはなつかしく思えます。娘も未熟児で産まれたとは思えない位、順調な成長ぶりです。皆様本当に感謝しています。ありがとうございました。・携帯電話の使用を許可していただけたらうれしかったです。院内を動けた間は公衆電話にもいけてよかったです。安静(ベッド上)になってからは家族とあまり連絡をとる事ができず大変つらい思いをしました。有料でもいいので、ベッド上安静の人だけでもPHSを貸出しする等、何か連絡手段があればいいなと思いました。

神戸市 新生児搬送 初産婦 41週 経膈分娩
私の場合は子供だけが、出産後2日目から離ればなれで、入院しました。初めての子供でしたので、ただ辛い気持ちで一杯でした。入院生活は3日程でしたが、その3日間は子供と会えずです。他のお母さん達は、子供を抱き授乳しているのに、私はお乳をしぼるだけでした。母親は産む前も産んでも、不安と付き合いながら乗り切ってます。少しでもその不安がやわらげる様な病院であって欲しいと思います。

西宮市 母体搬送 初産婦 35週 経膈分娩
他の病院では、たいてい、看護師さんの中に、つめたい人、やる気のなさそうな人がいるものですが、こども病院では、いらっしゃいませんでした。お一人お一人のプロ意識(?)の高さにおどろきました。

西宮市 母体搬送 初産婦 34週 帝王切開

こども病院で2回出産いたしました。他の病院での出産は考えられないという程、こども病院の先生(〇〇先生)を信頼申し上げます。こども病院でダメならどこへ行ってもダメなのではないでしょうか。とにかく最善の医療が行われていると信じています。もうひとつ、こども病院の良い点は、母乳指導が熱心だということです。NICUやGCUに子どもを預けて一緒に過ごせない母親にとって、母乳を搾ることは唯一、母親としての役割を果たしている実感できることなので、非常に大切だと思います。こども病院での指導がしっかりしていたからこそ、1人目の子を完全母乳で育てられたのだと確信しています。また、先月生まれた2人目も毎日たっぷり母乳を飲んですくすく成長しています。最先端の医療とスタッフの皆様方のアットホームなお心づかいが印象的でした。

神戸市 新生児搬送 経産婦 28週 経膈分娩

うちの子は簡単な手術で10日ほどの入院でした。でも、正月だったこともあり、あと出産した病院の説明を信じていたので、異常に気づくのが遅くなり、かわいそうなことをしました。入院中は、毎日面会に行くことができなかった。電話で様子を聞かせていただき、安心しました。手術の説明なども丁寧によく分かりました。先生の印象もとてもよかったです。気になったのはお掃除ができていないなと感じたことです。(病室前の通路) 今ではとても元気です。ありがとうございます。これからもたくさんの子供たちを元気にしてあげて下さい。

神戸市 母体搬送 初産婦 33週 帝王切開

約1ヶ月間の入院でしたが、毎朝、担当されるスタッフの方々が挨拶に来られて、その日の担当の方がわかって、何かあればその方に言えばわかると、安心して生活を送ることができました。暑くなる時期だったので、毎日シャワー浴もでき、ホッとできました。手術日までの数日は、まだまだ在胎させておけるのではないかと希望と、NICUが病床になると困るという不安が入り乱れて、不安な時期もありましたが、無事帝王切開を迎え、今でも、子供たちも2才となり元気に過ごしています。ありがとうございます。今現在は1回/6ヶ月健診をうけていますが、待ち時間の合間に遊具で遊ばせてもらい、ぐずることなく、健診をうけています。今後共、よろしく願いいたします。

氷上郡 母体搬送 初産婦 39週 経膈分娩

入院中はお世話になりました。こども病院は評判も良く信頼していたので、安心して出産する事が出来ました。エコーを1人1人丁寧に診ていただいて、子供の成長を1番、目で見て分かる事なので良かったと思います。入院して思ったことがあるのですが、洗濯をするコインランドリーのカードの度数をもう少し増やして欲しいと思いました。1回に何度数もいるので、スグにカードが無くなって何度も買い足すのが少し面倒でした。モニターを付けていて、時間を過ぎてなかなか外しに来てくれなくて、忘れられていたのでは?!と思った事が何度もあり、他の患者さんと言っていました。授乳は手では張り過ぎていて搾るのがとても大変だったので、授乳品のレンタルを増やして欲しかったです。(退院して授乳品を購入して大変便利だっ

たので…)

神戸市 新生児搬送 初産婦 42週 帝王切開

私自身入院中で直接関わっておりませんが、当時はお世話になりました。今後も最良の医療と安心できる病院であって欲しいと願っています。

三田市 母体搬送 経産婦 40週 帝王切開

出血も多くなさく、終わってみれば普通の出産でした。赤ちゃんの体重も2648g。母乳だけでいきたいといったら「ここは500gしかないような赤ちゃんが来るような病院。そういうシステムはない」と言われました。1度だけ、ご好意で赤ちゃんを病室までつれてきて頂いて授乳しましたが、それが精一杯の対応でいらしたんだと思います。そのことに悪い印象は持ってはいませんが、でも体重が500gの赤ちゃんが多く産まれる病院かもしれないけど、現に生まれてみれば普通の子もいるはず。出産は母親にとって1回1回人生最大の真剣勝負。赤ちゃん本人にとっても、です。病院側のシステムのせいでおっぱいがあげられなかったり、母子同室してもらえなかったのはおかしい。誰もが運ばれる可能性のある病院であるからこそ、どんなお母さんにも赤ちゃんにもベストな対応をできる病院であってほしいと思います。

伊丹市 母体搬送 初産婦 32週 帝王切開

初めての妊娠で品胎。非常に不安でした。1回目の入院(子宮の口をくぐる為)で看護師さんが品胎を出産した人を紹介してもらい、食事などの時、話を聞きましたが、やはり、その方も、今後不安だった様です。3人となると、本などのとおりにはいかず、又、母や姉、友人も、出産・育児経験があっても、イメージがわからない、なんとかやるよ!の一言でした。入院中、品胎の方が3~4人いらっしゃいましたので、出来れば、同じ状況の方同士、見学に行く・話しを聞く、又、文書にまとめてそれを読むなど、沢山の情報(状況)を目から耳から入れて、不安を取り除けてもらえればと思います。私も今子供が2才となり、なんとかりましたが、なんとかすることしか、この2年間、しょうがなかったです。末筆ですが、今楽しく暮らせるのは、こども病院での入院、出産出来た事だと思っています。その節は本当にお世話になり、ありがとうございます。今後も益々活躍下さい。〇〇〇子

西宮市 母体搬送 初産婦 30週 帝王切開

26週で運ばれたので、双子の子供達が無事に異常なく生まれてくるのか、心配でならなかった。正直言って生きたこころがしませんでした。もうちょうど一年も前の事になりましたが、いまだにあの時の恐怖を思い出す時があります。多分、一生で一番怖い体験だったので、もう絶対に同じ思いはしたくありませんが、そのお陰でものすごく強くなれた様な気がします。そして、何よりもその時の私を支えてくれたのが、先生、そして看護師の方々です。体のケアだけではなく、しっかりと心のケアもして下さったので、落ち込みやすく、傷付きやすかった当時の私をしっかり支えて下さったのです。仕事は相当キツイはずなのに、少しも笑顔をたやすことなく、悩みやグチもちゃんと聞いて下さって、本当に頭が上らなかつたです。皆さん情

熱をもって、目を輝かせてお仕事をしてくださった姿は、本当に輝いていました。本当にすばらしい方々と出会えて幸運でした。これからもあの輝きを持ち続けて、一人でも多くの母子を救ってあげて下されば幸いです。ありがとうございました。〇〇〇子

神戸市 母体搬送 初産婦 34週 経膈分娩
初産で何も分からず不安な上に切迫早産になり、パニック状態でしたが、先生、看護婦さん共、細やかな質問にも丁寧に答えて下さって、安心して出産にのぞめました。産後もNICUへ運ばれ3ヶ月の入院生活でつらい日々を過ごして気でしたが、やはり先生や看護婦さんにかけて頂いたお言葉に元気づけられ、少しずつ立ち直ることが出来ました。あの時は本当にお世話になり有難うございました。お陰様で今では娘もおてんばなくらい元気に成長しました。1つ残念なのはあの当時いらっしゃった先生や看護婦さんが転勤で移動されていることです。仕方ないことですが、いつかどこかで大きくなった元気な娘とお会い出来たらうれしいです。〇〇〇子

明石市 母体搬送 初産婦 37週 帝王切開
順調でとても元気な妊婦でいたのに、「明日、必ずこども病院へ行って下さい。」と理由も述べられず目も合わさず担当医に告げられ、次の日、訳がわからないまま外来へ。診察終了1時間後には手術室に。突然のトラブル、出産…。赤ちゃんはそのままNICUに連れていかれ、精神的にかなりきつかったです。4人部屋で声をこらして泣いているのを見た看護婦さんが空いている部屋に椅子を用意して「好きなだけ泣いていいよ。明日まででもいいよ。」ひとりきりにして下さり、大声でおもいきり泣くことができました。そこで、赤ちゃんが闘っているのにこんなことではいけないと悟ることが出来、頑張ることができました。本当に感謝しております。子供も今年で3歳になります。まだ、半年に1度通院にはしているものの、やんちゃすぎて困る程、スクスクと成長しております。ありがとうございました。

神戸市 母体搬送 経産婦 40週 経膈分娩
4人目をこども病院で出産したのですが、婦長さんはじめ看護婦さんが、心のケアに対して、すごく気をつけていた頂き、心身ともに疲れ切っていたので、1週間でしたが心がいやされました。又、おっぱいのマッサージも皆さん上手で上の3人でいやなおもい、心配とか、左胸のしこりがあったりしていたのですが、こども病院ですっきり解消されました。有難うございました。素晴らしいスタッフの沢山おられるこども病院に入院出来たことに幸福を感じます。いつもいつもちゃんとお礼に伺わなければと思いつながら、月日がたちました。心よりお礼申し上げます。有難うございました。

西宮市 新生児搬送 初産婦 40週 経膈分娩
長男の時は本当にお世話になりました。産まれるまで、病気のことを知らなかったのが、ショックが大きかったです。病気の皆様のおかげで、生きることができました。本当に感謝しています。今年、次男の出産に際して、まだ、研究中段階と言われながら胎児健診をして下さり、安心して産むことができました。病気のことは信頼しきっていま

したが、しいて一言申し上げるなら、入院中の家族の精神的な支えを助けてくれる部署があればいいなと思いました。今、普通の赤ちゃんを育ててみて、長男の時は、私は少し精神を病んでいたのだと分かったのです。授乳できず、さく乳して病院へ運ぶことと、毎日面会に行くことだけが、唯一母親としてできること—まわりから見ればつまらないことかもしれませんが、鼻の管からも母乳を受付けなくなった時、看護婦さんに「もう当分飲めないから、母乳を持って帰って下さい！」と言われた時は本当に悲しかったです。病気それぞれに父母の会ができつつあると聞いています。その会がもっと発展することを望みます。

神戸市 母体搬送 経産婦 23週 経膈分娩
22週で破水し、運ばれる救急車の中では不安だらけで、診察台の上では震えが止まりませんでした。そんな中での看護婦さんの暖かい言葉や励ましの言葉にとっても安心させられました。またこどもが産まれてからも先々の事や上の子がまだ9ヶ月ということもあり、思うように面会に行けないことなどで落ち込んだりしましたが、いつ行っても優しく接してくれ、親身になって話をしてくれたりして、本当に嬉しく思いました。こども病院に来るお母さん達はやはり心配や不安ばかりだと思いますので、高度な医療というのはもちろんなのですが、周りの環境や親しみやすい雰囲気づくりということもとても大切になってくると思います。毎日毎日大変なお仕事だと思いますが、どうぞよろしくお願い致します。

神戸市 母体搬送 初産婦 27週 経膈分娩
先生方、スタッフの皆さんの心温まる励ましにより、一人目死産のショックを乗り越えて、無事に2回目妊娠で元気な女の子を出産することができました。2回目妊娠で切迫早産の為、子ども病院で6週間入院していた間も、毎日明るい笑顔で看護して下さった皆さんに見守られている安心感があり、私自身も家族も落ち着いて分娩までの日々を送れました。また、4人部屋でお友達になった人たちの体験談により、ずいぶん励まされました。痛みやつらさは日々ありましたが、楽しいこともすばらしい喜びもあり、子ども病院でお世話になったことを本当に感謝しています。

神戸市 母体搬送 経産婦 帝王切開
短い入院ではありましたが、DrやNs（助産師さん）などの細やかな心遣いと温かい励ましに感謝でいっぱいです。お陰様で、子どもは元気に成長しています。子ども病院で出産できて、本当に良かったと思っています。ありがとうございました。

姫路市 母体搬送 初産婦 32週 帝王切開
初めての入院、出産だったので、不安だらけで先生や看護婦さんに大変迷惑をかけてしまい申し訳ありませんでした。今、2人の子供達と普通に生活出来、大変嬉しく思っています。入院中、同室の方もいろいろかわりましたが、楽しい会話や励まされたりし、大変救われました。今考えれば自分の心の持ち方しだいだと思いますが入院中は1日1日がせいっぱいで余裕がなく恥ずかしいかぎりでした。こども病院での出産でいろんな病状の中でも頑張っておられる姿をみた事により、今自分も頑張れるように思います。

1人でも多くの方が無事出産出来るよう祈っています。

神戸市 母体搬送 初産婦 30週 帝王切開
36週までこども病院にかかっていましたが、経過がいいとゆう事で他の病院に転移させられましたが、けっきょく39週切迫早産になってしまいました。だから貴病院に最後までフォローしてほしかったのに、非常に残念に思いました。

神戸市 新生児搬送 初産婦 39週 経膈分娩
生後すぐ入院あと、2~3カ月おきに3回の大きな手術、内心とても心配不安でいっぱいでした。でも主治医、看護師さんのおかげで私も少し気持ちが楽になり、良かったです。ありがとうございます。特にHICでの看護師には、大変お世話になり、今でも年2回外来の方に行っていますが、たまにお世話になった看護師さんたちにお会いしております。『大きくなったネ、良かったネ』と言われると、私もうれしく長かった病院生活を思い出します。これからも、いろんな子供たちの為にも頑張ってくださいネ。

尼崎市 母体搬送 初産婦 36週 帝王切開
帝王切開だったので、術後、起き上がるのに、電動式ベットでかなりラクだったし、院内はとてもキレイで、ケアもしっかりしてるから、こども病院に入院出来て、とてもよかったです。ただ、食事がまずいので、もう少しおいしく食べればよいのですが…。

他府県 母体搬送 経産婦 24週 帝王切開
子供が産まれた時、とても小さくて、自分でもおどろいていました。その時、担当の助産婦さんから自分の子供を見て、どう思ったかと、しつこく聞かれて、大変いやな思いをしました。そんな事より子供が助かってくれればいいのに、と思っていました。

宝塚市 母体搬送 経産婦 30週 帝王切開
不安な気持ちでいっぱい入院生活を迎えたのですが、皆さんの手厚いケアのおかげで安心して出産にのぞむことができました。その後、新生児科でも2カ月程お世話になりましたが、遠方で上の子も小さかったため、なかなかまめに通うことができませんでしたが、常にスタッフの方々に見守られていて、娘もすくすくと育つことができました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。常に24時間体制のお仕事で色々大変かとは思いますが、お体に気をつけて頑張ってください。

神戸市 新生児搬送 初産婦 28週 帝王切開
大量出血で出産し、助からないと出産した病院で伝えられたのに助けて頂き、大変感謝しております。現在4才になり、病気がちでは、大病もせず、すくすく大きく成長している子を見ると子供病院に助けてもらった事が思い出されます。今後もたくさんの新生児を助けてもらいたいと思います。 ○○○子

神戸市 新生児搬送 経産婦 32週 経膈分娩
・私は、1人目2人目と2人共こども病院で出産となりました。1人目は何事初めての経験で、とくにお腹の中に

いる赤ちゃんがとても気がかりでした。帝王切開になり、不安な事がいっぱいでしたが、スタッフの皆さんにとっても優しく接してもらって、入院中大変お世話になりました。2人目は、自然分娩で産まれました。2人共、未熟児産まれましたが、1人目は元気に育って大きな病気もせず4歳をむかえようとしています。先生や、看護師さんから、安心をもらえる病院だと私は思います。

三原郡 新生児搬送 経産婦 27週
すごく看護師の方々が親切で声をよくかけてもらい精神的に楽になりました。不安が一杯で当病院にきましたが無事当によくしてもらい感謝しております。

明石市 母体搬送 経産婦 33週 帝王切開
29Wで胎児に異常が見つかり出産するか否かの選択をせまられました。悩みに悩みぬいた末33wでの出産を決断しました。当初染色体異常の可能性は極めて低いとの医師の説明でしたがその後の検査でやはり染色体異常が見つかりその説明として小さな筒書に入った検査結果と医学的な説明書が渡されました。上に三人の子供がおり、その子供達にもその保因の可能性があると説明書に目の前が真っ暗になりました。もちろん両親である私たち夫婦にもその可能性があると言う事にショックを受けました。その後やはり次の子供が欲しいという思いにかられながら上の子供たちへの将来への不安などさまざまな苦悩にさいなまれています。私の希望としてはもっと遺伝学に詳しい医師がおられれば良いと思います。どうすることもできないのであればこそどういうふうの後々の心のケアをすればいいのかきちんと教えて下さる医師がいらっしゃれば私のような思いの人も少しは減るのでは・・・と思います。最後になりましたがドクターをはじめ看護師の皆様にはとても親身になって治療していただいたこと心より感謝いたします。

神戸市 母体搬送 初産婦 41週 経膈分娩
周産期医療センターに初めてかかった時は不安でいっぱいでした。こどもに障害があると言われ、どうしていいのかわかりませんでした。先生方、看護婦の方々は私のような人をたくさん見ておられ。私なんてまだ幸せな方だと思われたかもしれません。しかし、もっと気にかけて頂きたかったです。子供に障害があることを受け入れるのは簡単なことではありません。でも出産するに当たっては特に問題はないという様な対応でした。子供ではなくお母さん自身にリスクが高いというのを主に見ておられるのはわかります。でも私のような方の心のケアも大切だと思います。もっと話を聞いたりするようにしてあげてください。あと、こういうアンケートを送られて、涙を流す方もおられます。私の友達もこの手紙はとてもつらかったそうです。こんなことがあるときは気にしてあげてほしいと思います。

多可郡 母体搬送 初産婦 35週 帝王切開
入院中はスタッフの方々が度々ベッドサイドに来て下さってゆったりと接して下さったのでいつも安心することができました。皆様本当にやさしく快適でした。ありがとうございます。

神戸市 母体搬送 初産婦 38週 経膈分娩

1人目の出産だったため不安もたくさんありましたがとても良いスタッフ支えられとても安心して入院生活が送れました。紹介状にて移った病院でしたが異常なく安産でしたのでその後お世話になることもなくスクスクと成長し3才になりました。2人目を妊娠した時もこども病院で出産できれば…とも思いました。とても信頼できるスタッフ、環境が整っているのも…。出産後無呼吸からチアノーゼを起し、保育器での生活・検査が続きました。とても不安な日々が続きました。でも1人目をこども病院で出産いろいろな病気があることも知りがんばっている赤ちゃん、お母さんたちがいたことを思い出し、がんばれました。今では元気に大きくなっています。(検査の結果は異常なく無呼吸もなくなり退院できました。) こども病院を退院する時にスタッフの方に「次の妊娠時はもう戻ってきたらダメよ」と言われましたが言われましたが異常はなくても「ここで」と希望はありました。主人も同意見です。

神戸市 母体搬送 初産婦 29週 帝王切開

一人で通院するなら可能ですが子供を抱えて通院は大変だと思います。運ばれてから早急な対応をして下さり感謝しております。異常がおこればこども病院に紹介してもらえるとというのは非常に心強いです(安心しています。)

神戸市 母体搬送 初産婦 40週 帝王切開

帝王切開で出産したのですが傷あとの経過がよく回復が早かったのではと順調によくなっていきました。切開後の処置がとてもよかったのだと思います。友人の中に何人か帝王切開をした人がいるのですが傷あとがケロイド状になったりかゆみがあったりとそれぞれ何かトラブルがあるようです。D)の質問で「いいえ」と答えましたが、通院に不便だけで良い先生方スタッフの皆さんにお世話になり本当によかったと思っています。

各位 殿

初夏の候、皆様方にはいかがお過ごしでしょうか。

さて、平成6年10月に当周産期医療センターが開設されて以来、はや10年が経ちました。その間に多数のハイリスク妊産婦と新生児の方々をお迎えすることができました。その数は延べ6000人余りにも及び、当センターが県民の皆様信頼に任された証と心より感謝申し上げます。

この間、当センターは紹介型専門病院としての使命を果たすために、県内の病院や診療所から紹介された妊産婦と新生児の方々のみを受け入れ、治療終了後は紹介元医療機関にてフォローアップしていただく方式を採ってきました。そのため、退院されて時が経つとともにお母さまのお身体の具合や、赤ちゃんの成長ぶりを当院でフォローアップすることがかかいませんでした。それでもなかには元気な顔を見せにお越しになる方や、大きくなった子供さんを連れて来られる方もおられ、その都度スタッフ一同は非常に嬉しく思っていました。とはいえ、大半の方々のその後のご様子については、残念ながら判らないままに過ぎてきました。

そこでこのたび、開設10周年記念行事の一環として、皆様方からその後のご様子や周産期医療センターに対するご意見などをお伺いし、それらをもとに県民のニーズに即した周産期医療の診療体制について再検討させていただくことになりました。つきましては、別添のアンケート調査を実施したいと存じますので、是非ともご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本状を差し上げました方々の中には、こども病院に入院した時のつらい体験などは思い出したくもないとお考えの方々もおいでのことと存じます。また、周産期医療の現実として、最新の医療技術をもってしても不本意な結果になったり、あるいは今なお病苦と闘っておられる方が少なからずおられることも重々存じ上げております。しかし、このような方々のつらい経験をお教えいただくことこそが、明日の周産期医療に最も役立つものであると確信しております。

なにとぞ本調査の意義をご賢察いただきまして、アンケート調査によるしくご協力を賜りますようお願い申し上げます。また、個人名での発表は一切致しませんので、忌憚のないご意見を多数いただければ誠に幸甚に存じます。

末筆ながら、あなた様とご家族、ご一同様のご健勝を心より祈念申し上げます。

平成16年6月

兵庫県立こども病院

院長 中村 肇

兵庫県立こども病院周産期医療センター開設10周年記念アンケート

お母さまにお伺いいたします。

赤ちゃんがこども病院に運ばれた方は質問A)からお答え下さい。

こども病院で出産された方は質問B)からお答え下さい。

A) 赤ちゃんがこども病院に運ばれた時のことについてお伺いいたします。

1. その当時のご自宅のご住所は _____ (県、府、道、都) _____ (市・郡)
2. 現在のご自宅のご住所は _____ (県、府、道、都) _____ (市・郡)
3. どちらの病院、診療所からこども病院に紹介されましたか _____ (病院、医院)
4. どのような理由で紹介されましたか _____

5. 紹介された時は、生後何日でしたか _____ (日)
6. 搬送手段はなにでしたか。 こども病院救急車、消防救急隊救急車、その他
7. いつ入院されましたか。 平成_____年_____月_____日
8. 出産されたときは妊娠何週でしたか _____ 週
9. 何人目の出産でしたか _____ 人目
10. 帝王切開で出産されましたか はい いいえ

質問C)に進んで下さい。

B) こども病院で出産された時のことについてお伺いいたします。

1. その当時のご自宅のご住所は _____ (県、府、道、都) _____ (市・郡)
2. 現在のご自宅のご住所は _____ (県、府、道、都) _____ (市・郡)
3. どちらの病院、診療所からこども病院に紹介されましたか _____ (病院、医院)
4. どのような理由で紹介されましたか _____

5. 紹介された時は妊娠何週でしたか _____ (週)
6. 搬送手段はなにでしたか。(こども病院救急車、消防救急隊救急車、その他 _____)
7. いつ出産されましたか。 平成_____年_____月_____日
8. 出産されたときは妊娠何週でしたか。 _____ 週
9. 何人目の出産でしたか _____ 人目
10. 帝王切開で出産されましたか はい いいえ

質問C)に進んで下さい。

C) その後の出産についてお伺いたします。

1. その後あらたに出産されましたか (はい、いいえ)

**** (はい) とお答えの方は以下の質問にお答え下さい。(いいえ) とお答えの方はD) へお進み下さい。**

2. いつ出産されましたか 平成_____年

3. その時のご自宅のご住所は _____ (県、府、道、都) _____ (市・郡)

4. 帝王切開で出産されましたか (はい、いいえ)

5. どちらの病院、医院で出産されましたか _____ (病院・医院)

6. それは、こども病院に紹介される前にかかっていた病院、医院(前問Aの3)と同じ病院、医院ですか (はい、いいえ)

6-1) (はい) とお答えの方は出産病院、医院を変えなかった理由を次からお選び下さい。

(あてはまるものすべてに○をして下さい。その後、質問D) へお進み下さい。

- ア () 通院に近いから。 イ () 交通の便がよいから。
ウ () 里帰り分娩だから。 エ () 大きい病院、医院の方がよいから。
オ () 小さい病院、医院の方がよいから。
カ () 前のお産病院、医院に良い思い出があるから。
キ () 新生児科があるから。 ク () 評判がいいから。
ケ () 異常がおこれば、こども病院に紹介してもらえるから。
コ () 医療費が安いから。 サ () 再び帝王切開になる可能性が高いから。
シ () 食事が良いから。 ス () 助産ケアがいきとどいているから。
セ () 前の先生を信頼しているから。 ソ () 受付のサービスがよいから。
タ () その他 _____

6-2) (いいえ) とお答えの方は新しい出産病院、医院に変更した理由を次からお選び下さい。

(あてはまるものすべてに○をして下さい。その後質問D) へお進み下さい。)

- ア () 転勤、転居のため。 イ () 通院に近いから。
ウ () 交通の便がいいから。 エ () 里帰り分娩することになったから。
オ () 前のように異常妊娠、分娩になると不安だから。
カ () 前のお産病院、医院が出産を取り扱わなくなったから。
キ () 前のお産病院、医院に良い思い出がないから。
ク () 大きい病院、医院の方がよいから。
ケ () 小さい病院、医院の方がよいから。 コ () 新生児科があるから。
サ () 評判がいいから。 シ () 医療費が安いから。
ス () 食事が良いから。 ス () 助産ケアがいきとどいているから。
ソ () 前の先生を信頼していないから。
タ () 再び帝王切開になる可能性が高いから。
チ () 紹介状を書いてもらったから。 ツ () 受付のサービスがよいから。
テ () その他 _____

D) これ以下は全員がお答え下さい。

今後あらたに妊娠されたと仮定した場合、もしくは現在妊娠されている場合、あなたのご希望によってこども病院で出産が可能なら、こども病院にかかりたいと思われませんか。

(はい、いいえ)

1. (はい) とお答えの方にお伺いします。こども病院を希望される理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○をして下さい)

- ア () こども病院は通院に近いから。 イ () 交通の便がいいから。
ウ () 前のような異常妊娠、分娩になると不安だから。
エ () 前の出産病院、医院が出産を取り扱わなくなったから。
オ () 前の出産病院、医院に良い思い出がないから。
カ () 大きい病院の方がよいから。 キ () こども病院に良い思い出があるから。
ク () 新生児科があるから。 ケ () 評判がいいから。
コ () 医療費が安いから。 サ () こども病院での医療に満足できたから。
シ () 再び帝王切開をしなければならないから。 ス () 食事がいいから。
セ () 助産ケアがいきとどいているから。
ソ () こども病院の先生を信頼しているから。 タ () 受付のサービスがよいから。
チ () その他

2. (いいえ) とお答えの方にお伺いします。こども病院を希望されない理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○をして下さい)

- ア () こども病院は通院に遠いから。 イ () 交通の便が悪いから。
ウ () 異常がおこれば、こども病院に紹介してもらえるから。
エ () 前の病院によい思い出があるから。
オ () こども病院よりも大きい病院の方がよいから。
カ () こども病院よりも小さい病院、医院の方がよいから。
キ () 医療費が高いから。 ク () 食事が悪いから。
ケ () 助産ケアがいきとどいていないから。
コ () こども病院の先生を信頼していないから。
サ () こども病院に良い思い出がないから。
シ () こども病院での医療に満足できなかったから。
ス () 受付のサービスが悪いから。
セ () その他

E) こども病院に入院中の体験談やこども病院をよりよくするための提案など、
どのようなことでも結構です。ご意見をぜひお聞かせ下さい。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

わずらわしいアンケートにお答えいただき、まことにありがとうございました。
このご回答を同封の返信用封筒に入れてご投函くださるようお願いいたします。
末筆ながらあなた様とご家族ご一同様のご健勝を心より祈念申し上げます。

神戸市須磨区高倉台1丁目1番1号
兵庫県立こども病院
院長 中村 肇

「周産期医療センター10年間のあゆみ」

発行日 平成16年10月1日

発行 兵庫県立こども病院

〒654-0081 神戸市須磨区高倉台1丁目1番1号

TEL 078-732-6961 FAX 078-735-0910

編集 周産期医療センター10周年記念誌刊行委員会

委員長 大橋正伸

委員 足立久美子、植杉チヨ子、納 栄子、田中美枝

中尾秀人、新谷 潔、芳本誠司（50音順）

印刷 交友印刷株式会社